

広 資 料 第 3 8 号
令 和 5 年 6 月 1 日
健 康 福 祉 部 高 齢 福 祉 課
市 民 情 報 提 供 資 料

武蔵村山市第六次高齢者福祉計画及び第九期介護保険事業
計画策定に向けたアンケート調査報告書について

このことについて、武蔵村山市第六次高齢者福祉計画及び第九期介護保険事業
計画策定に向けたアンケート調査報告書を作成しましたので、別添のとおりお知
らせします。

武蔵村山市第六次高齢者福祉計画及び
第九期介護保険事業計画策定に向けた
アンケート調査報告書

令和5年3月

武蔵村山市

目次

I 調査の概要	1
1 調査の目的	1
2 調査対象	1
3 調査期間	1
4 調査方法	1
5 回収状況	1
6 調査結果の表示方法	1
II 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	3
1 調査対象者の基本属性	3
(1) 性別	3
(2) 年齢区分	3
(3) 日常生活圏域	4
2 ご家族や生活状況について	6
3 からだを動かすことについて	10
4 食べることについて	16
5 毎日の生活について	20
6 地域での活動について	31
7 たすけあいについて	38
8 健康について	45
9 認知症のことについて	60
10 介護保険制度について	63
11 普段の暮らしや高齢者福祉サービスについて	68
III 生活機能評価等に関する分析	90
1 機能別リスク該当者割合の分析	90
(1) 運動器	90
(2) 閉じこもり	91
(3) 転倒	91
(4) 口腔	92
(5) 認知	92
(6) うつ	93
2 日常生活	94
(1) 手段的自立度（IADL）	94
IV リスク該当者等の圏域別回答割合	95
V 在宅介護実態調査	98
1 調査対象者の基本属性	98
(1) 性別	98
(2) 年齢区分	98

(3) 要介護認定者	98
(4) 日常生活圏域	99
2 A票 調査対象者本人について	100
3 B票 主な介護者様、又はご本人様にご回答・ご記入いただく項目	109
VI 事業者アンケート調査	113
1 介護サービスについて	116
2 介護予防サービスについて	118
3 その他のサービスと事業所の運営について	120
4 介護職員のことについて	125
5 介護保険制度について	128
6 医療・介護の連携について	134
7 認知症のことについて	135
資料編	136
1 主な自由意見の要旨	136
(1) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	136
(2) 事業者アンケート調査	150
2 調査票	151
(1) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	151
(2) 在宅介護実態調査	161
(3) 事業者アンケート調査	165

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、「武蔵村山市第六次高齢者福祉計画及び第九期介護保険事業計画」の策定に向け、市民及び事業者の皆様の高齢者福祉及び介護保険事業などに対する意識やニーズを把握することを目的に実施したものです。

2 調査対象

■介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

市内在住の65歳以上の方で、要介護1～5の認定を受けていない方から2,000人を無作為抽出

■在宅介護実態調査

市内在住の65歳以上の方で、在宅で生活をしている要支援1～要介護5の認定を受けている方から1,400人を無作為抽出

■事業者アンケート調査

武蔵村山市内の介護サービス事業者

3 調査期間

■介護予防・日常生活圏域ニーズ調査、在宅介護実態調査、事業者アンケート調査

令和4年12月5日から令和4年12月26日まで

4 調査方法

郵送による配布・回収

5 回収状況

調査区分	配布数	有効回答数	有効回答率
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	2,000通	1,155通	57.8%
在宅介護実態調査	1,400通	684通	48.9%
事業者アンケート調査	50通	27通	54.0%

6 調査結果の表示方法

・回答は各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。

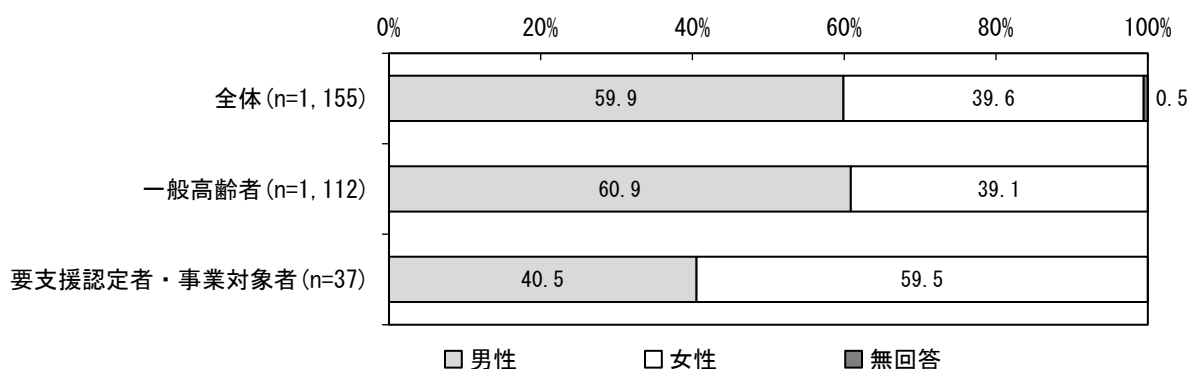
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が 100.0%を超える場合があります。
- ・選択肢が長い場合、本文や図中では省略した表現を用いることがあります。
- ・圏域別・要介護認定別など、分析するものの回答者数は、無回答者を含まないため、回答者数の合計は全体と一致しません。

Ⅱ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

1 調査対象者の基本属性

(1) 性別

調査対象者の性別について、「男性」の割合が 59.9%、「女性」の割合が 39.6%となっており、一般高齢者では、「男性」の割合が 60.9%、「女性」の割合が 39.1%、要支援認定者・介護予防日常生活支援総合事業対象者（以下、「要支援認定者・事業対象者」とする。）では、「男性」の割合が 40.5%、「女性」の割合が 59.5%となっています。

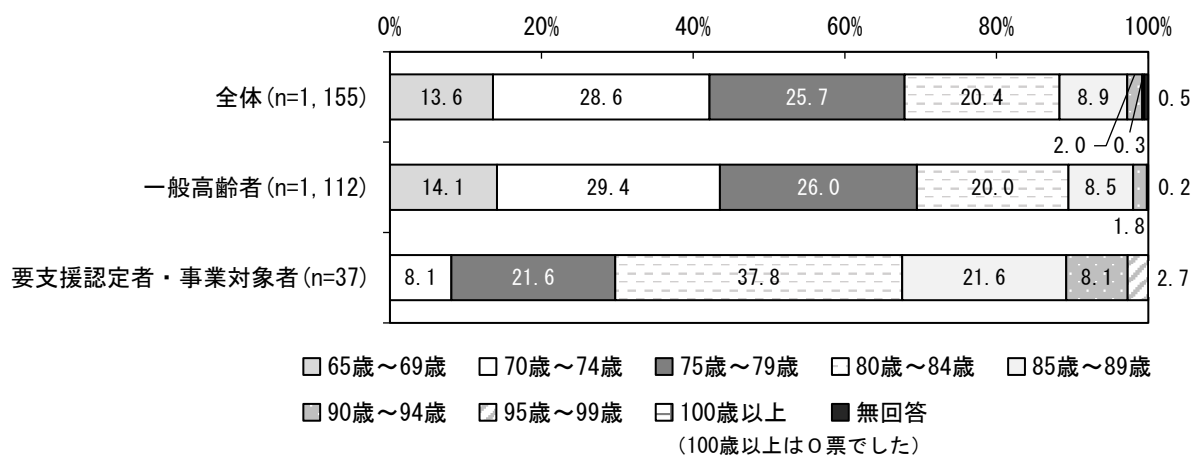


(2) 年齢区分

調査対象者の年齢について、「70～74歳」の割合が 28.6%と最も高く、次いで「75～79歳」の割合が 25.7%、「80～84歳」の割合が 20.4%となっています。

一般高齢者についても同様に、「70～74歳」の割合が 29.4%と最も高く、次いで「75～79歳」の割合が 26.0%、「80～84歳」の割合が 20.0%となっています。

要支援認定者・事業対象者では、「80～84歳」の割合が 37.8%と最も高く、次いで「75～79歳」及び「85～89歳」の割合がそれぞれ 21.6%となっています。

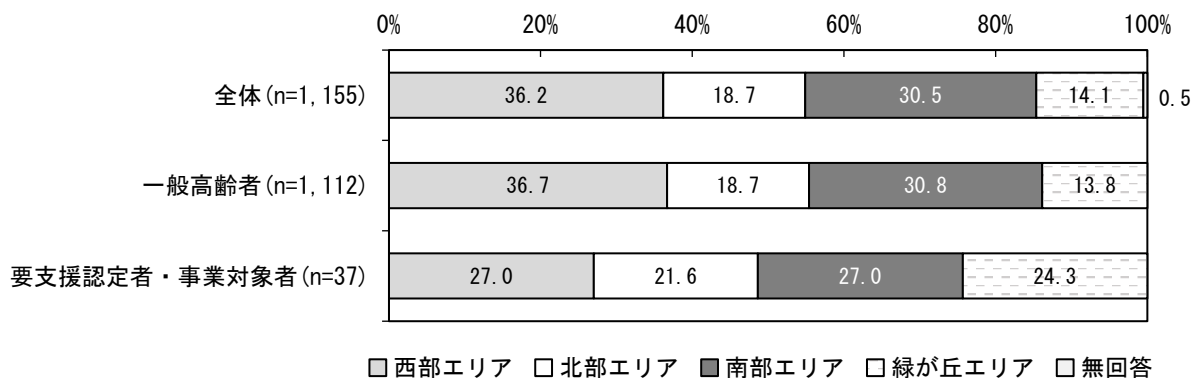


(3) 日常生活圏域

調査対象者の日常生活圏域について、全体では、「西部エリア」の割合が 36.2%と最も高く、次いで「南部エリア」の割合が 30.5%、「北部エリア」の割合が 18.7%、「緑が丘エリア」が 14.1%となっています。

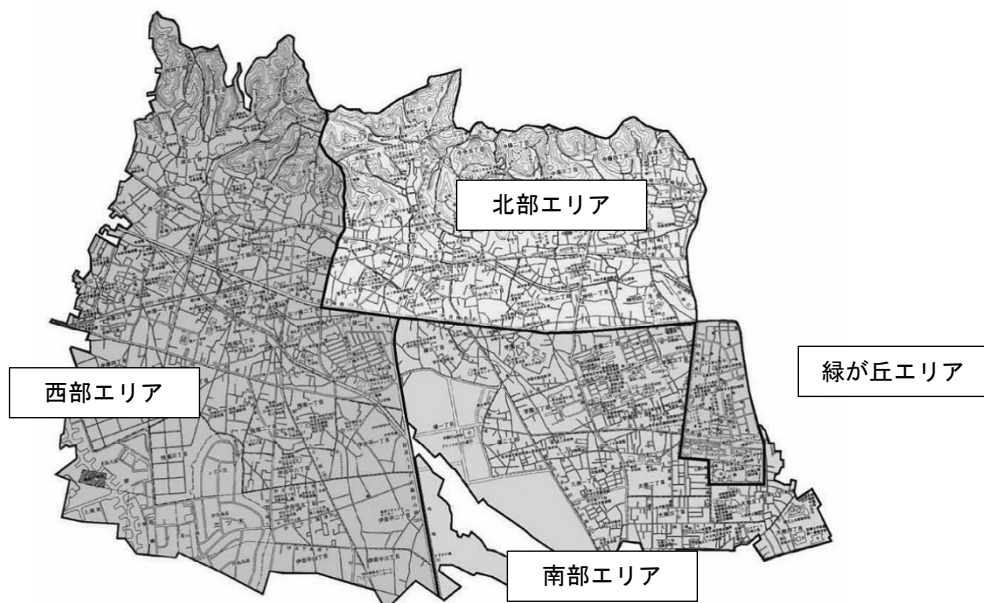
一般高齢者においても同様に、「西部エリア」の割合が 36.7%と最も高く、次いで「南部エリア」の割合が 30.8%、「北部エリア」の割合が 18.7%、「緑が丘エリア」が 13.8%となっています。

要支援認定者・事業対象者では、「西部エリア」及び「南部エリア」の割合がそれぞれ 27.0%と最も高く、次いで「緑が丘エリア」の割合が 24.3%、「北部エリア」の割合が 21.6%となっています。



【日常生活圏域】

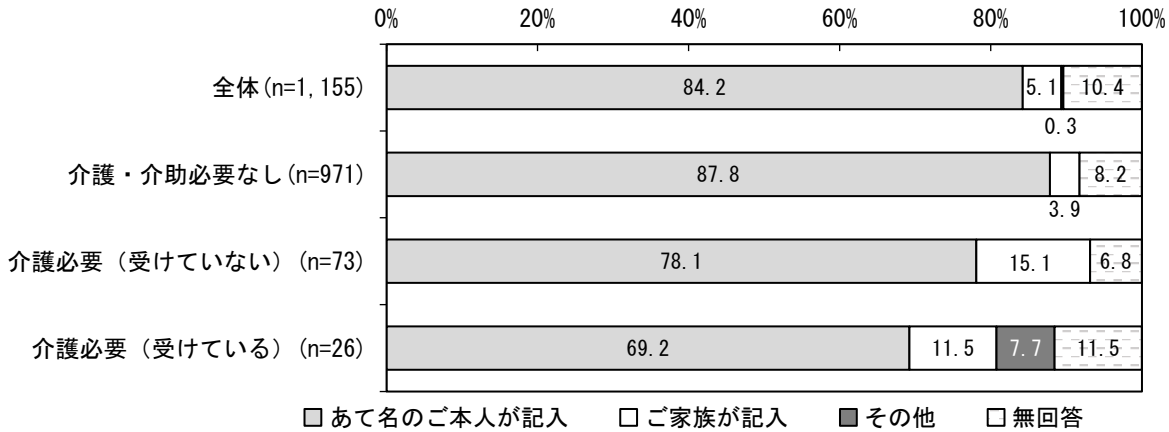
エリア名	町名
西部エリア	伊奈平、岸、残堀、中原、三ツ木、三ツ藤、大字三ツ木（横田基地内）
北部エリア	神明、中央、中藤、本町
南部エリア	榎、大南、学園
緑が丘エリア	緑が丘



■ 日常生活圏域区分図

調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。（1つを選択）

全体では、「あて名のご本人が記入」の割合が 84.2%、「ご家族が記入」の割合が 5.1%、介護・介助の必要がない方では、「あて名のご本人が記入」の割合が 87.8%、「ご家族が記入」の割合が 3.9%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「あて名のご本人が記入」の割合が 78.1%、「ご家族が記入」の割合が 15.1%、現在、何らかの介護を受けている方では、「あて名のご本人が記入」の割合が 69.2%、「ご家族が記入」の割合が 11.5%となっています。

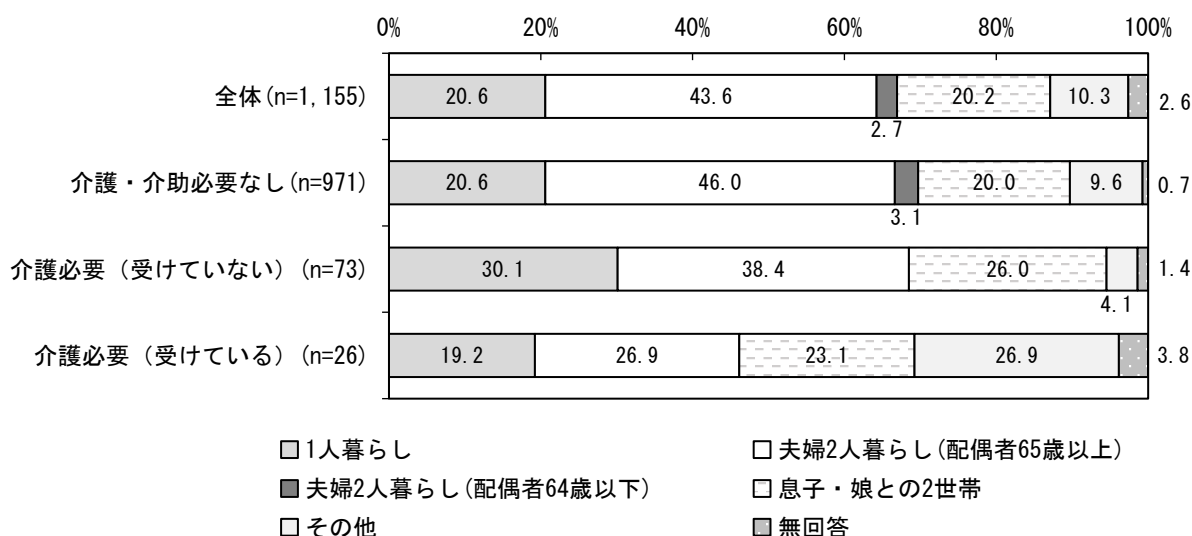


注)「介護必要（受けていない）」は、選択肢「何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない」の略（※以下、同じ）
「介護必要（受けている）」は、選択肢「現在、何らかの介護を受けている」の略（※以下、同じ）

2 ご家族や生活状況について

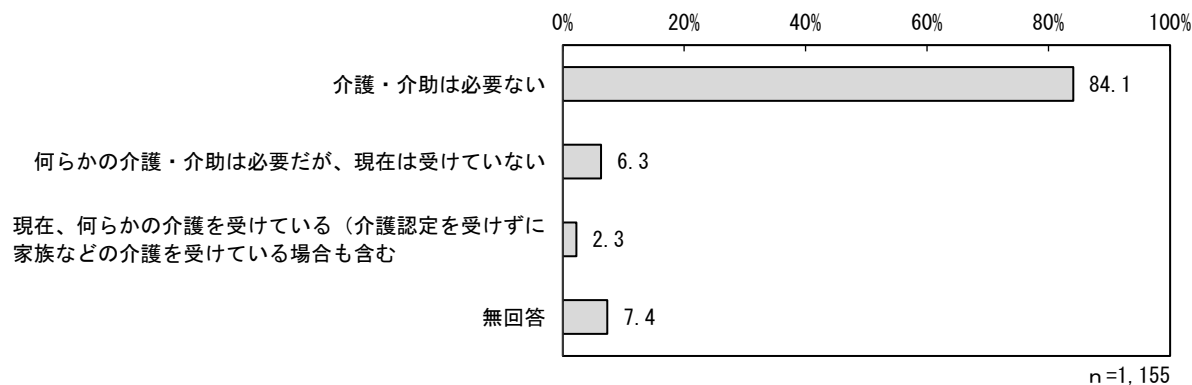
問1 家族構成をお教えてください。(1つを選択)

全体では、「1人暮らし」の割合が 20.6%、「夫婦2人暮らし(配偶者 65歳以上)」の割合が 43.6%、介護・介助の必要がない方では、「1人暮らし」の割合が 20.6%、「夫婦2人暮らし(配偶者 65歳以上)」の割合が 46.0%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「1人暮らし」の割合が 30.1%、「夫婦2人暮らし(配偶者 65歳以上)」の割合が 38.4%、現在、何らかの介護を受けている方では、「1人暮らし」の割合が 19.2%、「夫婦2人暮らし(配偶者 65歳以上)」の割合が 26.9%となっています。



問2 あなたは、普段の生活で何らかの介護・介助が必要ですか。(1つを選択)

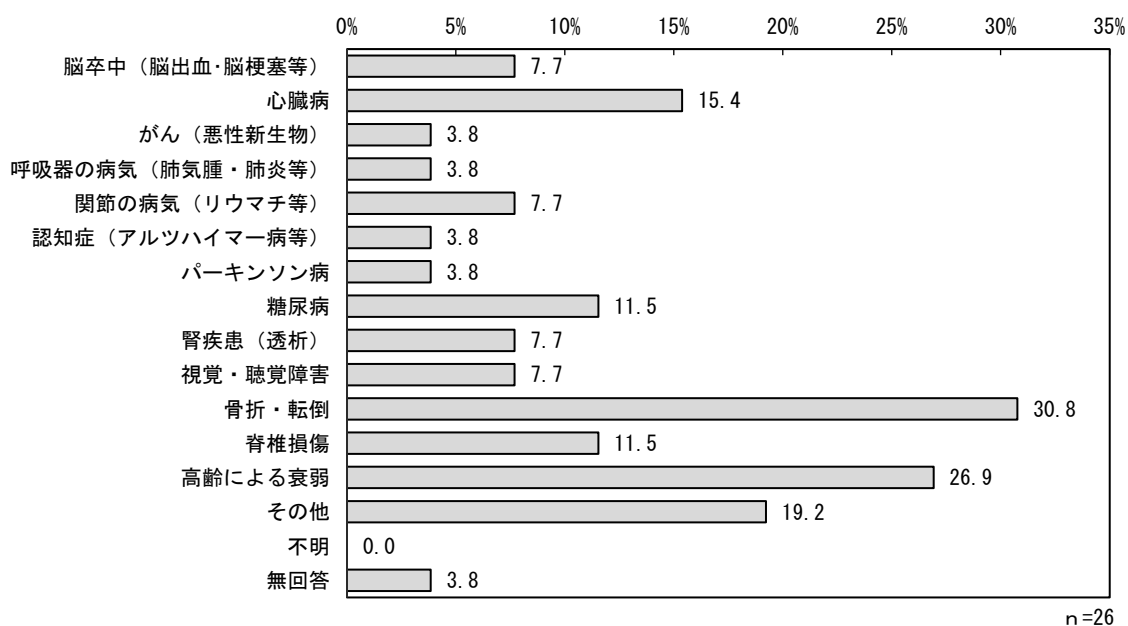
介護・介助の必要性では、「介護・介助は必要ない」の割合が 84.1%、「何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない」の割合が 6.3%、「現在、何らかの介護を受けている(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)」の割合が 2.3%となっています。



問2で「3. 現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」と回答した方にお伺いします。

問2-1 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。（複数選択可）

介護・介助が必要になった主な原因では、「骨折・転倒」の割合が30.8%と最も高く、次いで「高齢による衰弱」の割合が26.9%、「心臓病」の割合が15.4%となっています。



問3 お住まいは一戸建て又は集合住宅のどちらですか。（1つを選択）

「持家（一戸建て）」に住んでいる方の割合が高く、全体で74.6%、介護・介助の必要がない方で77.1%、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方で71.2%、現在、何らかの介護を受けている方で69.2%となっています。次いで「公営賃貸住宅」の割合が高く、全体で12.6%、介護・介助の必要がない方で12.4%、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方で17.8%、現在、何らかの介護を受けている方で7.7%となっています。

単位：%

	持家 （一戸 建て）	持家 （集合 住宅）	公営賃 貸住宅	民間賃 貸住宅 （一戸 建て）	民間賃 貸住宅 （集合 住宅）	借家	その他	無回答
全体(n=1,155)	74.6	2.7	12.6	0.6	5.2	1.6	0.8	1.9
介護・介助必要なし(n=971)	77.1	2.6	12.4	0.5	4.8	1.8	0.4	0.4
介護必要（受けていない）(n=73)	71.2	1.4	17.8	0.0	6.8	1.4	1.4	0.0
介護必要（受けている）(n=26)	69.2	3.8	7.7	0.0	11.5	0.0	7.7	0.0

問4 あなたやあなたの家族が介護を必要とする状態となった場合に、どのような生活を希望しますか。(1つを選択)

全体では、「現在の住まいで、介護保険等の公的サービスを利用せずに、家族の介護を中心に受けながら生活したい」の割合が8.3%、「現在の住まいで、介護保険等の公的サービスの利用を中心に生活したい」の割合が62.2%、「特別養護老人ホームや有料老人ホーム等の施設に入所して生活したい」が12.8%、介護・介助の必要がない方では、「現在の住まいで、介護保険等の公的サービスを利用せずに、家族の介護を中心に受けながら生活したい」の割合が8.2%、「現在の住まいで、介護保険等の公的サービスの利用を中心に生活したい」の割合が64.5%、「特別養護老人ホームや有料老人ホーム等の施設に入所して生活したい」が12.5%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「現在の住まいで、介護保険等の公的サービスを利用せずに、家族の介護を中心に受けながら生活したい」の割合が5.5%、「現在の住まいで、介護保険等の公的サービスの利用を中心に生活したい」の割合が63.0%、「特別養護老人ホームや有料老人ホーム等の施設に入所して生活したい」が17.8%、現在、何らかの介護を受けている方では、「現在の住まいで、介護保険等の公的サービスを利用せずに、家族の介護を中心に受けながら生活したい」の割合が11.5%、「現在の住まいで、介護保険等の公的サービスの利用を中心に生活したい」の割合が42.3%、「特別養護老人ホームや有料老人ホーム等の施設に入所して生活したい」が19.2%、となっています。

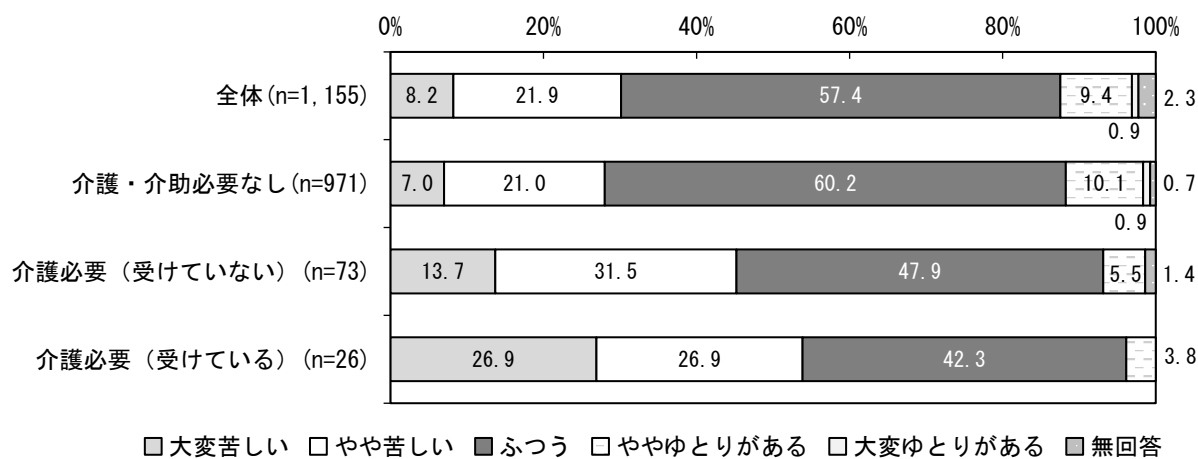
介護・介助の必要がない方よりも介護・介助を必要としている方のほうが、「特別養護老人ホームや有料老人ホーム等の施設に入所して生活したい」の割合が増加傾向にあります。



- 現在の住まいで、介護保険等の公的サービスを利用せずに、家族の介護を中心に受けながら生活したい
- 現在の住まいで、介護保険等の公的サービスの利用を中心に生活したい
- 特別養護老人ホームや有料老人ホーム等の施設に入所して生活したい
- その他
- わからない
- 無回答

問5 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(1つを選択)

全体では、「大変苦しい」の割合が8.2%、「やや苦しい」の割合が21.9%、「ふつう」の割合が57.4%、「ややゆとりがある」の割合が9.4%、「大変ゆとりがある」の割合が0.9%となっており、介護・介助の必要がない方では、「大変苦しい」の割合が7.0%、「やや苦しい」の割合が21.0%、「ふつう」の割合が60.2%、「ややゆとりがある」の割合が10.1%、「大変ゆとりがある」の割合が0.9%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「大変苦しい」の割合が13.7%、「やや苦しい」の割合が31.5%、「ふつう」の割合が47.9%、「ややゆとりがある」の割合が5.5%、現在、何らかの介護を受けている方では、「大変苦しい」及び「やや苦しい」の割合がそれぞれ26.9%、「ふつう」の割合が42.3%となっています。

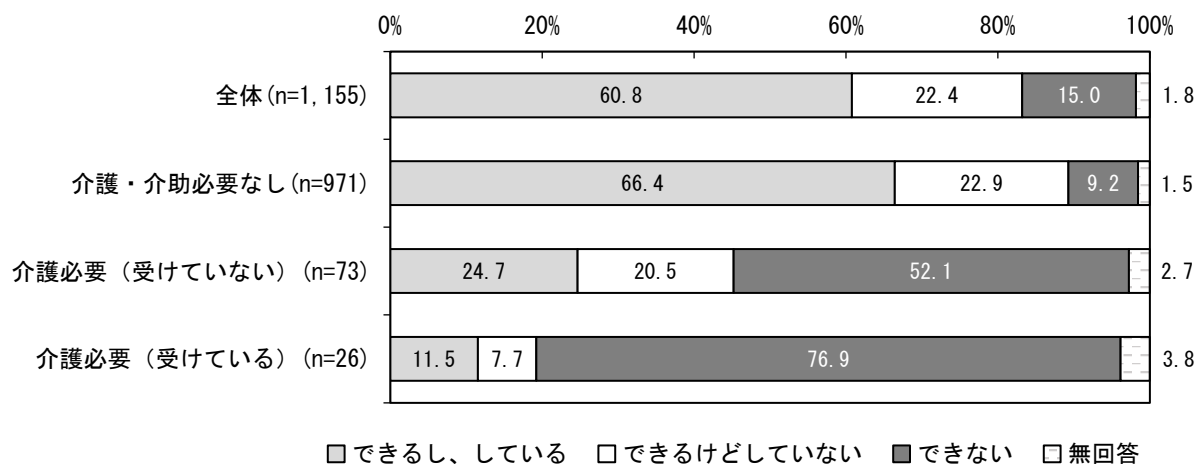


3 からだを動かすことについて

問6 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(1つを選択)

全体では、「できるし、している」の割合が60.8%、「できるけどしていない」の割合が22.4%、「できない」の割合が15.0%となっています。

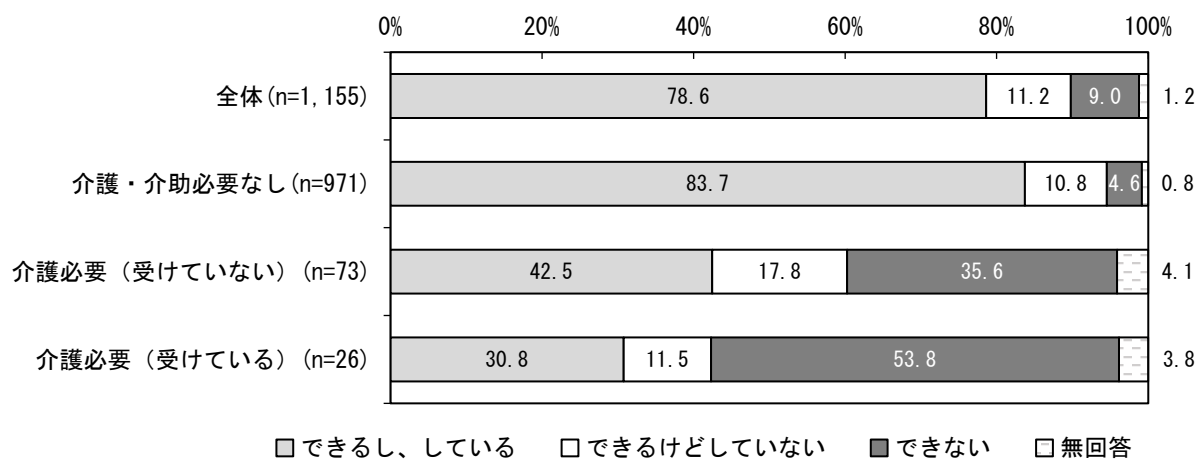
全体では約8割の方が『できる』（「できるし、している」と「できるけどしていない」とを合わせた割合）と回答していますが、介護・介助を必要としている方では、『できる』と回答した方は、いずれも5割未満となっています。



問7 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(1つを選択)

全体では、「できるし、している」の割合が78.6%、「できるけどしていない」の割合が11.2%、「できない」の割合が9.0%となっています。

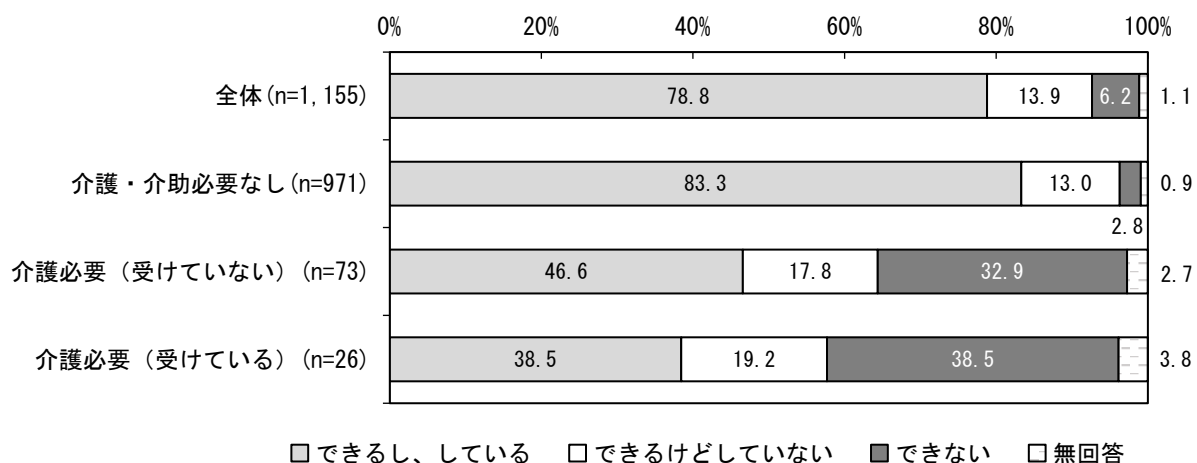
全体では約9割の方が『できる』（「できるし、している」と「できるけどしていない」とを合わせた割合）と回答していますが、介護・介助を必要としている方では、『できる』と回答した方は、いずれも7割未満となっています。



問8 15分位続けて歩いていますか。(1つを選択)

全体では、「できるし、している」の割合が78.8%、「できるけどしていない」の割合が13.9%、「できない」の割合が6.2%となっています。

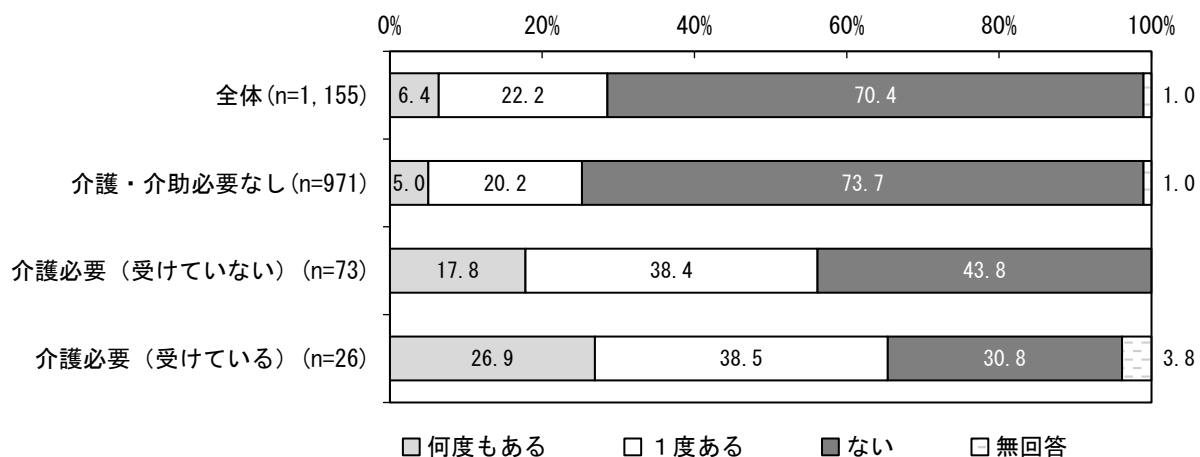
全体では約9割の方が『できる』（「できるし、している」と「できるけどしていない」とを合わせた割合）と回答していますが、介護・介助を必要としている方では、『できる』と回答した方は、いずれも7割未満となっています。



問9 過去1年間に転んだ経験がありますか。(1つを選択)

全体では、「何度もある」の割合が6.4%、「1度ある」の割合が22.2%、「ない」の割合が70.4%となっています。

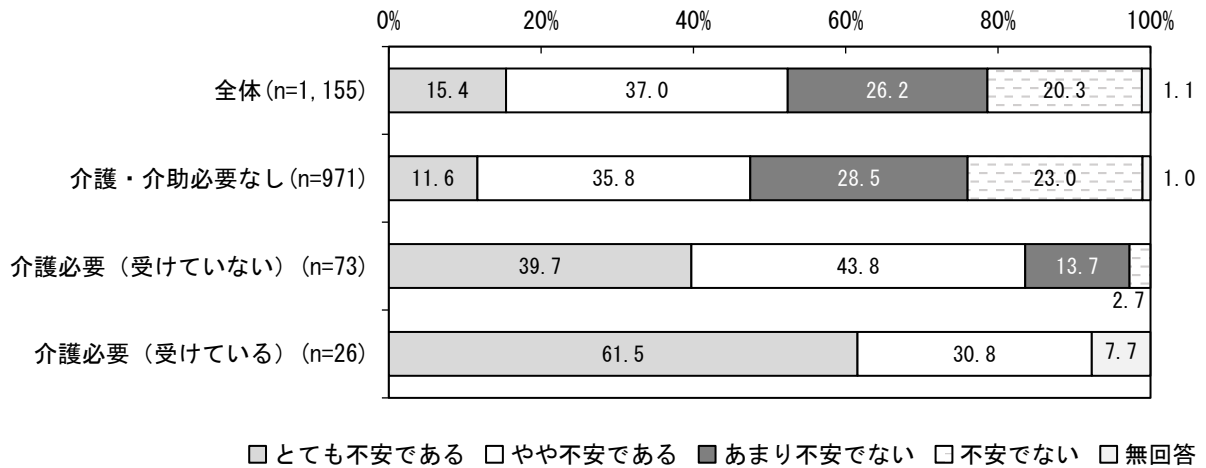
全体では約3割の方が『ある』（「何度もある」と「1度ある」とを合わせた割合）と回答していますが、介護・介助を必要としている方では、『ある』と回答した方は、いずれも5割以上となっています。



問 10 転倒に対する不安は大きいですか。(1つを選択)

全体では、「とても不安である」の割合が 15.4%、「やや不安である」の割合が 37.0%、「あまり不安でない」の割合が 26.2%、「不安でない」の割合が 20.3%となっています。

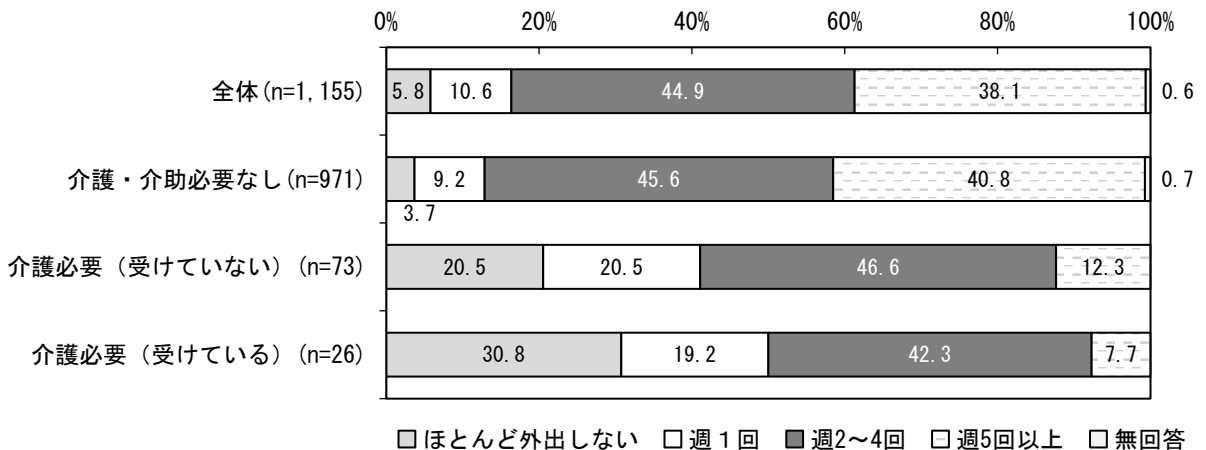
全体では約5割の方が『不安である』（「とても不安である」と「やや不安である」とを合わせた割合）と回答していますが、介護・介助を必要としている方では、『不安である』と回答した方は、いずれも8割以上となっています。



問 11 週に1回以上は外出していますか。(1つを選択)

全体では、「ほとんど外出しない」の割合が 5.8%、「週1回」の割合が 10.6%、「週2～4回」の割合が 44.9%、「週5回以上」の割合が 38.1%となっています。

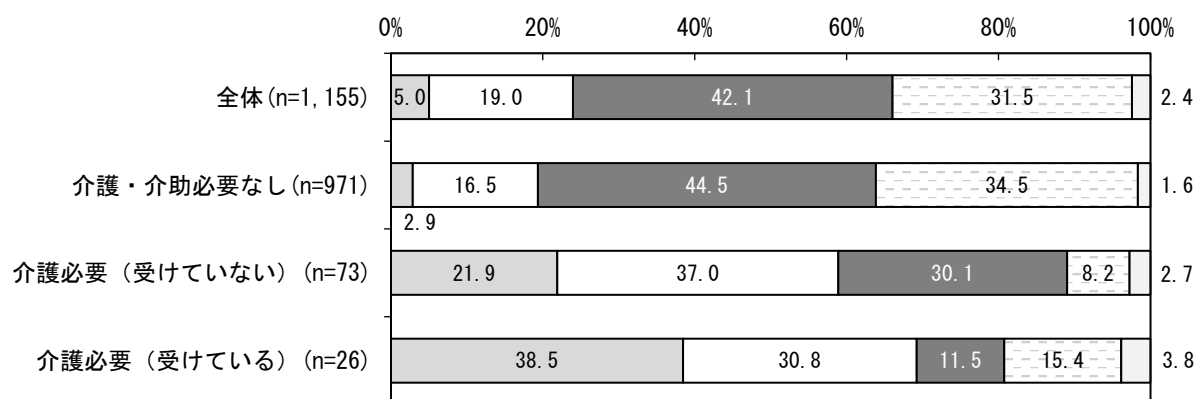
全体では約9割の方が『外出する』（「週1回」と「週2～4回」と「週5回以上」とを合わせた割合）と回答していますが、介護・介助を必要としている方では、『外出する』と回答した方は、いずれも8割未満となっています。



問 12 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(1つを選択)

全体では、「とても減っている」の割合が5.0%、「減っている」の割合が19.0%、「あまり減っていない」の割合が42.1%、「減っていない」の割合が31.5%となっています。

全体では約2割の方が『減っている』（「とても減っている」と「減っている」とを合わせた割合）と回答していますが、介護・介助を必要としている方では、『減っている』と回答した方は、いずれも5割以上となっています。

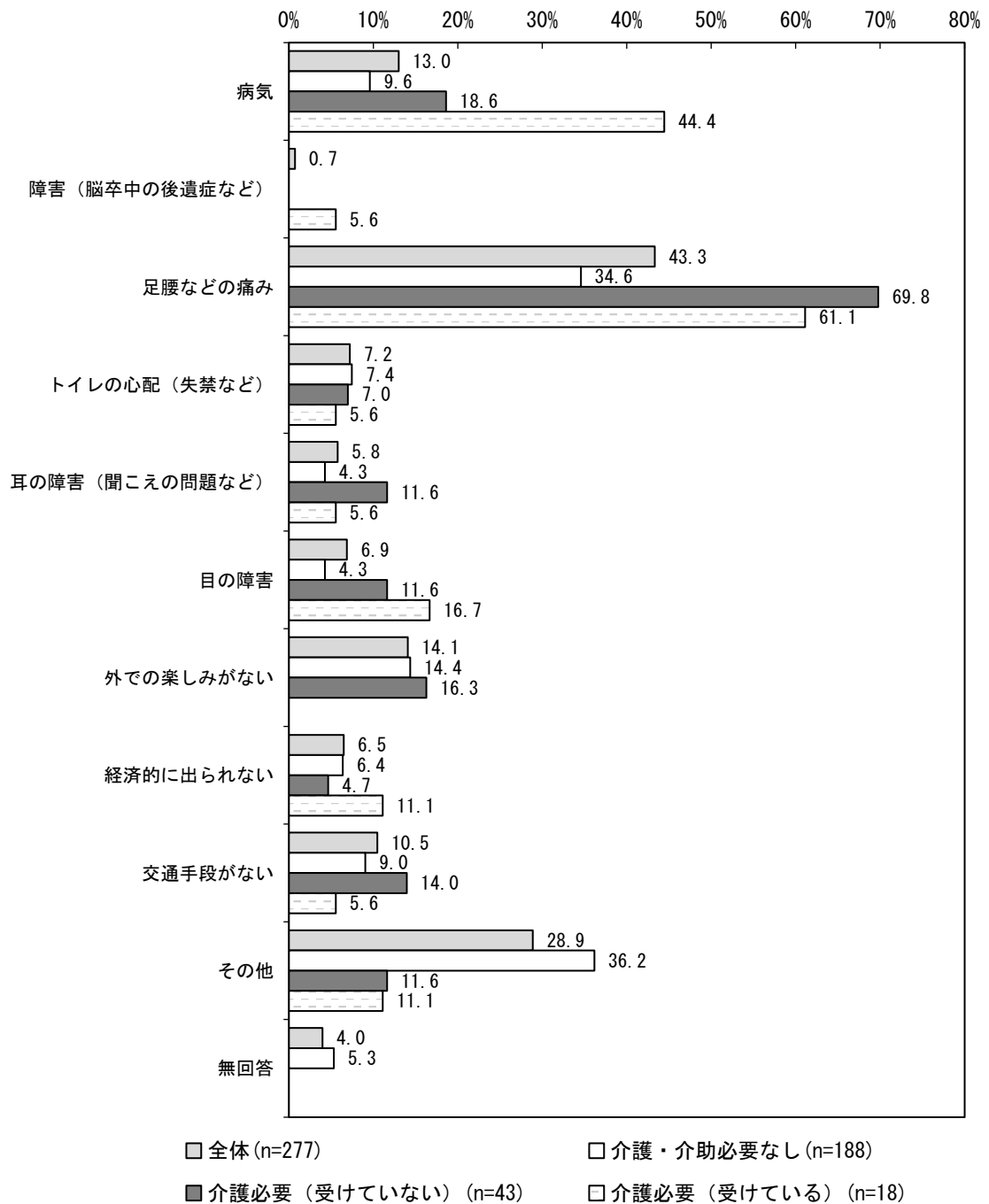


□とても減っている □減っている ■あまり減っていない □減っていない □無回答

問 12 で「1. とても減っている」「2. 減っている」と回答した方にお伺いします。

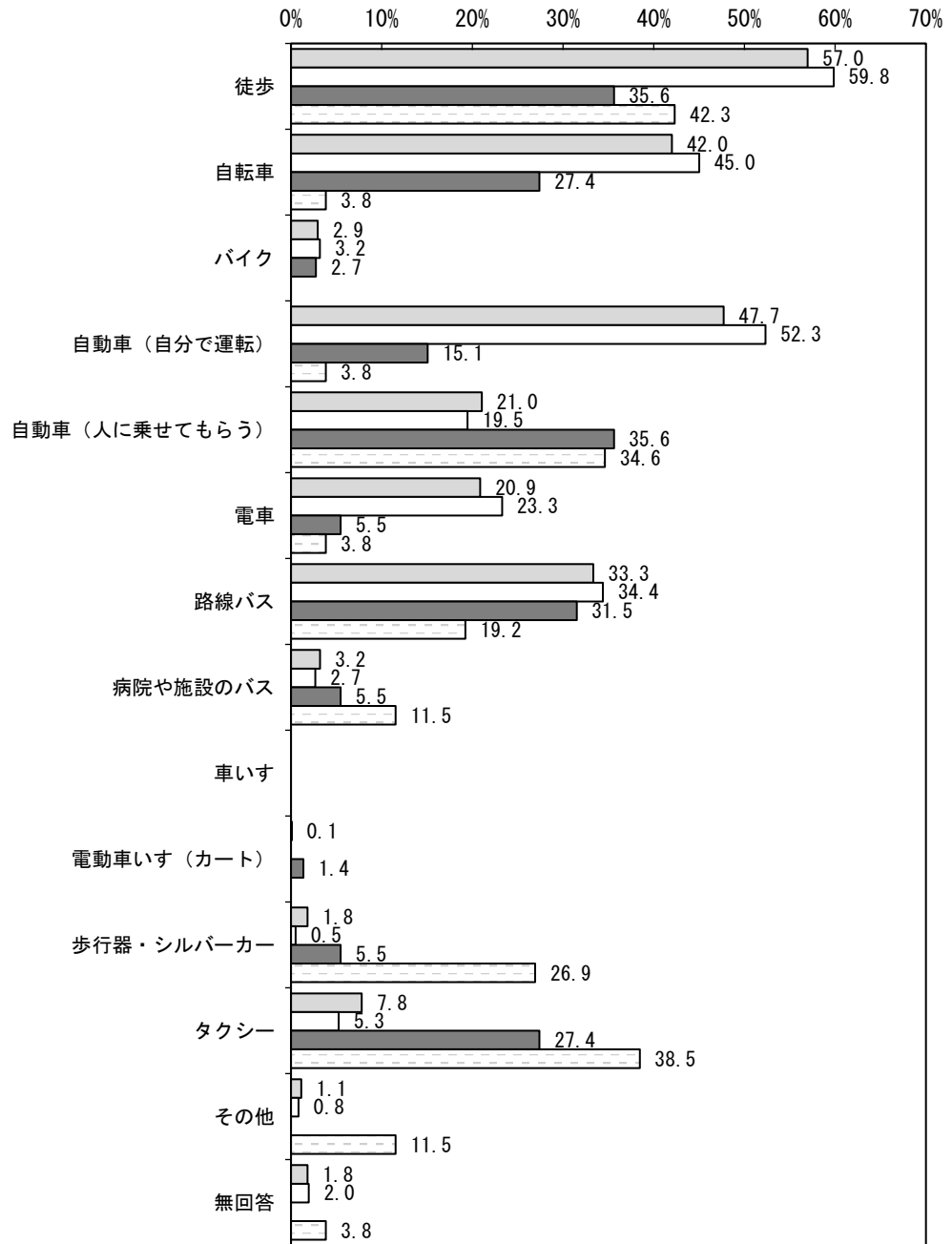
問 12-1 外出を控えている理由は、次のどれですか。(複数選択可)

外出を控えている理由では、全ての分類において「足腰などの痛み」の割合が最も高く、全体では 43.3%、介護・介助の必要がない方では 34.6%、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では 69.8%、現在、何らかの介護を受けている方では 61.1%となっています。



問 13 外出する際の移動手段は何ですか。(複数選択可)

外出する際の移動手段では、全ての分類において「徒歩」の割合が最も高く、次いで、全体及び介護・介助の必要がない方では、「自動車（自分で運転）」及び「自転車」の割合が高くなっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「徒歩」と同率で「自動車（人に乗せてもらう）」、次いで「路線バス」の割合が高くなっています。現在、何らかの介護を受けている方では、「徒歩」及び「タクシー」の割合が高くなっています。



□ 全体 (n=1,155)

□ 介護・介助必要なし (n=971)

■ 介護必要 (受けていない) (n=73)

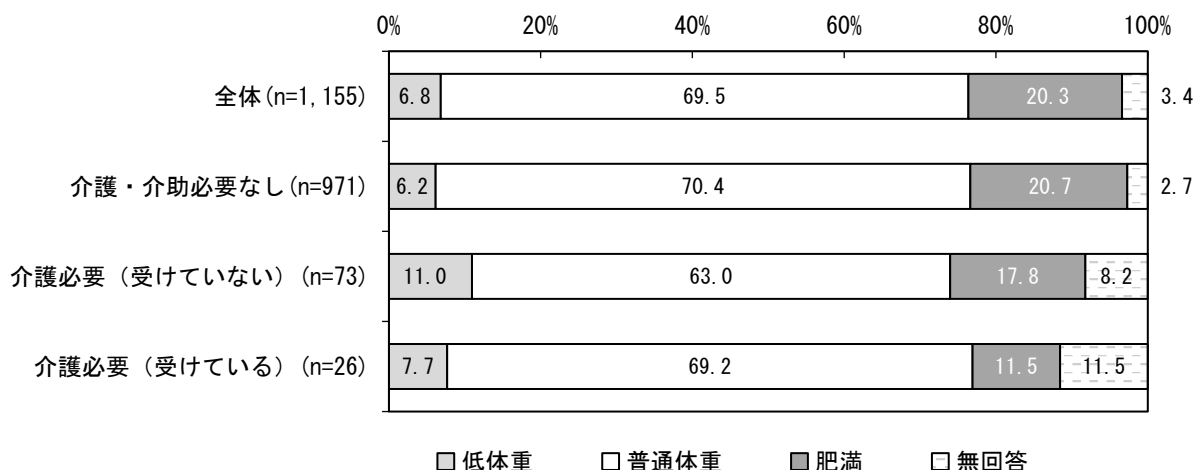
□ 介護必要 (受けている) (n=26)

4 食べることについて

問 14 身長・体重をご記入ください。

身長と体重から BMI を算出し、18.5 未満を「低体重」、18.5 以上 25 未満を「普通体重」、25 以上を「肥満」と分類しています。

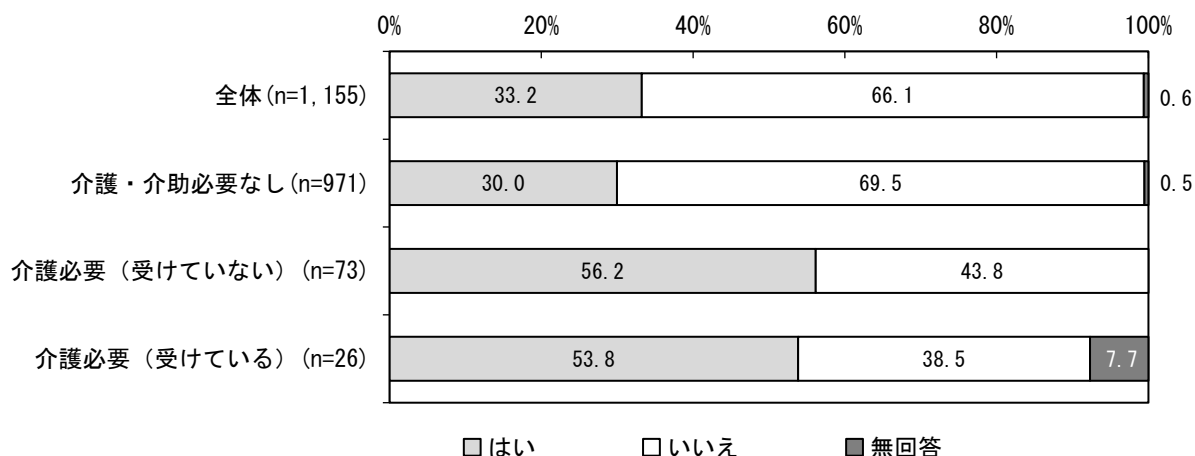
全体では、「低体重」の割合が 6.8%、「普通体重」の割合が 69.5%、「肥満」の割合が 20.3%となっています。



問 15 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(1つを選択)

全体では、「はい」の割合が 33.2%、「いいえ」の割合が 66.1%となっています。

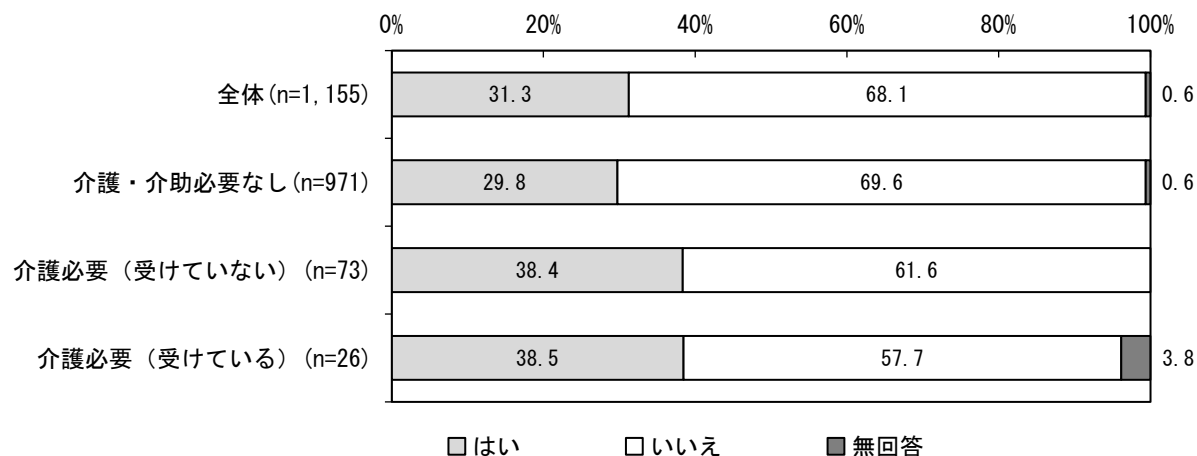
全体では約 3 割の方が「はい」と回答していますが、介護・介助を必要としている方では、「はい」と回答した方は、いずれも 5 割以上となっています。



問 16 お茶や汁物等でむせることがありますか。(1つを選択)

全体では、「はい」の割合が31.3%、「いいえ」の割合が68.1%となっています。

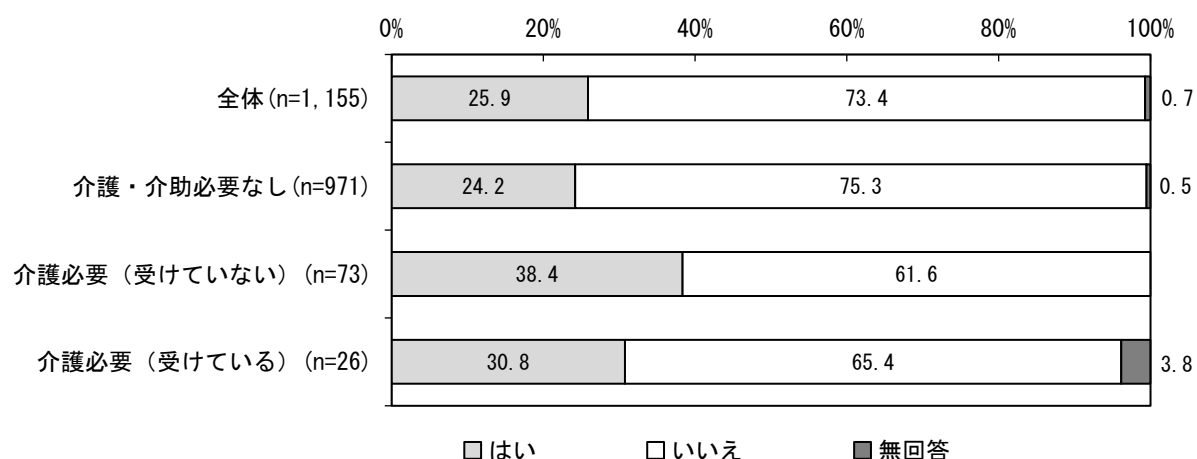
介護・介助を必要としている方が「はい」と回答した割合は、全体よりもやや高くなっています。



問 17 口の渇きが気になりますか。(1つを選択)

全体では、「はい」の割合が25.9%、「いいえ」の割合が73.4%となっています。

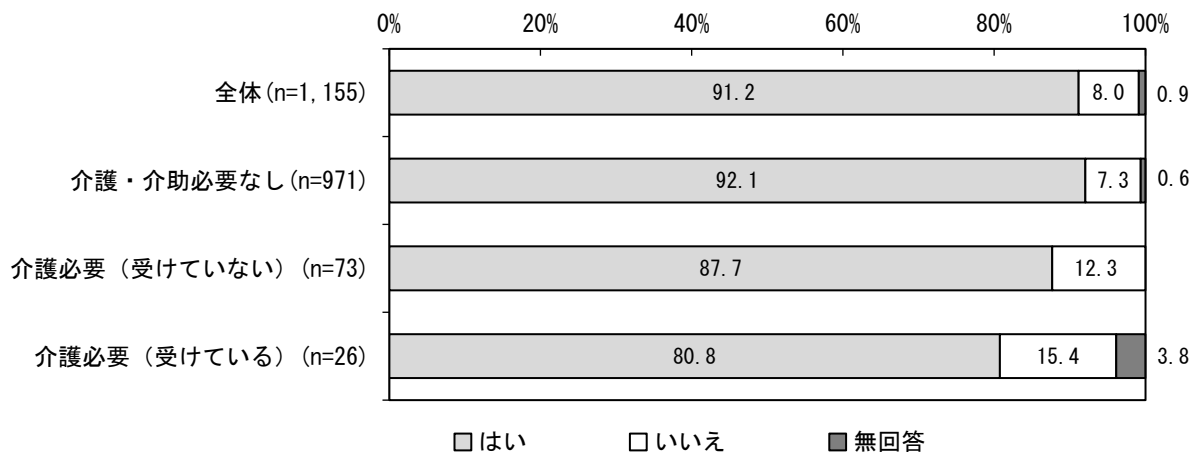
全体では約2割の方が「はい」と回答していますが、介護・介助を必要としている方では、「はい」と回答した方は、いずれも3割以上となっています。



問 18 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか。（1つを選択）

全体では、「はい」の割合が91.2%、「いいえ」の割合が8.0%となっています。

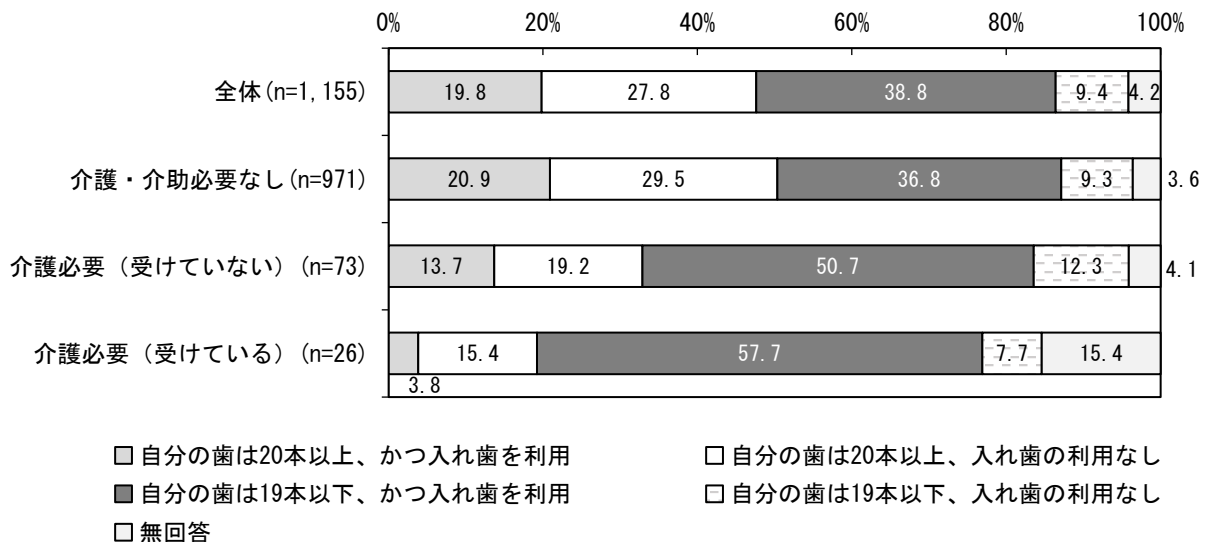
全体では約9割の方が「はい」と回答していますが、介護・介助を必要としている方では、「はい」と回答した方は、いずれも9割未満となっています。



問 19 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。（成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です。）（1つを選択）

全体では、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」の割合が19.8%、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」の割合が27.8%、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の割合が38.8%、「自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし」の割合が9.4%となっています。

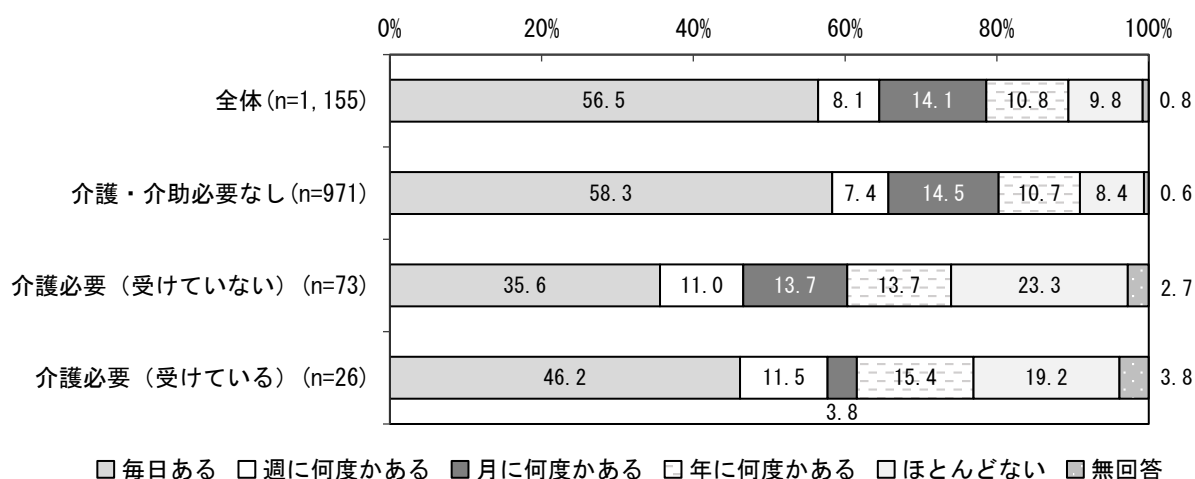
全体では約6割の方が『入れ歯を利用している』（「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」と「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」とを合わせた割合）と回答していますが、介護・介助を必要としている方では、『入れ歯を利用している』と回答した方は、いずれも6割以上となっています。



問 20 どなたかと食事をとる機会がありますか。(1つを選択)

全体では、「毎日ある」の割合が 56.5%、「週に何度かある」の割合が 8.1%、「月に何度かある」の割合が 14.1%、「年に何度かある」の割合が 10.8%、「ほとんどない」の割合が 9.8%となっています。

全体では約 9 割の方が『ある』（「毎日ある」と「週に何度かある」と「月に何度かある」と「年に何度かある」とを合わせた割合）と回答していますが、介護・介助を必要としている方では、『ある』と回答した方は、いずれも 8 割未満となっています。

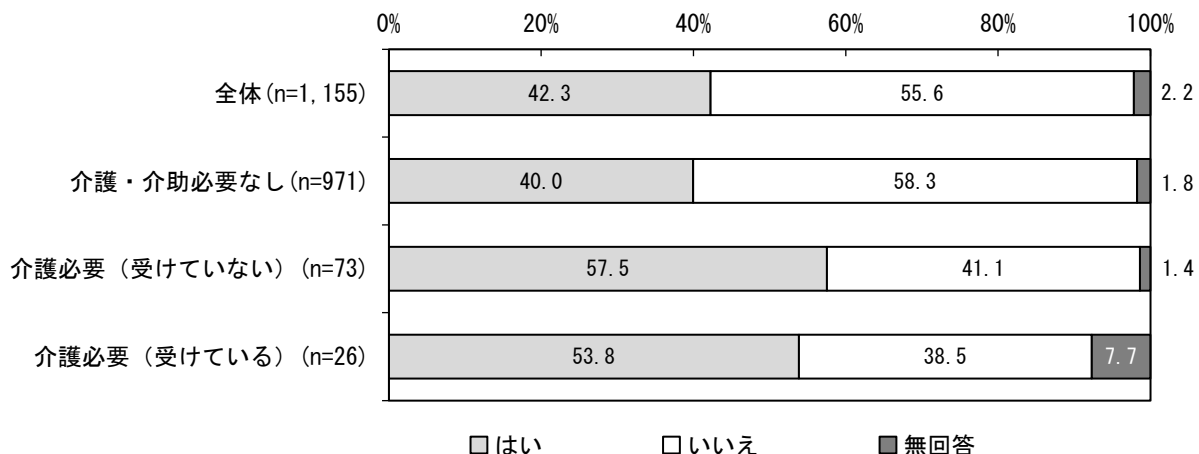


5 毎日の生活について

問 21 物忘れが多いと感じますか。(1つを選択)

全体では、「はい」の割合が42.3%、「いいえ」の割合が55.6%となっています。

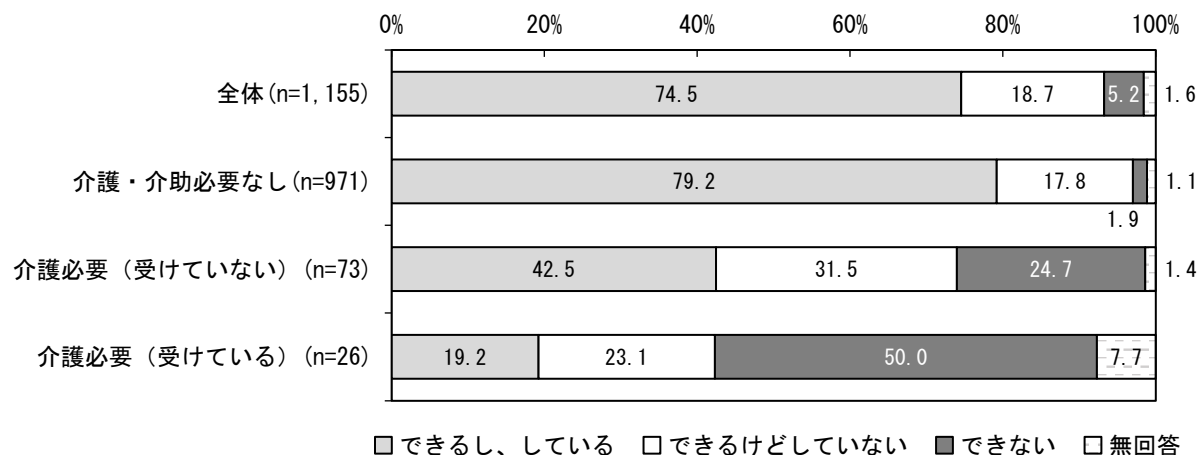
全体では約4割の方が「はい」と回答していますが、介護・介助を必要としている方では、「はい」と回答した方は、いずれも5割以上となっています。



問 22 バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可) (1つを選択)

全体では、「できるし、している」の割合が74.5%、「できるけどしていない」の割合が18.7%、「できない」の割合が5.2%となっています。

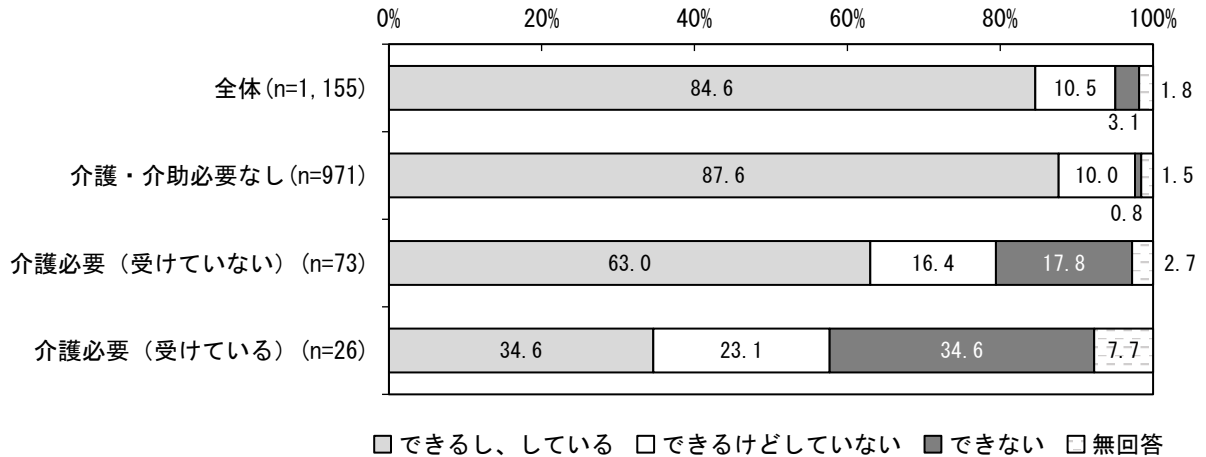
全体では約9割の方が『できる』(「できるし、している」と「できるけどしていない」とを合わせた割合)と回答していますが、介護・介助を必要としている方では、『できる』と回答した方は、いずれも7割以下となっています。



問 23 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(1つを選択)

全体では、「できるし、している」の割合が84.6%、「できるけどしていない」の割合が10.5%、「できない」の割合が3.1%となっています。

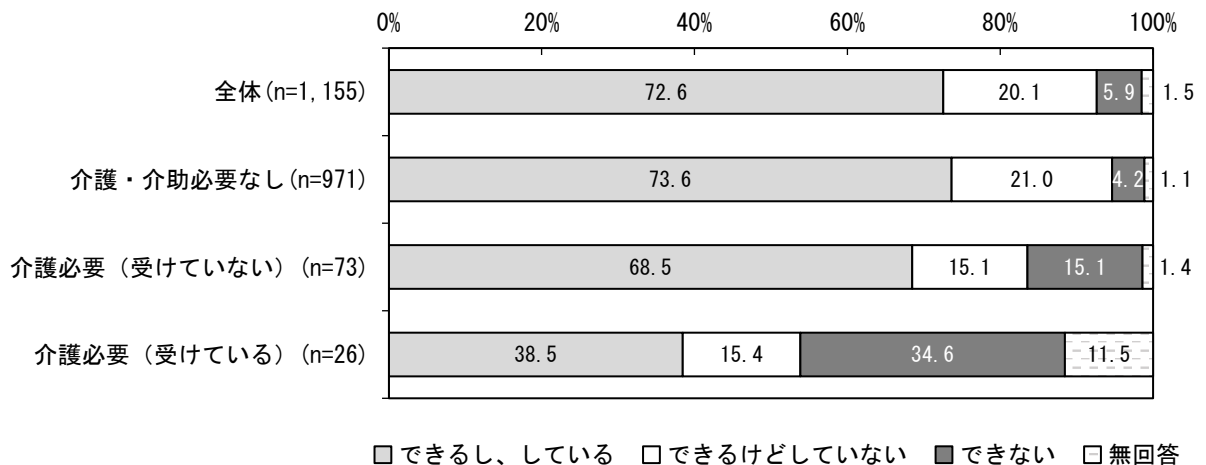
全体では約10割の方が『できる』（「できるし、している」と「できるけどしていない」とを合わせた割合）と回答していますが、介護・介助を必要としている方では、『できる』と回答した方は、いずれも8割未満となっています。



問 24 自分で食事の用意をしていますか。(1つを選択)

全体では、「できるし、している」の割合が72.6%、「できるけどしていない」の割合が20.1%、「できない」の割合が5.9%となっています。

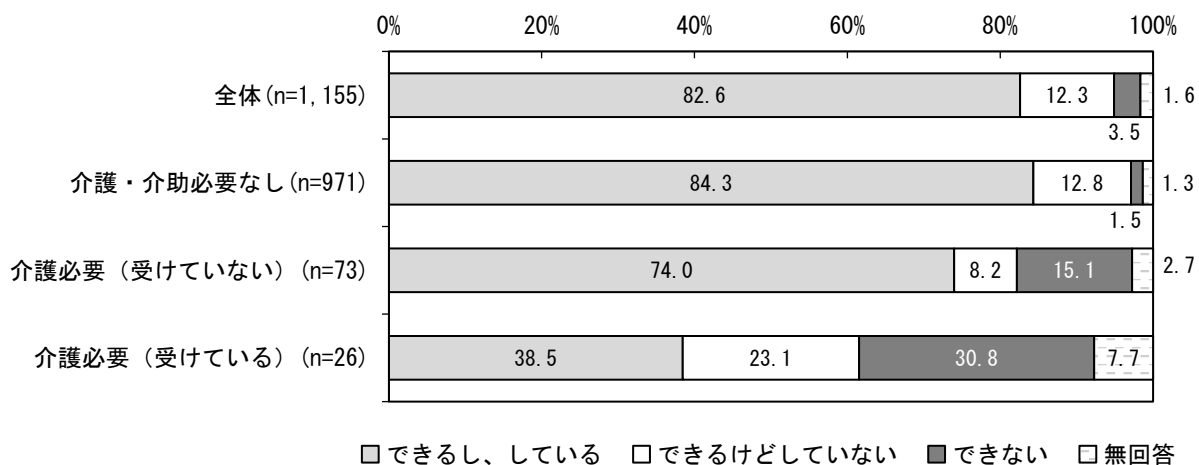
全体では約9割の方が『できる』（「できるし、している」と「できるけどしていない」とを合わせた割合）と回答していますが、介護・介助を必要としている方では、『できる』と回答した方は、いずれも9割未満となっています。



問 25 自分で請求書の支払いをしていますか。(1つを選択)

全体では、「できるし、している」の割合が 82.6%、「できるけどしていない」の割合が 12.3%、「できない」の割合が 3.5%となっています。

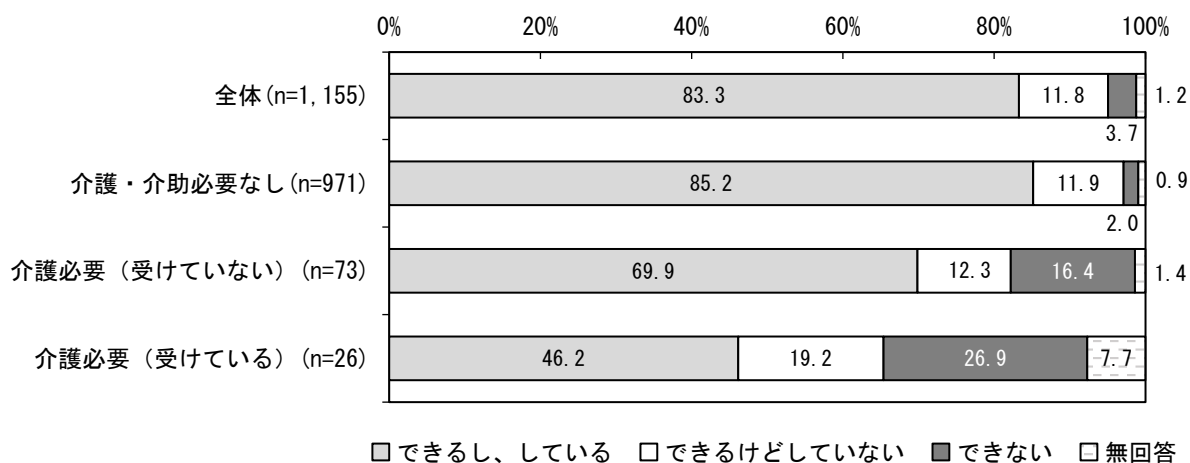
全体では約 9 割の方が『できる』（「できるし、している」と「できるけどしていない」とを合わせた割合）と回答していますが、介護・介助を必要としている方では、『できる』と回答した方は、いずれも 9 割未満となっています。



問 26 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(1つを選択)

全体では、「できるし、している」の割合が 83.3%、「できるけどしていない」の割合が 11.8%、「できない」の割合が 3.7%となっています。

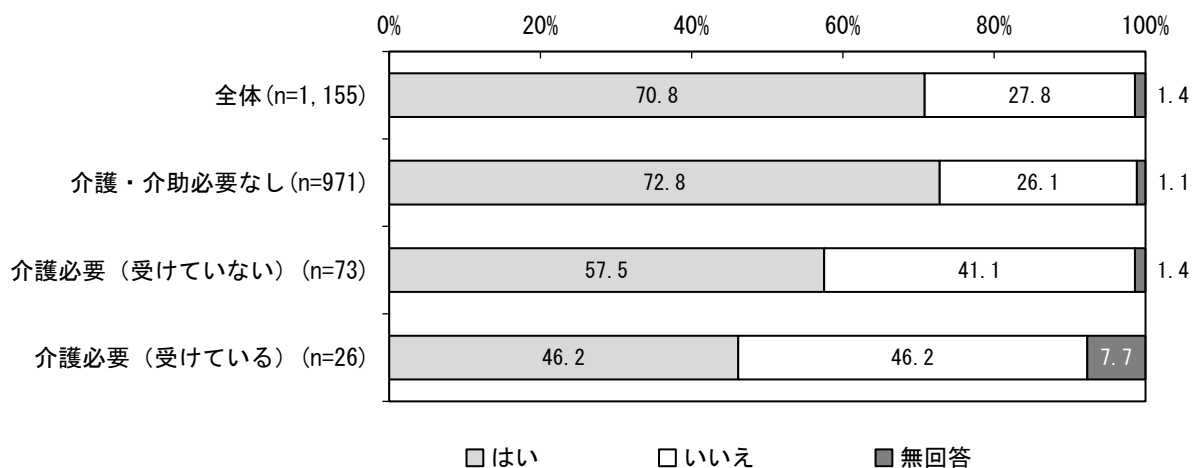
全体では約 10 割の方が『できる』（「できるし、している」と「できるけどしていない」とを合わせた割合）と回答していますが、介護・介助を必要としている方では、『できる』と回答した方は、いずれも 9 割未満となっています。



問 27 新聞を読んでいますか。(1つを選択)

全体では、「はい」の割合が70.8%、「いいえ」の割合が27.8%となっています。

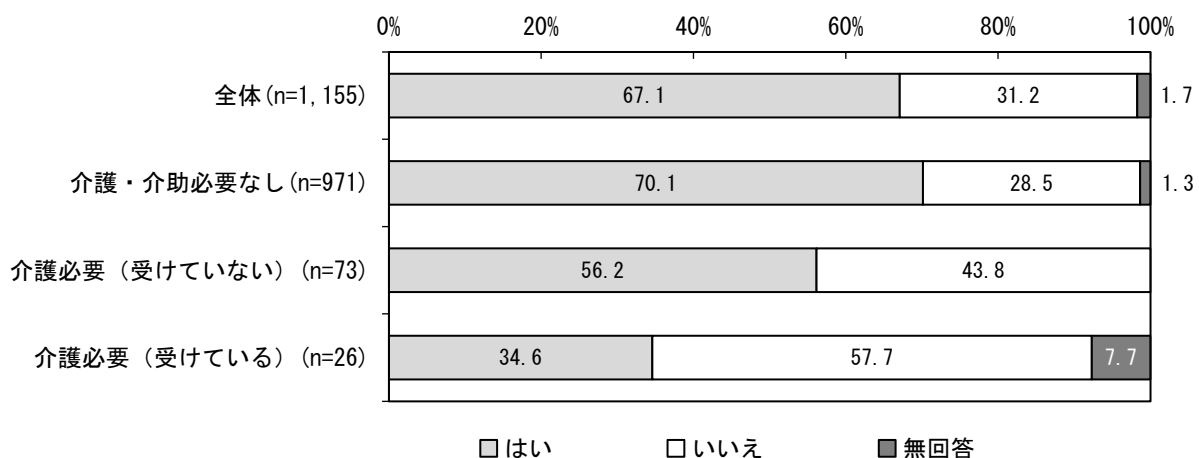
全体では約7割の方が「はい」と回答していますが、介護・介助を必要としている方では、「はい」と回答した方は、いずれも6割未満となっています。



問 28 本や雑誌を読んでいますか。(1つを選択)

全体では、「はい」の割合が67.1%、「いいえ」の割合が31.2%となっています。

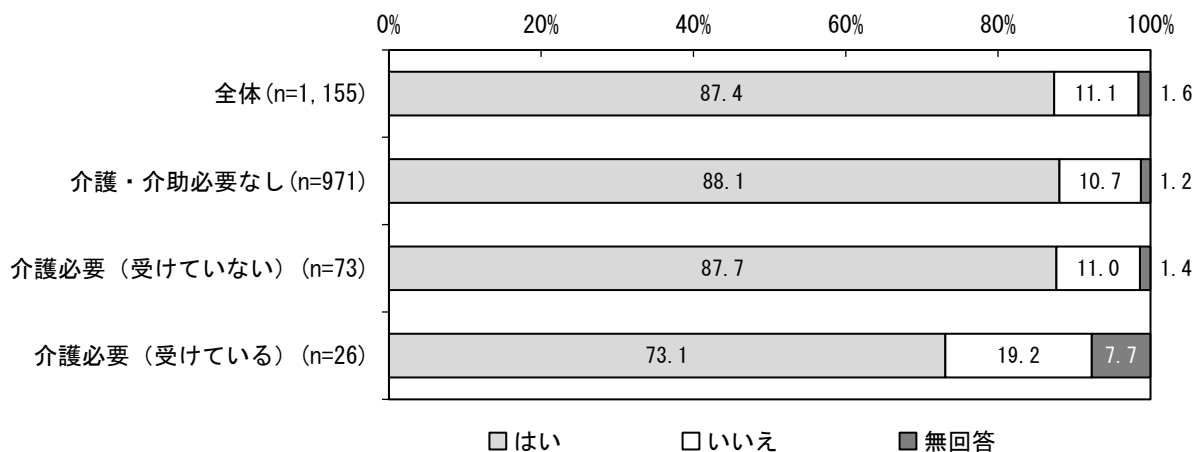
全体では約7割の方が「はい」と回答していますが、介護・介助を必要としている方では、「はい」と回答した方は、いずれも6割未満となっています。



問 29 健康についての記事や番組に関心がありますか。(1つを選択)

全体では、「はい」の割合が87.4%、「いいえ」の割合が11.1%となっています。

介護・介助を必要としている方が「いいえ」と回答した割合は、全体よりもやや高くなっています。

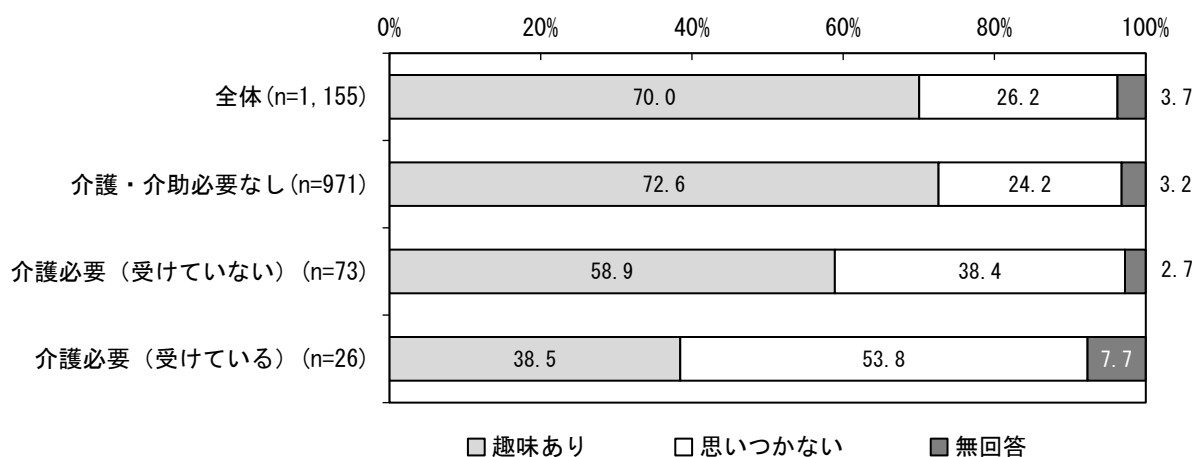


問 30 趣味はありますか。ある場合は（ ）内にご記入ください。
（1つを選択）

全体では、「趣味あり」の割合が70.0%、「思いつかない」の割合が26.2%、介護・介助の必要がない方では、「趣味あり」の割合が72.6%、「思いつかない」の割合が24.2%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「趣味あり」の割合が58.9%、「思いつかない」の割合が38.4%、現在、何らかの介護を受けている方では、「趣味あり」の割合が38.5%、「思いつかない」の割合が53.8%となっています。

介護・介助の必要がない方よりも介護・介助を必要としている方のほうが、「趣味あり」の割合が減少傾向にあります。

「趣味あり」では、「裁縫・手芸」の割合が13.5%と最も高く、次いで「ガーデニング・盆栽」の割合が11.6%、「スポーツ」の割合が11.2%となっています。



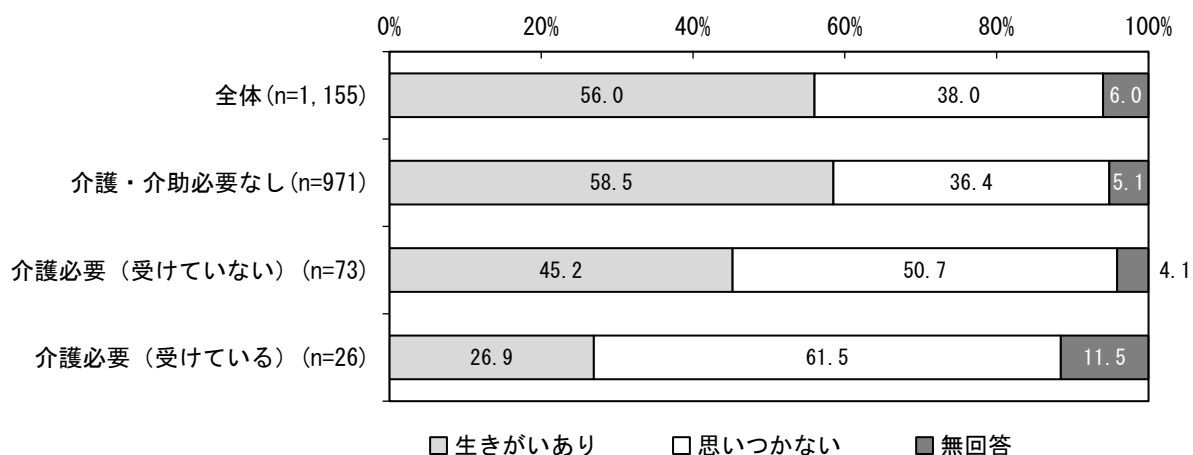
順位	カテゴリ	%	順位	カテゴリ	%
1	裁縫・手芸	13.5	6	ゴルフ	9.3
2	ガーデニング・盆栽	11.6	7	散歩	6.8
3	スポーツ	11.2	8	家庭菜園	5.6
4	読書	10.3	9	カラオケ	4.8
5	音楽	10.3	10	旅行	4.3

問 31 生きがいがありますか。ある場合は（ ）内にご記入ください。
（1つを選択）

全体では、「生きがいあり」の割合が 56.0%、「思いつかない」の割合が 38.0%、介護・介助の必要がない方では、「生きがいあり」の割合が 58.5%、「思いつかない」の割合が 36.4%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「生きがいあり」の割合が 45.2%、「思いつかない」の割合が 50.7%、現在、何らかの介護を受けている方では、「生きがいあり」の割合が 26.9%、「思いつかない」の割合が 61.5%となっています。

介護・介助の必要がない方よりも介護・介助を必要としている方のほうが、「生きがいあり」の割合が減少傾向にあります。

「生きがいあり」では、「孫」の割合が 22.3%と最も高く、次いで「家族」の割合が 10.0%、「仕事」の割合が 9.4%となっています。

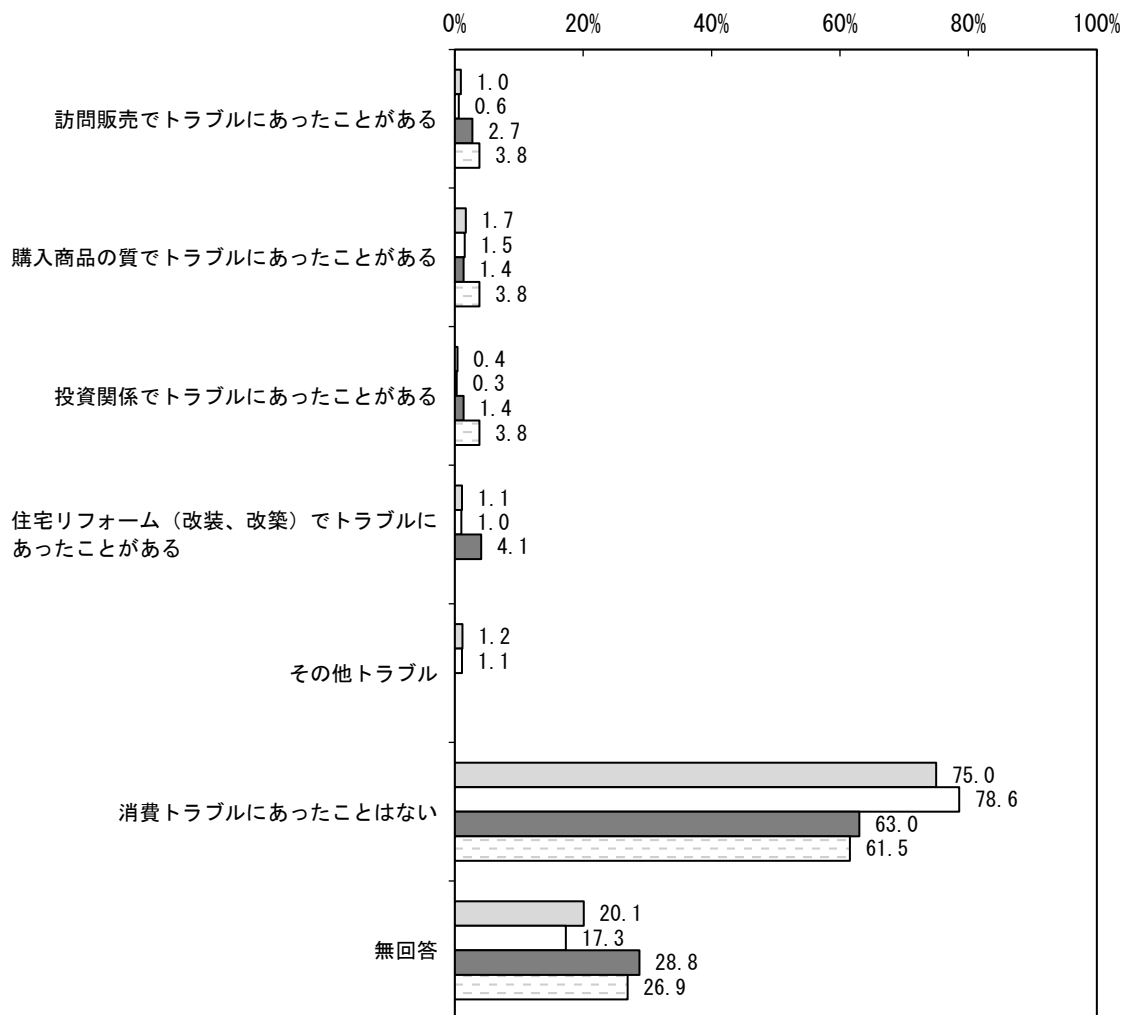


順位	カテゴリ	%	順位	カテゴリ	%
1	孫	22.3	6	ガーデニング	3.9
2	家族	10.0	7	趣味	3.7
3	仕事	9.4	8	食事	3.4
4	旅行	6.2	9	家庭菜園	2.9
5	健康であること	5.1	10	ペット	2.6

問 32 過去5年以内に商品購入やサービスの質、契約上のトラブルなどがありましたか。(複数選択可)

項目ごとのトラブルの割合では、おおむね、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方が高く、「訪問販売でトラブルにあったことがある」の割合が2.7%、「住宅リフォーム（改装、改築）でトラブルにあったことがある」の割合が4.1%となっています。また、現在、何らかの介護を受けている方も高く、「訪問販売でトラブルにあったことがある」、「購入商品の質でトラブルにあったことがある」及び「投資関係でトラブルにあったことがある」の割合がそれぞれ3.8%となっています。

「消費トラブルにあったことはない」では、介護・介助の必要がない方が78.6%と最も高くなっています。

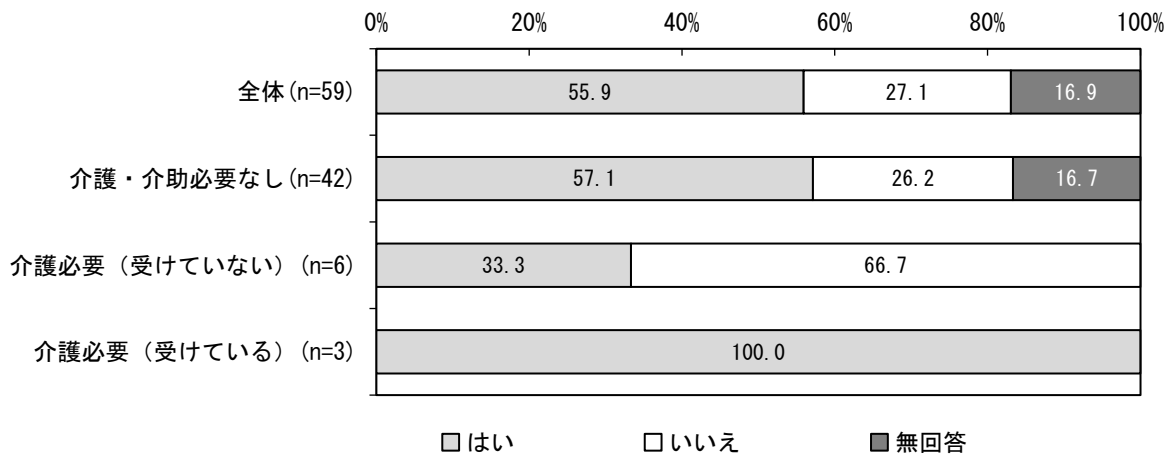


- 全体 (n=1,155)
- 介護・介助必要なし (n=971)
- 介護必要 (受けていない) (n=73)
- 介護必要 (受けている) (n=26)

問 32 で「1. 訪問販売でトラブルにあったことがある」「2. 購入商品の質でトラブルにあったことがある」「3. 投資関係でトラブルにあったことがある」「4. 住宅リフォーム（改装、改築）でトラブルにあったことがある」「5. その他トラブル」と回答した方にお伺いします。

問 32-1 トラブルについて相談をしましたか。（1つを選択）

全体では、「はい」の割合が 55.9%、「いいえ」の割合が 27.1%、介護・介助の必要がない方では、「はい」の割合が 57.1%、「いいえ」の割合が 26.2%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「はい」の割合が 33.3%、「いいえ」の割合が 66.7%、現在、何らかの介護を受けている方では、「はい」の割合が 100.0%となっています。



問 32-1 で「1. はい」と回答した方にお伺いします。

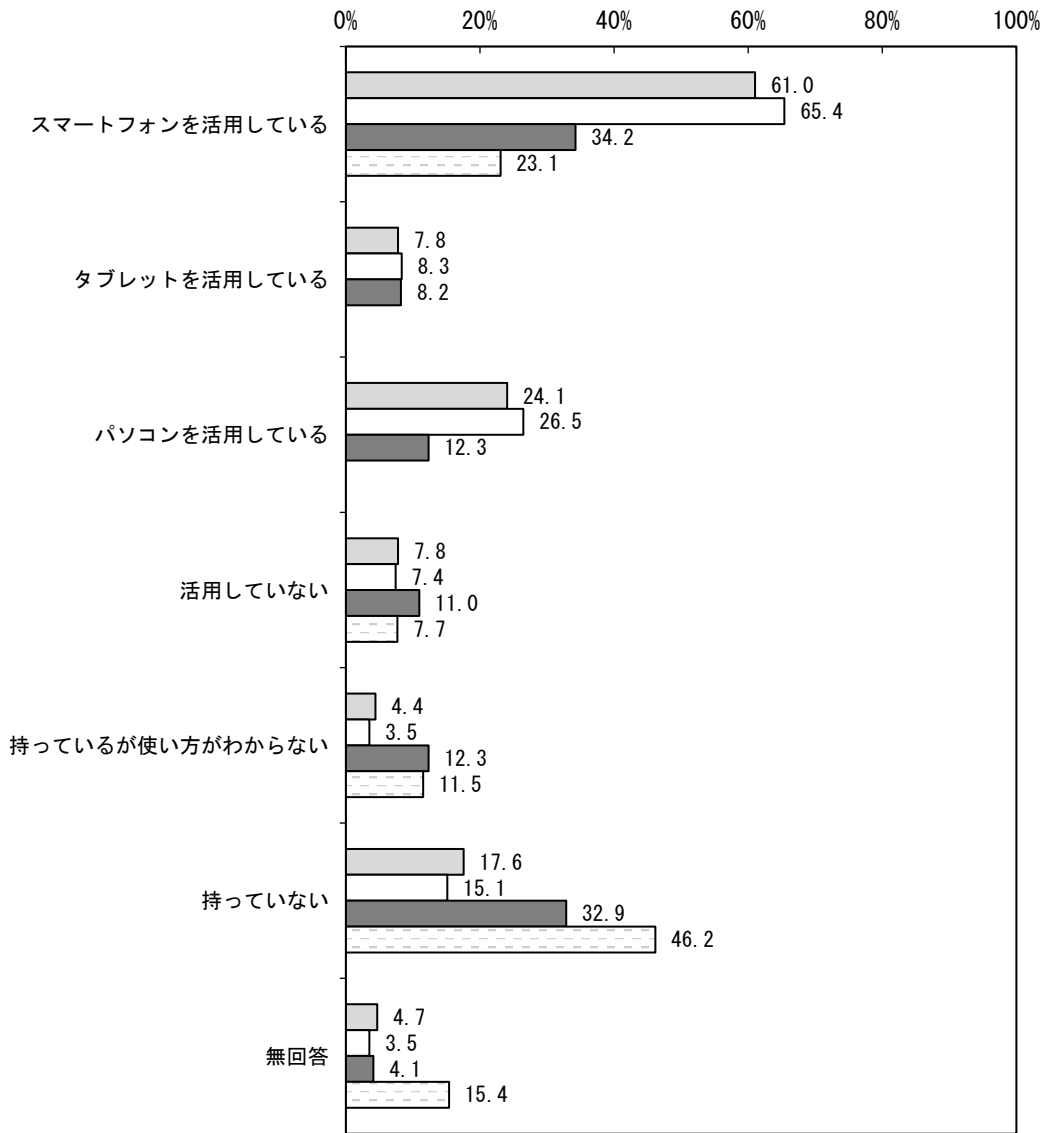
問 32-2 トラブルについて、誰又はどこに相談しましたか。（ ）内にご記入ください。

トラブルの相談先では、「家族」の割合が 27.3%と最も高く、次いで「購入店」の割合が 24.2%、「消費者センター」の割合が 15.2%となっています。

順位	カテゴリ	%
1	家族	27.3
2	購入店	24.2
3	消費者センター	15.2

問 33 スマートフォン、パソコンなどを日常的に活用していますか。(複数選択可)

スマートフォン、パソコンなどの日常的な活用状況では、全体、介護・介助の必要がない方及び現在、何らかの介護を受けている方では、「スマートフォンを活用している」の割合が最も高く、それぞれ 61.0%、65.4%及び 34.2%となっています。次いで、全体及び介護・介助の必要がない方では、「パソコンを活用している」の割合がそれぞれ 24.1%、26.5%、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「持っていない」の割合が 32.9%となっています。また、現在、何らかの介護を受けている方では、「持っていない」の割合が最も高く、次いで「スマートフォンを活用している」の割合が高くなっています。

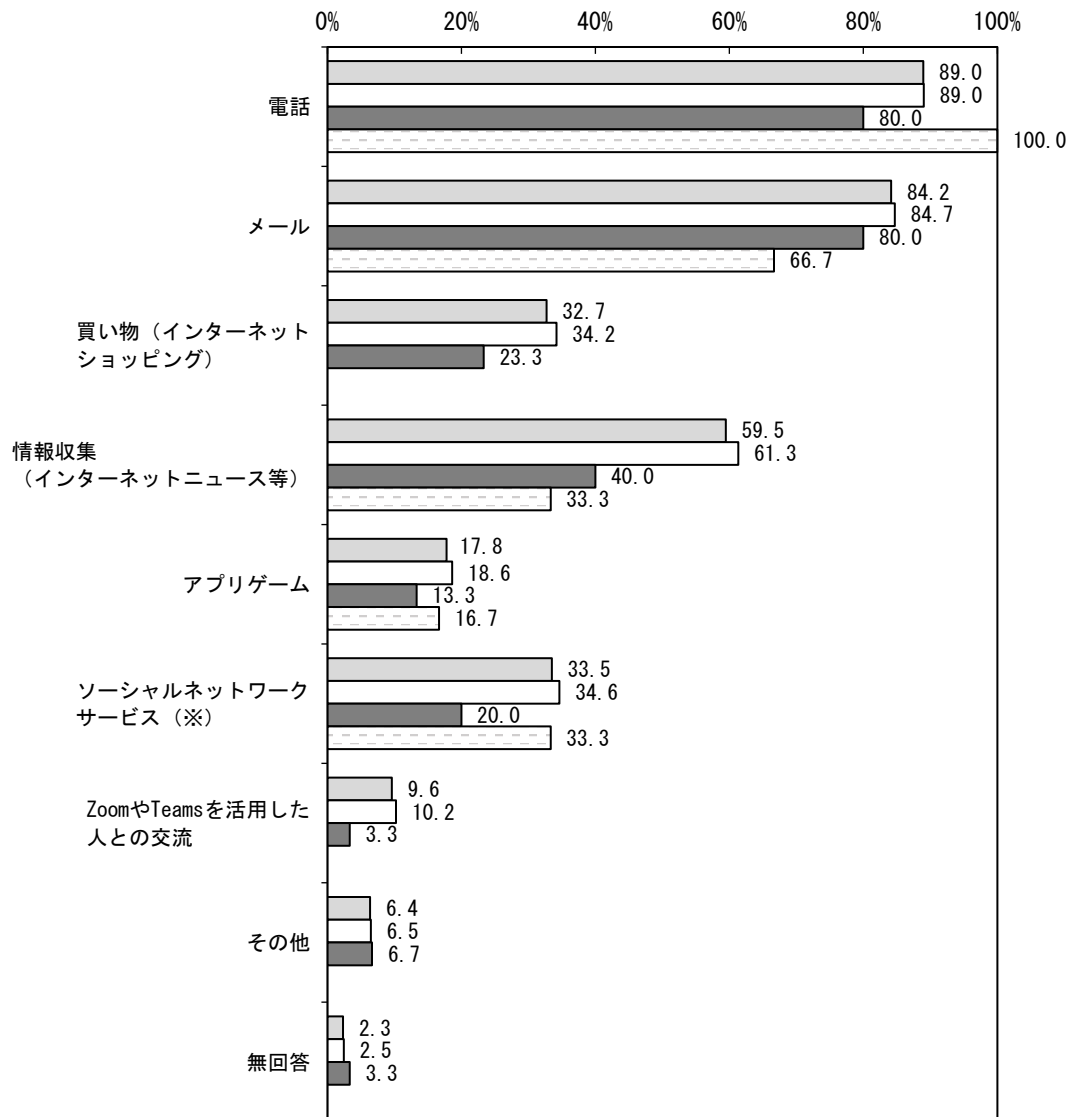


- 全体 (n=1,155)
- 介護・介助必要なし (n=971)
- 介護必要 (受けていない) (n=73)
- 介護必要 (受けている) (n=26)

問 33 で「1. スマートフォンを活用している」「2. タブレットを活用している」「3. パソコンを活用している」と回答した方にお伺いします。

問 33-1 どのようなことができますか。(複数選択可)

スマートフォンなどの活用内容では、全ての分類において「電話」、「メール」の割合が高く、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「情報収集（インターネットニュース等）」も 61.3%と高くなっています。



- 全体 (n=770)
- 介護・介助必要なし (n=693)
- 介護必要 (受けていない) (n=30)
- 介護必要 (受けている) (n=6)

(※) ソーシャルネットワークサービス (Twitter、Facebook、LINE など)

6 地域での活動について

問 34 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

参加している会・グループ等については、「収入のある仕事」の割合が 22.7%と最も高く、次いで「趣味関係のグループ」の割合が 22.4%、「スポーツ関係のグループやクラブ」の割合が 19.7%、「町内会・自治会」の割合が 14.0%、「ボランティアのグループ」の割合が 7.4%、「老人クラブ」の割合が 6.2%、「学習・教養サークル」の割合が 5.9%、「介護予防のための通いの場」の割合が 5.6%となっています。

単位：%

	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加割合 (左記合計)	参加していない	無回答
ボランティアのグループ	0.5	1.0	1.3	2.8	1.8	7.4	57.2	35.4
スポーツ関係のグループやクラブ	2.7	7.2	5.0	3.5	1.3	19.7	51.2	29.1
趣味関係のグループ	1.3	3.3	3.8	10.9	3.1	22.4	49.1	28.5
学習・教養サークル	0.4	1.0	1.2	2.0	1.3	5.9	57.6	36.5
介護予防のための通いの場	0.3	1.0	1.2	2.2	0.9	5.6	57.7	36.7
老人クラブ	0.6	1.1	1.2	1.6	1.7	6.2	58.6	35.1
町内会・自治会	0.6	0.5	0.9	4.1	7.9	14.0	52.4	33.7
収入のある仕事	11.3	6.8	1.6	2.0	1.0	22.7	45.1	32.1

n=1,155

ボランティアのグループへの参加頻度

全体では、「参加している」の割合が 7.4%、「参加していない」の割合が 57.2%、介護・介助の必要がない方では、「参加している」の割合が 7.6%、「参加していない」の割合が 58.4%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「参加している」の割合が 2.8%、「参加していない」の割合が 56.2%、現在、何らかの介護を受けている方では、「参加している」の割合が 0.0%、「参加していない」の割合が 65.4%となっています。

単位：%

	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加割合 (左記合計)	参加していない	無回答
全体 (n=1,155)	0.5	1.0	1.3	2.8	1.8	7.4	57.2	35.4
介護・介助必要なし (n=971)	0.6	1.0	1.3	2.9	1.8	7.6	58.4	34.0
介護必要(受けていない) (n=73)	0.0	0.0	1.4	1.4	0.0	2.8	56.2	41.1
介護必要(受けている) (n=26)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	65.4	34.6

スポーツ関係のグループやクラブへの参加頻度

全体では、「参加している」の割合が19.7%、「参加していない」の割合が51.2%、介護・介助の必要がない方では、「参加している」の割合が21.6%、「参加していない」の割合が51.1%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「参加している」の割合が8.3%、「参加していない」の割合が54.8%、現在、何らかの介護を受けている方では、「参加している」の割合が3.8%、「参加していない」の割合が65.4%となっています。

単位：%

	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加割合 (左記合計)	参加して いない	無回答
全体 (n=1,155)	2.7	7.2	5.0	3.5	1.3	19.7	51.2	29.1
介護・介助必要なし (n=971)	2.8	8.2	5.6	3.7	1.3	21.6	51.1	27.3
介護必要(受けていない) (n=73)	1.4	1.4	1.4	2.7	1.4	8.3	54.8	37.0
介護必要(受けている) (n=26)	0.0	0.0	0.0	3.8	0.0	3.8	65.4	30.8

趣味関係のグループへの参加頻度

全体では、「参加している」の割合が22.4%、「参加していない」の割合が49.1%、介護・介助の必要がない方では、「参加している」の割合が24.2%、「参加していない」の割合が49.4%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「参加している」の割合が5.5%、「参加していない」の割合が53.4%、現在、何らかの介護を受けている方では、「参加している」の割合が23.0%、「参加していない」の割合が50.0%となっています。

単位：%

	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加割合 (左記合計)	参加して いない	無回答
全体 (n=1,155)	1.3	3.3	3.8	10.9	3.1	22.4	49.1	28.5
介護・介助必要なし (n=971)	1.5	3.5	4.2	11.5	3.5	24.2	49.4	26.3
介護必要(受けていない) (n=73)	0.0	1.4	0.0	2.7	1.4	5.5	53.4	41.1
介護必要(受けている) (n=26)	0.0	3.8	3.8	15.4	0.0	23.0	50.0	26.9

学習・教養サークルへの参加頻度

全体では、「参加している」の割合が 5.9%、「参加していない」の割合が 57.6%、介護・介助の必要がない方では、「参加している」の割合が 6.2%、「参加していない」の割合が 58.8%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「参加している」の割合が 2.7%、「参加していない」の割合が 54.8%、現在、何らかの介護を受けている方では、「参加している」の割合が 7.7%、「参加していない」の割合が 57.7%となっています。

単位：%

	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加割合 (左記合計)	参加して いない	無回答
全体 (n=1,155)	0.4	1.0	1.2	2.0	1.3	5.9	57.6	36.5
介護・介助必要なし (n=971)	0.5	1.1	1.3	2.2	1.1	6.2	58.8	34.9
介護必要(受けていない) (n=73)	0.0	0.0	0.0	0.0	2.7	2.7	54.8	42.5
介護必要(受けている) (n=26)	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	7.7	57.7	34.6

介護予防のための通いの場への参加頻度

全体では、「参加している」の割合が 5.6%、「参加していない」の割合が 57.7%、介護・介助の必要がない方では、「参加している」の割合が 5.3%、「参加していない」の割合が 59.0%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「参加している」の割合が 5.5%、「参加していない」の割合が 54.8%、現在、何らかの介護を受けている方では、「参加している」の割合が 11.4%、「参加していない」の割合が 57.7%となっています。

単位：%

	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加割合 (左記合計)	参加して いない	無回答
全体 (n=1,155)	0.3	1.0	1.2	2.2	0.9	5.6	57.7	36.7
介護・介助必要なし (n=971)	0.3	0.7	1.3	2.2	0.8	5.3	59.0	35.6
介護必要(受けていない) (n=73)	1.4	1.4	0.0	0.0	2.7	5.5	54.8	39.7
介護必要(受けている) (n=26)	0.0	3.8	3.8	3.8	0.0	11.4	57.7	30.8

老人クラブへの参加頻度

全体では、「参加している」の割合が6.2%、「参加していない」の割合が58.6%、介護・介助の必要がない方では、「参加している」の割合が6.5%、「参加していない」の割合が59.8%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「参加している」の割合が5.5%、「参加していない」の割合が56.2%、現在、何らかの介護を受けている方では、「参加している」の割合が0.0%、「参加していない」の割合が65.4%となっています。

単位：%

	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加割合 (左記合計)	参加して いない	無回答
全体 (n=1,155)	0.6	1.1	1.2	1.6	1.7	6.2	58.6	35.1
介護・介助必要なし (n=971)	0.7	1.1	1.3	1.9	1.5	6.5	59.8	33.6
介護必要(受けていない) (n=73)	0.0	1.4	0.0	1.4	2.7	5.5	56.2	38.4
介護必要(受けている) (n=26)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	65.4	34.6

町内会・自治会への参加頻度

全体では、「参加している」の割合が14.0%、「参加していない」の割合が52.4%、介護・介助の必要がない方では、「参加している」の割合が14.8%、「参加していない」の割合が53.0%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「参加している」の割合が9.6%、「参加していない」の割合が50.7%、現在、何らかの介護を受けている方では、「参加している」の割合が11.5%、「参加していない」の割合が61.5%となっています。

単位：%

	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加割合 (左記合計)	参加して いない	無回答
全体 (n=1,155)	0.6	0.5	0.9	4.1	7.9	14.0	52.4	33.7
介護・介助必要なし (n=971)	0.6	0.6	0.8	4.5	8.3	14.8	53.0	32.0
介護必要(受けていない) (n=73)	1.4	0.0	0.0	0.0	8.2	9.6	50.7	39.7
介護必要(受けている) (n=26)	0.0	0.0	0.0	3.8	7.7	11.5	61.5	26.9

収入のある仕事への参加頻度

全体では、「参加している」の割合が22.7%、「参加していない」の割合が45.1%、介護・介助の必要がない方では、「参加している」の割合が25.1%、「参加していない」の割合が44.3%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「参加している」の割合が5.5%、「参加していない」の割合が56.2%、現在、何らかの介護を受けている方では、「参加している」の割合が3.8%、「参加していない」の割合が61.5%となっています。

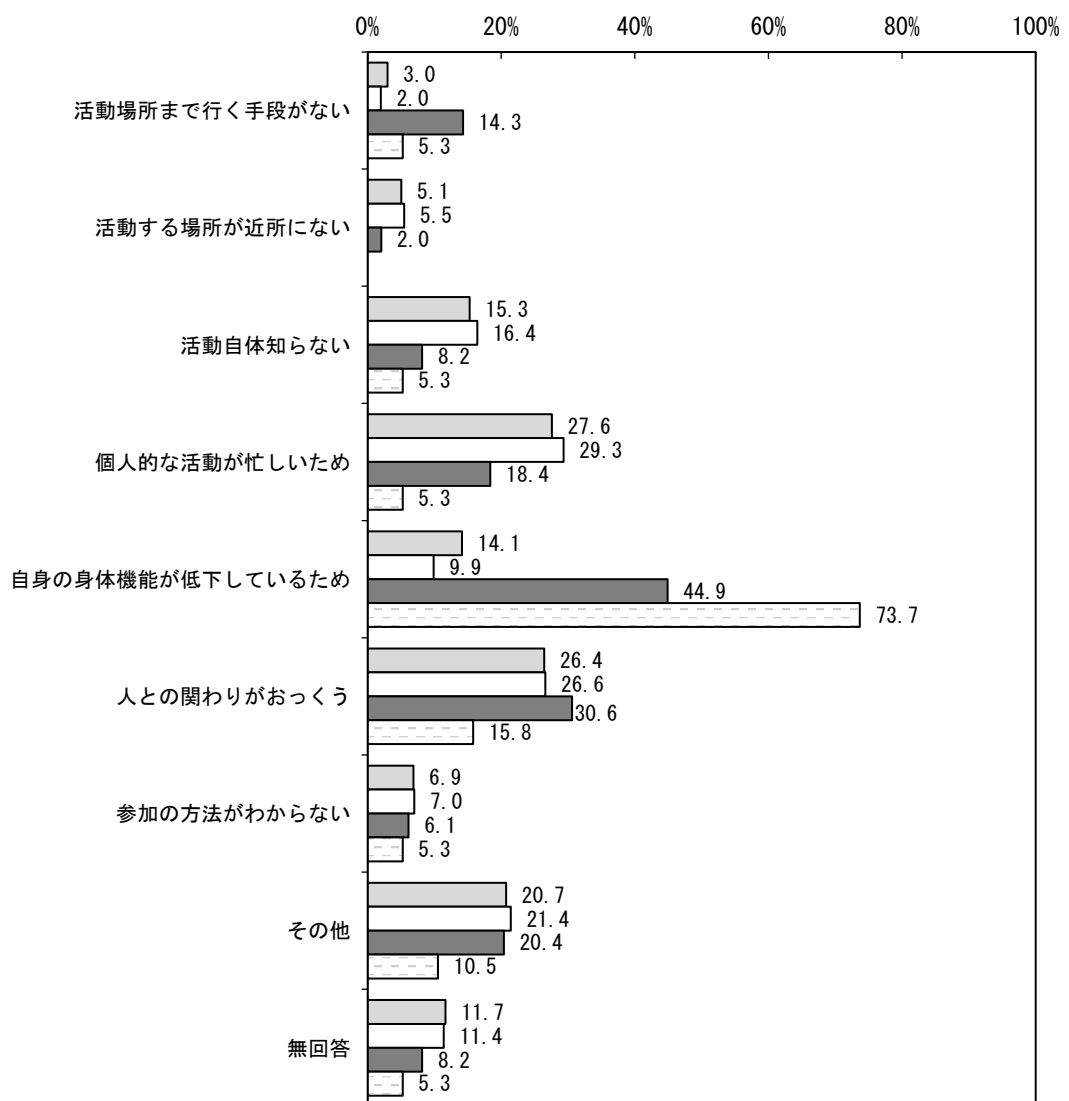
単位：%

	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加割合 (左記合計)	参加して いない	無回答
全体 (n=1,155)	11.3	6.8	1.6	2.0	1.0	22.7	45.1	32.1
介護・介助必要なし (n=971)	12.4	7.3	1.9	2.3	1.2	25.1	44.3	30.7
介護必要(受けていない) (n=73)	2.7	1.4	1.4	0.0	0.0	5.5	56.2	38.4
介護必要(受けている) (n=26)	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	3.8	61.5	34.6

問 34 で「5. 年に数回」「6. 参加していない」と回答した方にお伺いします。

問 34-1 記載されている会やグループなどの地域での活動への参加が少ない（していない）のはなぜですか。（複数選択可）

地域での活動への参加が少ない理由については、全体及び介護・介助の必要がない方では「個人的な活動が忙しいため」の割合が 27.6%及び 29.3%と最も高く、次いで「人との関わりがおっくう」の割合が 26.4%及び 26.6%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方及び現在、何らかの介護を受けている方では「自身の身体機能が低下しているため」の割合が 44.9%及び 73.7%と最も高く、次いで「人との関わりがおっくう」の割合が 30.6%及び 15.8%となっています。

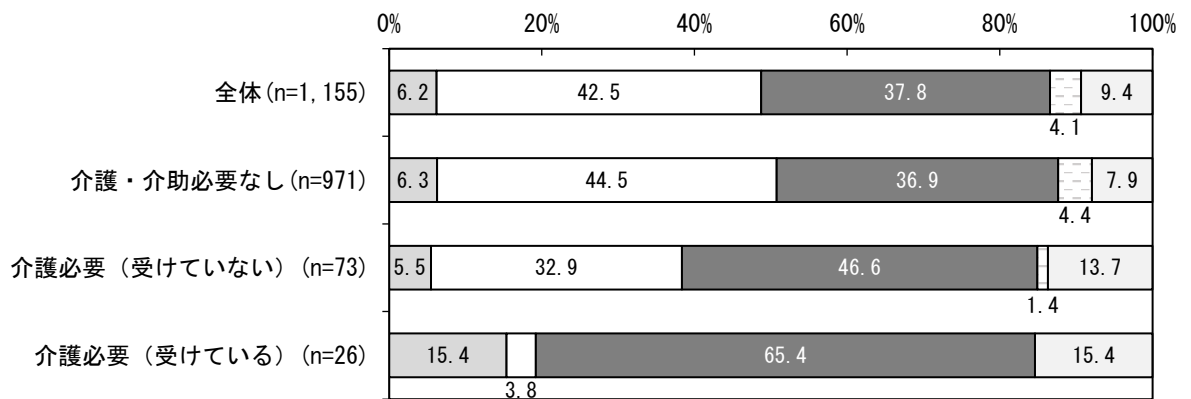


- 全体 (n=772)
- 介護・介助必要なし (n=658)
- 介護必要 (受けていない) (n=49)
- 介護必要 (受けている) (n=19)

問35 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。（1つを選択）

全体では、「是非参加したい」の割合が6.2%、「参加しても良い」の割合が42.5%、「参加したくない」の割合が37.8%、「既に参加している」の割合が4.1%となっています。

全体では約5割の方が『参加意欲がある』（「是非参加したい」と「参加しても良い」と「既に参加している」とを合わせた割合）と回答していますが、介護・介助を必要としている方では、『参加意欲がある』と回答した方は、いずれも4割未満となっています。

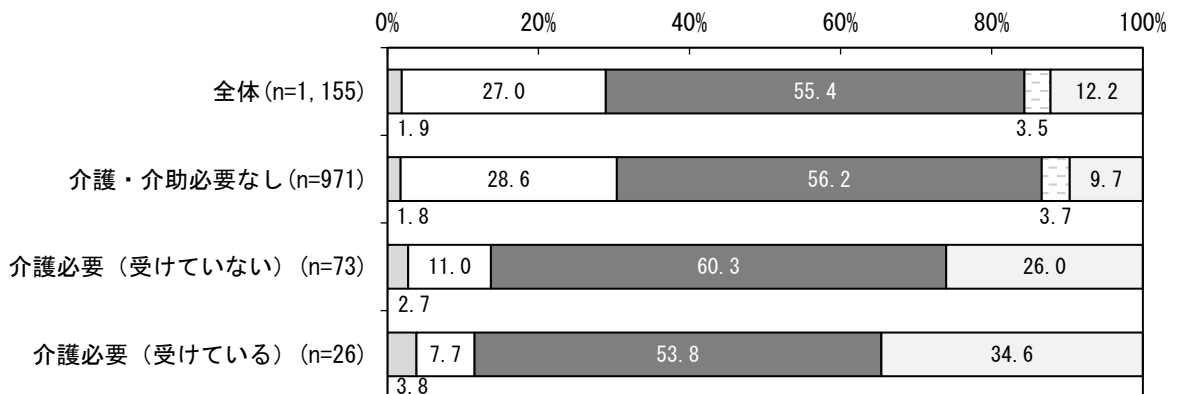


□是非参加したい □参加しても良い ■参加したくない □既に参加している □無回答

問36 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（1つを選択）

全体では、「是非参加したい」の割合が1.9%、「参加しても良い」の割合が27.0%、「参加したくない」の割合が55.4%、「既に参加している」の割合が3.5%となっています。

全体では約3割の方が『参加意欲がある』（「是非参加したい」と「参加しても良い」と「既に参加している」とを合わせた割合）と回答していますが、介護・介助を必要としている方では、『参加意欲がある』と回答した方は、いずれも2割未満となっています。



□是非参加したい □参加しても良い ■参加したくない □既に参加している □無回答

7 たすけあいについて

問 37 あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（複数選択可）

問 38 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（複数選択可）

心配事や愚痴を聞いてくれる人では、現在、何らかの介護を受けている方を除き、「配偶者」の割合が最も高く、次いで全体及び介護・介助の必要がない方では、「友人」、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「別居の子ども」の割合が高くなっています。現在、何らかの介護を受けている方では、「同居の子ども」の割合が最も高く、次いで「友人」の割合が高くなっています。

心配事や愚痴を聞いてくれる人が「いない」では、現在、何らかの介護を受けている方の割合が8.2%と最も高くなっています。

また心配事や愚痴を聞いてあげる人では、現在、何らかの介護を受けている方を除き、「配偶者」の割合が最も高く、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「友人」も同率で最も高くなっています。次いで全体及び介護・介助の必要がない方では、「友人」、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」の割合が高くなっています。現在、何らかの介護を受けている方では、「友人」の割合が最も高く、次いで「近隣」の割合が高くなっています。

心配事や愚痴を聞いてあげる人が「いない」では、現在、何らかの介護を受けている方の割合が15.4%と最も高くなっています。

単位：%

		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
聞いてくれる人	全体 (n=1,155)	53.9	18.8	34.7	27.7	12.3	44.9	2.6	4.8	2.5
	介護・介助必要なし (n=971)	56.7	17.6	35.0	28.4	12.3	47.1	2.5	4.4	1.9
	介護必要（受けていない） (n=73)	38.4	21.9	34.2	30.1	12.3	28.8	1.4	8.2	4.1
	介護必要（受けている） (n=26)	26.9	38.5	23.1	19.2	7.7	34.6	7.7	7.7	0.0
聞いてあげる人	全体 (n=1,155)	50.8	16.6	29.8	30.0	15.2	43.6	2.5	6.3	4.3
	介護・介助必要なし (n=971)	54.2	15.9	31.3	30.6	14.7	45.6	2.5	5.6	3.3
	介護必要（受けていない） (n=73)	31.5	20.5	17.8	27.4	19.2	31.5	1.4	11.0	8.2
	介護必要（受けている） (n=26)	19.2	11.5	15.4	23.1	26.9	34.6	0.0	15.4	3.8

問 39 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人
(複数選択可)

問 40 反対に、看病や世話をしあける人 (複数選択可)

病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人では、現在、何らかの介護を受けている方を除き、「配偶者」の割合が最も高く、次いで全体及び介護・介助の必要がない方では「別居の子ども」、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では「同居の子ども」の割合が高くなっています。また、現在、何らかの介護を受けている方は「同居の子ども」と「別居の子ども」が同率で最も高く、次いで「配偶者」の割合が高くなっています。

病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人が「いない」では、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方の割合が 17.8%と最も高くなっています。

また病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしあける人では、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方を除き、「配偶者」の割合が最も高く、次いで全体及び介護・介助の必要がない方では「別居の子ども」、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では「いない」の割合が高くなっています。

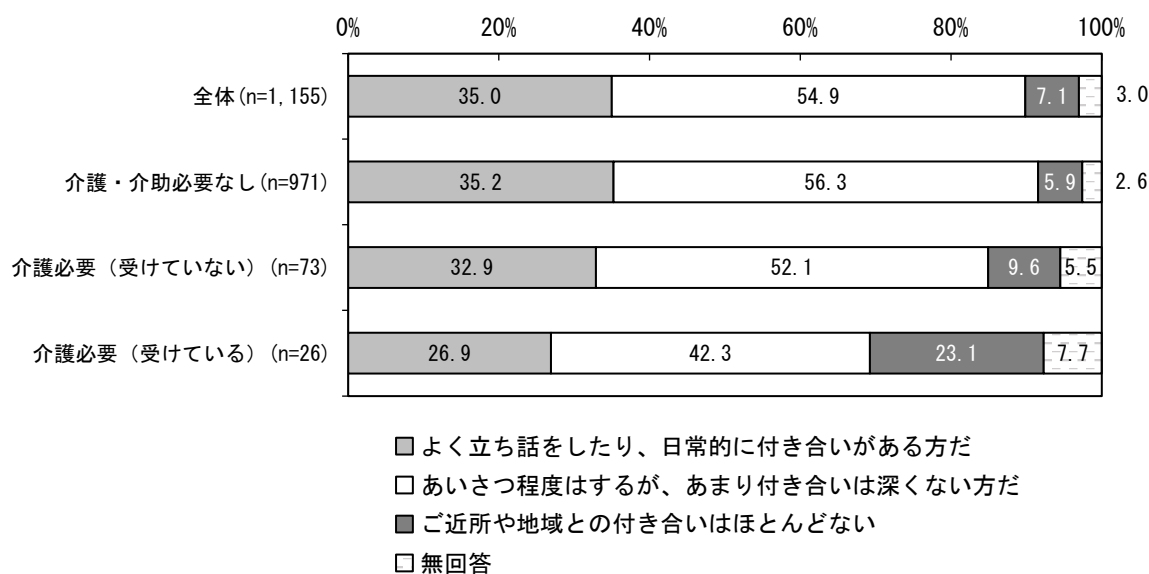
病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしあける人が「いない」では、現在、何らかの介護を受けている方の割合が 30.8%と最も高くなっています。

単位：%

		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
世話や看病をしてくれる人	全体 (n=1,155)	60.2	24.3	34.2	11.3	2.7	5.6	1.8	6.1	2.5
	介護・介助必要なし (n=971)	63.5	23.0	34.1	11.2	2.5	5.8	1.8	5.4	2.3
	介護必要(受けていない) (n=73)	39.7	27.4	26.0	8.2	4.1	5.5	1.4	17.8	2.7
	介護必要(受けている) (n=26)	23.1	34.6	34.6	15.4	0.0	3.8	7.7	7.7	0.0
世話や看病をしあける人	全体 (n=1,155)	61.0	23.3	25.7	16.3	3.5	8.5	1.3	12.5	4.6
	介護・介助必要なし (n=971)	64.6	23.2	26.6	17.1	3.4	9.0	1.3	10.7	3.8
	介護必要(受けていない) (n=73)	41.1	26.0	17.8	9.6	2.7	4.1	0.0	30.1	4.1
	介護必要(受けている) (n=26)	23.1	19.2	11.5	3.8	0.0	7.7	3.8	30.8	7.7

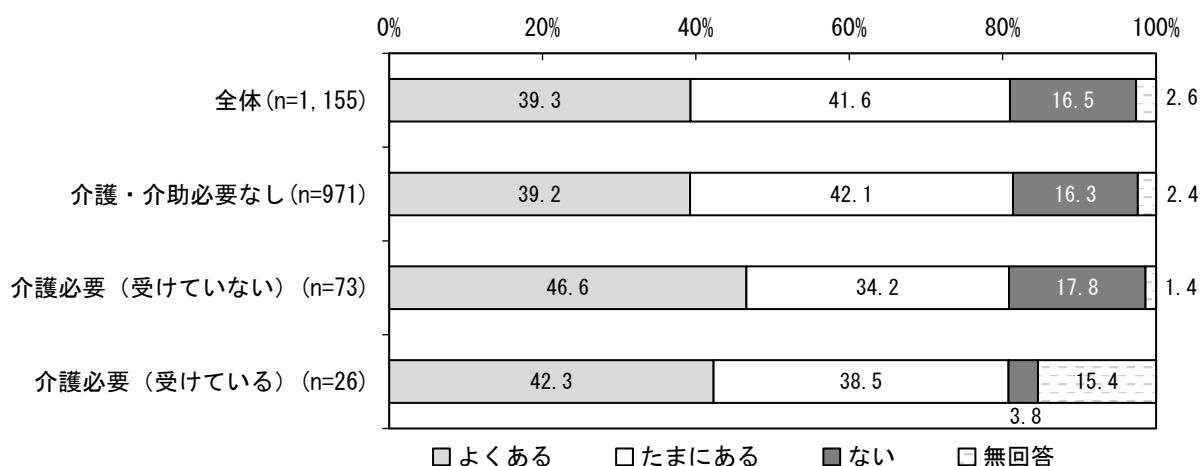
問 41 ご近所や地域の方との付き合いはどのようなようですか。(1つを選択)

全体では、「よく立ち話をしたり、日常的に付き合いがある方だ」の割合が 35.0%、「あいさつ程度はするが、あまり付き合いは深くない方だ」の割合が 54.9%、「ご近所や地域との付き合いはほとんどない」の割合が 7.1%、介護・介助の必要がない方では、「よく立ち話をしたり、日常的に付き合いがある方だ」の割合が 35.2%、「あいさつ程度はするが、あまり付き合いは深くない方だ」の割合が 56.3%、「ご近所や地域との付き合いはほとんどない」の割合が 5.9%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「よく立ち話をしたり、日常的に付き合いがある方だ」の割合が 32.9%、「あいさつ程度はするが、あまり付き合いは深くない方だ」の割合が 52.1%、「ご近所や地域との付き合いはほとんどない」の割合が 9.6%、現在、何らかの介護を受けている方では、「よく立ち話をしたり、日常的に付き合いがある方だ」の割合が 26.9%、「あいさつ程度はするが、あまり付き合いは深くない方だ」の割合が 42.3%、「ご近所や地域との付き合いはほとんどない」の割合が 23.1%となっています。



問 42 日中、1人になることがありますか。(1つを選択)

全体では、「よくある」の割合が 39.3%、「たまにある」の割合が 41.6%、「ない」の割合が 16.5%、介護・介助の必要がない方では、「よくある」の割合 39.2%、「たまにある」の割合が 42.1%、「ない」の割合が 16.3%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「よくある」の割合が 46.6%、「たまにある」の割合が 34.2%、「ない」の割合が 17.8%、現在、何らかの介護を受けている方では、「よくある」の割合が 42.3%、「たまにある」の割合が 38.5%、「ない」の割合が 3.8%となっています。



問 43 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。(複数選択可)

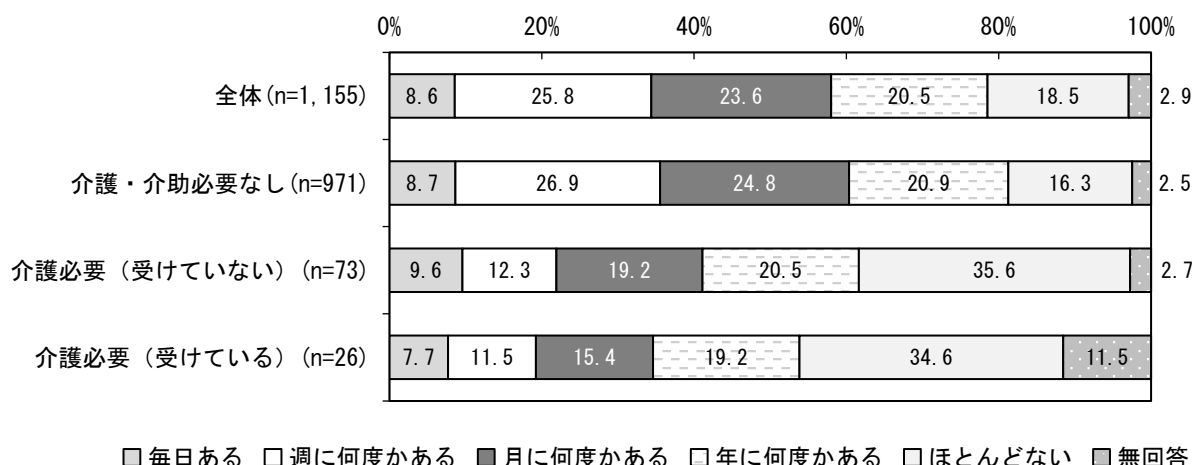
家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手では、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方を除き、「いない」の割合が最も高くなっています。現在、何らかの介護を受けている方では、「ケアマネジャー」の割合が最も高くなっています。

単位：%

	自治会・町内会・老人クラブ	社会福祉協議会・民生委員	ケアマネジャー	医師・歯科医師・看護師	地域包括支援センター・役所・役場	その他	いない	無回答
全体 (n=1,155)	7.4	4.5	2.0	23.5	16.3	7.2	46.1	7.8
介護・介助必要なし (n=971)	7.6	4.6	1.3	24.3	15.4	7.4	47.1	6.8
介護必要 (受けていない) (n=73)	6.8	4.1	2.7	26.0	23.3	5.5	42.5	5.5
介護必要 (受けている) (n=26)	7.7	7.7	26.9	23.1	23.1	3.8	23.1	11.5

問 44 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。（1つを選択）

全体では、「毎日ある」の割合が 8.6%、「週に何度かある」の割合が 25.8%、「月に何度かある」の割合が 23.6%、「年に何度かある」の割合が 20.5%、「ほとんどない」の割合が 18.5%、介護・介助の必要がない方では、「毎日ある」の割合が 8.7%、「週に何度かある」の割合が 26.9%、「月に何度かある」の割合が 24.8%、「年に何度かある」の割合が 20.9%、「ほとんどない」の割合が 16.3%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「毎日ある」の割合が 9.6%、「週に何度かある」の割合が 12.3%、「月に何度かある」の割合が 19.2%、「年に何度かある」の割合が 20.5%、「ほとんどない」の割合が 35.6%、現在、何らかの介護を受けている方では、「毎日ある」の割合が 7.7%、「週に何度かある」の割合が 11.5%、「月に何度かある」の割合が 15.4%、「年に何度かある」の割合が 19.2%、「ほとんどない」の割合が 34.6%となっています。



問 45 よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(複数選択可)

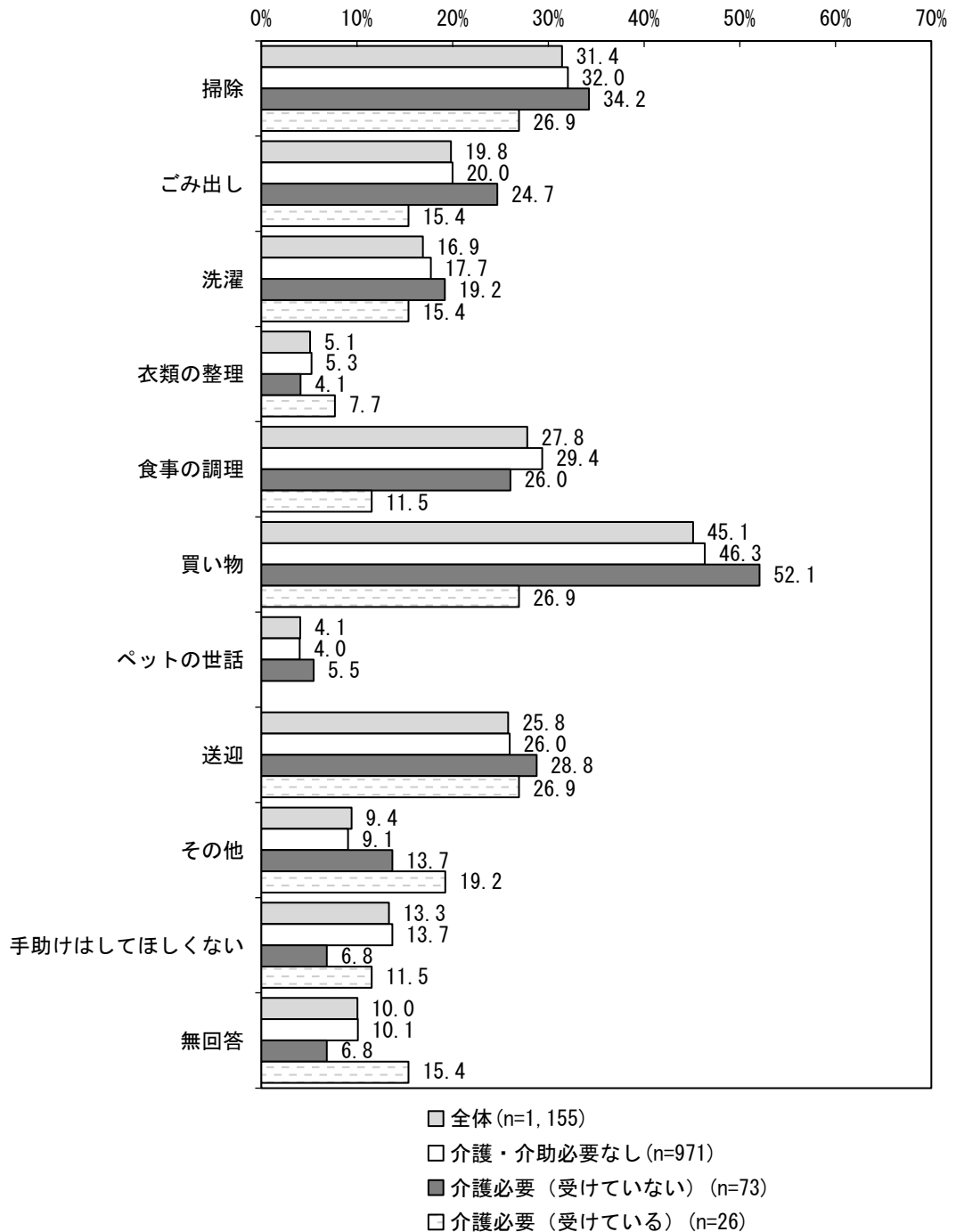
よく会う友人・知人との関係性では、全ての分類において、「近所・同じ地域の人」の割合が最も高く、次いで、全体と介護・介助の必要がない方は「趣味や関心が同じ友人」、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方は「仕事での同僚・元同僚」、現在、何らかの介護を受けている方は「いない」の割合が高くなっています。一方、「いない」と回答された割合では、現在、何らかの介護を受けている方の割合が 23.1%と最も高く、次いで、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方の割合が 21.9%となっています。

単位：%

	近所・同じ地域の人	幼なじみ	学生時代の友人	仕事での同僚・元同僚	趣味や関心が同じ友人	ボランティア等の活動での友人	その他	いない	無回答
全体 (n=1,155)	37.4	4.6	10.4	29.2	33.0	4.8	7.3	12.2	4.9
介護・介助必要なし (n=971)	36.6	5.4	11.4	30.9	35.3	4.8	7.4	10.4	4.3
介護必要(受けていない) (n=73)	39.7	1.4	4.1	24.7	12.3	4.1	9.6	21.9	8.2
介護必要(受けている) (n=26)	50.0	0.0	0.0	7.7	19.2	0.0	3.8	23.1	11.5

問 46 将来、あなたが日常生活で支援を必要としたときに、有償ボランティアの団体等に手助けをしてもらいたいことはありますか。
(複数選択可)

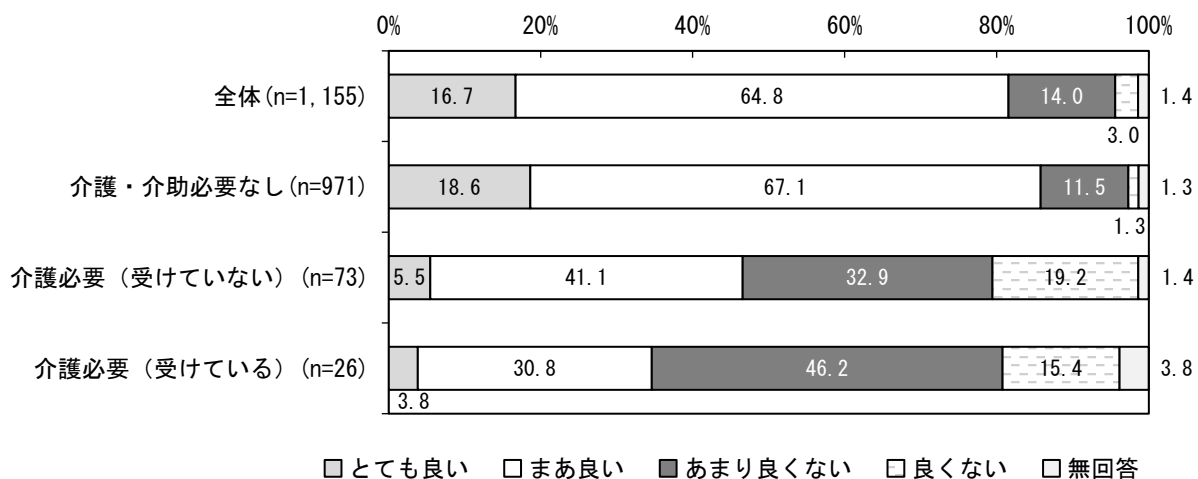
手助けをしてもらいたいことでは、全ての分類において、「買い物」の割合が最も高く、次いで、「掃除」の割合が高くなっています。また、現在、何らかの介護を受けている方では「買い物」、「掃除」及び「送迎」の割合が同率で最も高くなっています。



8 健康について

問 47 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(1つを選択)

全体では、「とても良い」の割合が 16.7%、「まあ良い」の割合が 64.8%、「あまり良くない」の割合が 14.0%、「良くない」の割合が 3.0%、介護・介助の必要がない方では、「とても良い」の割合が 18.6%、「まあ良い」の割合が 67.1%、「あまり良くない」の割合が 11.5%、「良くない」の割合が 1.3%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「とても良い」の割合が 5.5%、「まあ良い」の割合が 41.1%、「あまり良くない」の割合が 32.9%、「良くない」の割合が 19.2%、現在、何らかの介護を受けている方では、「とても良い」の割合が 3.8%、「まあ良い」の割合が 30.8%、「あまり良くない」の割合が 46.2%、「良くない」の割合が 15.4%となっています。



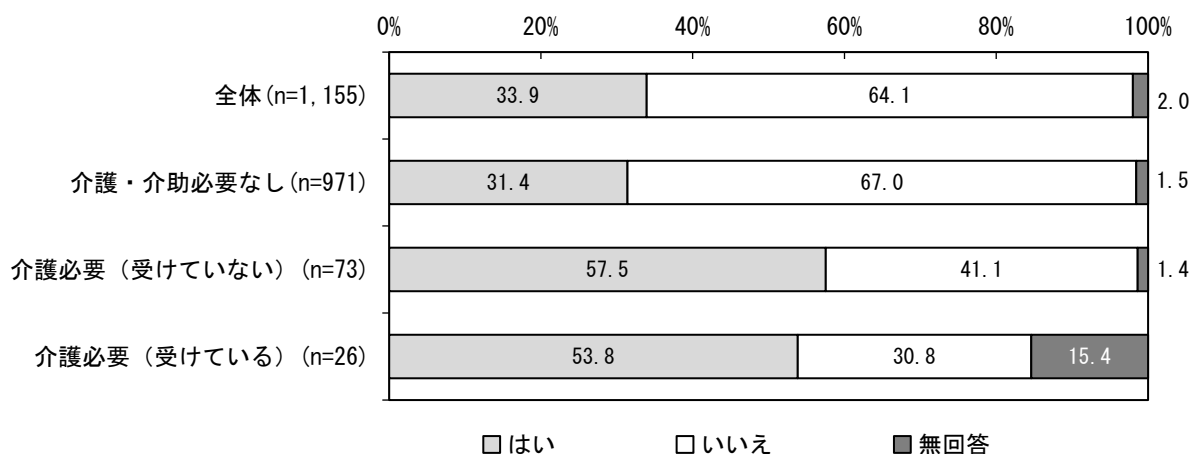
問 48 あなたは、現在どの程度幸せですか。（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください。）

全体では、「8点」の割合が24.3%と最も高く、次いで「5点」の割合が19.7%、介護・介助の必要がない方では、「8点」の割合が25.5%と最も高く、次いで「5点」が18.6%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「5点」の割合が26.0%と最も高く、次いで「8点」の割合が15.1%、現在、何らかの介護を受けている方では、「5点」の割合が34.6%と最も高く、次いで「8点」の割合が19.2%となっています。

	← 不幸 → 幸せ →											無回答
	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	
全体 (n=1,155)	0.3	0.3	0.6	2.2	1.6	19.7	7.4	13.4	24.3	10.4	16.3	3.4
介護・介助必要なし (n=971)	0.4	0.0	0.5	1.5	1.2	18.6	7.4	13.9	25.5	10.8	17.1	2.9
介護必要（受けていない） (n=73)	0.0	1.4	1.4	8.2	8.2	26.0	5.5	12.3	15.1	2.7	13.7	5.5
介護必要（受けている） (n=26)	0.0	3.8	3.8	3.8	3.8	34.6	3.8	7.7	19.2	11.5	0.0	7.7

問 49 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。（1つを選択）

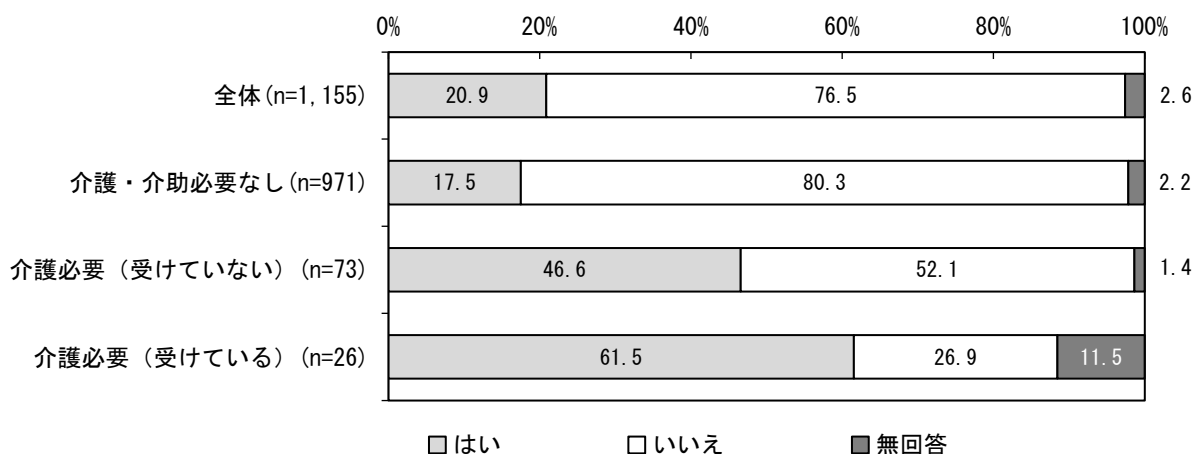
全体では、「はい」の割合が33.9%、「いいえ」の割合が64.1%、介護・介助の必要がない方では、「はい」の割合が31.4%、「いいえ」の割合が67.0%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「はい」の割合が57.5%、「いいえ」の割合が41.1%、現在、何らかの介護を受けている方では、「はい」の割合が53.8%、「いいえ」の割合が30.8%となっています。



問 50 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(1つを選択)

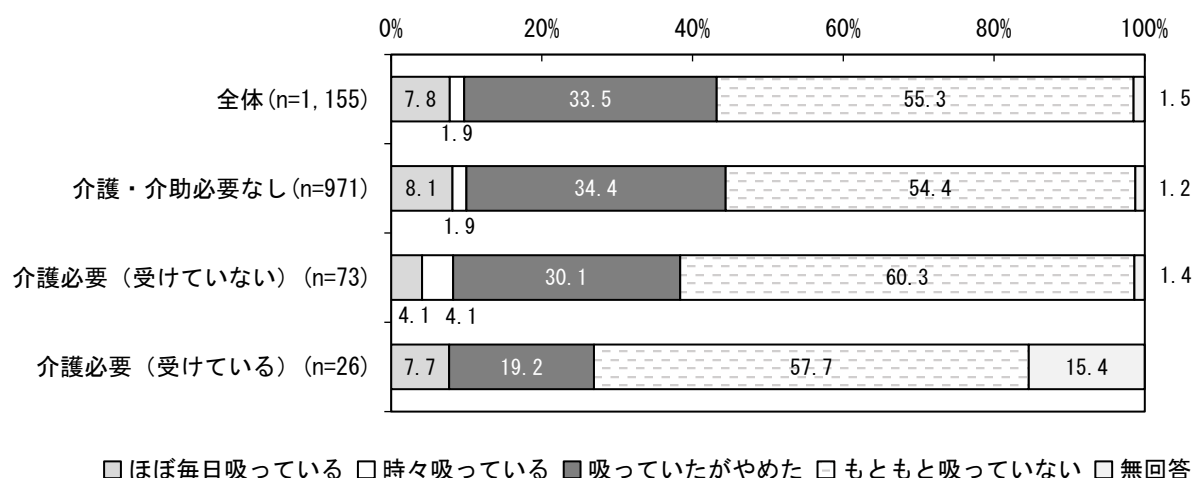
全体では、「はい」の割合が20.9%、「いいえ」の割合が76.5%となっています。

全体では約7割の方が「いいえ」と回答していますが、介護・介助を必要としている方では、「いいえ」と回答した方は、いずれも6割未満となっています。



問 51 タバコは吸っていますか。(1つを選択)

全体では、「ほぼ毎日吸っている」の割合が7.8%、「時々吸っている」の割合が1.9%、「吸っていたがやめた」の割合が33.5%、「もともと吸っていない」の割合が55.3%となっています。



問 52 現在治療中、又は後遺症のある病気はありますか。(複数選択可)

現在治療中、または後遺症のある病気では、全ての分類において「高血圧」の割合が最も高く、次いで、全体及び介護・介助の必要がない方では「ない」がそれぞれ 18.4%、19.9%となっており、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」の割合が 23.3%となっています。また、現在、何らかの介護を受けている方では、「高血圧」に次いで、「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」の割合が高くなっています。

単位：%

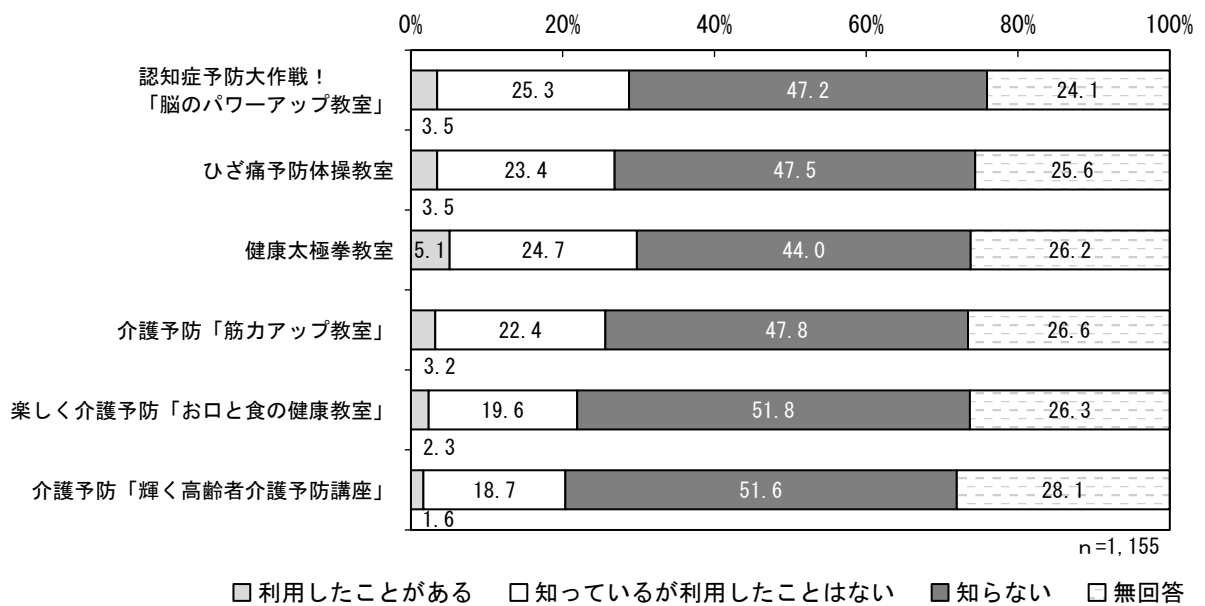
	合計	ない	高血圧	脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	心臓病	糖尿病	高脂血症(脂質異常)	呼吸器の病気(肺炎 や気管支炎等)
全体(n=1,155)	1,155	18.4	42.0	2.8	9.7	15.8	15.4	4.8
介護・介助必要なし(n=971)	971	19.9	41.1	2.6	9.2	15.1	16.1	4.5
介護必要(受けていない)(n=73)	73	6.8	45.2	5.5	13.7	20.5	11.0	11.0
介護必要(受けている)(n=26)	26	3.8	34.6	0.0	15.4	15.4	3.8	3.8

	合計	胃腸・肝臓・胆のうの 病気	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気(骨粗 しょう症、関節症等)	外傷(転倒・骨折等)	がん(悪性新生物)	血液・免疫の病気	うつ病
全体(n=1,155)	1,155	4.7	6.5	11.3	3.3	3.8	1.0	1.6
介護・介助必要なし(n=971)	971	4.5	6.5	9.6	2.4	3.7	0.6	1.2
介護必要(受けていない)(n=73)	73	6.8	2.7	23.3	9.6	5.5	4.1	4.1
介護必要(受けている)(n=26)	26	7.7	15.4	30.8	19.2	3.8	7.7	3.8

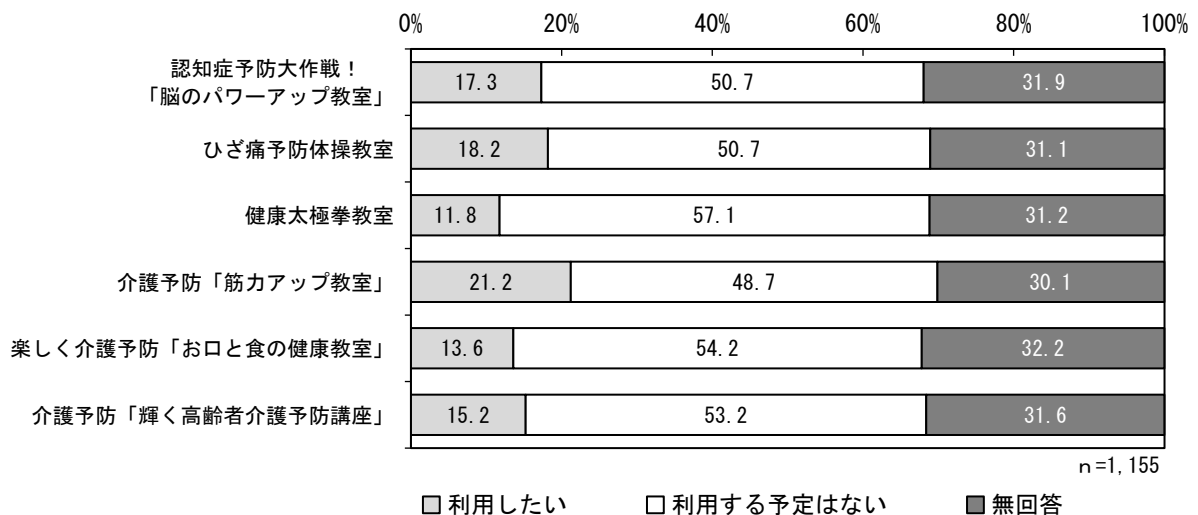
	合計	認知症(アルツハイ マー病等)	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	無回答
全体(n=1,155)	1,155	0.6	0.3	14.1	4.6	10.7	3.3
介護・介助必要なし(n=971)	971	0.4	0.3	13.2	4.1	10.4	3.4
介護必要(受けていない)(n=73)	73	4.1	0.0	19.2	9.6	15.1	1.4
介護必要(受けている)(n=26)	26	0.0	3.8	23.1	7.7	23.1	3.8

問 53 65 歳以上の高齢者を対象に、市が実施している以下の一般介護予防事業を知っていますか。また、今後利用したいと思いませんか。(①～⑥について、利用状況や認知度、今後の利用希望それぞれ1つに○)
 ※各事業ごとに、対象者を限定して実施する場合があります。

利用状況では、「健康太極拳教室」の割合が5.1%と最も高く、次いで「認知症予防大作戦『脳のパワーアップ教室』」及び「ひざ痛予防体操」の割合がそれぞれ3.5%となっています。『認知度』(「利用したことがある」と「知っているが利用したことはない」とを合わせた割合)では、「健康太極拳教室」の割合が29.8%と最も高く、次いで「認知症予防大作戦『脳のパワーアップ教室』」の割合が28.8%となっています。



今後の利用希望では、「介護予防『筋力アップ教室』」の割合が21.2%と最も高く、次いで「ひざ痛予防体操」の割合が18.2%、「認知症予防大作戦『脳のパワーアップ教室』」の割合が17.3%となっています。

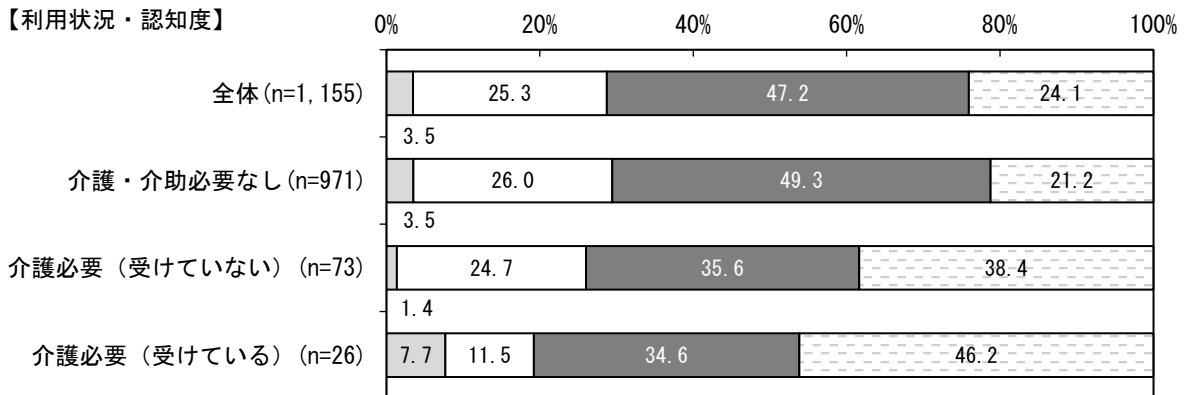


「認知症予防大作戦『脳のパワーアップ教室』」の利用状況・認知度、今後の利用希望

利用状況・認知度について、全体では、「利用したことがある」の割合が3.5%、「知っているが利用したことはない」の割合が25.3%、「知らない」の割合が47.2%、介護・介助の必要がない方では、「利用したことがある」の割合が3.5%、「知っているが利用したことはない」の割合が26.0%、「知らない」の割合が49.3%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「利用したことがある」の割合が1.4%、「知っているが利用したことはない」の割合が24.7%、「知らない」の割合が35.6%、現在、何らかの介護を受けている方では、「利用したことがある」の割合が7.7%、「知っているが利用したことはない」の割合が11.5%、「知らない」の割合が34.6%となっています。

今後の利用希望について、全体では、「利用したい」の割合が17.3%、「利用する予定はない」の割合が50.7%、介護・介助の必要がない方では、「利用したい」の割合が17.5%、「利用する予定はない」の割合が52.6%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「利用したい」の割合が17.8%、「利用する予定はない」の割合が42.5%、現在、何らかの介護を受けている方では、「利用したい」の割合が15.4%、「利用する予定はない」の割合が57.7%となっています。

【利用状況・認知度】



□ 利用したことがある □ 知っているが利用したことはない ■ 知らない □ 無回答

【今後の利用希望】

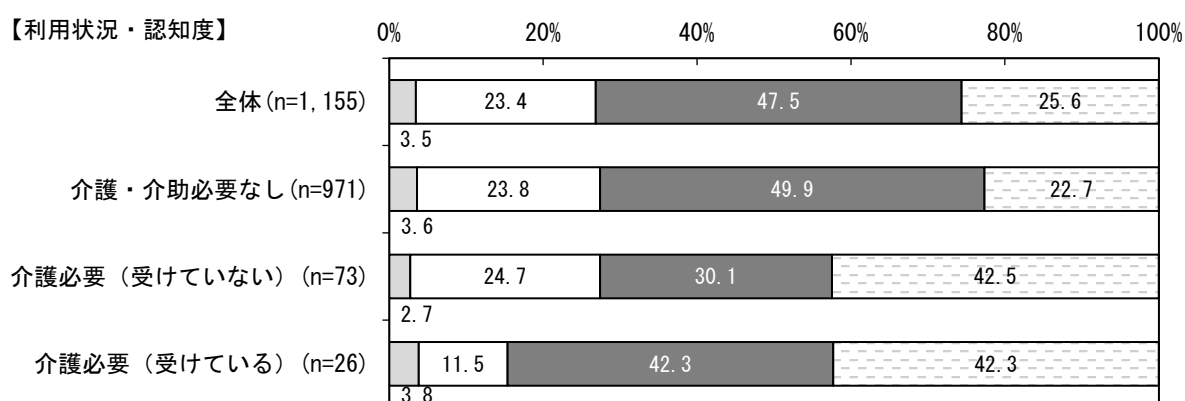


□ 利用したい □ 利用する予定はない ■ 無回答

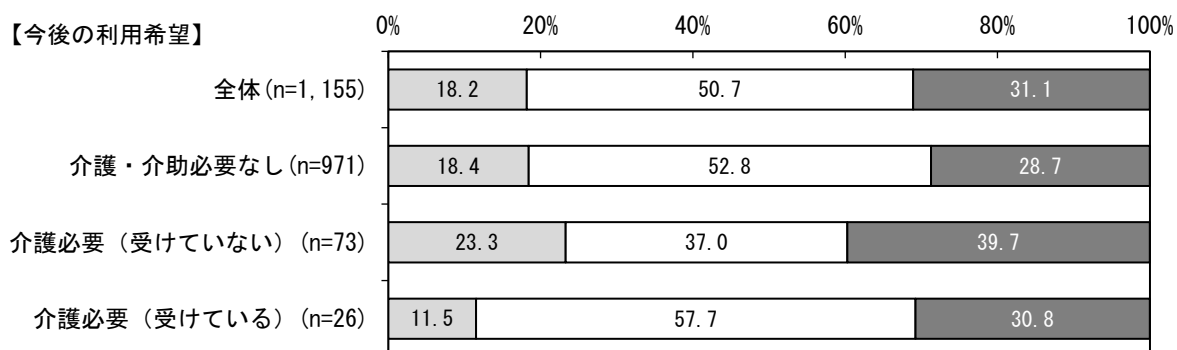
「ひざ痛予防体操」の利用状況・認知度、今後の利用希望

利用状況・認知度について、全体では、「利用したことがある」の割合が3.5%、「知っているが利用したことはない」の割合が23.4%、「知らない」の割合が47.5%、介護・介助の必要がない方では、「利用したことがある」の割合が3.6%、「知っているが利用したことはない」の割合が23.8%、「知らない」の割合が49.9%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「利用したことがある」の割合が2.7%、「知っているが利用したことはない」の割合が24.7%、「知らない」の割合が30.1%、現在、何らかの介護を受けている方では、「利用したことがある」の割合が3.8%、「知っているが利用したことはない」の割合が11.5%、「知らない」の割合が42.3%となっています。

今後の利用希望について、全体では、「利用したい」の割合が18.2%、「利用する予定はない」の割合が50.7%、介護・介助の必要がない方では、「利用したい」の割合が18.4%、「利用する予定はない」の割合が52.8%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「利用したい」の割合が23.3%、「利用する予定はない」の割合が37.0%、現在、何らかの介護を受けている方では、「利用したい」の割合が11.5%、「利用する予定はない」の割合が57.7%となっています。



□ 利用したことがある □ 知っているが利用したことはない ■ 知らない □ 無回答

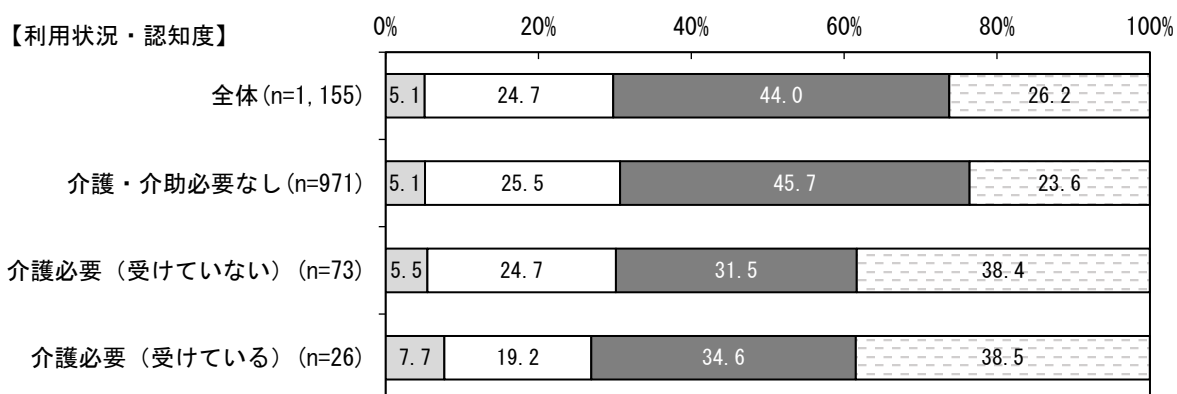


□ 利用したい □ 利用する予定はない ■ 無回答

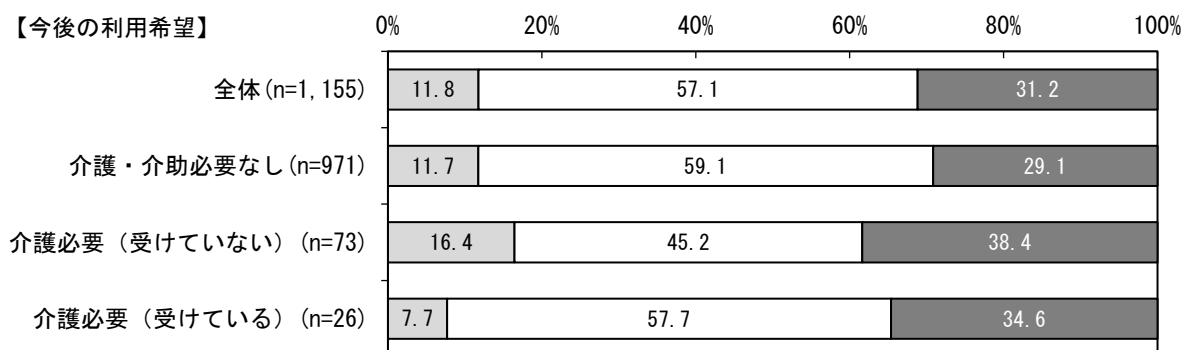
「健康太極拳教室」の利用状況・認知度、今後の利用希望

利用状況・認知度について、全体では、「利用したことがある」の割合が 5.1%、「知っているが利用したことはない」の割合が 24.7%、「知らない」の割合が 44.0%、介護・介助の必要がない方では、「利用したことがある」の割合が 5.1%、「知っているが利用したことはない」の割合が 25.5%、「知らない」の割合が 45.7%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「利用したことがある」の割合が 5.5%、「知っているが利用したことはない」の割合が 24.7%、「知らない」の割合が 31.5%、現在、何らかの介護を受けている方では、「利用したことがある」の割合が 7.7%、「知っているが利用したことはない」の割合が 19.2%、「知らない」の割合が 34.6%となっています。

今後の利用希望について、全体では、「利用したい」の割合が 11.8%、「利用する予定はない」の割合が 57.1%、介護・介助の必要がない方では、「利用したい」の割合が 11.7%、「利用する予定はない」の割合が 59.1%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「利用したい」の割合が 16.4%、「利用する予定はない」の割合が 45.2%、現在、何らかの介護を受けている方では、「利用したい」の割合が 7.7%、「利用する予定はない」の割合が 57.7%となっています。



□ 利用したことがある □ 知っているが利用したことはない ■ 知らない □ 無回答

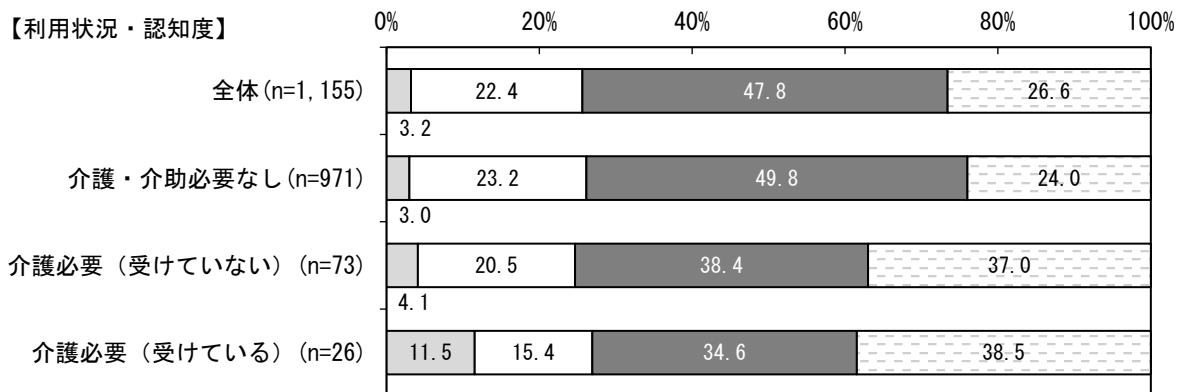


□ 利用したい □ 利用する予定はない ■ 無回答

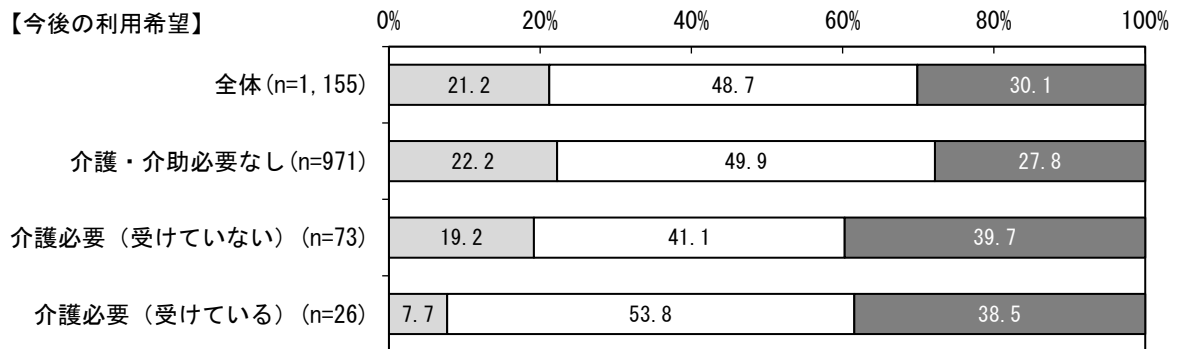
「介護予防『筋力アップ教室』」の利用状況・認知度、今後の利用希望

利用状況・認知度について、全体では、「利用したことがある」の割合が3.2%、「知っているが利用したことはない」の割合が22.4%、「知らない」の割合が47.8%、介護・介助の必要がない方では、「利用したことがある」の割合が3.0%、「知っているが利用したことはない」の割合が23.2%、「知らない」の割合が49.8%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「利用したことがある」の割合が4.1%、「知っているが利用したことはない」の割合が20.5%、「知らない」の割合が38.4%、現在、何らかの介護を受けている方では、「利用したことがある」の割合が11.5%、「知っているが利用したことはない」の割合が15.4%、「知らない」の割合が34.6%となっています。

今後の利用希望について、全体では、「利用したい」の割合が21.2%、「利用する予定はない」の割合が48.7%、介護・介助の必要がない方では、「利用したい」の割合が22.2%、「利用する予定はない」の割合が49.9%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「利用したい」の割合が19.2%、「利用する予定はない」の割合が41.1%、現在、何らかの介護を受けている方では、「利用したい」の割合が7.7%、「利用する予定はない」の割合が53.8%となっています。



□ 利用したことがある □ 知っているが利用したことはない ■ 知らない □ 無回答

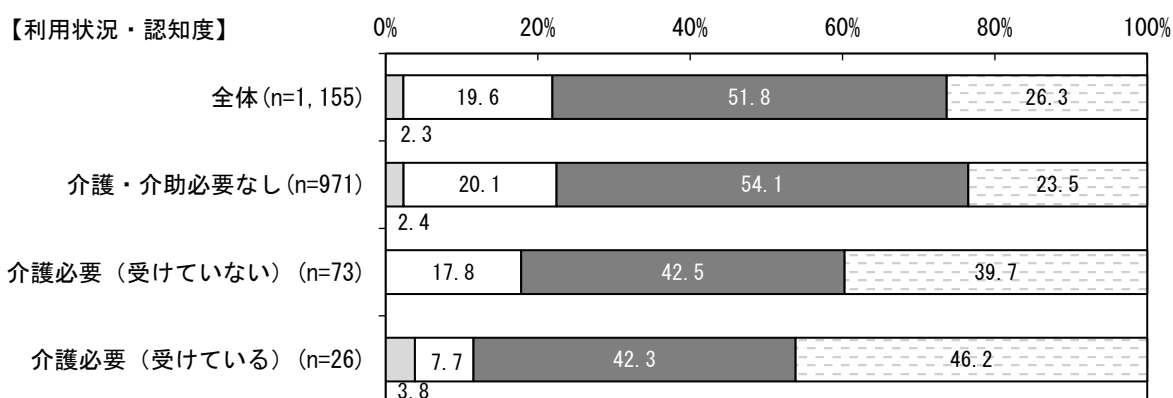


□ 利用したい □ 利用する予定はない ■ 無回答

「楽しく介護予防『お口と食の健康教室』」の利用状況・認知度、今後の利用希望

利用状況・認知度について、全体では、「利用したことがある」の割合が2.3%、「知っているが利用したことはない」の割合が19.6%、「知らない」の割合が51.8%、介護・介助の必要がない方では、「利用したことがある」の割合が2.4%、「知っているが利用したことはない」の割合が20.1%、「知らない」の割合が54.1%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「利用したことがある」人はなく、「知っているが利用したことはない」の割合が17.8%、「知らない」の割合が42.5%、現在、何らかの介護を受けている方では、「利用したことがある」の割合が3.8%、「知っているが利用したことはない」の割合が7.7%、「知らない」の割合が42.3%となっています。

今後の利用希望について、全体では、「利用したい」の割合が13.6%、「利用する予定はない」の割合が54.2%、介護・介助の必要がない方では、「利用したい」の割合が13.7%、「利用する予定はない」の割合が56.4%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「利用したい」の割合が17.8%、「利用する予定はない」の割合が41.1%、現在、何らかの介護を受けている方では、「利用したい」の割合が7.7%、「利用する予定はない」の割合が53.8%となっています。



□ 利用したことがある □ 知っているが利用したことはない ■ 知らない □ 無回答



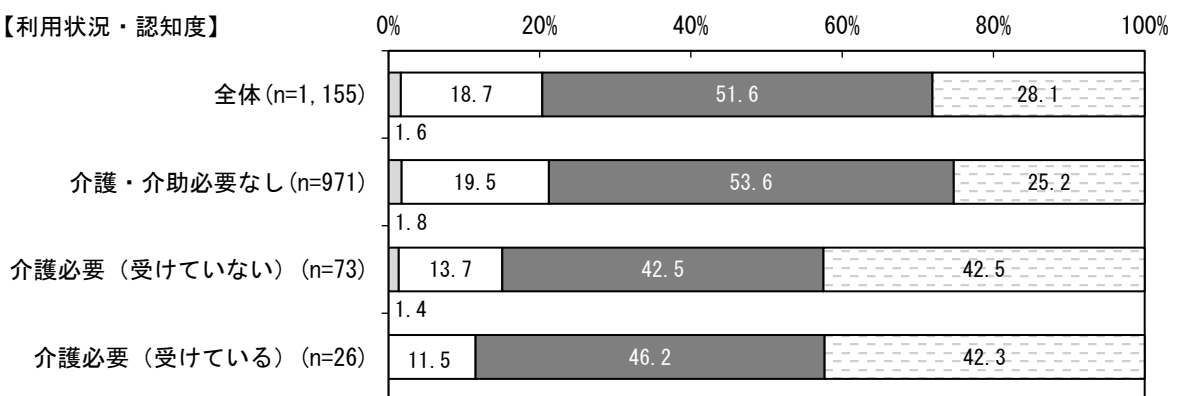
□ 利用したい □ 利用する予定はない ■ 無回答

「介護予防『輝く高齢者介護予防講座』」の利用状況・認知度、今後の利用希望

利用状況・認知度について、全体では、「利用したことがある」の割合が1.6%、「知っているが利用したことはない」の割合が18.7%、「知らない」の割合が51.6%、介護・介助の必要がない方では、「利用したことがある」の割合が1.8%、「知っているが利用したことはない」の割合が19.5%、「知らない」の割合が53.6%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「利用したことがある」の割合が1.4%、「知っているが利用したことはない」の割合が13.7%、「知らない」の割合が42.5%、現在、何らかの介護を受けている方では、「利用したことがある」人はなく、「知っているが利用したことはない」の割合が11.5%、「知らない」の割合が46.2%となっています。

今後の利用希望について、全体では、「利用したい」の割合が15.2%、「利用する予定はない」の割合が53.2%、介護・介助の必要がない方では、「利用したい」の割合が15.4%、「利用する予定はない」の割合が55.3%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「利用したい」の割合が16.4%、「利用する予定はない」の割合が42.5%、現在、何らかの介護を受けている方では、「利用したい」の割合が11.5%、「利用する予定はない」の割合が53.8%となっています。

【利用状況・認知度】



□ 利用したことがある □ 知っているが利用したことはない ■ 知らない □ 無回答

【今後の利用希望】

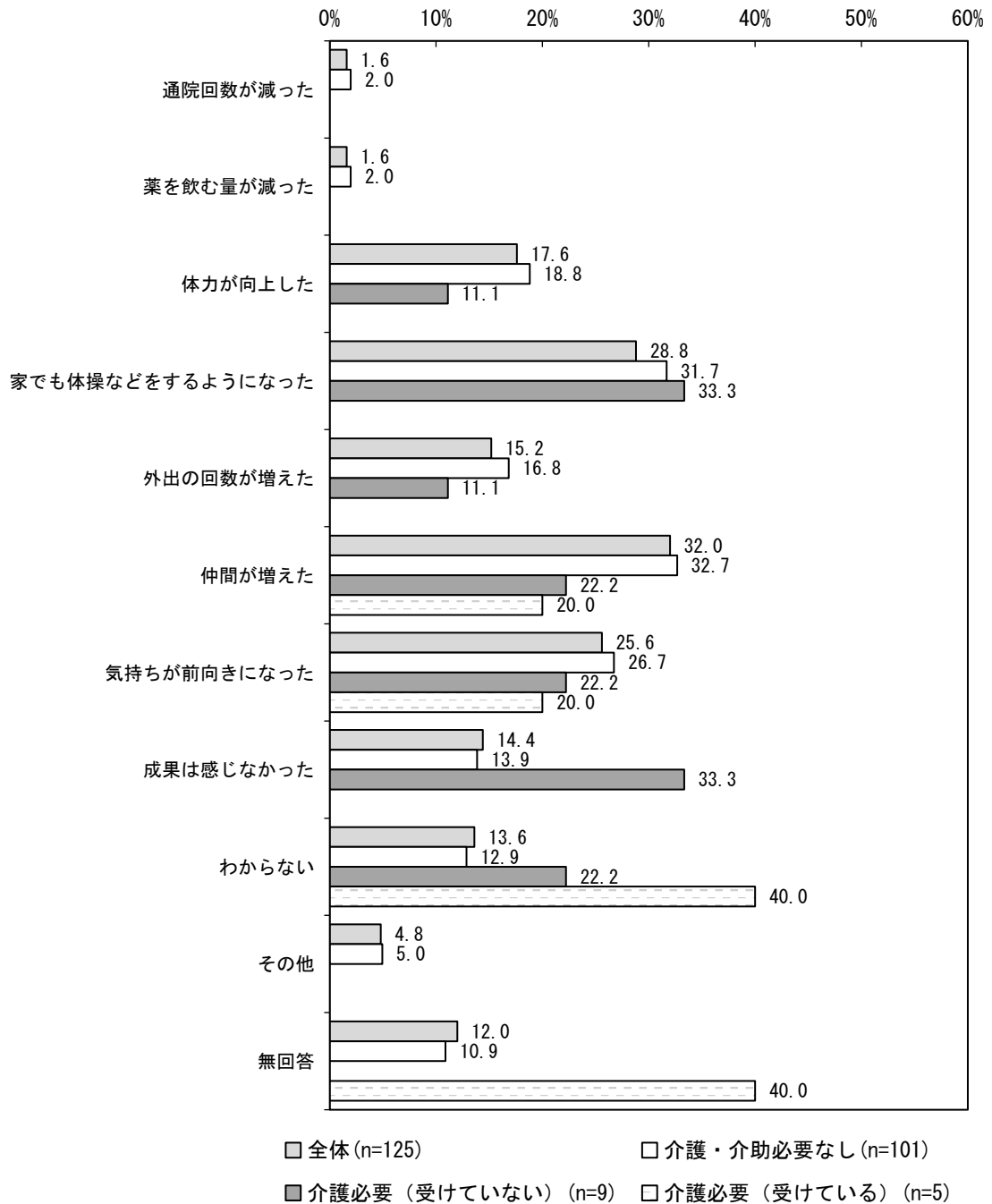


□ 利用したい □ 利用する予定はない ■ 無回答

問 53 で「1. 利用したことがある」と回答した方にお伺いします。

問 53-1 介護予防教室などに参加したことにより、成果や効果はありましたか。
(複数選択可)

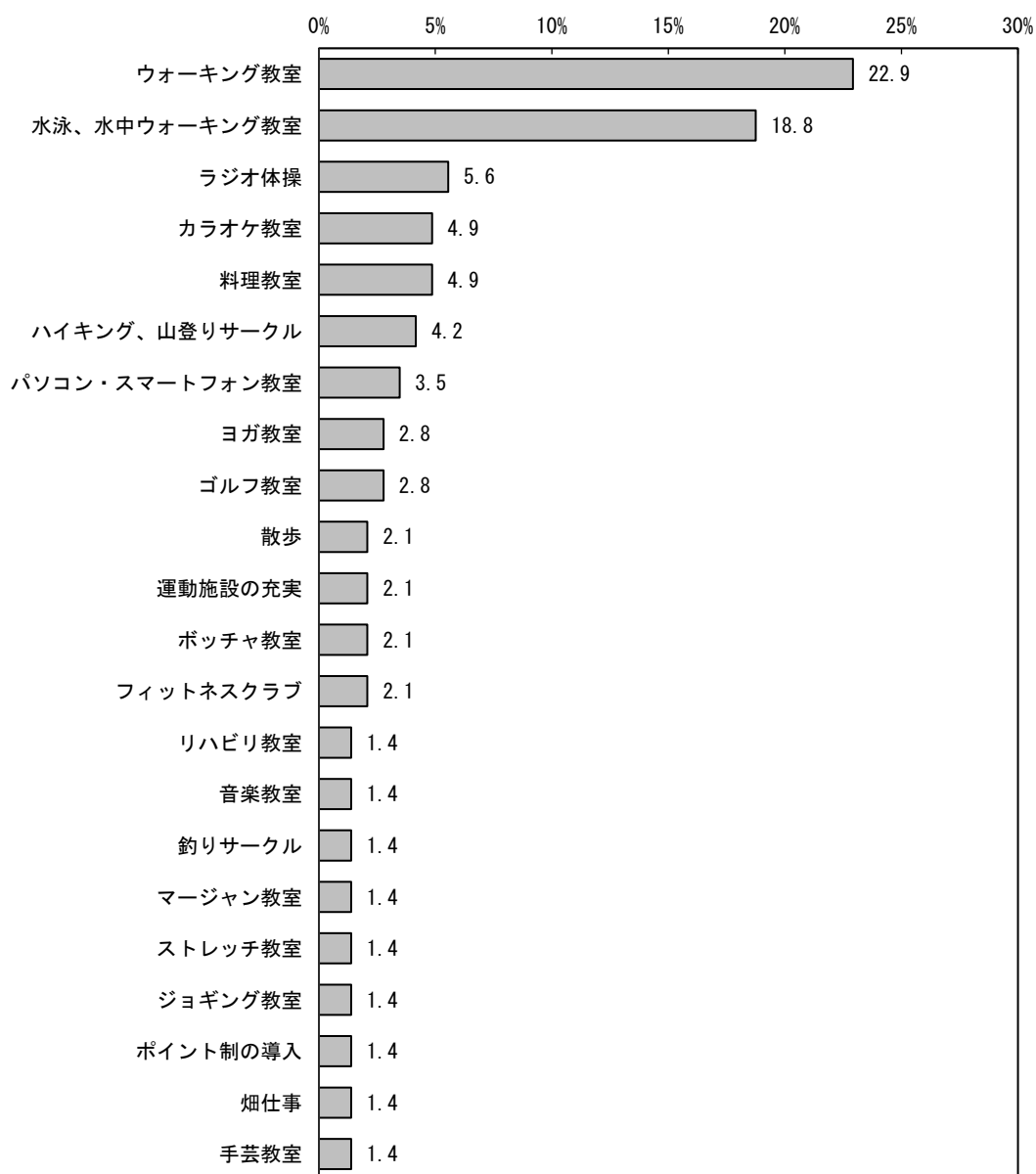
成果や効果については、全体では「仲間が増えた」の割合が 32.0%と最も高く、次いで「家でも体操などをするようになった」の割合が 31.7%、「気持ちが前向きになった」の割合が 25.6%となっています。



問54 健康づくりや介護予防について、左記以外にあれば良いと思う事業があれば、ご記入ください。

現在、市が実施している一般介護予防事業以外で、あればいいと思う事業では、「ウォーキング教室・サークル」の割合が22.9%と最も高く、次いで「水泳、水中ウォーキング教室」の割合が18.8%、「ラジオ体操」の割合が5.6%となっています。

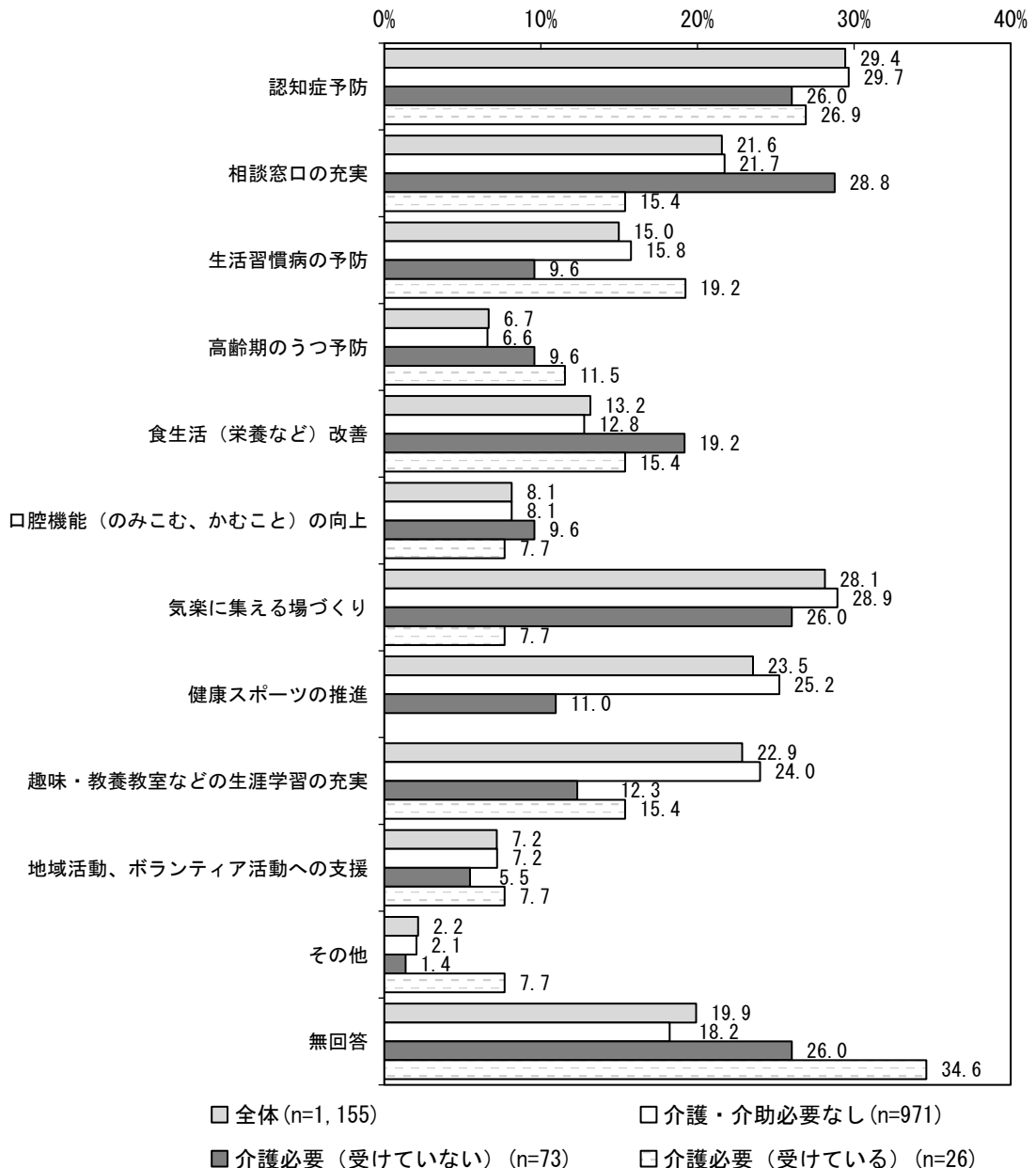
注) 1票しか記述がないもの及び一般介護予防事業として既に実施している内容のものは上記に記載しておりません。
また、設問の意図と異なる内容のものについても上記に記載しておりません。



n=144

問55 健康づくりや介護予防として、より充実した方が良いと思うことは何ですか。
(複数選択可)

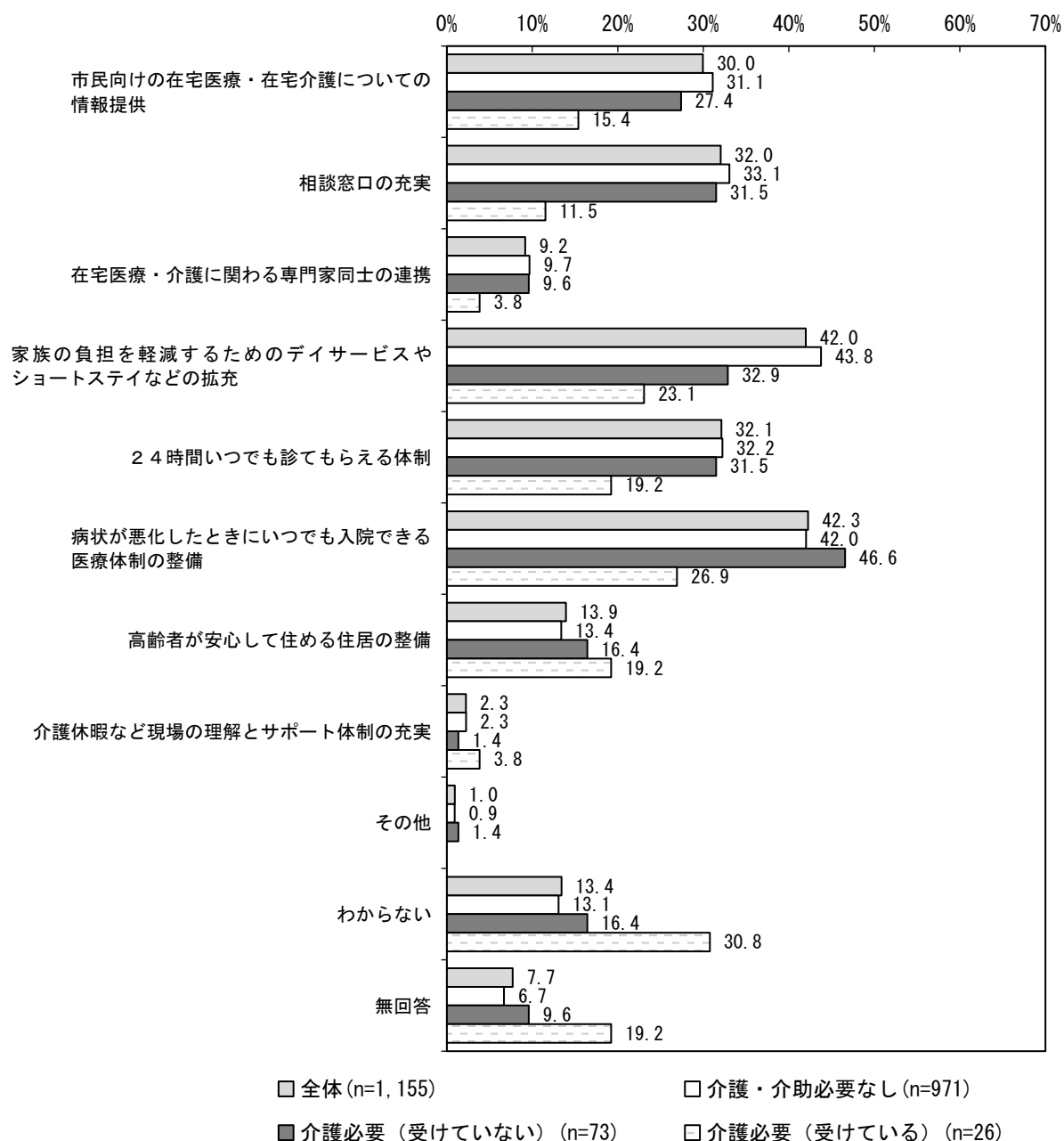
健康づくりや介護予防として、より充実した方がよいと思うことでは、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方を除き、「認知症予防」の割合が最も高く、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「相談窓口の充実」の割合が最も高くなっています。全体、介護・介助の必要がない方及び何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、次いで、「気楽に集える場づくり」の割合がそれぞれ28.1%、28.9%、26.0%となっており、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方は、「認知症予防」と「気楽に集える場づくり」の割合が同率となっています。現在、何らかの介護を受けている方では、「生活習慣病の予防」の割合が高くなっています。



問 56 介護が必要になった方が、在宅での生活を続けていくために必要なことは何ですか。(〇は3つまで選択可)

在宅での生活を続けていくために必要なことでは、介護・介助の必要がない方を除き、「病状が悪化したときにいつでも入院できる医療体制の整備」の割合が最も高く、介護・介助の必要がない方では、「家族の負担を軽減するためのデイサービスやショートステイなどの拡充」の割合が最も高くなっています。

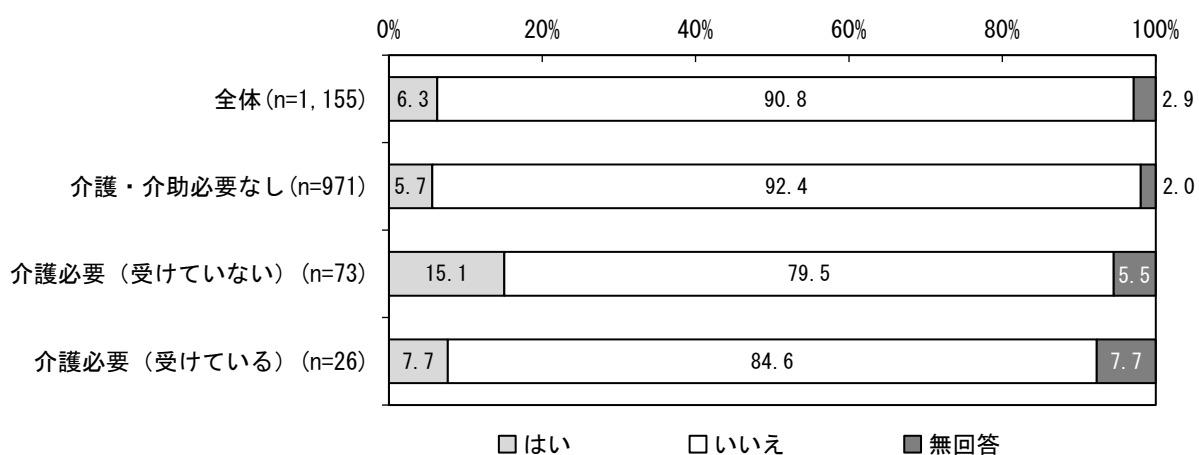
次いで介護・介助の必要がない方を除き、「家族の負担を軽減するためのデイサービスやショートステイなどの拡充」、介護・介助の必要がない方では、「病状が悪化したときにいつでも入院できる医療体制の整備」の割合が高くなっています。



9 認知症のことについて

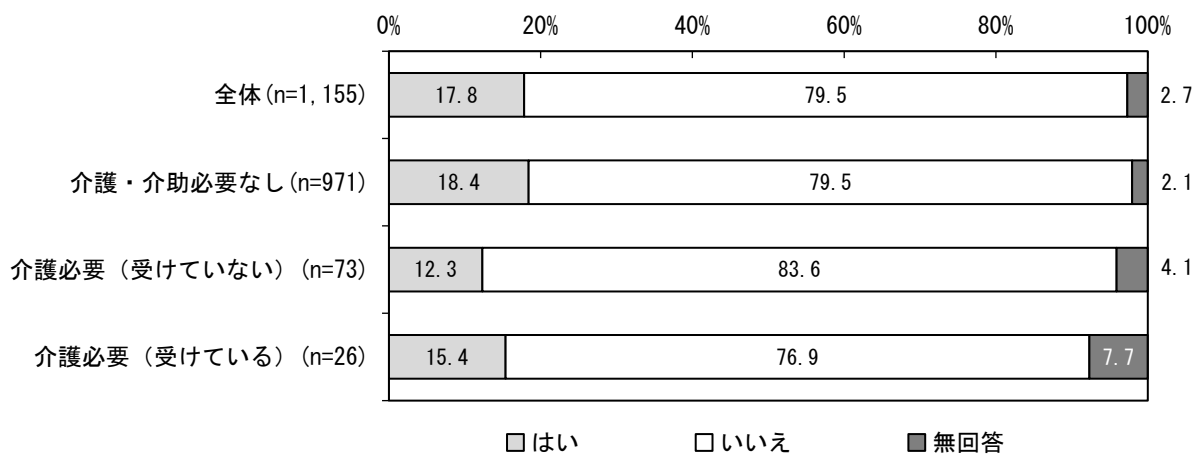
問 57 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。
(1つを選択)

全体では、「はい」の割合が 6.3%、「いいえ」の割合が 90.8%、介護・介助の必要がない方では、「はい」の割合が 5.7%、「いいえ」の割合が 92.4%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「はい」の割合が 15.1%、「いいえ」の割合が 79.5%、現在、何らかの介護を受けている方では、「はい」の割合が 7.7%、「いいえ」の割合が 84.6%となっています。



問 58 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(1つを選択)

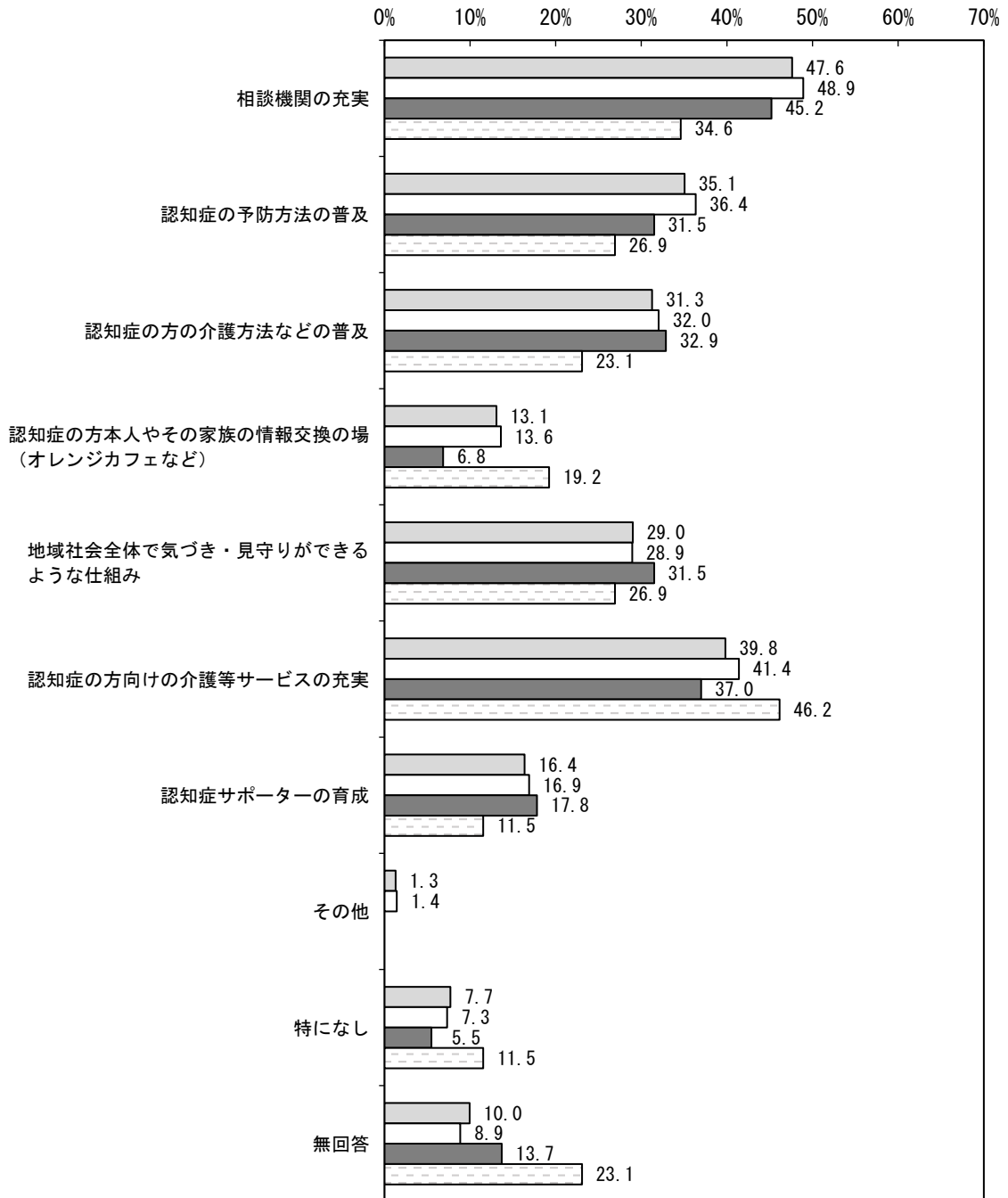
全体では、「はい」の割合が 17.8%、「いいえ」の割合が 79.5%、介護・介助の必要がない方では、「はい」の割合が 18.4%、「いいえ」の割合が 79.5%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「はい」の割合が 12.3%、「いいえ」の割合が 83.6%、現在、何らかの介護を受けている方では、「はい」の割合が 15.4%、「いいえ」の割合が 76.9%となっています。



問 59 認知症に対する取組として必要だと思うことはありますか。(複数選択可)

取り組みとして必要なことでは、現在、何らかの介護を受けている方を除き、「相談機関の充実」の割合が最も高く、現在、何らかの介護を受けている方では、「認知症の方向けの介護等サービスの充実」の割合が最も高くなっています。

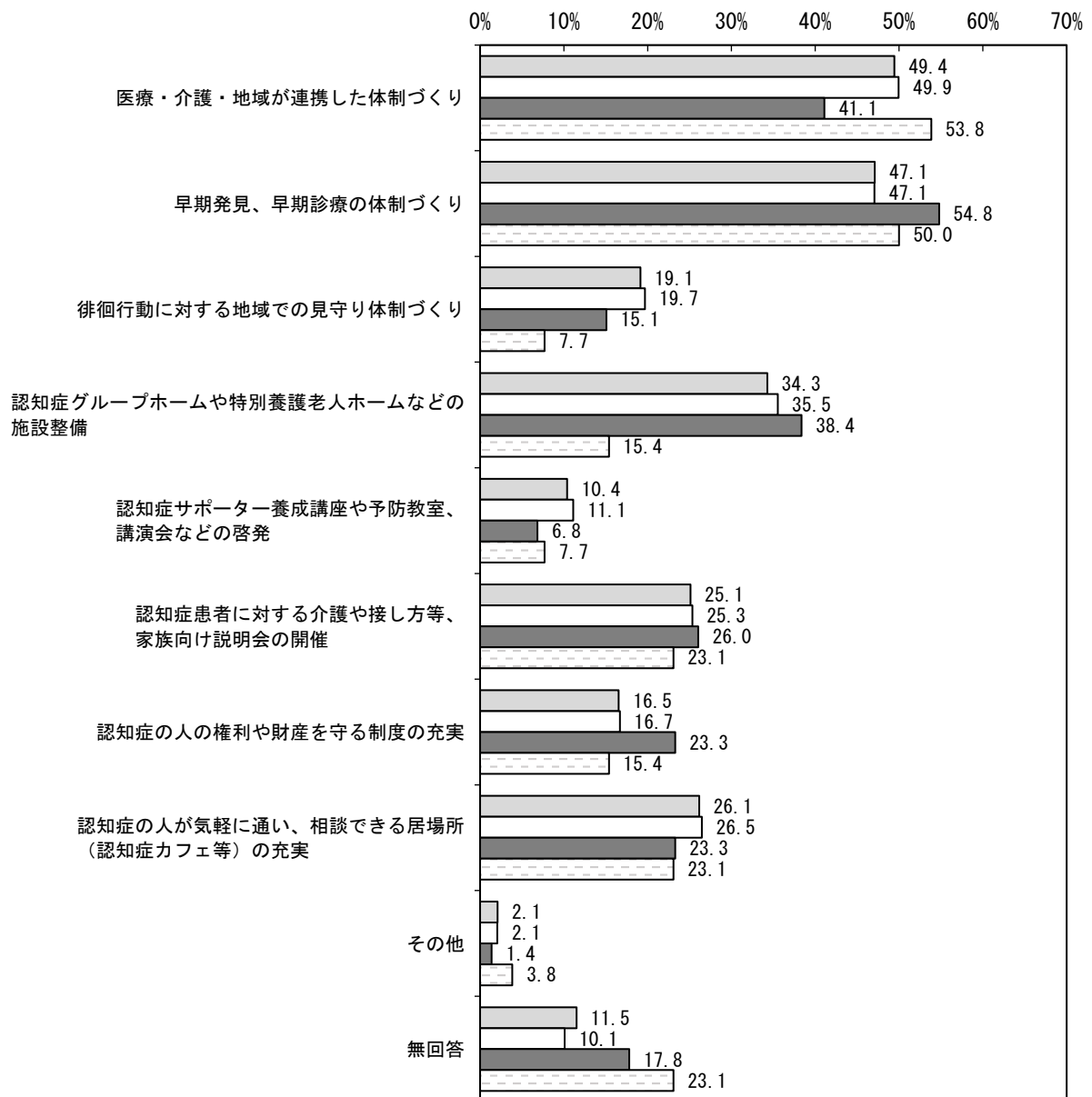
次いで現在、何らかの介護を受けている方を除き、「認知症の方向けの介護等サービスの充実」、現在、何らかの介護を受けている方では、「相談機関の充実」の割合が高くなっています。



- 全体 (n=1,155)
- 介護・介助必要なし (n=971)
- 介護必要 (受けていない) (n=73)
- 介護必要 (受けている) (n=26)

問 60 今後、認知症施策を進めて行くうえで、どのようなことに重点を置くべきだと思いますか。(複数選択可)

認知症施策を進めて行くうえで、重点を置くべきだと思うことでは、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方を除き、「医療・介護・地域が連携した体制づくり」の割合が最も高く、次いで「早期発見、早期診療の体制づくり」の割合が高くなっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「早期発見・早期診療の体制づくり」の割合が最も高く、次いで、「医療・介護・地域が連携した体制づくり」の割合が高くなっています。



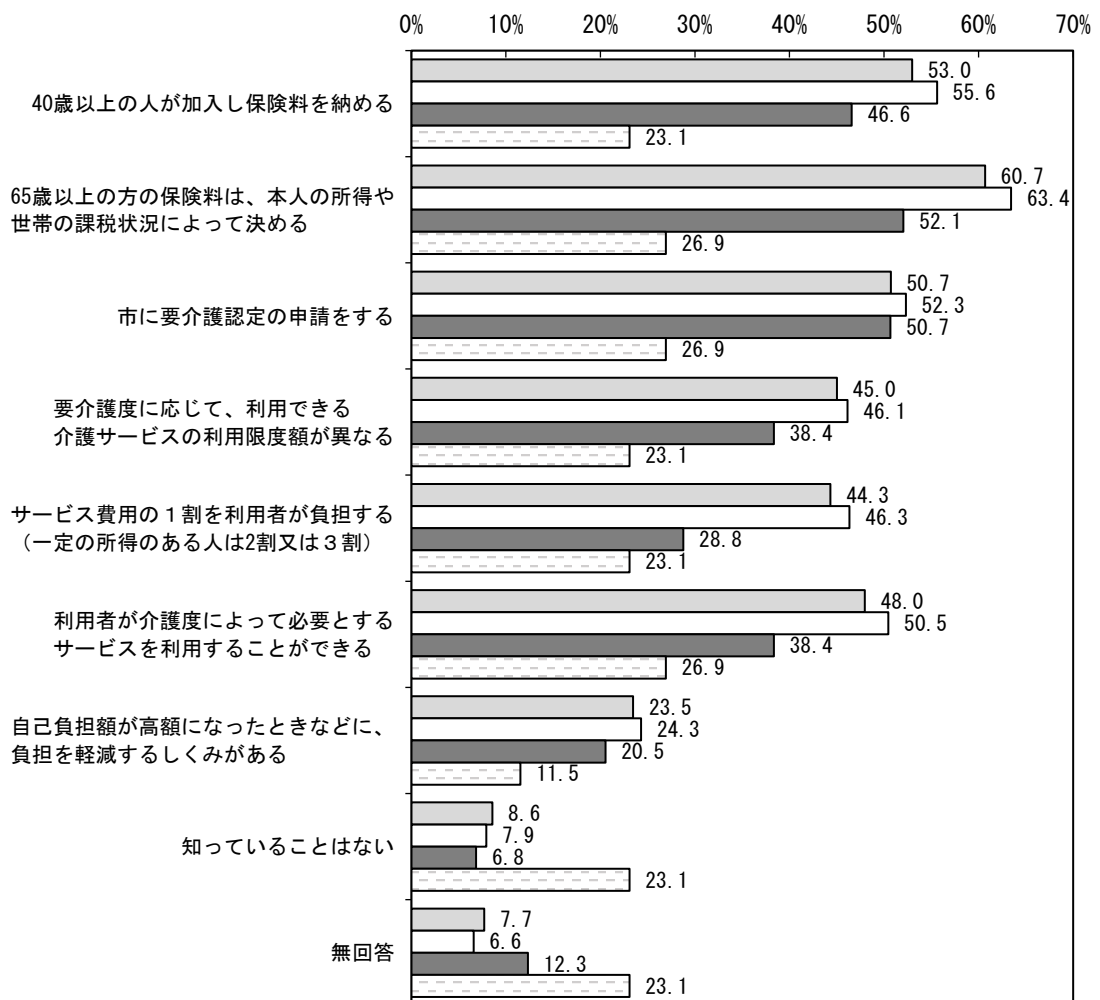
- 全体 (n=1,155)
- 介護・介助必要なし (n=971)
- 介護必要 (受けていない) (n=73)
- 介護必要 (受けている) (n=26)

10 介護保険制度について

問 61 介護保険制度について知っていること全てに○をつけてください。
(複数選択可)

介護保険制度について知っていることでは、全体、介護・介助の必要がない方及び何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「65歳以上の方の保険料は、本人の所得や世帯の課税状況によって決まる」の割合が、それぞれ60.7%、63.4%、52.1%と最も高く、次いで「40歳以上の方が加入し保険料を納める」の割合が、それぞれ53.0%、55.6%、46.6%となっています。

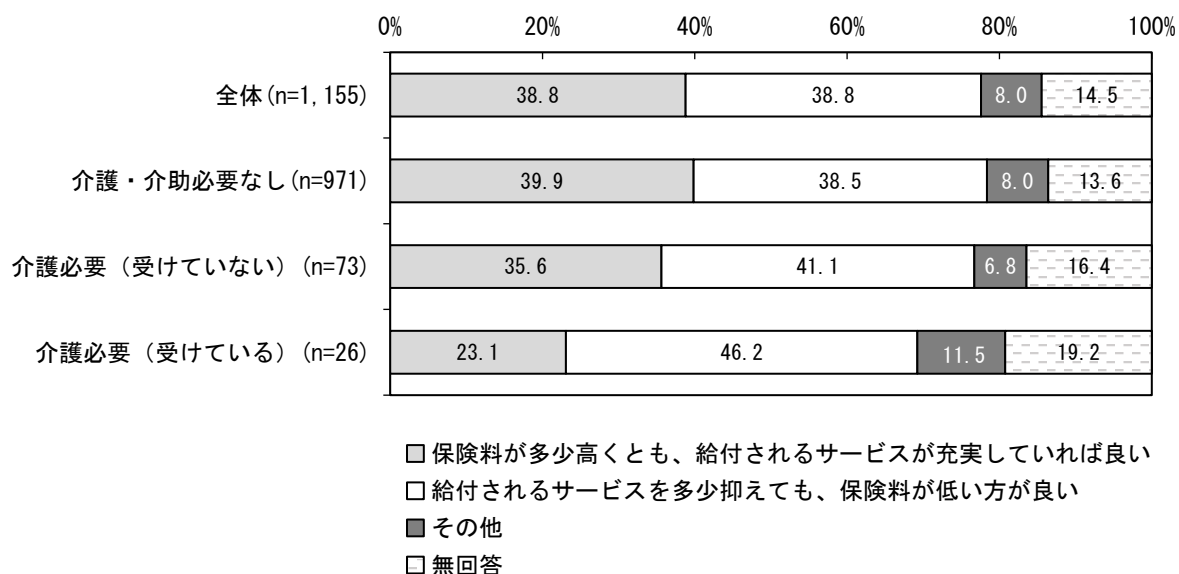
また、現在、何らかの介護を受けている方では、「65歳以上の方の保険料は、本人の所得や世帯の課税状況によって決める」、「市に要介護認定の申請をする」及び「利用者が介護度によって必要とするサービスを利用することができる」の割合がそれぞれ26.9%と最も高くなっています。



- 全体 (n=1,155)
- 介護・介助必要なし (n=971)
- 介護必要 (受けていない) (n=73)
- 介護必要 (受けている) (n=26)

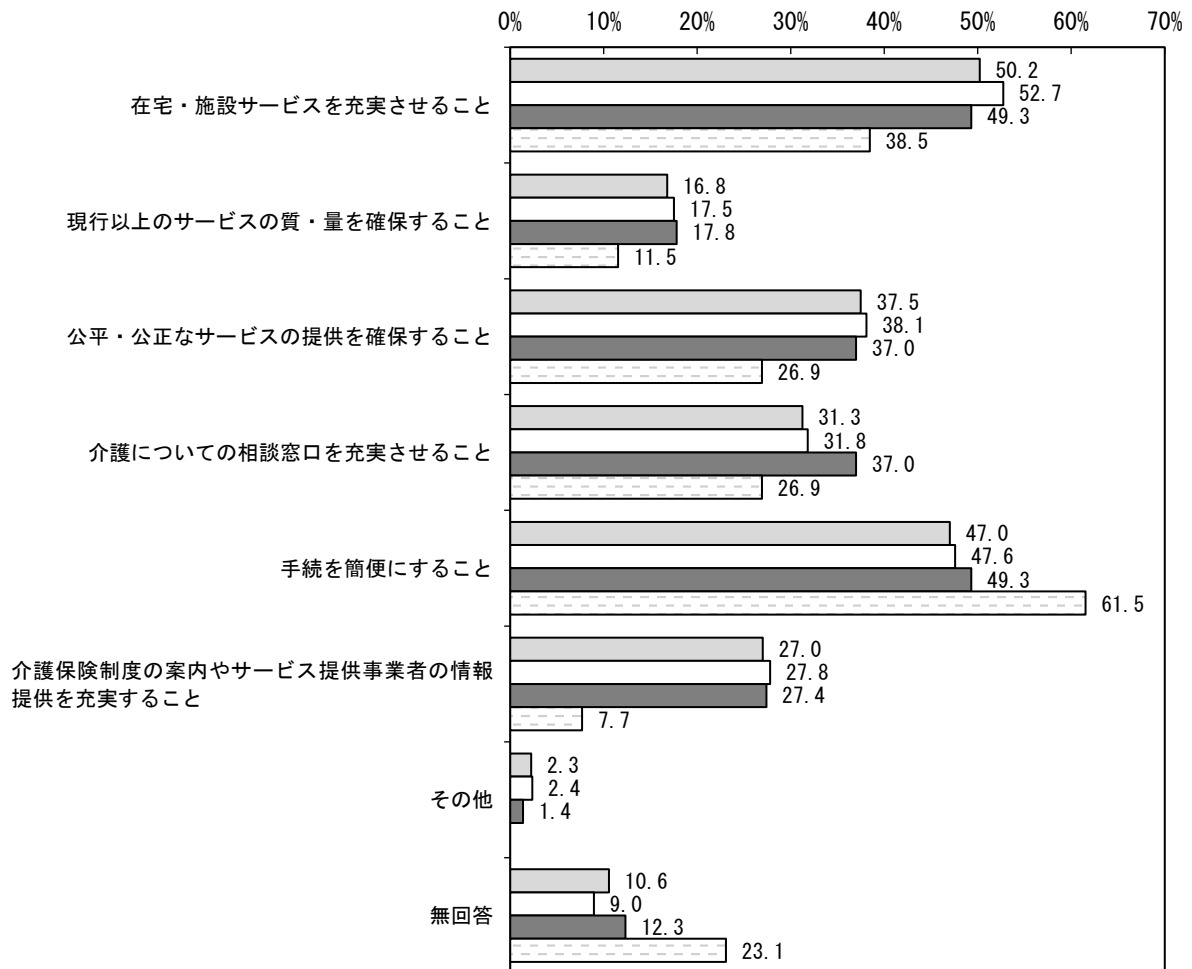
問 62 介護保険料と介護保険サービスのあり方について、あなたのご意見に最も近いものはどれですか。(1つを選択)

全体では、「保険料が多少高くとも、給付されるサービスが充実していれば良い」の割合が 38.8%、「給付されるサービスを多少抑えても、保険料が低い方が良い」の割合が 38.8%、介護・介助の必要がない方では、「保険料が多少高くとも、給付されるサービスが充実していれば良い」の割合が 39.9%、「給付されるサービスを多少抑えても、保険料が低い方が良い」の割合が 38.5%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「保険料が多少高くとも、給付されるサービスが充実していれば良い」の割合が 35.6%、「給付されるサービスを多少抑えても、保険料が低い方が良い」の割合が 41.1%、現在、何らかの介護を受けている方では、「保険料が多少高くとも、給付されるサービスが充実していれば良い」の割合が 23.1%、「給付されるサービスを多少抑えても、保険料が低い方が良い」の割合が 46.2%となっています。



問 63 介護保険制度について、市に期待することは何ですか。(複数選択可)

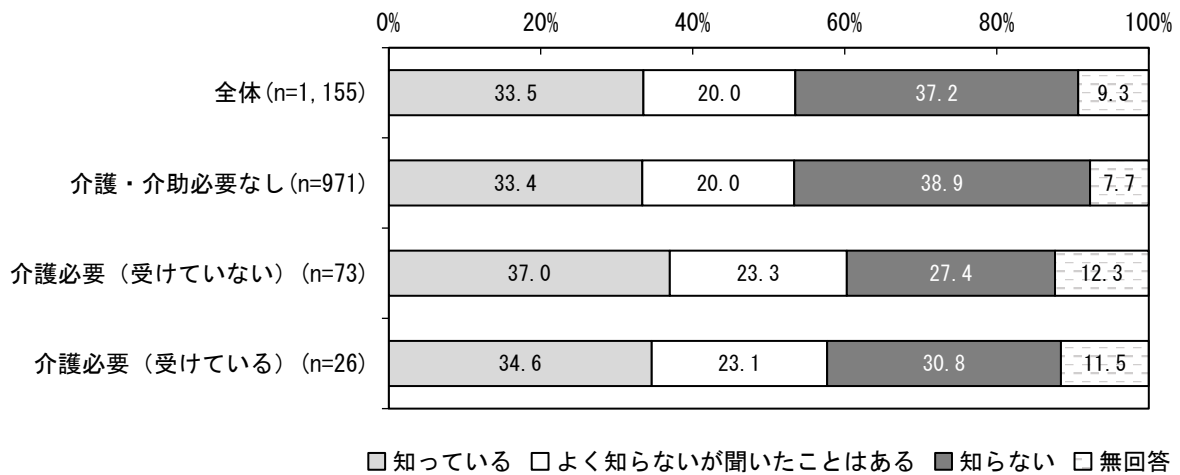
市に期待することについて、全体及び何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「在宅・施設サービスを充実させること」の割合が、それぞれ 50.2%、52.7%と最も高く、次いで、全体では「手続きを簡便にすること」の割合が、それぞれ 47.0%、47.6%と高くなっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「在宅・施設サービスを充実させること」及び「手続きを簡便にすること」の割合がそれぞれ 49.3%と、同率で最も高くなっています。現在、何らかの介護を受けている方では、「手続きを簡便にすること」の割合が 61.5%と最も高く、次いで「在宅・施設サービスを充実させること」の割合が 38.5%と高くなっています。



- 全体 (n=1,155)
- 介護・介助必要なし (n=971)
- 介護必要 (受けていない) (n=73)
- 介護必要 (受けている) (n=26)

問 64 市内に4か所ある地域包括支援センターを知っていますか。(1つを選択)

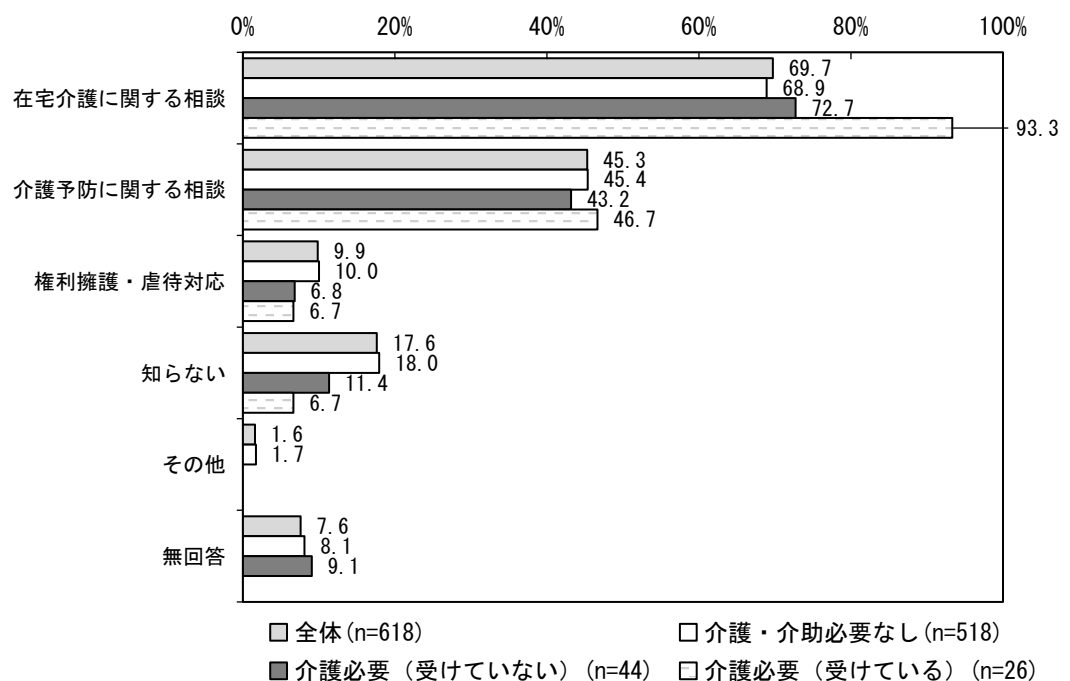
市内に4か所ある地域包括支援センターについて、「知っている」の割合は、全体で33.5%、介護・介助の必要がない方で33.4%、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方で37.0%、現在、何らかの介護を受けている方で34.6%となっています。



問 64 で「1. 知っている」「2. よく知らないが聞いたことはある」と回答した方にお伺いします。

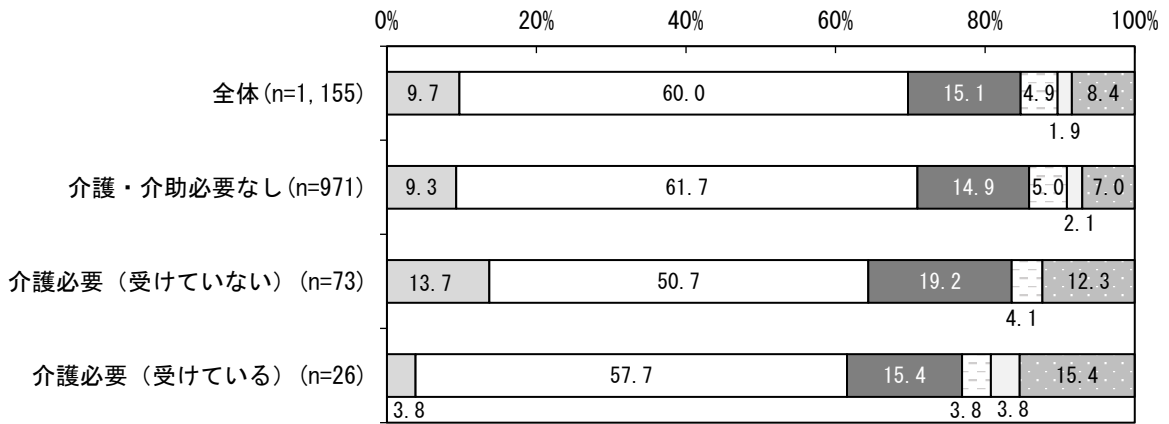
問 64-1 地域包括支援センターが行っている次の活動のうち、あなたが知っていること全てに○をつけてください。(複数選択可)

全ての分類において、「在宅介護に関する相談」の割合が最も高くなっており、次いで「介護予防に関する相談」の順となっています。



問 65 あなたは、もし介護が必要になった場合、どのような暮らし方を希望しますか。(1つを選択)

介護が必要になった場合の暮らし方について、『自宅で暮らしたい』(「介護保険サービスを利用せず、主に家族の介護を受けながら自宅で暮らしたい」と「介護保険サービスを利用して自宅で暮らしたい」とを合わせた割合)は、全体で69.7%、介護・介助の必要がない方で71.0%、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方で64.4%、現在、何らかの介護を受けている方で61.5%となっています。



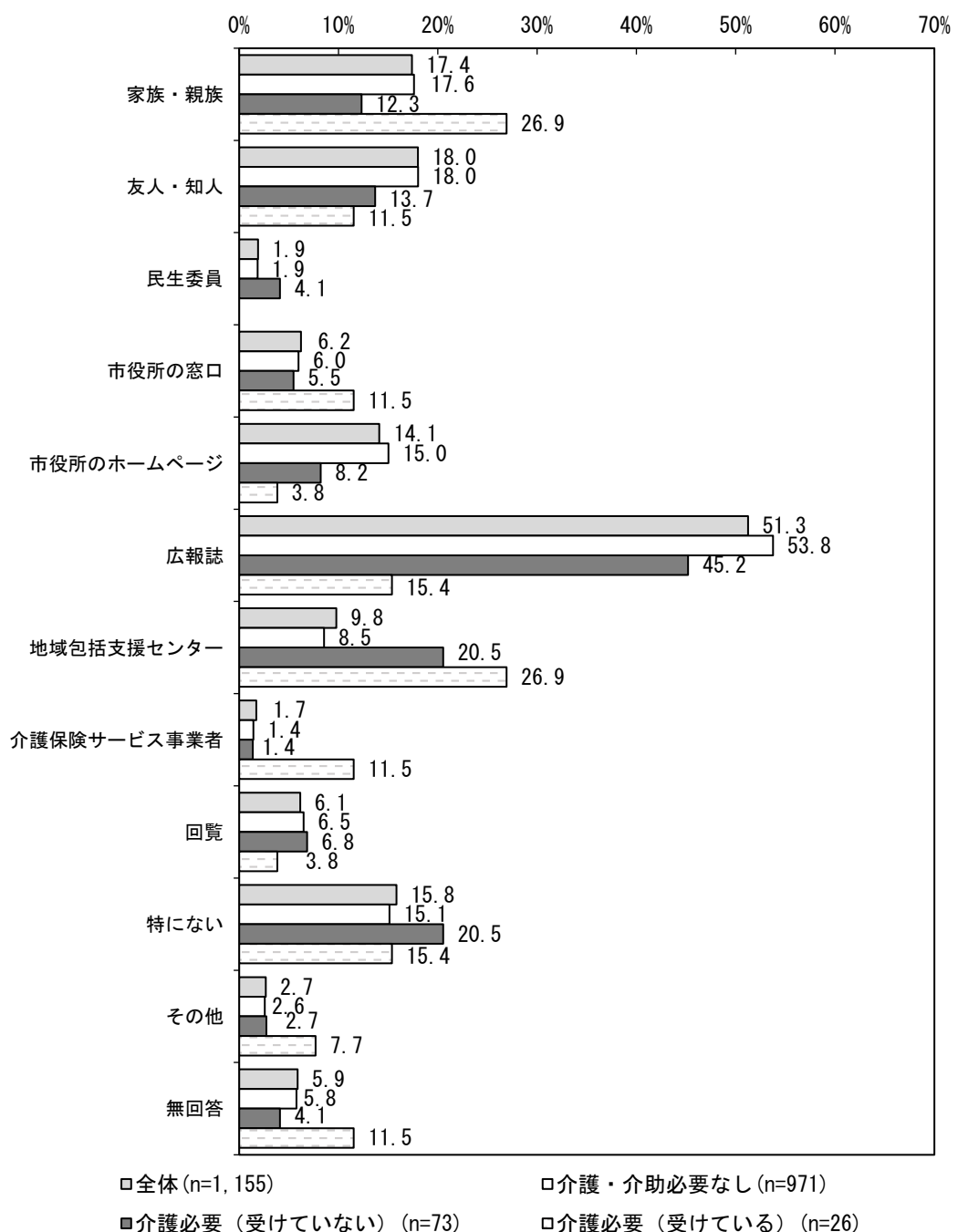
- 介護保険サービスを利用せず、主に家族の介護を受けながら自宅で暮らしたい (※)
- 介護保険サービスを利用して自宅で暮らしたい
- 特別養護老人ホームやグループホームなど施設に入所したい
- 有料老人ホームなどで暮らしたい
- その他
- 無回答

(※) 介護保険サービス (デイサービス、ショートステイ等) を利用せず、主に家族の介護を受けながら自宅で暮らしたい

11 普段の暮らしや高齢者福祉サービスについて

問 66 市の保健・福祉・介護保険サービスに関する情報は、主にどこから得ていますか。（複数選択可）

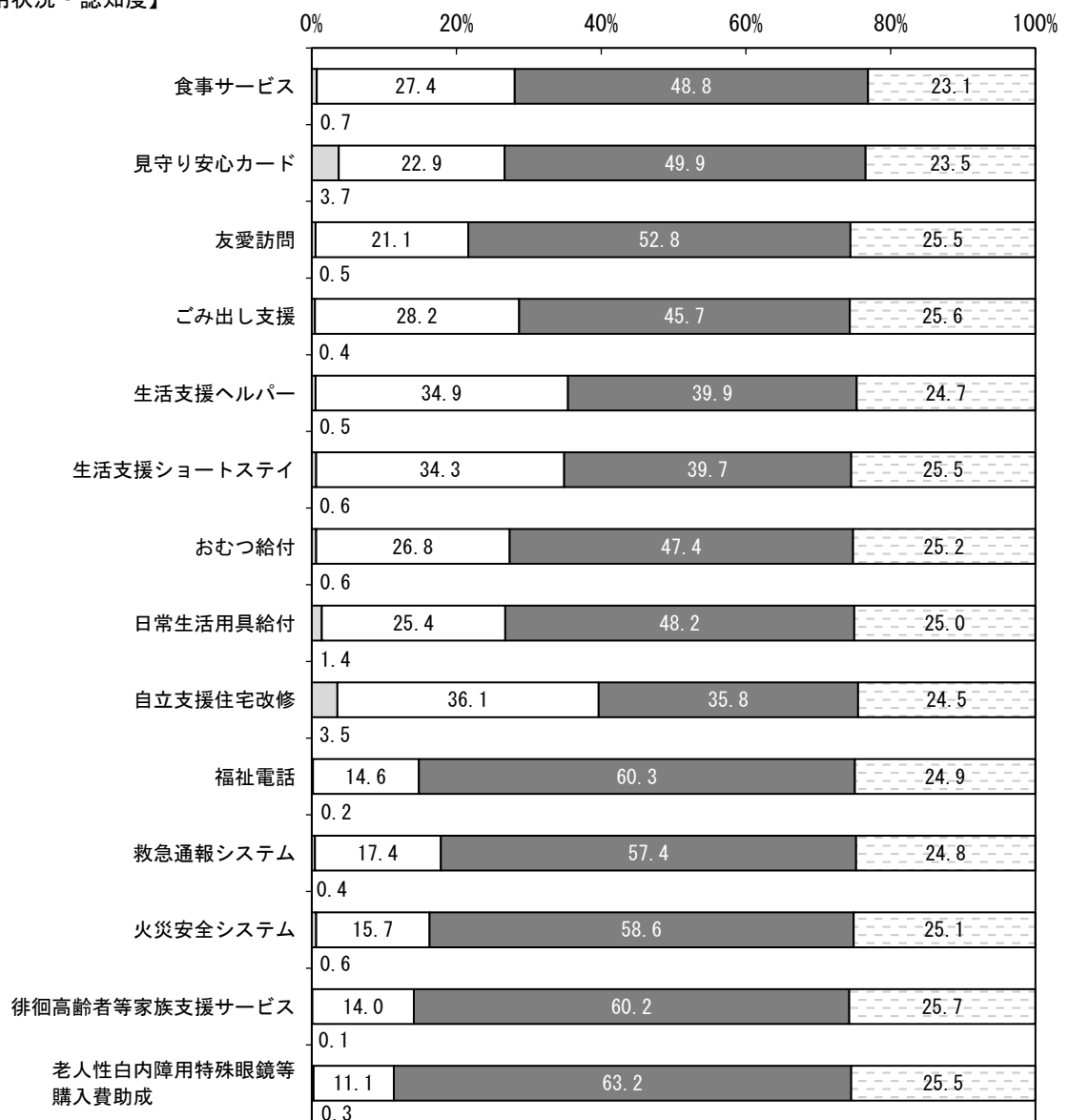
全体、介護・介助の必要がない方及び何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「広報誌」の割合が、それぞれ 51.3%、53.8%及び 45.2%と最も高く、次いで、全体及び介護・介助の必要がない方では、「友人・知人」の割合が、ともに 18.0%、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「地域包括支援センター」の割合が 20.5%となっています。現在、何らかの介護を受けている方では、「地域包括支援センター」の割合が 26.9%と最も高く、次いで「広報誌」の割合が 15.4%となっています。



問 67 市が実施している以下の高齢者福祉サービスを利用したことがありますか。また、今後利用したいと思いますか。(①～⑭について、利用状況や認知度、今後の利用希望それぞれ1つに○) ※各サービスを受けるには一定の要件があります。

利用状況では、「見守り安心カード」の割合が3.7%と最も高く、次いで「自立支援住宅改修」の割合が3.5%となっています。『認知度』（「利用したことがある」と「知っているが利用したことはない」とを合わせた割合）では、「自立支援住宅改修」の割合が39.6%と最も高く、次いで「自立支援住宅改修」、「生活支援ショートステイ」の割合が高くなっており、「老人性白内障用特殊眼鏡等購入費助成」、「福祉電話」、「救急通報システム」などの認知度が低くなっています。

【利用状況・認知度】

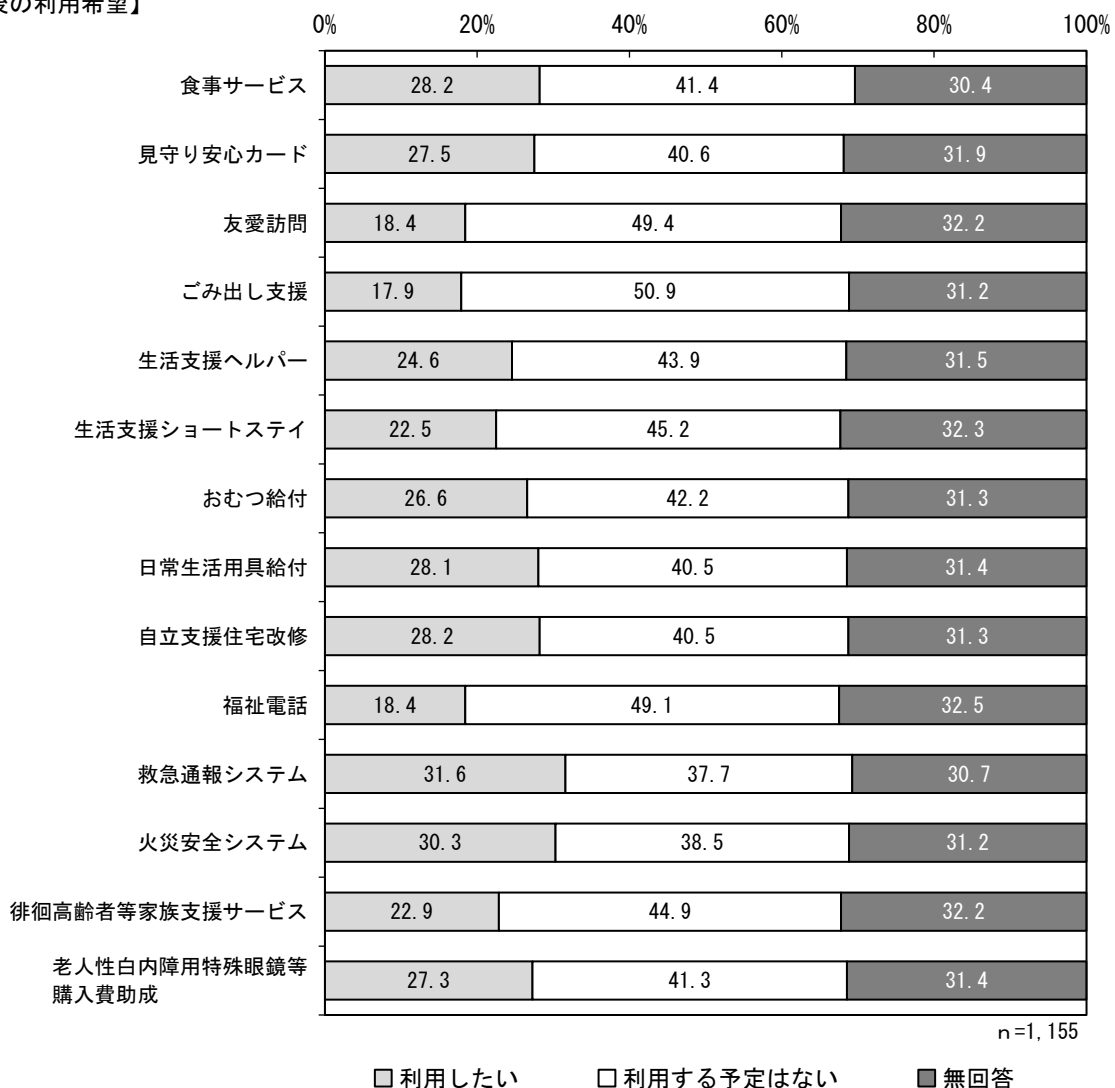


n=1,155

□ 利用したことがある □ 知っているが利用したことはない ■ 知らない □ 無回答

今後の利用希望では、「救急通報システム」の割合が31.6%と最も高く、次いで「火災安全システム」、「食事サービス」、「自立支援住宅改修」などの割合が高くなっています。一方、利用予定のないサービスでは、「ごみ出し支援」の割合が50.9%と最も高く、次いで「友愛訪問」、「福祉電話」、「生活支援ショートステイ」などの割合が高くなっています。

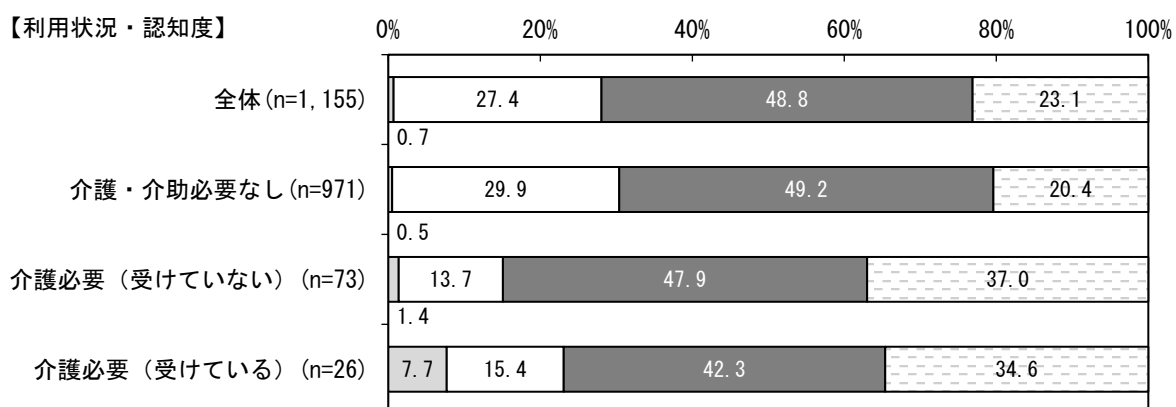
【今後の利用希望】



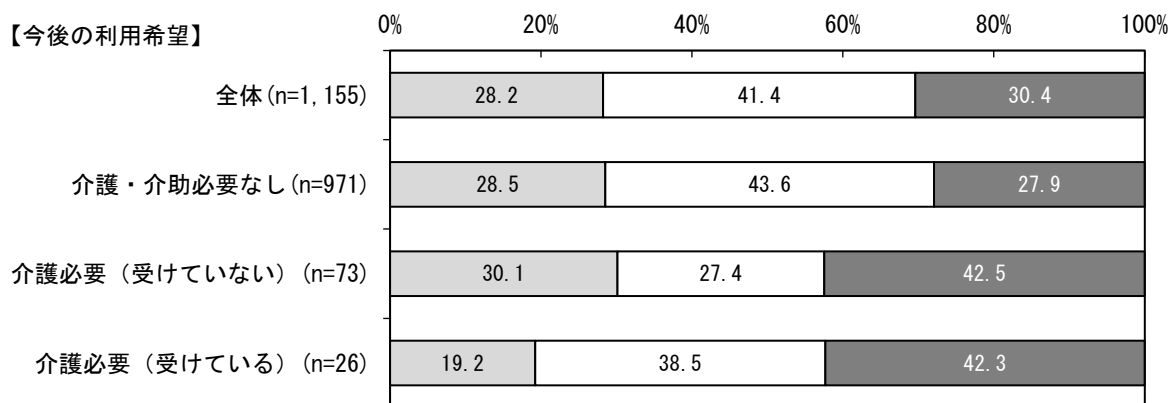
「食事サービス」の利用状況・認知度、今後の利用希望

利用状況・認知度について、全体では、「利用したことがある」の割合が0.7%、「知っているが利用したことはない」の割合が27.4%、「知らない」の割合が48.8%、介護・介助の必要がない方では、「利用したことがある」の割合が0.5%、「知っているが利用したことはない」の割合が29.9%、「知らない」の割合が49.2%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「利用したことがある」の割合が1.4%、「知っているが利用したことはない」の割合が13.7%、「知らない」の割合が47.9%、現在、何らかの介護を受けている方では、「利用したことがある」の割合が7.7%、「知っているが利用したことはない」の割合が15.4%、「知らない」の割合が42.3%となっています。

今後の利用希望について、全体では、「利用したい」の割合が28.2%、「利用する予定はない」の割合が41.4%、介護・介助の必要がない方では、「利用したい」の割合が28.5%、「利用する予定はない」の割合が43.6%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「利用したい」の割合が30.1%、「利用する予定はない」の割合が27.4%、現在、何らかの介護を受けている方では、「利用したい」の割合が19.2%、「利用する予定はない」の割合が38.5%となっています。



□ 利用したことがある □ 知っているが利用したことはない ■ 知らない □ 無回答

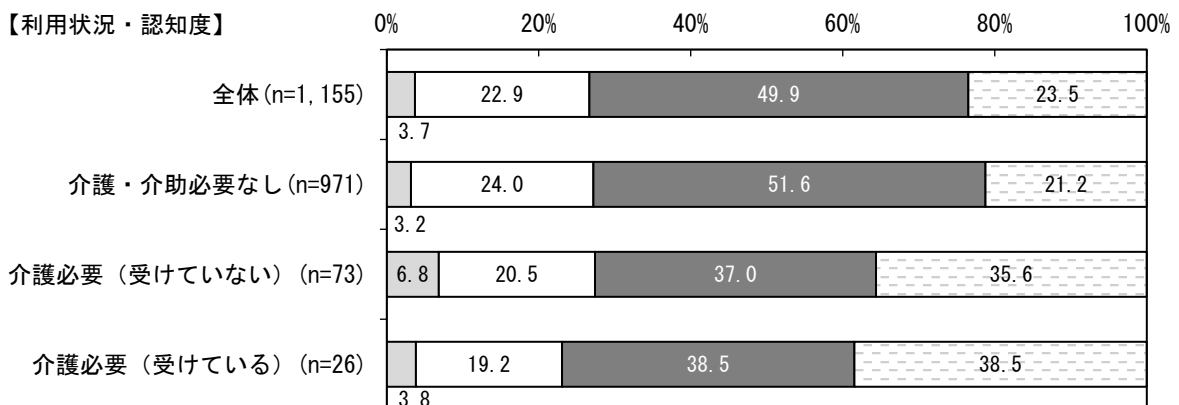


□ 利用したい □ 利用する予定はない ■ 無回答

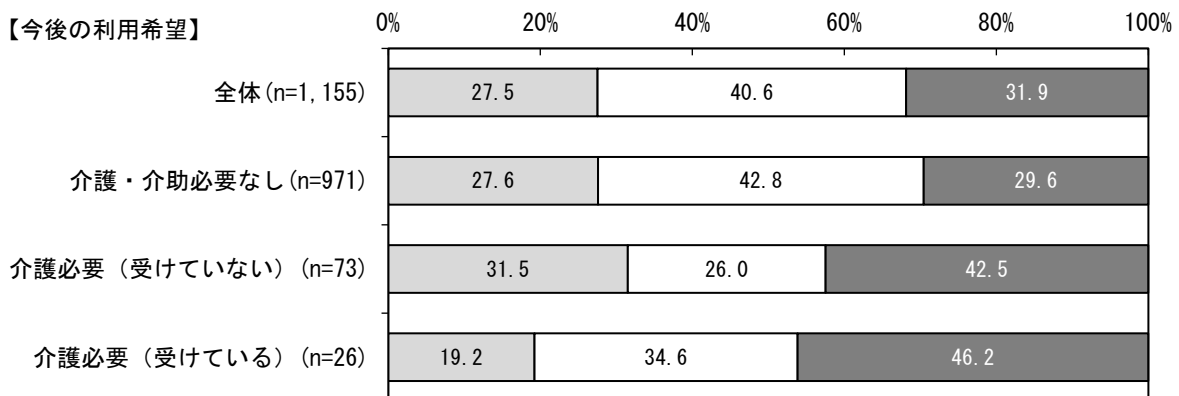
「見守り安心カード」の利用状況・認知度、今後の利用希望

利用状況・認知度について、全体では、「利用したことがある」の割合が3.7%、「知っているが利用したことはない」の割合が22.9%、「知らない」の割合が49.9%、介護・介助の必要がない方では、「利用したことがある」の割合が3.2%、「知っているが利用したことはない」の割合が24.0%、「知らない」の割合が51.6%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「利用したことがある」の割合が6.8%、「知っているが利用したことはない」の割合が20.5%、「知らない」の割合が37.0%、現在、何らかの介護を受けている方では、「利用したことがある」の割合が3.8%、「知っているが利用したことはない」の割合が19.2%、「知らない」の割合が38.5%となっています。

今後の利用希望について、全体では、「利用したい」の割合が27.5%、「利用する予定はない」の割合が40.6%、介護・介助の必要がない方では、「利用したい」の割合が27.6%、「利用する予定はない」の割合が42.8%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「利用したい」の割合が31.5%、「利用する予定はない」の割合が26.0%、現在、何らかの介護を受けている方では、「利用したい」の割合が19.2%、「利用する予定はない」の割合が34.6%となっています。



□ 利用したことがある □ 知っているが利用したことはない ■ 知らない □ 無回答

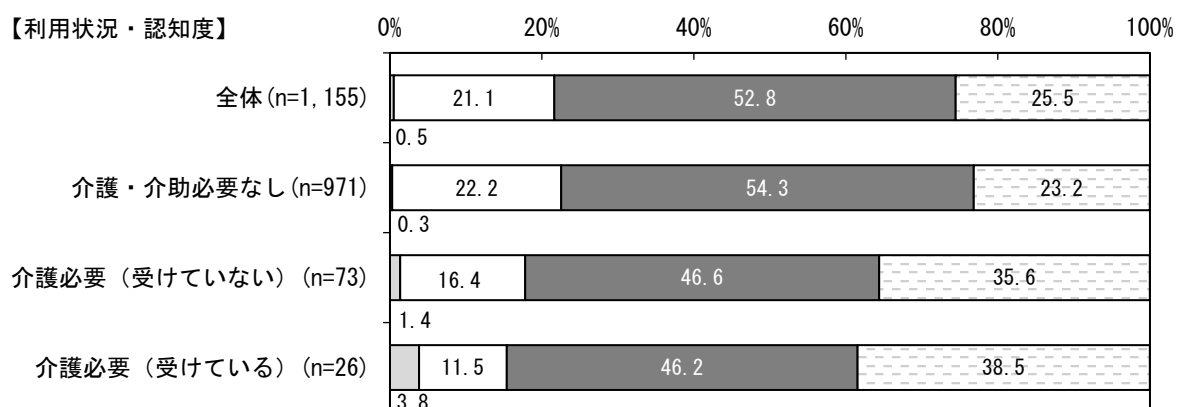


□ 利用したい □ 利用する予定はない ■ 無回答

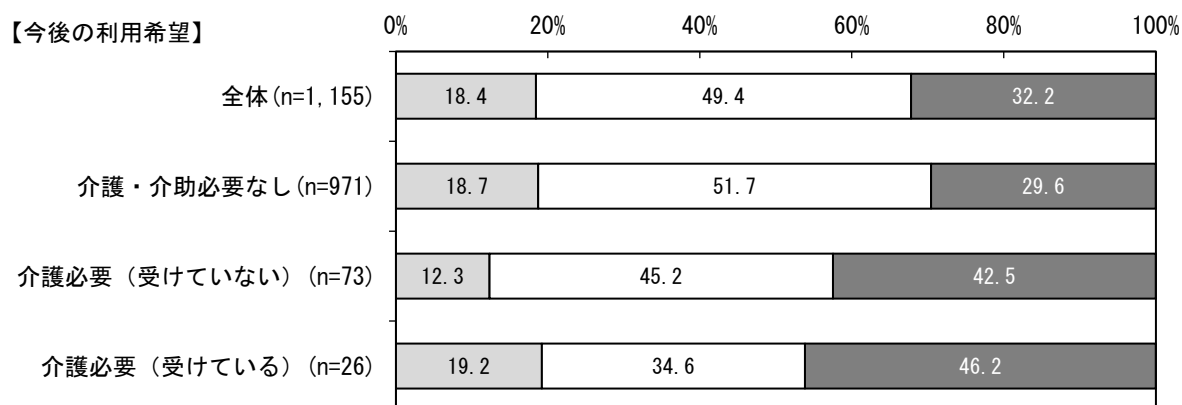
「友愛訪問」の利用状況・認知度、今後の利用希望

利用状況・認知度について、全体では、「利用したことがある」の割合が0.5%、「知っているが利用したことはない」の割合が21.1%、「知らない」の割合が52.8%、介護・介助の必要がない方では、「利用したことがある」の割合が0.3%、「知っているが利用したことはない」の割合が22.2%、「知らない」の割合が54.3%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「利用したことがある」の割合が1.4%、「知っているが利用したことはない」の割合が16.4%、「知らない」の割合が46.6%、現在、何らかの介護を受けている方では、「利用したことがある」の割合が3.8%、「知っているが利用したことはない」の割合が11.5%、「知らない」の割合が46.2%となっています。

今後の利用希望について、全体では、「利用したい」の割合が18.4%、「利用する予定はない」の割合が49.4%、介護・介助の必要がない方では、「利用したい」の割合が18.7%、「利用する予定はない」の割合が51.7%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「利用したい」の割合が12.3%、「利用する予定はない」の割合が45.2%、現在、何らかの介護を受けている方では、「利用したい」の割合が19.2%、「利用する予定はない」の割合が34.6%となっています。



□ 利用したことがある □ 知っているが利用したことはない ■ 知らない □ 無回答

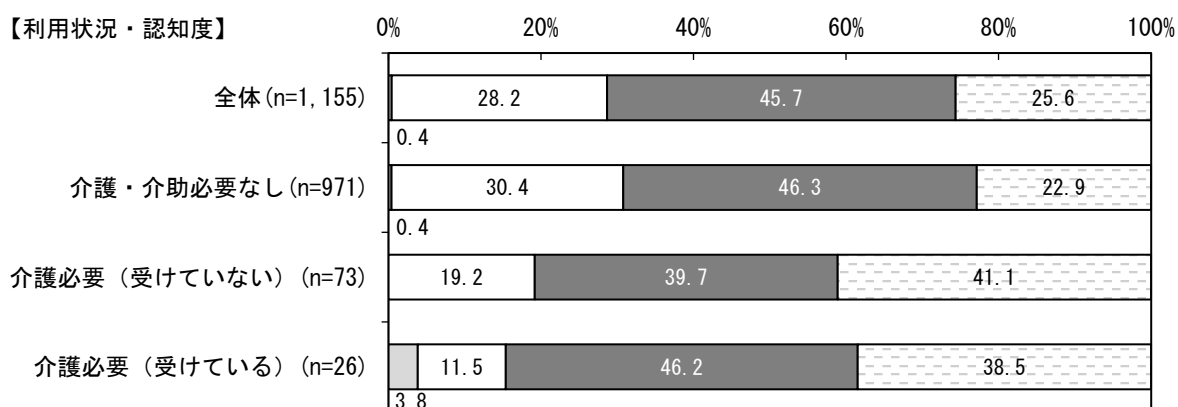


□ 利用したい □ 利用する予定はない ■ 無回答

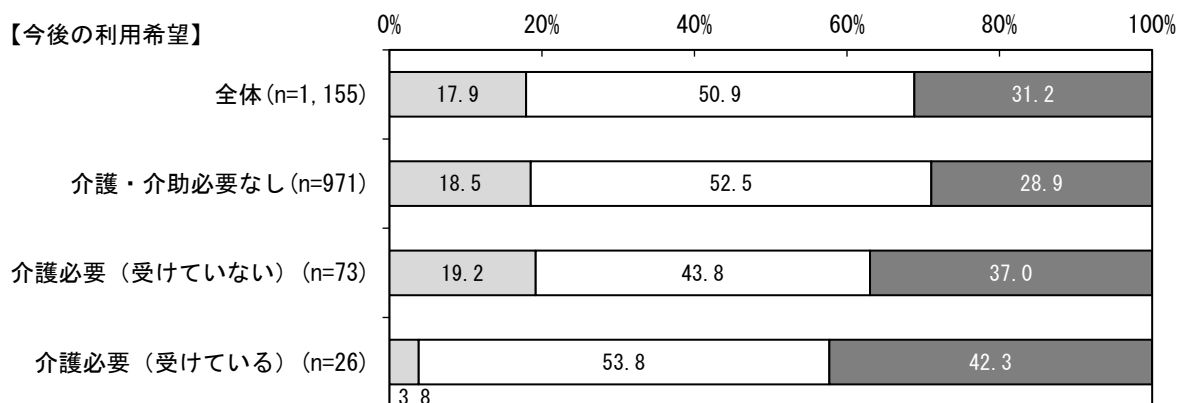
「ごみ出し支援」の利用状況・認知度、今後の利用希望

利用状況・認知度について、全体では、「利用したことがある」の割合が0.4%、「知っているが利用したことはない」の割合が28.2%、「知らない」の割合が45.7%、介護・介助の必要がない方では、「利用したことがある」の割合が0.4%、「知っているが利用したことはない」の割合が30.4%、「知らない」の割合が46.3%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「利用したことがある」人はなく、「知っているが利用したことはない」の割合が19.2%、「知らない」の割合が39.7%、現在、何らかの介護を受けている方では、「利用したことがある」の割合が3.8%、「知っているが利用したことはない」の割合が11.5%、「知らない」の割合が46.2%となっています。

今後の利用希望について、全体では、「利用したい」の割合が17.9%、「利用する予定はない」の割合が50.9%、介護・介助の必要がない方では、「利用したい」の割合が18.5%、「利用する予定はない」の割合が52.5%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「利用したい」の割合が19.2%、「利用する予定はない」の割合が43.8%、現在、何らかの介護を受けている方では、「利用したい」の割合が3.8%、「利用する予定はない」の割合が53.8%となっています。



□ 利用したことがある □ 知っているが利用したことはない ■ 知らない □ 無回答

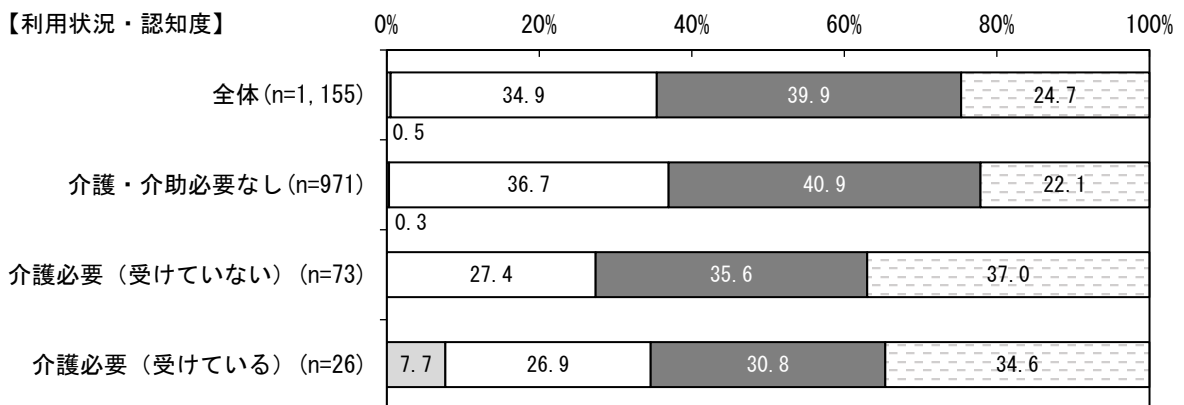


□ 利用したい □ 利用する予定はない ■ 無回答

「生活支援ヘルパー」の利用状況・認知度、今後の利用希望

利用状況・認知度について、全体では、「利用したことがある」の割合が0.5%、「知っているが利用したことはない」の割合が34.9%、「知らない」の割合が39.9%、介護・介助の必要がない方では、「利用したことがある」の割合が0.3%、「知っているが利用したことはない」の割合が36.7%、「知らない」の割合が40.9%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「利用したことがある」人はなく、「知っているが利用したことはない」の割合が27.4%、「知らない」の割合が35.6%、現在、何らかの介護を受けている方では、「利用したことがある」の割合が7.7%、「知っているが利用したことはない」の割合が26.9%、「知らない」の割合が30.8%となっています。

今後の利用希望について、全体では、「利用したい」の割合が24.6%、「利用する予定はない」の割合が43.9%、介護・介助の必要がない方では、「利用したい」の割合が25.2%、「利用する予定はない」の割合が45.7%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「利用したい」の割合が23.3%、「利用する予定はない」の割合が32.9%、現在、何らかの介護を受けている方では、「利用したい」の割合が19.2%、「利用する予定はない」の割合が38.5%となっています。



□ 利用したことがある □ 知っているが利用したことはない ■ 知らない □ 無回答

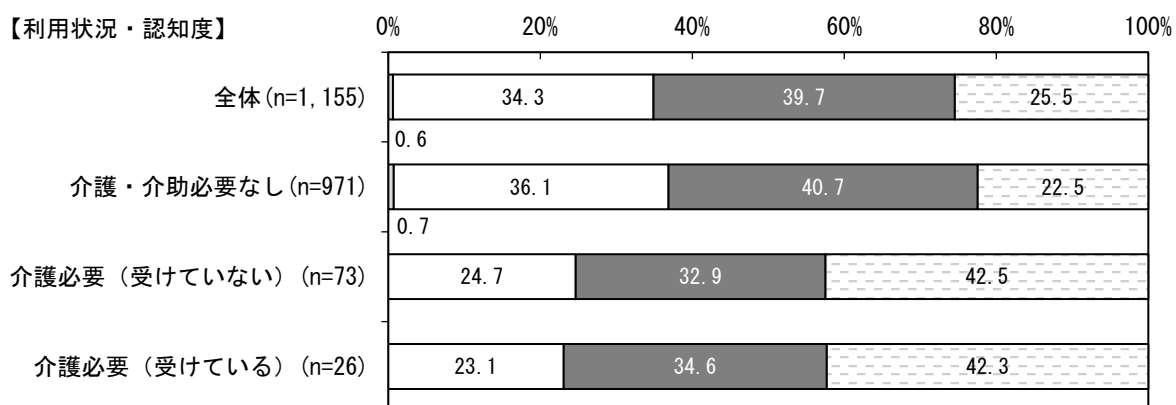


□ 利用したい □ 利用する予定はない ■ 無回答

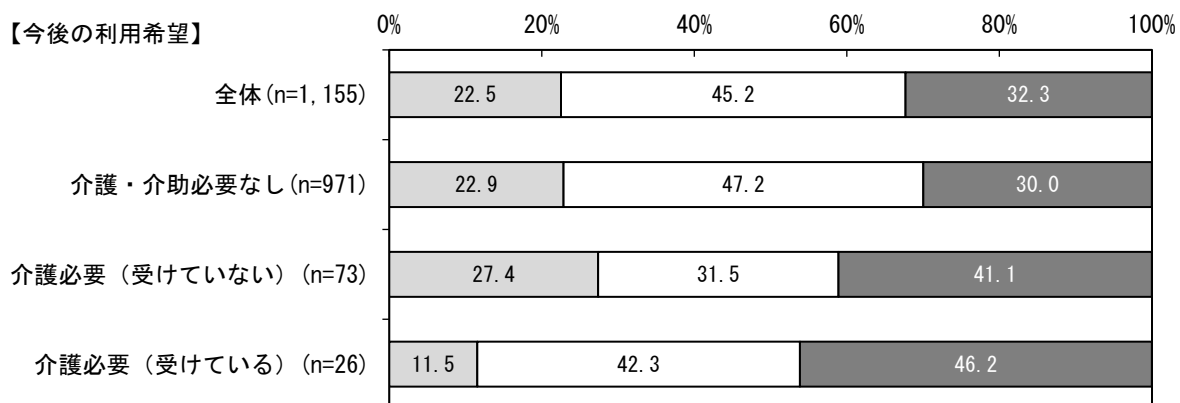
「生活支援ショートステイ」の利用状況・認知度、今後の利用希望

利用状況・認知度について、全体では、「利用したことがある」の割合が0.6%、「知っているが利用したことはない」の割合が34.3%、「知らない」の割合が39.7%、介護・介助の必要がない方では、「利用したことがある」の割合が0.7%、「知っているが利用したことはない」の割合が36.1%、「知らない」の割合が40.7%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「利用したことがある」人はなく、「知っているが利用したことはない」の割合が24.7%、「知らない」の割合が32.9%、現在、何らかの介護を受けている方では、「利用したことがある」人はなく、「知っているが利用したことはない」の割合が23.1%、「知らない」の割合が34.6%となっています。

今後の利用希望について、全体では、「利用したい」の割合が22.5%、「利用する予定はない」の割合が45.2%、介護・介助の必要がない方では、「利用したい」の割合が22.9%、「利用する予定はない」の割合が47.2%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「利用したい」の割合が27.4%、「利用する予定はない」の割合が31.5%、現在、何らかの介護を受けている方では、「利用したい」の割合が11.5%、「利用する予定はない」の割合が42.3%となっています。



□ 利用したことがある □ 知っているが利用したことはない ■ 知らない □ 無回答

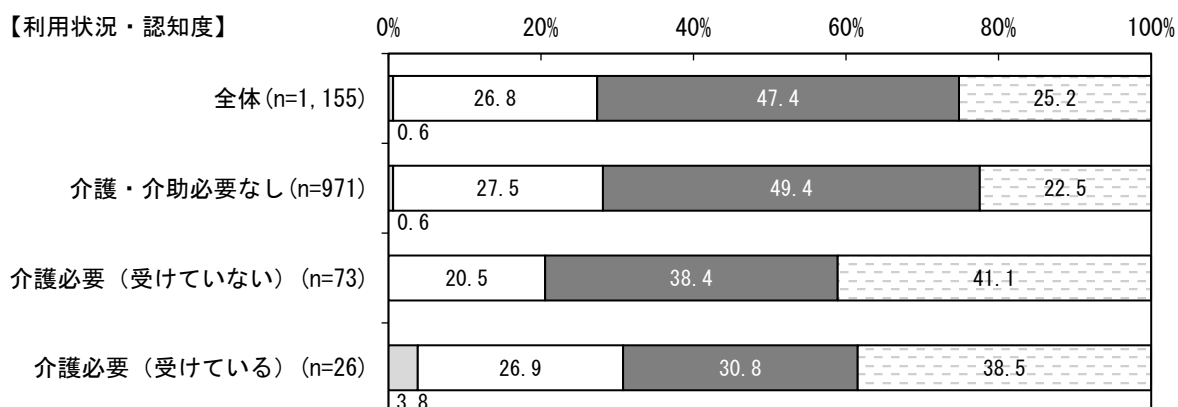


□ 利用したい □ 利用する予定はない ■ 無回答

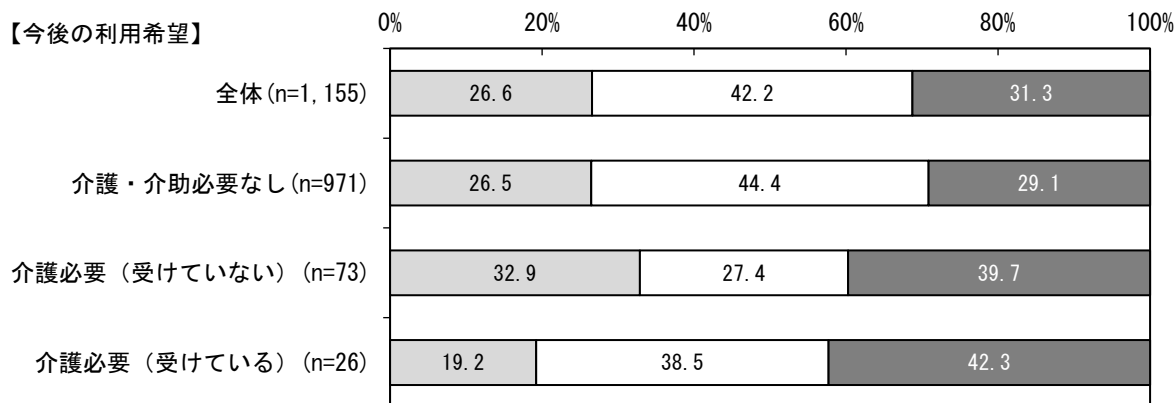
「おむつ給付」の利用状況・認知度、今後の利用希望

利用状況・認知度について、全体では、「利用したことがある」の割合が0.6%、「知っているが利用したことはない」の割合が26.8%、「知らない」の割合が47.4%、介護・介助の必要がない方では、「利用したことがある」の割合が0.6%、「知っているが利用したことはない」の割合が27.5%、「知らない」の割合が49.4%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「利用したことがある」人はなく、「知っているが利用したことはない」の割合が20.5%、「知らない」の割合が38.4%、現在、何らかの介護を受けている方では、「利用したことがある」の割合が3.8%、「知っているが利用したことはない」の割合が26.9%、「知らない」の割合が30.8%となっています。

今後の利用希望について、全体では、「利用したい」の割合が26.6%、「利用する予定はない」の割合が42.2%、介護・介助の必要がない方では、「利用したい」の割合が26.5%、「利用する予定はない」の割合が44.4%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「利用したい」の割合が32.9%、「利用する予定はない」の割合が27.4%、現在、何らかの介護を受けている方では、「利用したい」の割合が19.2%、「利用する予定はない」の割合が38.5%となっています。



□ 利用したことがある □ 知っているが利用したことはない ■ 知らない □ 無回答

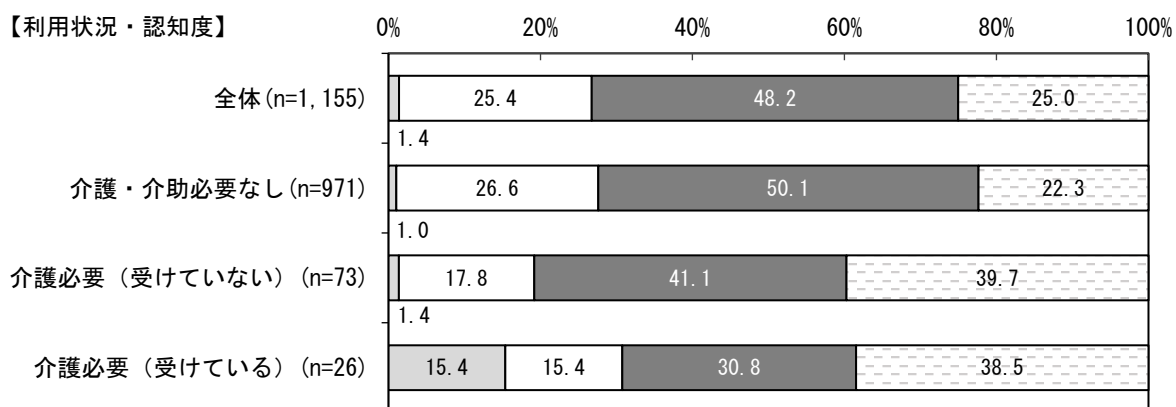


□ 利用したい □ 利用する予定はない ■ 無回答

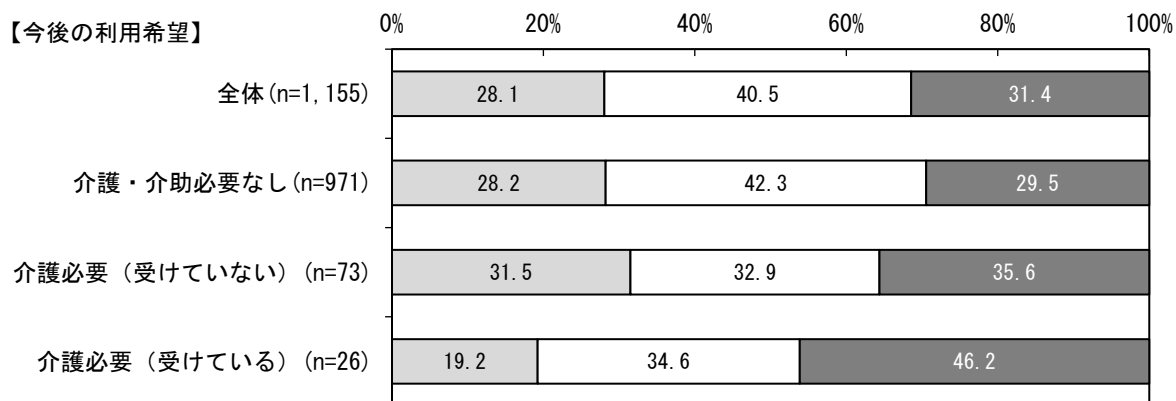
「日常生活用具給付」の利用状況・認知度、今後の利用希望

利用状況・認知度について、全体では、「利用したことがある」の割合が 1.4%、「知っているが利用したことはない」の割合が 25.4%、「知らない」の割合が 48.2%、介護・介助の必要がない方では、「利用したことがある」の割合が 1.0%、「知っているが利用したことはない」の割合が 26.6%、「知らない」の割合が 50.1%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「利用したことがある」の割合が 1.4%、「知っているが利用したことはない」の割合が 17.8%、「知らない」の割合が 41.1%、現在、何らかの介護を受けている方では、「利用したことがある」の割合が 15.4%、「知っているが利用したことはない」の割合が 15.4%、「知らない」の割合が 30.8%となっています。

今後の利用希望について、全体では、「利用したい」の割合が 28.1%、「利用する予定はない」の割合が 40.5%、介護・介助の必要がない方では、「利用したい」の割合が 28.2%、「利用する予定はない」の割合が 42.3%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「利用したい」の割合が 31.5%、「利用する予定はない」の割合が 32.9%、現在、何らかの介護を受けている方では、「利用したい」の割合が 19.2%、「利用する予定はない」の割合が 34.6%となっています。



□ 利用したことがある □ 知っているが利用したことはない ■ 知らない □ 無回答

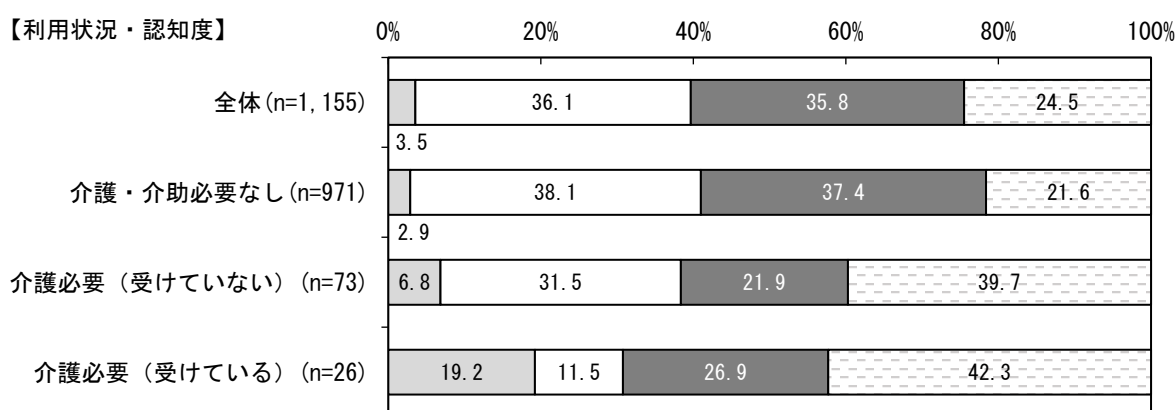


□ 利用したい □ 利用する予定はない ■ 無回答

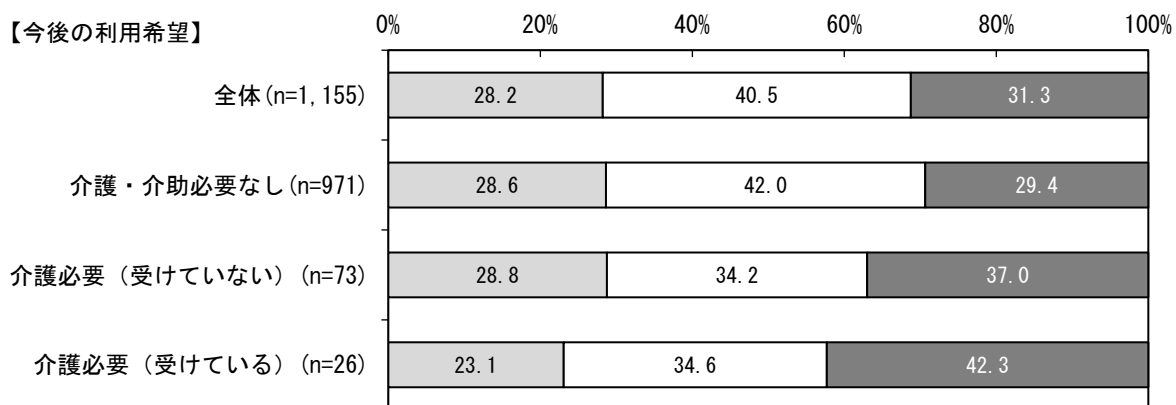
「自立支援住宅改修」の利用状況・認知度、今後の利用希望

利用状況・認知度について、全体では、「利用したことがある」の割合が3.5%、「知っているが利用したことはない」の割合が36.1%、「知らない」の割合が35.8%、介護・介助の必要がない方では、「利用したことがある」の割合が2.9%、「知っているが利用したことはない」の割合が38.1%、「知らない」の割合が37.4%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「利用したことがある」の割合が6.8%、「知っているが利用したことはない」の割合が31.5%、「知らない」の割合が21.9%、現在、何らかの介護を受けている方では、「利用したことがある」の割合が19.2%、「知っているが利用したことはない」の割合が11.5%、「知らない」の割合が26.9%となっています。

今後の利用希望について、全体では、「利用したい」の割合が28.2%、「利用する予定はない」の割合が40.5%、介護・介助の必要がない方では、「利用したい」の割合が28.6%、「利用する予定はない」の割合が42.0%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「利用したい」の割合が28.8%、「利用する予定はない」の割合が34.2%、現在、何らかの介護を受けている方では、「利用したい」の割合が23.1%、「利用する予定はない」の割合が34.6%となっています。



□ 利用したことがある □ 知っているが利用したことはない ■ 知らない □ 無回答

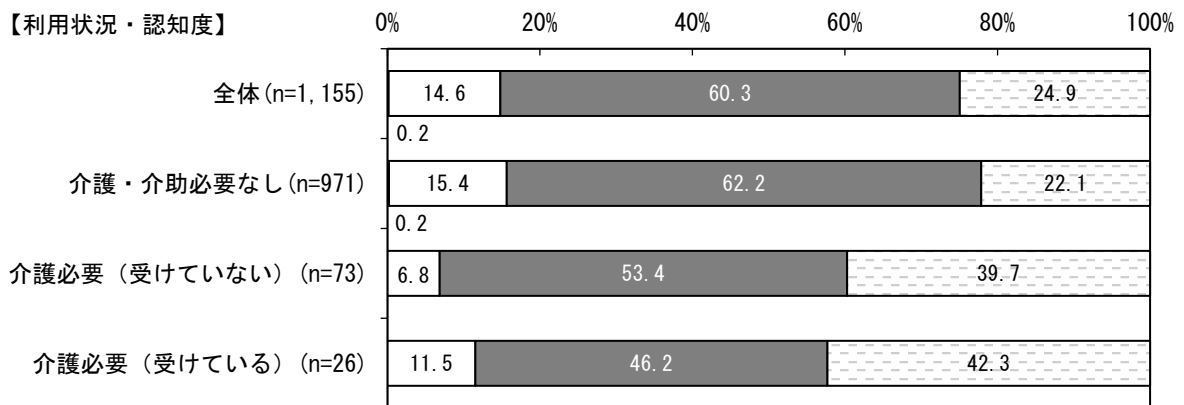


□ 利用したい □ 利用する予定はない ■ 無回答

「福祉電話」の利用状況・認知度、今後の利用希望

利用状況・認知度について、全体では、「利用したことがある」の割合が0.2%、「知っているが利用したことはない」の割合が14.6%、「知らない」の割合が60.3%、介護・介助の必要がない方では、「利用したことがある」の割合が0.2%、「知っているが利用したことはない」の割合が15.4%、「知らない」の割合が62.2%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「利用したことがある」人はなく、「知っているが利用したことはない」の割合が6.8%、「知らない」の割合が53.4%、現在、何らかの介護を受けている方では、「利用したことがある」人はなく、「知っているが利用したことはない」の割合が11.5%、「知らない」の割合が46.2%となっています。

今後の利用希望について、全体では、「利用したい」の割合が18.4%、「利用する予定はない」の割合が49.1%、介護・介助の必要がない方では、「利用したい」の割合が18.3%、「利用する予定はない」の割合が51.0%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「利用したい」の割合が20.5%、「利用する予定はない」の割合が41.1%、現在、何らかの介護を受けている方では、「利用したい」の割合が19.2%、「利用する予定はない」の割合が42.3%となっています。



□ 利用したことがある □ 知っているが利用したことはない ■ 知らない □ 無回答

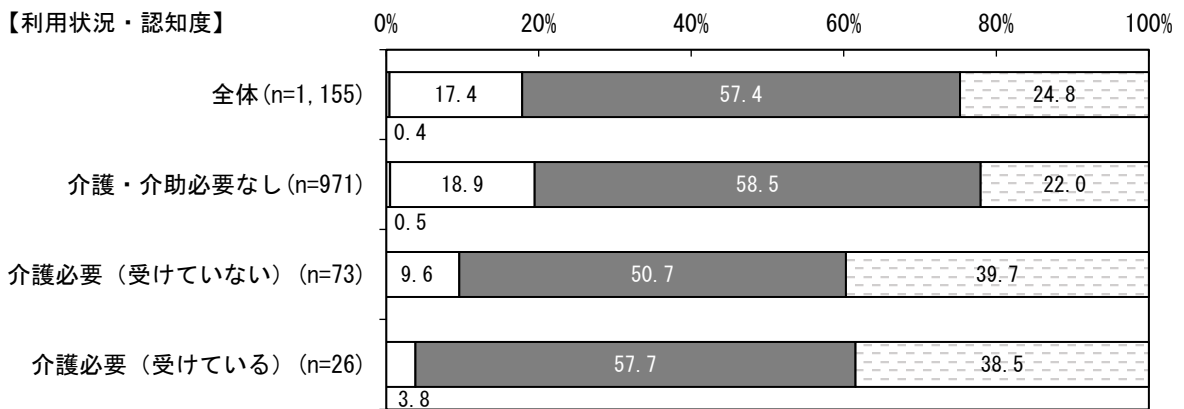


□ 利用したい □ 利用する予定はない ■ 無回答

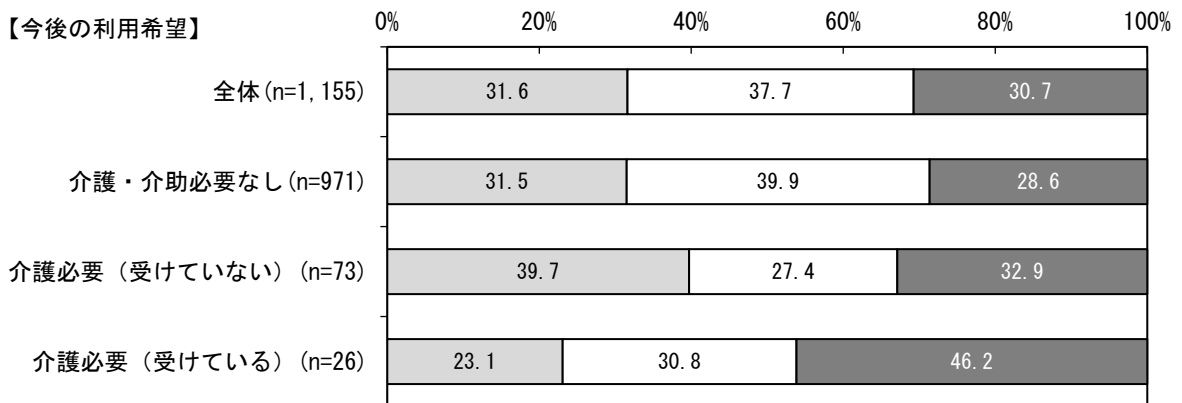
「緊急通報システム」の利用状況・認知度、今後の利用希望

利用状況・認知度について、全体では、「利用したことがある」の割合が 0.4%、「知っているが利用したことはない」の割合が 17.4%、「知らない」の割合が 57.4%、介護・介助の必要がない方では、「利用したことがある」の割合が 0.5%、「知っているが利用したことはない」の割合が 18.9%、「知らない」の割合が 58.5%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「利用したことがある」人はなく、「知っているが利用したことはない」の割合が 9.6%、「知らない」の割合が 50.7%、現在、何らかの介護を受けている方では、「利用したことがある」人はなく、「知っているが利用したことはない」の割合が 3.8%、「知らない」の割合が 57.7%となっています。

今後の利用希望について、全体では、「利用したい」の割合が 31.6%、「利用する予定はない」の割合が 37.7%、介護・介助の必要がない方では、「利用したい」の割合が 31.5%、「利用する予定はない」の割合が 39.9%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「利用したい」の割合が 39.7%、「利用する予定はない」の割合が 27.4%、現在、何らかの介護を受けている方では、「利用したい」の割合が 23.1%、「利用する予定はない」の割合が 30.8%となっています。



□ 利用したことがある □ 知っているが利用したことはない ■ 知らない □ 無回答

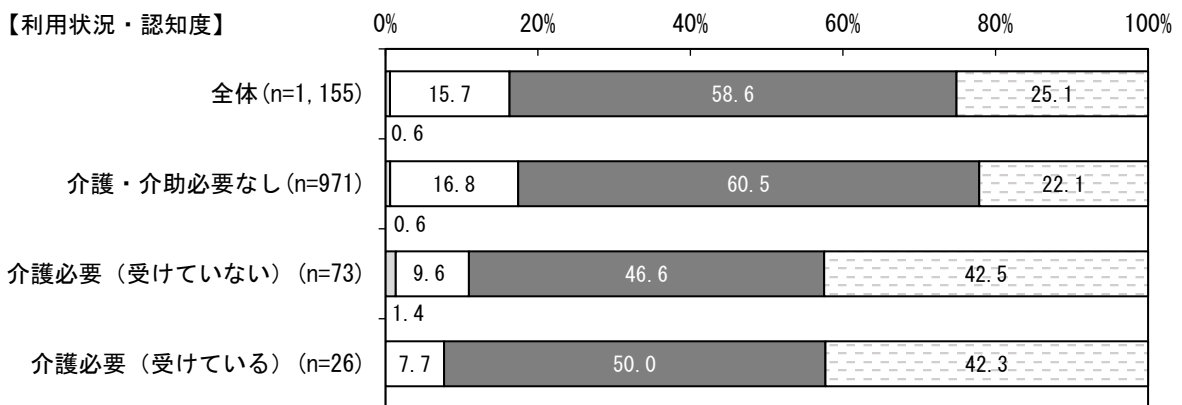


□ 利用したい □ 利用する予定はない ■ 無回答

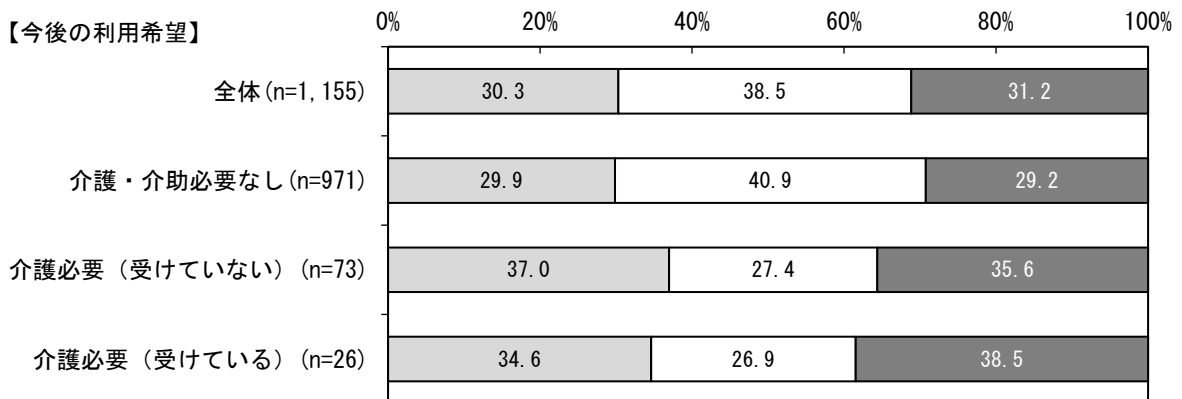
「火災安心システム」の利用状況・認知度、今後の利用希望

利用状況・認知度について、全体では、「利用したことがある」の割合が0.6%、「知っているが利用したことはない」の割合が15.7%、「知らない」の割合が58.6%、介護・介助の必要がない方では、「利用したことがある」の割合が0.6%、「知っているが利用したことはない」の割合が16.8%、「知らない」の割合が60.5%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「利用したことがある」の割合が1.4%、「知っているが利用したことはない」の割合が9.6%、「知らない」の割合が46.6%、現在、何らかの介護を受けている方では、「利用したことがある」人はなく、「知っているが利用したことはない」の割合が7.7%、「知らない」の割合が50.0%となっています。

今後の利用希望について、全体では、「利用したい」の割合が30.3%、「利用する予定はない」の割合が38.5%、介護・介助の必要がない方では、「利用したい」の割合が29.9%、「利用する予定はない」の割合が40.9%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「利用したい」の割合が37.0%、「利用する予定はない」の割合が27.4%、現在、何らかの介護を受けている方では、「利用したい」の割合が34.6%、「利用する予定はない」の割合が26.9%となっています。



□ 利用したことがある □ 知っているが利用したことはない ■ 知らない □ 無回答

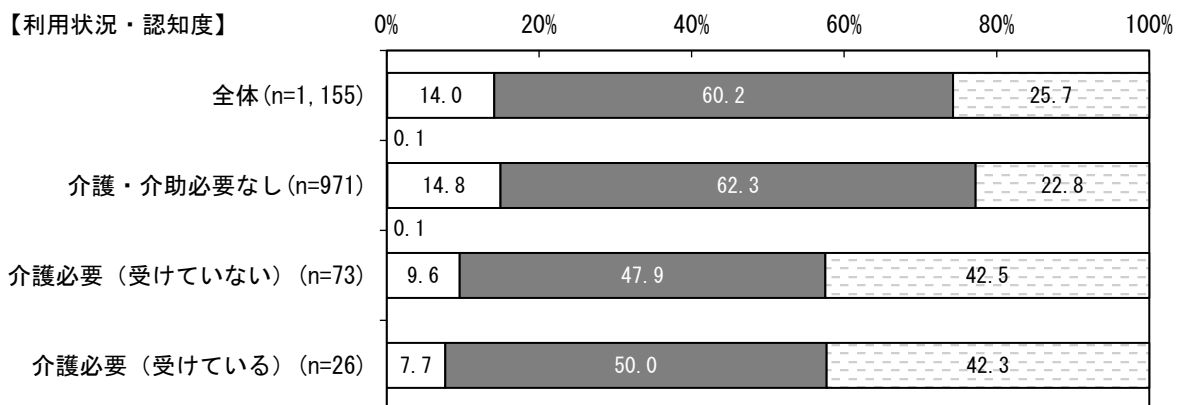


□ 利用したい □ 利用する予定はない ■ 無回答

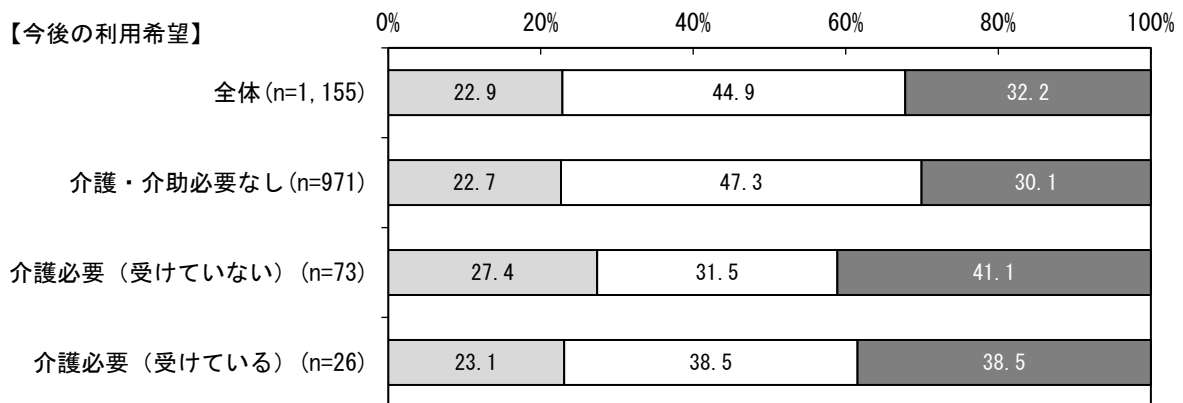
「徘徊高齢者等家族支援サービス」の利用状況・認知度、今後の利用希望

利用状況・認知度について、全体では、「利用したことがある」の割合が0.1%、「知っているが利用したことはない」の割合が14.0%、「知らない」の割合が60.2%、介護・介助の必要がない方では、「利用したことがある」の割合が0.1%、「知っているが利用したことはない」の割合が14.8%、「知らない」の割合が62.3%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「利用したことがある」人はなく、「知っているが利用したことはない」の割合が9.6%、「知らない」の割合が47.9%、現在、何らかの介護を受けている方では、「利用したことがある」人はなく、「知っているが利用したことはない」の割合が7.7%、「知らない」の割合が50.0%となっています。

今後の利用希望について、全体では、「利用したい」の割合が22.9%、「利用する予定はない」の割合が44.9%、介護・介助の必要がない方では、「利用したい」の割合が22.7%、「利用する予定はない」の割合が47.3%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「利用したい」の割合が27.4%、「利用する予定はない」の割合が31.5%、現在、何らかの介護を受けている方では、「利用したい」の割合が23.1%、「利用する予定はない」の割合が38.5%となっています。



□ 利用したことがある □ 知っているが利用したことはない ■ 知らない □ 無回答

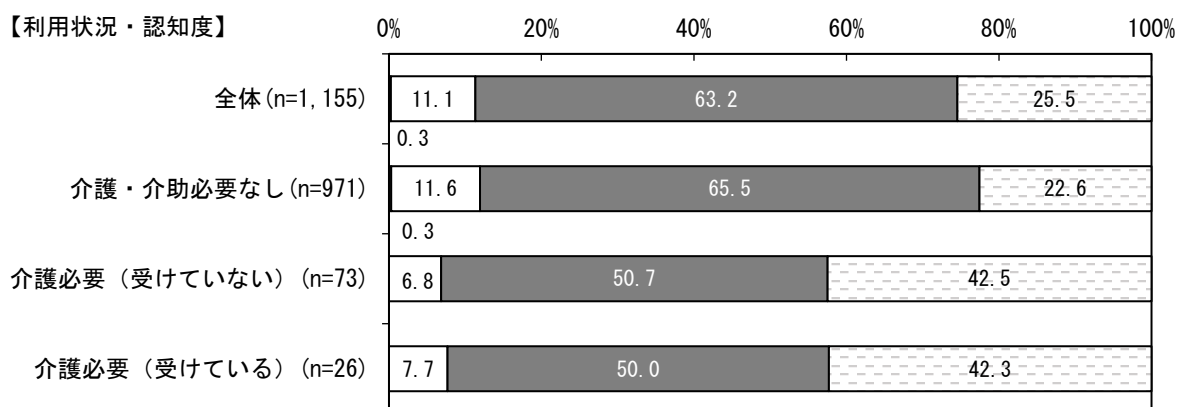


□ 利用したい □ 利用する予定はない ■ 無回答

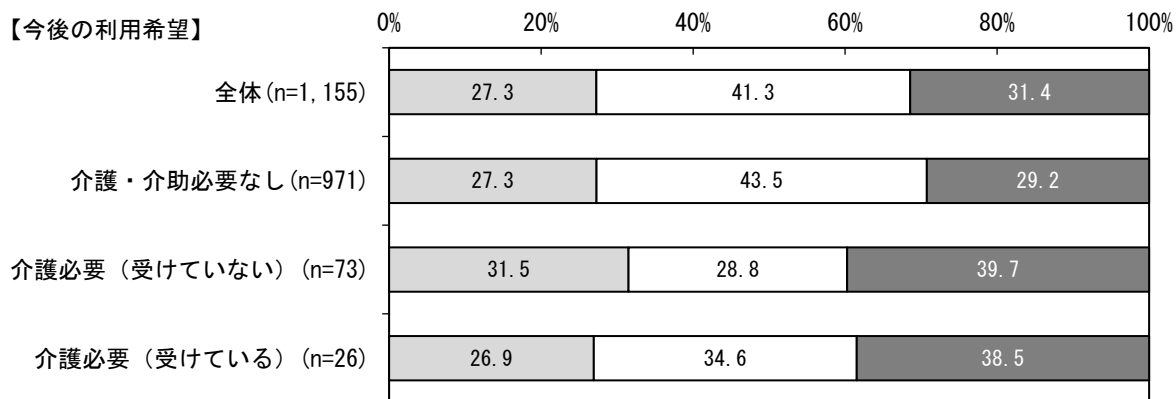
「老人性白内障用特殊眼鏡等購入費助成」の利用状況・認知度、今後の利用希望

利用状況・認知度について、全体では、「利用したことがある」の割合が0.3%、「知っているが利用したことはない」の割合が11.1%、「知らない」の割合が63.2%、介護・介助の必要がない方では、「利用したことがある」の割合が0.3%、「知っているが利用したことはない」の割合が11.6%、「知らない」の割合が65.5%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「利用したことがある」人はなく、「知っているが利用したことはない」の割合が6.8%、「知らない」の割合が50.7%となっています。また、何らかの介護を受けている方では、「利用したことがある」人はなく、「知っているが利用したことはない」の割合が7.7%、「知らない」の割合が50.0%となっています。

今後の利用希望について、全体では、「利用したい」の割合が27.3%、「利用する予定はない」の割合が41.3%、介護・介助の必要がない方では、「利用したい」の割合が27.3%、「利用する予定はない」の割合が43.5%となっています。また、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「利用したい」の割合が31.5%、「利用する予定はない」の割合が28.8%、現在、何らかの介護を受けている方では、「利用したい」の割合が26.9%、「利用する予定はない」の割合が34.6%となっています。



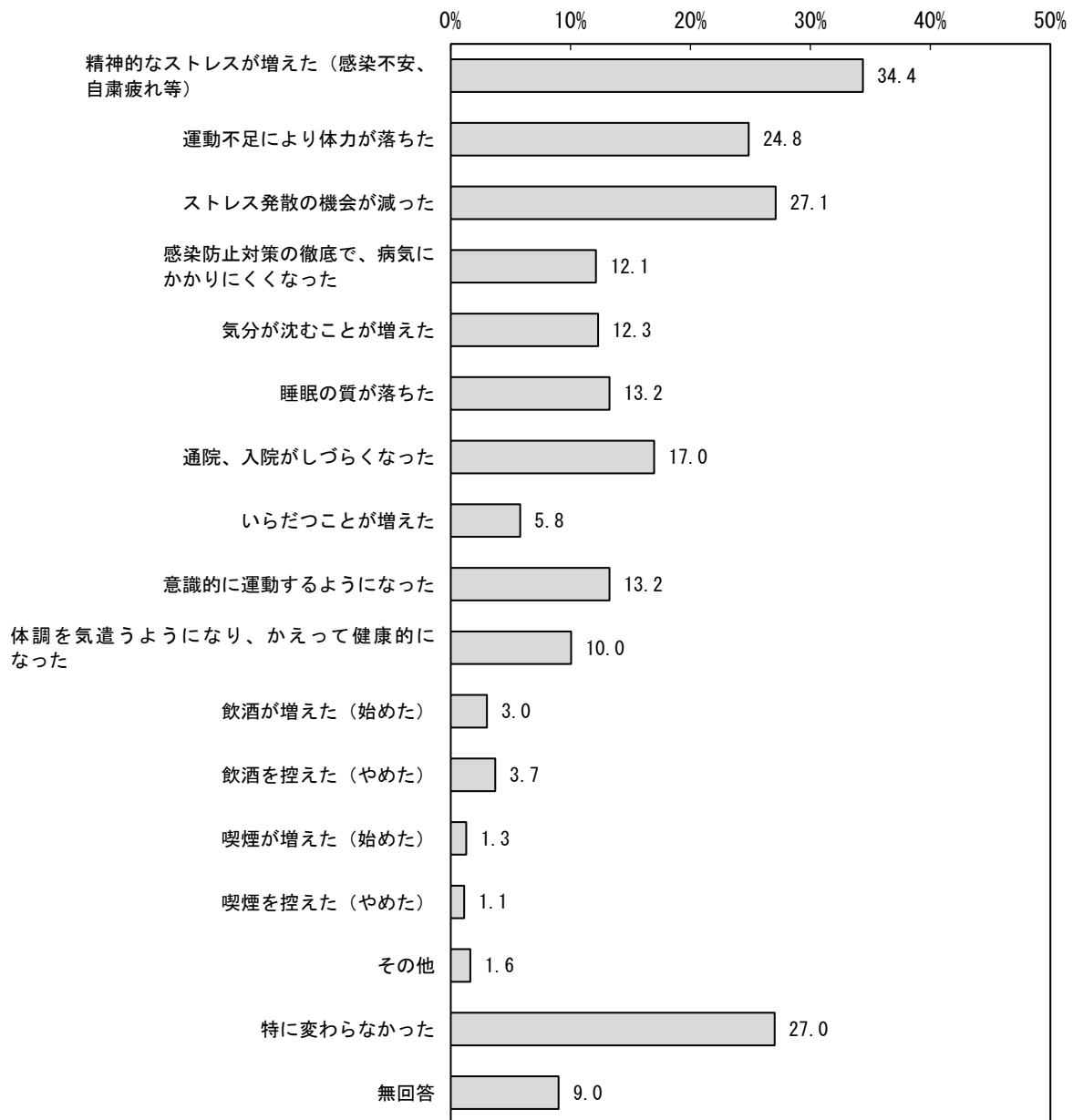
□ 利用したことがある □ 知っているが利用したことはない ■ 知らない □ 無回答



□ 利用したい □ 利用する予定はない ■ 無回答

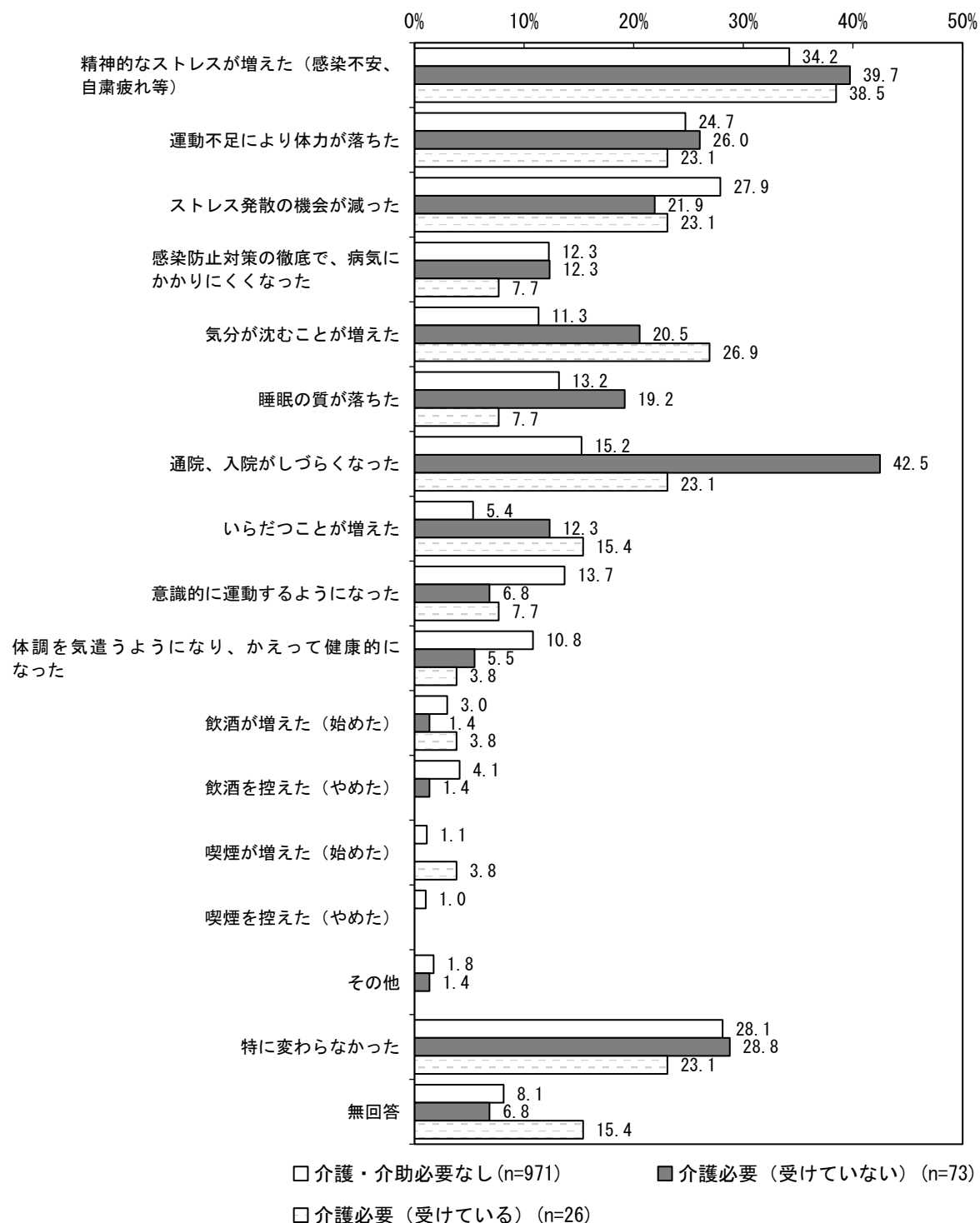
問 68 この1年で、新型コロナウイルス感染症の流行拡大とそれに伴う行動制限・自粛生活によって、あなたの健康面にどのような影響がありましたか。
(複数選択可)

全体では、「精神的なストレスが増えた(感染不安、自粛疲れ等)」の割合が34.4%と最も高く、次いで、「ストレス発散の機会が減った」の割合が27.1%となっています。



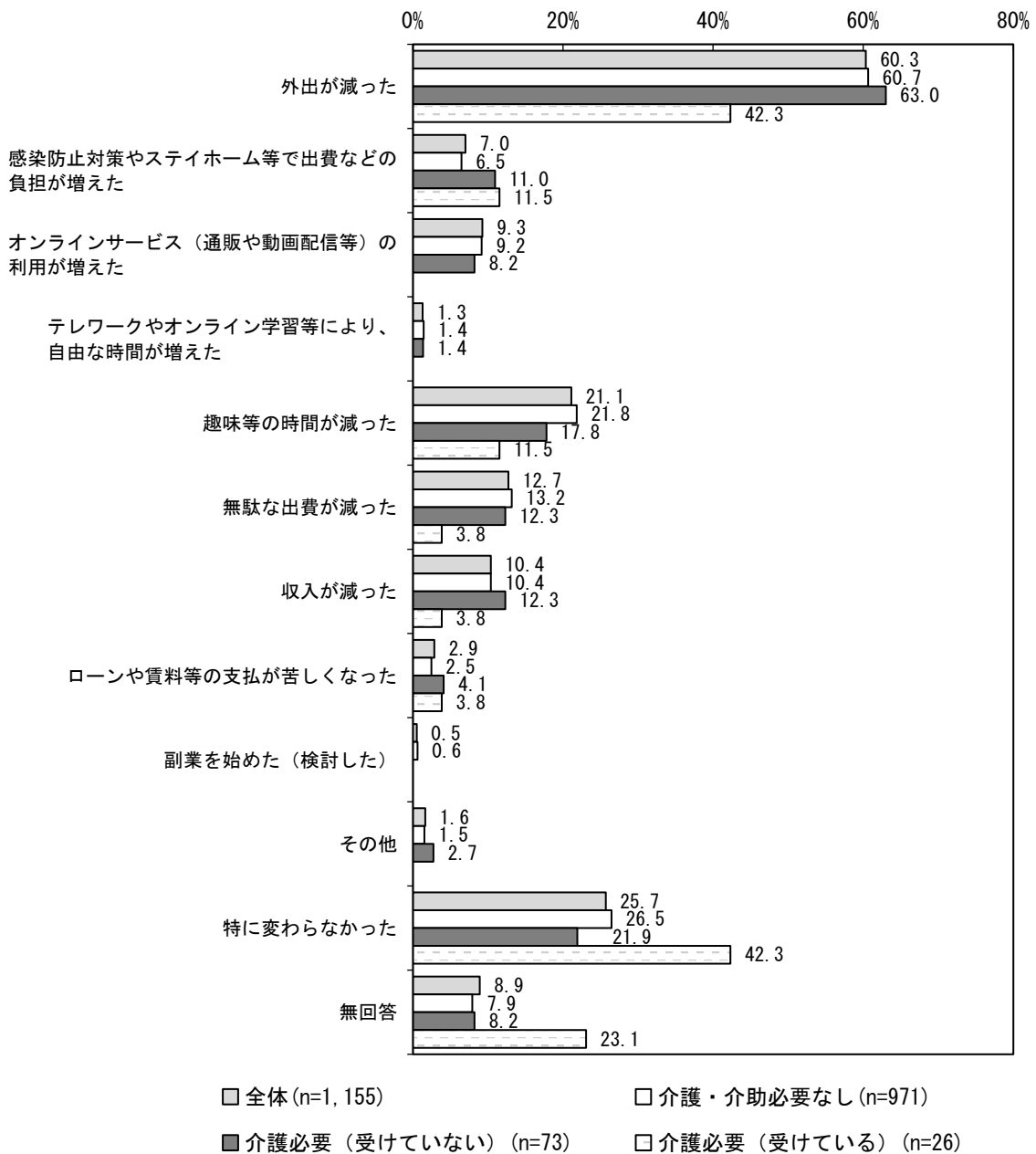
n=1,155

介護・介助の必要がない方及び現在、何らかの介護を受けている方では、「精神的なストレスが増えた（感染不安、自粛疲れ等）」の割合が、それぞれ 34.2%及び 38.5%と最も高く、次いで、介護・介助の必要がない方では、「特に変わらなかった」が 28.1%、現在、何らかの介護を受けている方では、「気分が沈むことが増えた」の割合が 26.9%となっています。何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「通院、入院がしづらくなった」の割合が 42.5%と最も高く、次いで「精神的なストレスが増えた（感染不安、自粛疲れ等）」の割合が 39.7%となっています。



問 69 この数年、新型コロナウイルス感染症の流行拡大とそれに伴う行動制限・自粛生活によって、あなたの生活面にどのような影響がありましたか。
(複数選択可)

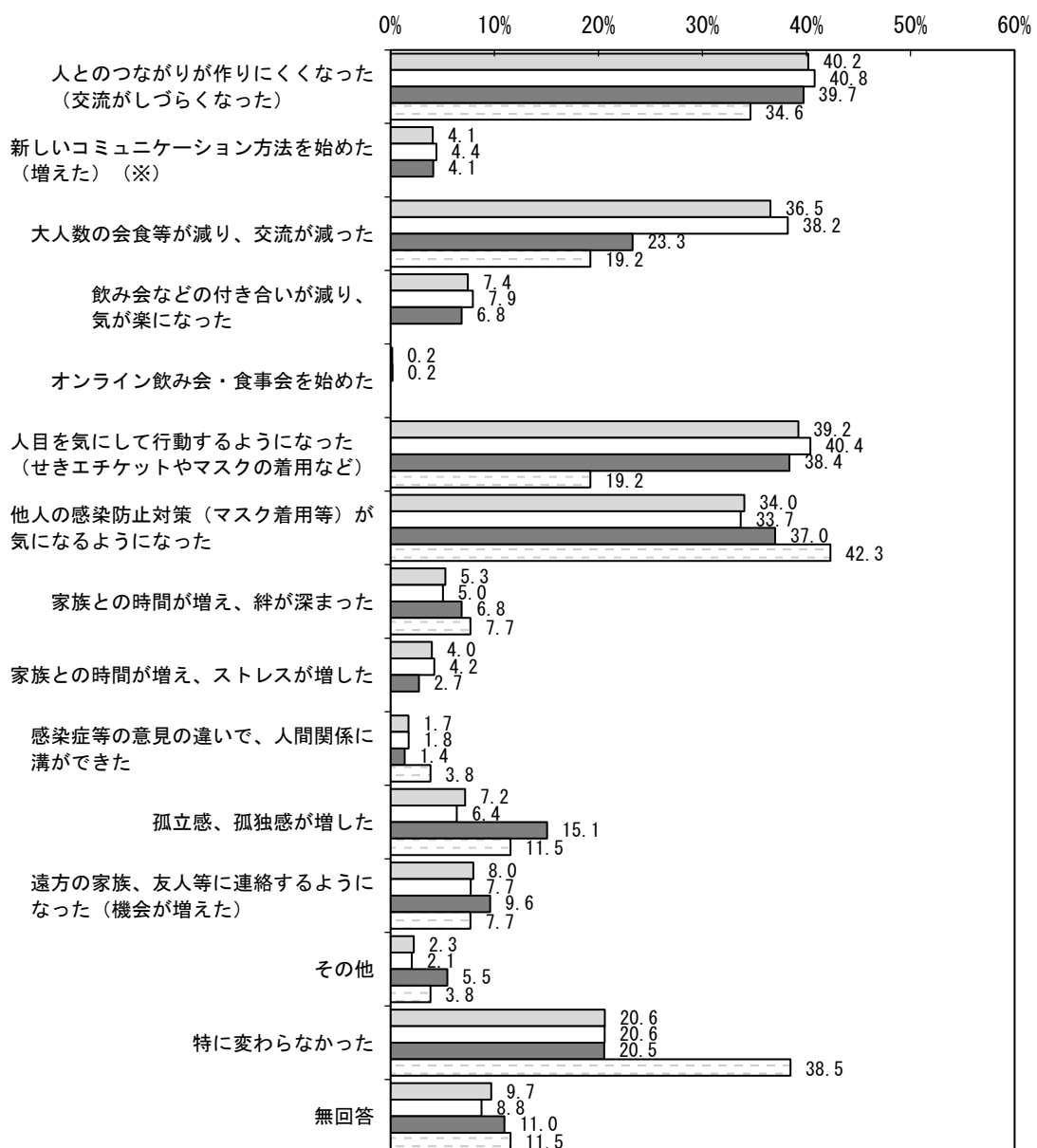
全体、介護・介助の必要がない方及び何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「外出が減った」の割合が、それぞれ 60.3%、60.7%及び 63.0%と最も高く、次いで、全体では、「特に変わらなかった」の割合がそれぞれ 25.7%、26.5%及び 21.9%となっています。また、現在、何らかの介護を受けている方の「外出が減った」及び「特に変わらなかった」の割合はそれぞれ 42.3%と最も高くなっています。



問 70 この数年、新型コロナウイルス感染症の流行拡大とそれに伴う行動制限・自粛生活によって、あなたの人付き合いにどのような影響がありましたか。
(複数選択可)

全体、介護・介助の必要がない方及び何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「人とのつながりが作りにくくなった(交流がしづらくなった)」の割合が、それぞれ40.2%、40.8%及び39.7%と最も高く、次いで、「人目を気にして行動するようになった(せきエチケットやマスクの着用など)」の割合が、それぞれ39.2%、40.4%及び39.7%となっています。

現在、何らかの介護を受けている方では、「他人の感染防止対策(マスク着用等)が気になるようになった」が42.3%と最も高く、次いで「特に変わらなかった」の割合が38.5%となっています。



□ 全体 (n=1,155)

□ 介護・介助必要なし (n=971)

■ 介護必要 (受けていない) (n=73)

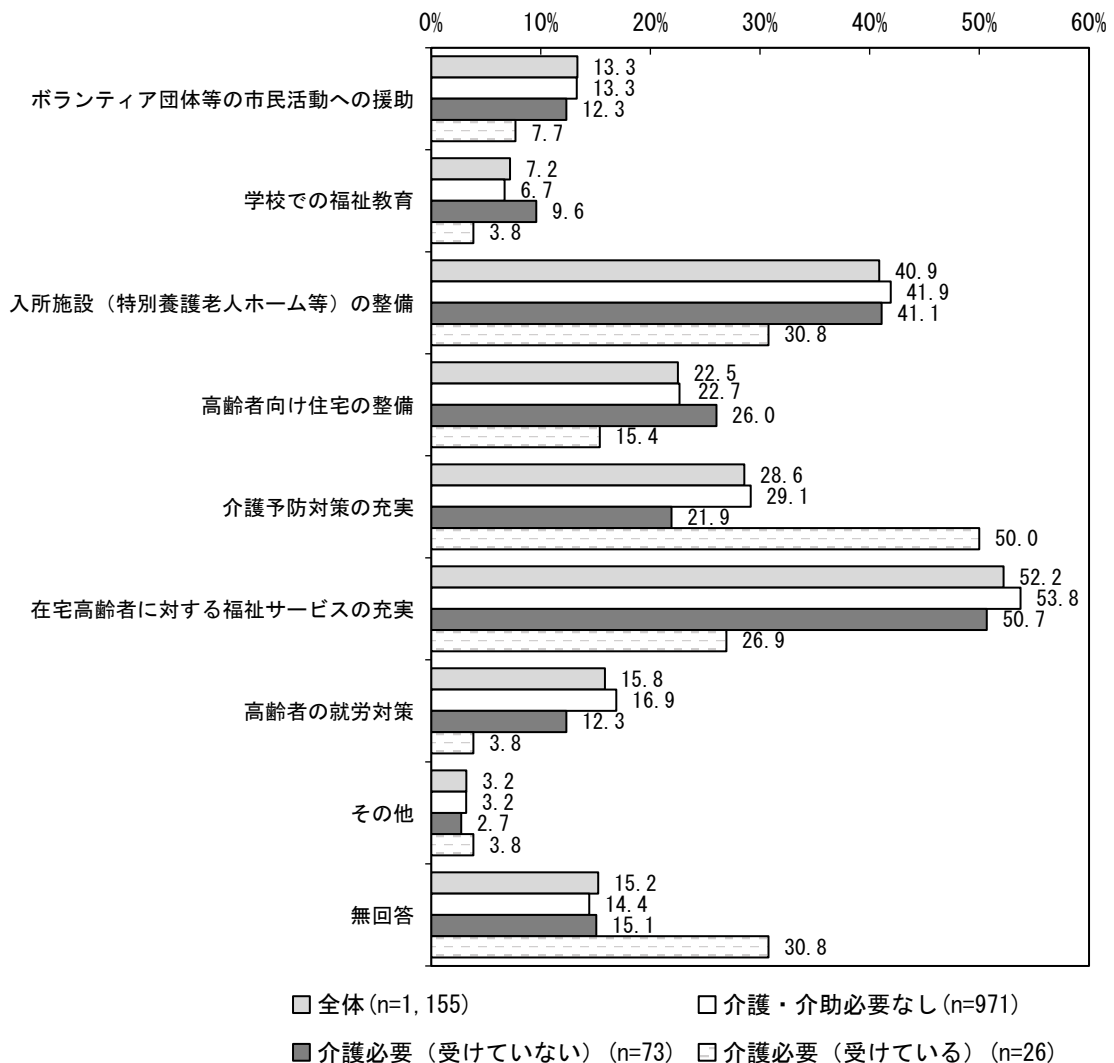
□ 介護必要 (受けている) (n=26)

(※) SNS やリモートなど、新しいコミュニケーション方法を始めた (増えた)

問 71 今後、市が取り組むべき高齢者に関する福祉施策について、優先して充実させるべき施策はどれになるとお考えですか。（複数選択可）

全体、介護・介助の必要がない方及び何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方では、「在宅高齢者に対する福祉サービスの充実」の割合が、それぞれ 52.2%、53.8%及び 50.7%と最も高く、次いで、「入所施設（特別養護老人ホーム等）の整備」の割合が、それぞれ 40.9%、41.9%及び 41.1%となっています。

現在、何らかの介護を受けている方では、「介護予防対策の充実」が 50.0%と最も高く、次いで「入所施設（特別養護老人ホーム等）の整備」の割合が 30.8%となっています。



Ⅲ 生活機能評価等に関する分析

1 機能別リスク該当者割合の分析

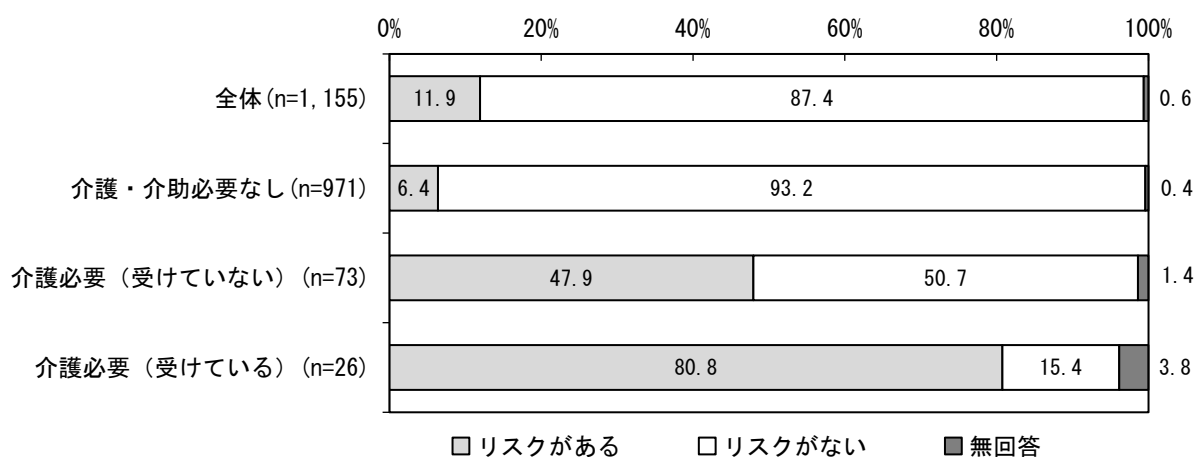
(1) 運動器

【判定基準：以下の5項目のうち3項目以上に該当する人を運動器のリスク該当者と判定】

問番号	設問	該当する選択肢
問6	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。	3. できない
問7	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。	3. できない
問8	15分位続けて歩いていますか。	3. できない
問9	過去1年間に転んだ経験がありますか。	1. 何度もある 2. 1度ある
問10	転倒に対する不安は大きいですか。	1. とても不安である 2. やや不安である

【リスク該当状況】

国の手引きに基づく運動器の評価結果をみると、全体の11.9%、介護・介助の必要がない方の6.4%、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方の47.9%、現在、何らかの介護を受けている方の80.8%の方が運動器の機能低下リスク該当者となっています。



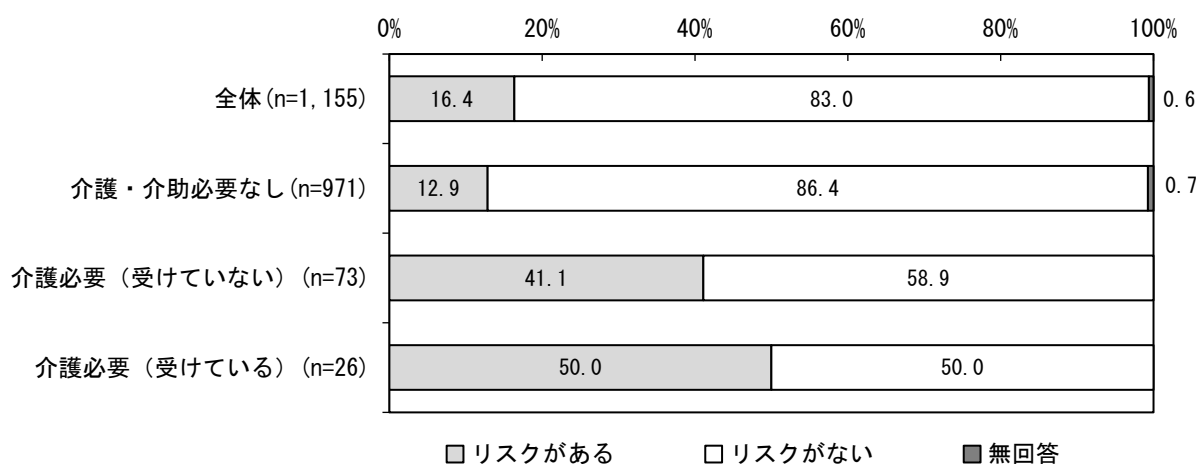
(2) 閉じこもり

【判定基準：以下の項目に該当する人を閉じこもりリスク該当者と判定】

問番号	設問	該当する選択肢
問 11	週に1回以上は外出していますか。	1. ほとんど外出しない 2. 週1回

【リスク該当状況】

国の手引きに基づく閉じこもりの評価結果をみると、全体の16.4%、介護・介助の必要がない方の12.9%、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方の41.1%、現在、何らかの介護を受けている方の50.0%の方が閉じこもりのリスク該当者となっています。



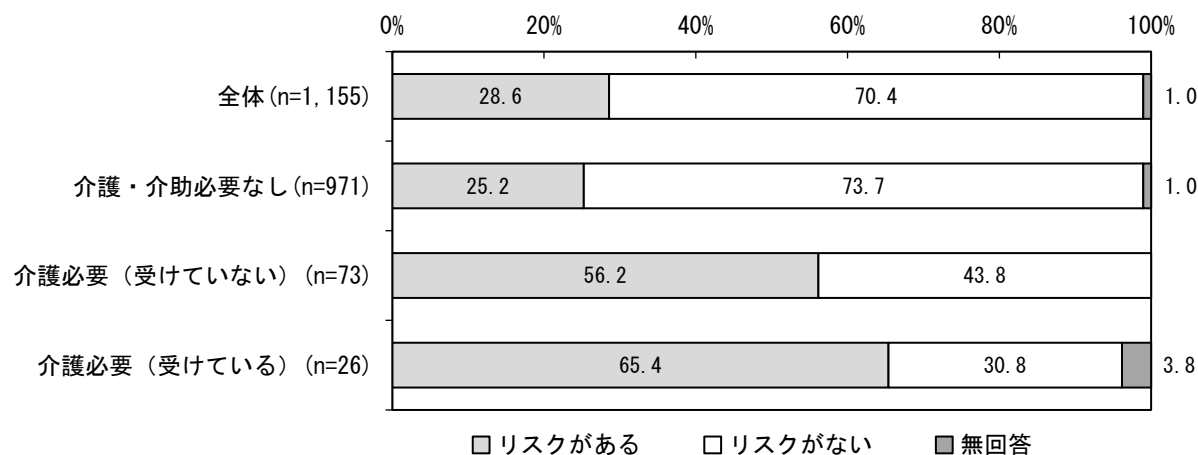
(3) 転倒

【判定基準：以下の項目に該当する人を転倒のリスク該当者と判定】

問番号	設問	該当する選択肢
問 9	過去1年間に転んだ経験がありますか。	1. 何度もある 2. 1度ある

【リスク該当状況】

国の手引きに基づく転倒の評価結果をみると、全体の28.6%、介護・介助の必要がない方の25.2%、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方の56.2%、現在、何らかの介護を受けている方の65.4%の方が転倒のリスク該当者となっています。



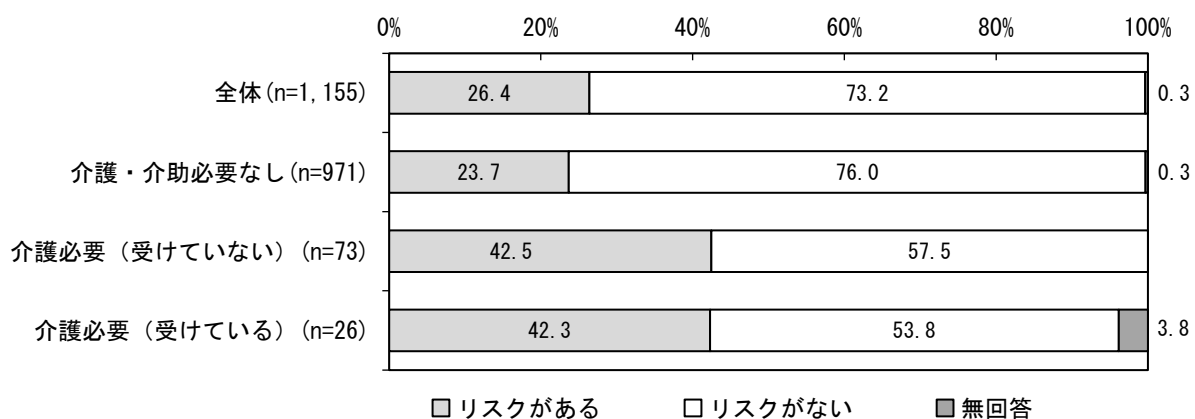
(4) 口腔

【判定基準：以下の3項目のうち2項目以上に該当する人を口腔のリスク該当者と判定】

問番号	設問	該当する選択肢
問 15	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。	1. はい
問 16	お茶や汁物等でむせることがありますか。	1. はい
問 17	口の渇きが気になりますか。	1. はい

【リスク該当状況】

国の手引きに基づく口腔の評価結果をみると、全体の26.4%、介護・介助の必要がない方の23.7%、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方の42.5%、現在、何らかの介護を受けている方の42.3%の方が口腔のリスク該当者となっています。



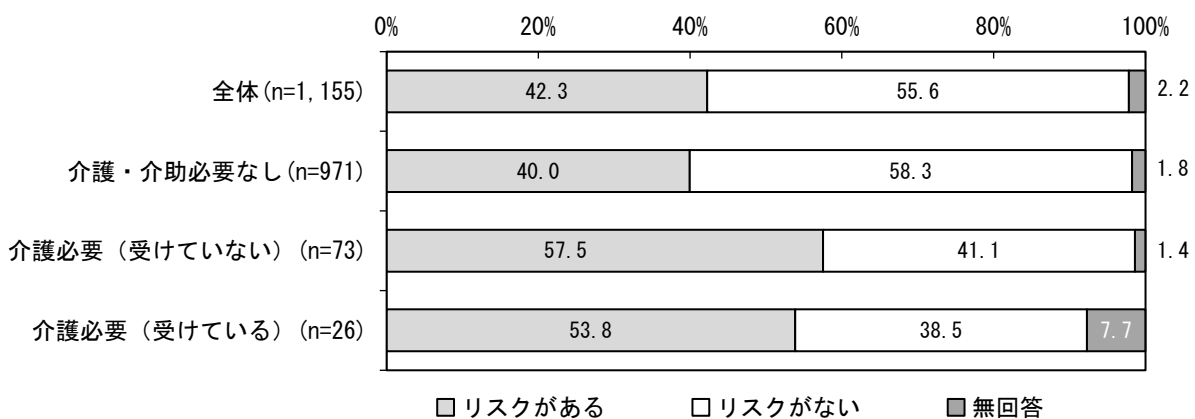
(5) 認知

【判定基準：以下の項目に該当する人を認知のリスク該当者と判定】

問番号	設問	該当する選択肢
問 21	物忘れが多いと感じますか。	1. はい

【リスク該当状況】

国の手引きに基づく認知の評価結果をみると、全体の42.3%、介護・介助の必要がない方の40.0%、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方の57.5%、現在、何らかの介護を受けている方の53.8%の方が認知のリスク該当者となっています。



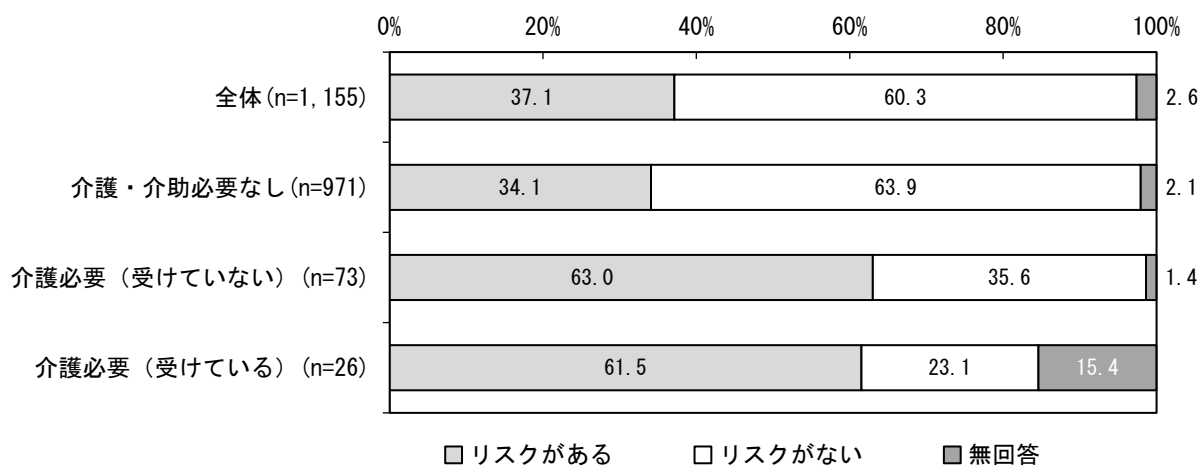
(6) うつ

【判定基準：以下の2項目のうち1項目以上に該当する人をうつのリスク該当者と判定】

問番号	設問	該当する選択肢
問 49	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。	1. はい
問 50	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわからない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。	1. はい

【リスク該当状況】

国の手引きに基づくうつの評価結果をみると、全体の37.1%、介護・介助の必要がない方の34.1%、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方の63.0%、現在、何らかの介護を受けている方の61.5%の方がうつのリスク該当者となっています。



2 日常生活

(1) 手段的自立度 (IADL)

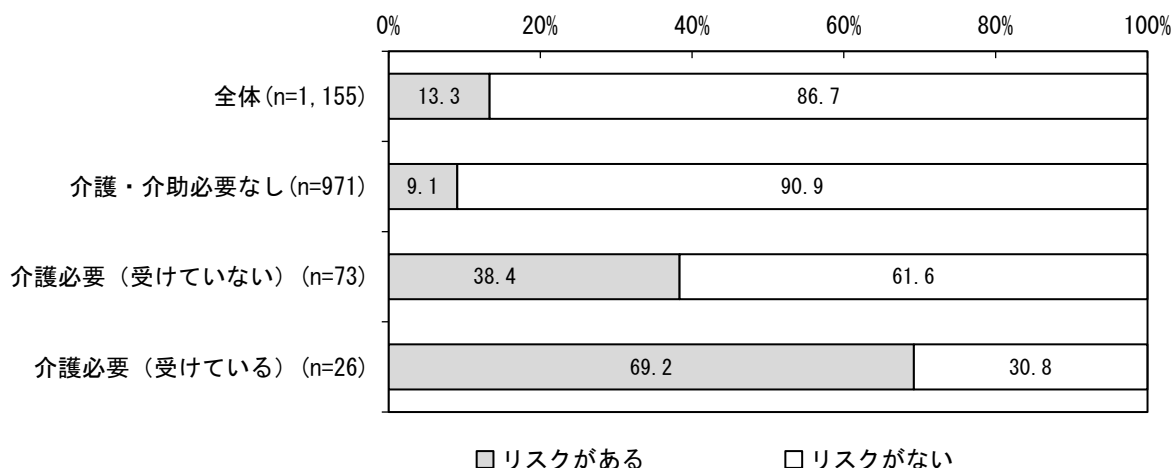
【判定基準：以下の設問において「1」又は「2」を回答した場合を1点として5点満点で評価】

問番号	設問	該当する選択肢
問 22	バスや電車を使って1人で外出していますか。	1. できるし、している : 1点 2. できるけどしていない : 1点
問 23	自分で食品・日用品の買物をしていますか。	1. できるし、している : 1点 2. できるけどしていない : 1点
問 24	自分で食事の用意をしていますか。	1. できるし、している : 1点 2. できるけどしていない : 1点
問 25	自分で請求書の支払いをしていますか。	1. できるし、している : 1点 2. できるけどしていない : 1点
問 26	自分で預貯金の出し入れをしていますか。	1. できるし、している : 1点 2. できるけどしていない : 1点

※5点を「高い」、4点を「やや低い」、3点以下を「低い」と評価し、4点以下を手段的自立度 (IADL) の低下者と評価 (老研式活動能力指標)

【リスク該当状況】

老研式活動能力指標に基づく手段的自立度 (IADL) の評価結果をみると、全体の 13.3%、介護・介助の必要がない方の 9.1%、何らかの介護・介助が必要だが、現在は受けていない方の 38.4%、現在、何らかの介護を受けている方の 69.2%の方が手段的自立度 (IADL) のリスク該当者となっています。



IV リスク該当者等の圏域別回答割合

設問		回答・判定	全体	日常生活圏域			
問	属性			西部	北部	南部	緑が丘
1 家族や生活状況についてお伺いします							
問1	家族構成	「夫婦 2 人暮らし(配偶者 65 歳以上)」が多い	43.6	45.9	39.4	45.5	39.9
問2	介護・介助	「介護・介助は必要ない」が多い	84.1	84.2	85.2	84.9	80.4
問2-1	介護・介助の原因	「骨折・転倒」が多い	30.8	12.5	50.0	30.0	50.0
問3	住まい	「持家(一戸建て)」が多い	74.6	87.1	91.2	84.1	0.0
問4	希望する生活	「現在の住まいで、介護保険等の公的サービスの利用を中心に生活したい」が多い	62.2	64.1	59.3	64.5	55.2
問5	経済的状況	「ふつう」が多い	57.4	58.4	60.2	60.5	45.4
2 からだを動かすことについて							
問6~10	運動器機能の低下	リスク該当者が多い	11.9	10.8	13.4	10.8	15.3
問9	転倒リスク	リスク該当者が多い	28.6	27.8	29.6	27.3	31.9
問11	閉じこもり傾向	リスク該当者が多い	16.4	17.7	14.4	14.8	18.4
問12	外出を控えている	「あまり減っていない」が多い	42.1	40.9	45.4	40.3	44.8
問12-1	控えている理由	「足腰などの痛み」が多い	43.3	42.1	32.5	50.0	46.5
問13	外出時の移動手段	「徒歩」が多い	57.0	53.1	54.2	64.2	55.2
3 食べることについて							
問14	BMI	「肥満」が多い	20.3	20.3	18.1	20.7	22.7
問15~17	口腔機能の低下	リスク該当者が多い	26.4	28.0	21.8	23.9	33.7
問18	毎日の歯磨き	「はい」が多い	91.2	94.0	89.4	92.0	84.0
問19	歯の本数	「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が多い	38.8	37.8	39.4	36.6	44.2
問20	共食の状況	「ほとんどない」が多い	9.8	7.7	6.9	10.2	17.8
4 毎日の生活について							
問21	認知機能の低下	リスク該当者が多い	42.3	41.4	39.8	43.8	43.6
問22~26	手段的自立度	リスク該当者が多い	13.3	13.6	13.9	10.5	17.2
問27	新聞	「はい」が多い	70.8	73.0	70.8	74.1	58.3
問28	本や雑誌	「はい」が多い	67.1	68.7	65.3	70.7	58.3
問29	健康への関心	「はい」が多い	87.4	87.3	87.5	88.4	85.3
問30	趣味	「趣味あり」が多い	70.0	72.0	68.1	74.4	58.3
問31	生きがい	「生きがいあり」が多い	56.0	56.9	56.5	59.9	44.8
問32	消費トラブル	「消費トラブルにあったことはない」が多い	75.0	75.4	78.7	77.8	62.6
問32-1	トラブル相談	「はい」が多い	55.9	61.9	66.7	60.9	0.0
問33	スマートフォン、パソコン	「スマートフォンを活用している」が多い	61.0	61.7	62.0	65.3	48.5
問33-1	できること	「電話」が多い	89.0	90.4	89.3	88.3	85.4

設問		回答・判定	全体	日常生活圏域			
問	属性			西部	北部	南部	緑が丘
5 地域での活動について							
問 34	参加頻度	「収入のある仕事」が多い	22.7	22.2	25.0	25.9	14.0
問 34-1	参加が少ない理由	「個人的な活動が忙しいため」が多い	27.6	29.0	25.2	29.8	21.1
問 35	参加者として	「参加しても良い」が多い	42.5	45.0	39.8	42.9	38.7
問 36	運営として	「参加したくない」が多い	55.4	56.0	52.8	54.5	57.7
6 たすけあいについて							
問 37	聞いてくれる人	「配偶者」が多い	53.9	58.9	52.3	56.8	37.4
問 38	聞いてあげる人	「配偶者」が多い	50.8	56.9	46.3	54.5	33.1
問 39	看病や世話をしてくれる人	「配偶者」が多い	60.2	67.2	57.4	63.1	39.3
問 40	看病や世話をしてあげる人	「配偶者」が多い	61.0	67.2	60.6	63.1	40.5
問 41	近所付き合い	「あいさつ程度はする」が多い	54.9	57.7	43.1	57.7	57.1
問 42	日中	「たまにある」が多い	41.6	45.2	42.1	42.3	30.7
問 43	家族や友人・知人以外の相談相手	「そのような人はいない」が多い	46.1	49.8	44.9	46.3	36.8
問 44	友人・知人と会う頻度	「週に何度かある」が多い	25.8	25.4	25.5	26.7	25.8
問 45	友人・知人との関係	「近所・同じ地域の人」が多い	37.4	35.9	42.1	36.1	39.3
問 46	有償ボランティアの手助け	「買い物」が多い	45.1	46.2	47.7	42.6	44.8
7 健康について							
問 47	健康状態	「まあ良い」が多い	64.8	65.6	60.2	68.8	61.3
問 48	幸福度	「8点」が多い	24.3	26.1	25.0	25.0	18.4
問 49～50	うつ傾向	リスク該当者が多い	37.1	34.9	39.4	37.8	38.7
問 51	喫煙	「もともと吸っていない」が多い	55.3	54.5	56.0	54.8	58.3
問 52	治療中のある病気	「高血圧」が多い	42.0	38.5	47.2	41.5	46.0
問 53	一般介護予防事業について	筋力アップ教室の「利用したい」が多い	21.2	22.0	21.8	23.0	14.7
問 53-1	成果や効果	「仲間が増えた」が多い	32.0	20.0	40.0	37.5	40.0
問 55	健康づくりや介護予防	「認知症予防」が多い	29.4	31.1	33.8	26.4	25.2
問 56	在宅生活に必要なこと	「病状が悪化したときにいつでも入院できる医療体制の整備」が多い	42.3	44.0	43.5	40.6	39.9
8 認知症のことについて							
問 57	認知症の症状	「いいえ」が多い	90.8	90.4	94.0	92.6	84.0
問 58	認知症の相談窓口	「はい」が少ない	17.8	16.7	17.1	19.0	19.6
問 59	認知症に対する取組	「相談機関の充実」が多い	47.6	47.8	42.6	53.7	39.9
問 60	認知症施策の重点	「医療・介護・地域が連携した体制づくり」が多い	49.4	50.5	48.1	52.0	42.3

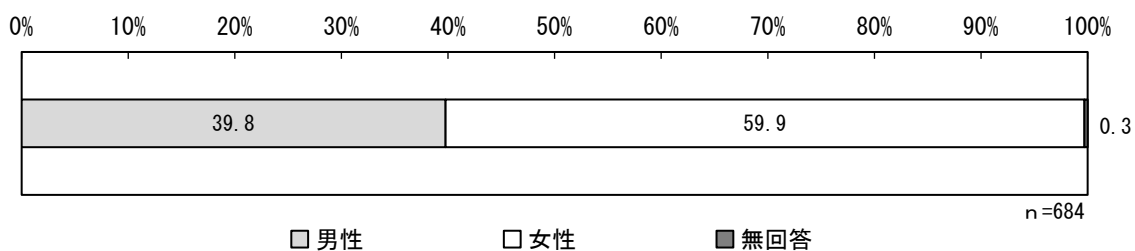
設問		回答・判定	全体	日常生活圏域			
問	属性			西部	北部	南部	緑が丘
9 介護保険制度について							
問 61	介護保険制度	「65歳以上の方の保険料は、本人の所得や世帯の課税状況によって決める」が多い	60.7	60.8	62.5	62.5	54.0
問 62	介護保険料と介護保険サービスのあり方	「保険料が多少高くとも、給付されるサービスが充実していれば良い」と「給付されるサービスを多少抑えても、保険料が低い方が良い」が多い	38.8	41.6	42.1	37.7	29.4
			38.8	37.8	35.6	41.5	39.3
問 63	市に期待すること	「在宅・施設サービスを充実させること」が多い	50.2	52.9	50.9	52.3	38.0
問 64	地域包括支援センター	「知らない」が多い	37.2	43.3	30.6	40.1	25.2
問 64-1	地域包括支援センターの活動	「在宅介護に関する相談」が多い	69.7	73.6	76.5	70.0	56.0
問 65	介護が必要になった場合に希望する暮らし方	「介護保険サービスを利用して自宅で暮らしたい」が多い	60.0	58.6	61.1	64.8	52.8
10 普段の暮らしや高齢者福祉サービスについて							
問 66	市の保健・福祉・介護保険サービスに関する情報の入手先	「広報誌」が多い	51.3	51.9	42.1	56.5	49.1
問 67	高齢者福祉サービスの利用	救急通報システムの「利用したい」が多い	31.6	33.0	27.8	35.2	24.5
問 68	新型コロナウイルス感染症による健康面への影響	「精神的なストレスが増えた（感染不安、自粛疲れ等）」が多い	34.4	33.7	35.6	35.8	30.7
問 69	新型コロナウイルス感染症による生活面への影響	「外出が減った」が多い	60.3	64.1	59.3	62.8	46.6
問 70	新型コロナウイルス感染症による人付き合いへの影響	「人とのつながりが作りにくくなった（交流がしづらくなった）」が多い	40.2	38.3	41.2	45.5	31.3
問 71	優先すべき高齢者福祉施策	「在宅高齢者に対する福祉サービスの充実」が多い	52.2	53.3	45.8	57.4	47.2

V 在宅介護実態調査

1 調査対象者の基本属性

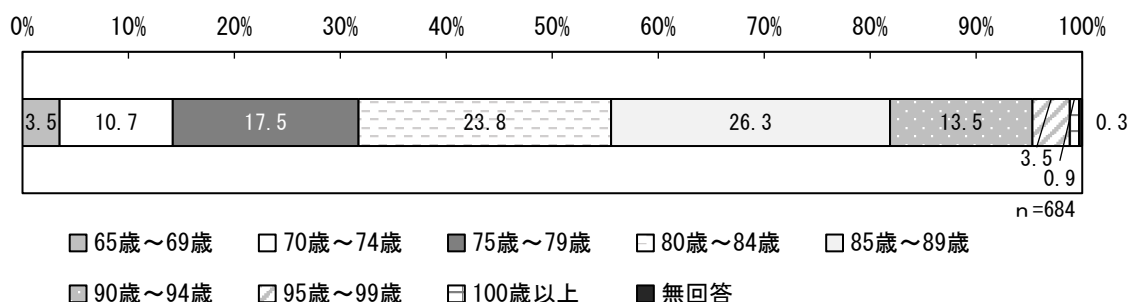
(1) 性別

調査対象者の性別について、「男性」の割合が 39.8%、「女性」の割合が 59.9%となっています。



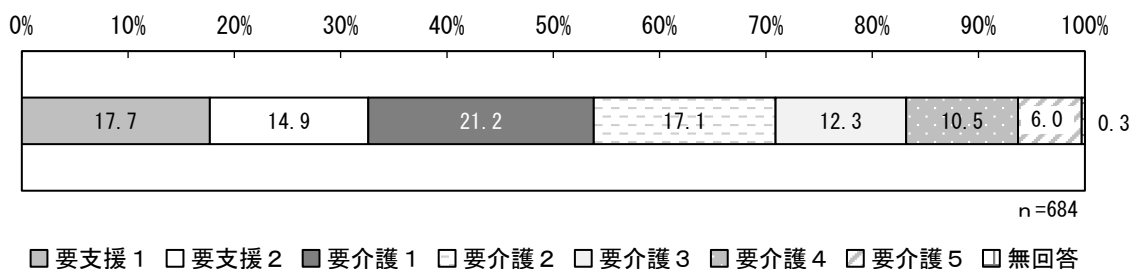
(2) 年齢区分

調査対象者の年齢について、「85～89歳」の割合が 26.3%と最も高く、次いで「80～84歳」の割合が 23.8%、「75～79歳」の割合が 17.5%となっています。



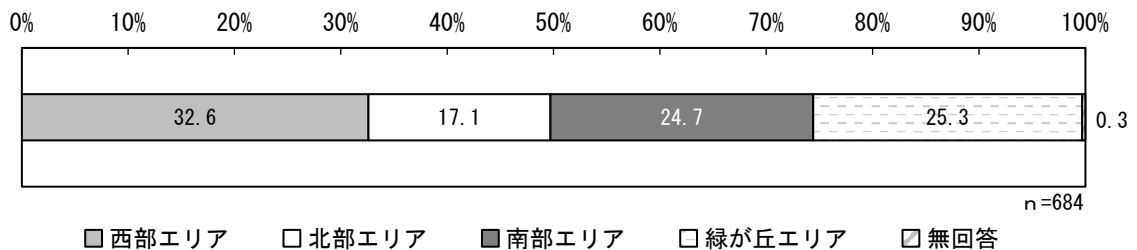
(3) 要介護認定者

要介護認定者について、「要介護1」の割合が 21.2%と最も高く、次いで「要支援1」の割合が 17.7%、「要介護2」の割合が 17.1%となっています。



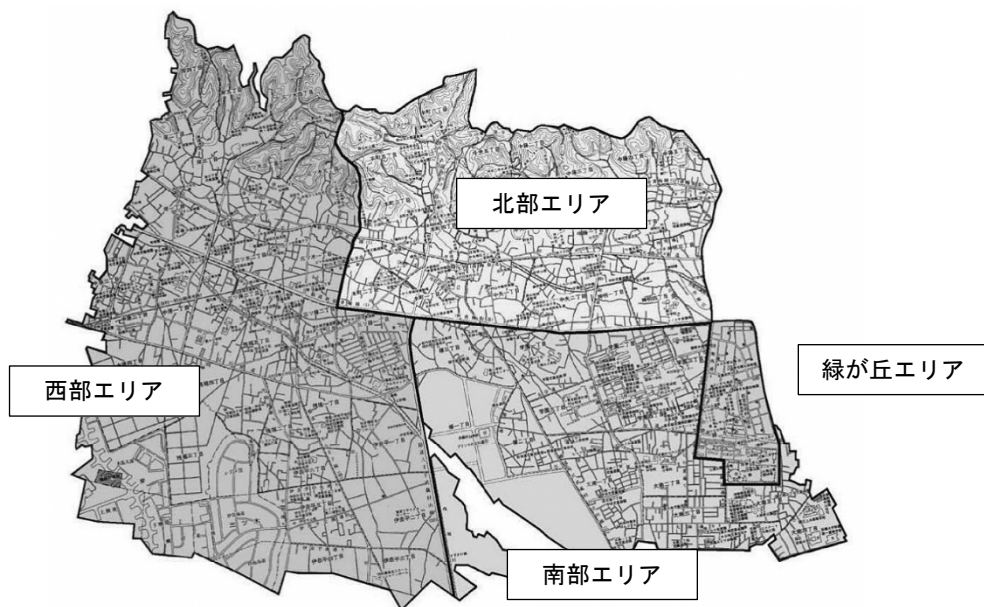
(4) 日常生活圏域

調査対象者の日常生活圏域について、「西部エリア」の割合が32.6%と最も高く、次いで「緑が丘エリア」が25.3%、「南部エリア」の割合が24.7%、「北部エリア」の割合が17.1%となっています。



【日常生活圏域】

エリア名	町名
西部エリア	伊奈平、岸、残堀、中原、三ツ木、三ツ藤、大字三ツ木（横田基地内）
北部エリア	神明、中央、中藤、本町
南部エリア	榎、大南、学園
緑が丘エリア	緑が丘

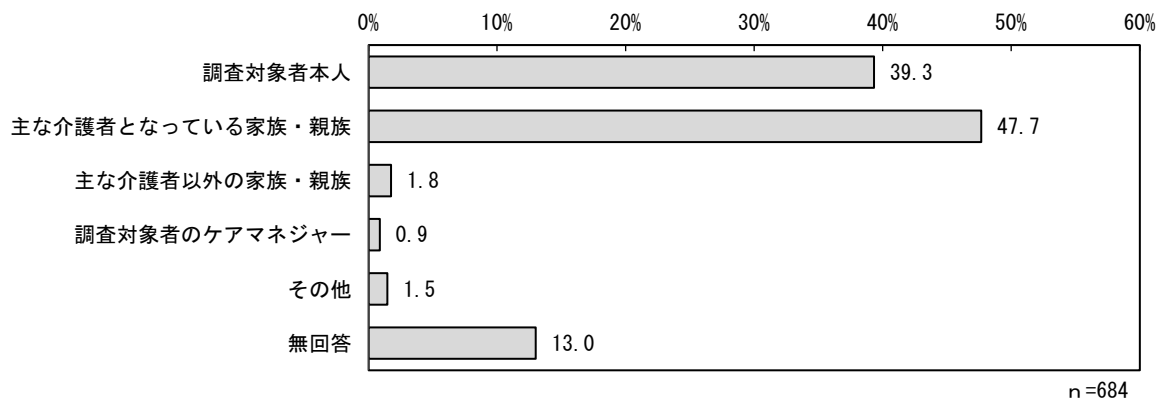


■ 日常生活圏域区分図

2 A票 調査対象者本人について

【A票の記入者は、どなたですか】（複数選択可）

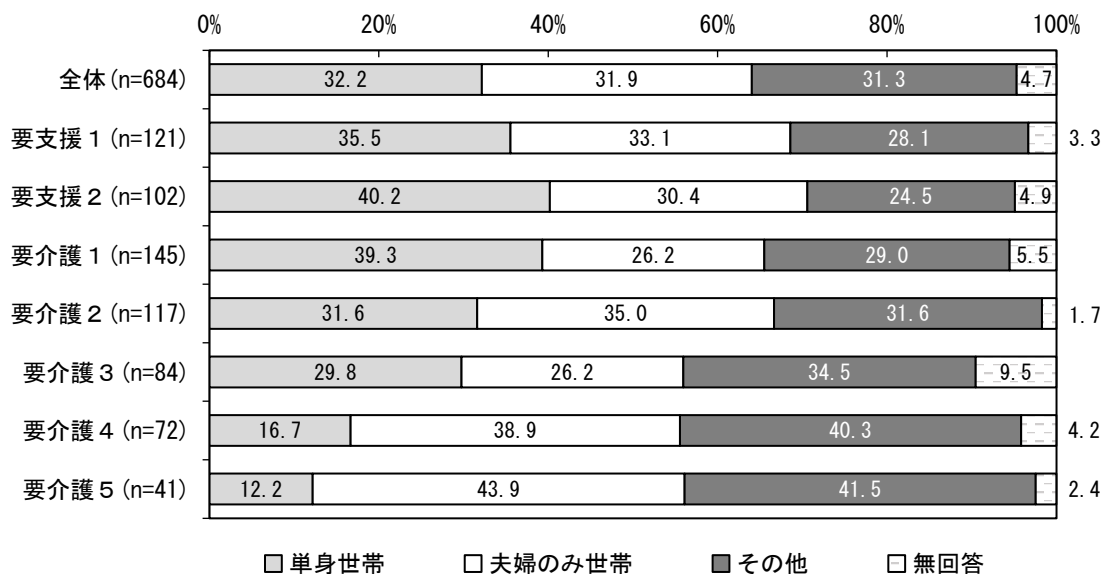
A票の記入者は、「主な介護者となっている家族・親族」の割合が47.7%と最も高く、次いで「調査対象者本人」の割合が39.3%となっています。



問1 世帯類型について、ご回答ください（1つを選択）

全体では、「単身世帯」の割合が32.2%、「夫婦のみ世帯」の割合が31.9%となっています。

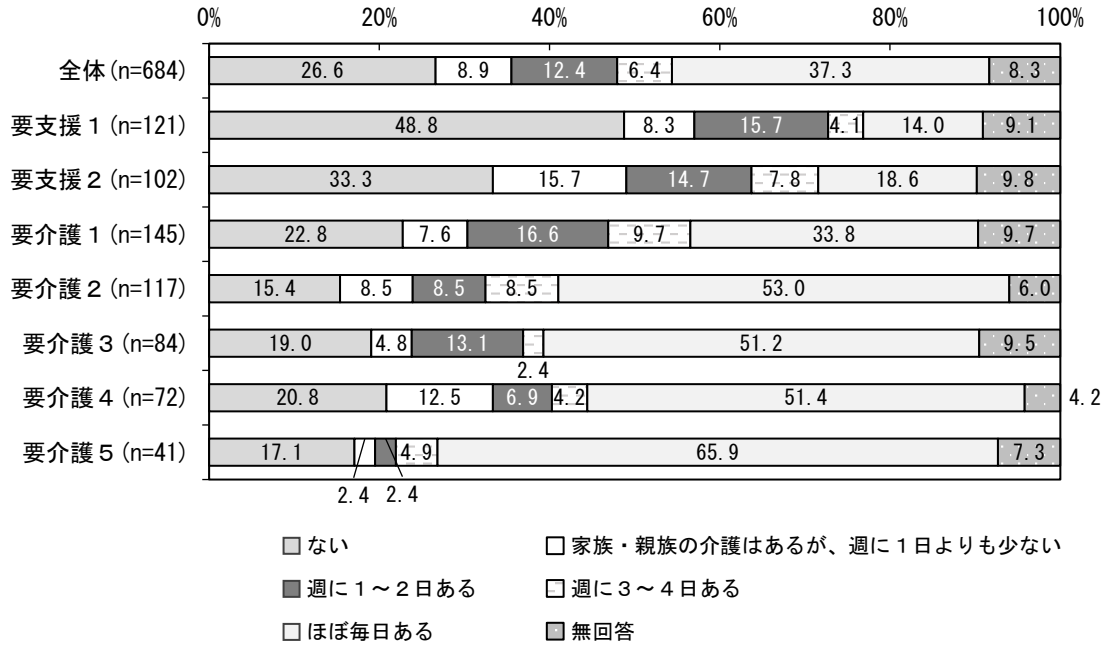
要支援・要介護度別にみると、要介護1を除き、要介護度が高くなるにつれて「単身世帯」の割合が低くなっています。



問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（1つを選択）

全体では、「ほぼ毎日ある」の割合が 51.6%と最も高く、次いで「ない」の割合が 26.6%となっています。

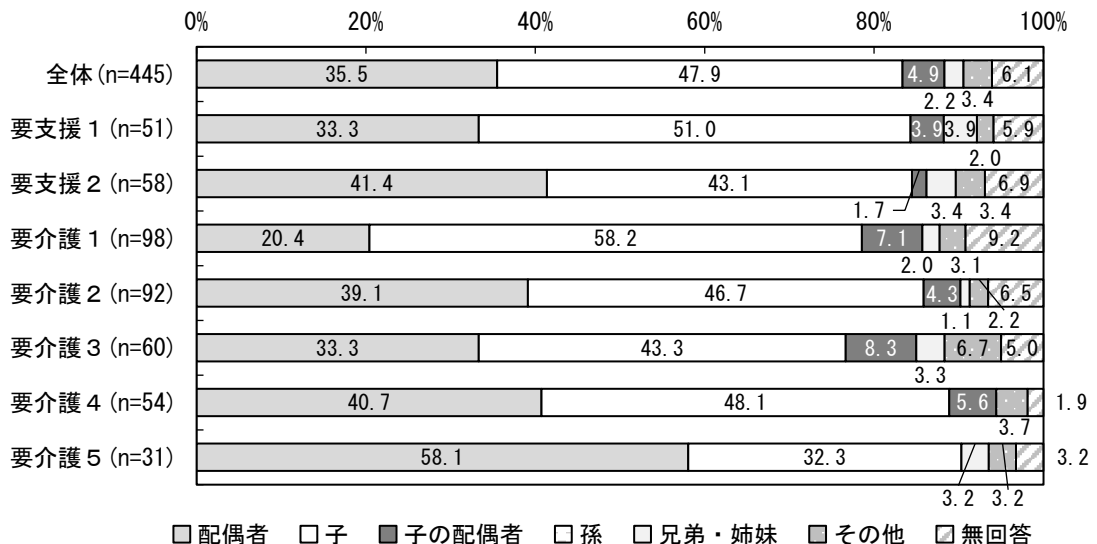
要支援・要介護度別にみると、要介護2及び4を除き、要介護度が高くなるにつれて「ない」の割合が低くなっています。



問2で「2.」「3.」「4.」「5.」と回答した方にお伺いします。

問3 主な介護者の方は、どなたですか（1つを選択）

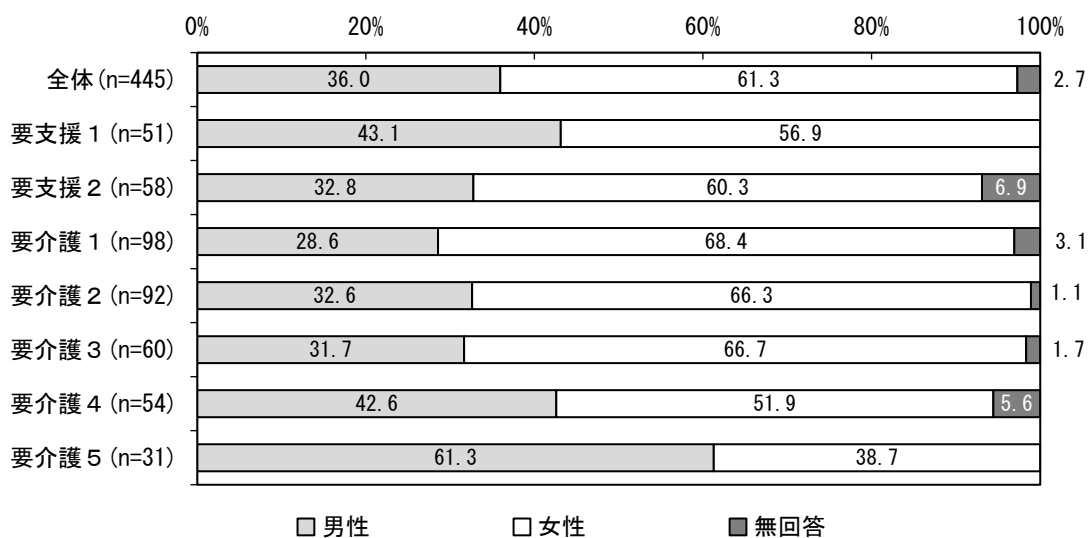
全体では、「子」の割合が 47.9%と最も高く、次いで「配偶者」の割合が 35.5%となっています。



問2で「2.」「3.」「4.」「5.」と回答した方にお伺いします。

問4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください（1つを選択）

主な介護者の性別では、「男性」の割合が36.0%、「女性」の割合が61.3%となっています。



問2で「2.」「3.」「4.」「5.」と回答した方にお伺いします。

問5 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（1つを選択）

全体では、「50代」の割合が最も高く、次いで「70代」となっています。

要支援・要介護度別にみると、要支援1、要介護1、要介護3、要介護5では「50代」、要支援2では「60代」、要介護2、要介護4では「70代」の割合が最も高くなっています。

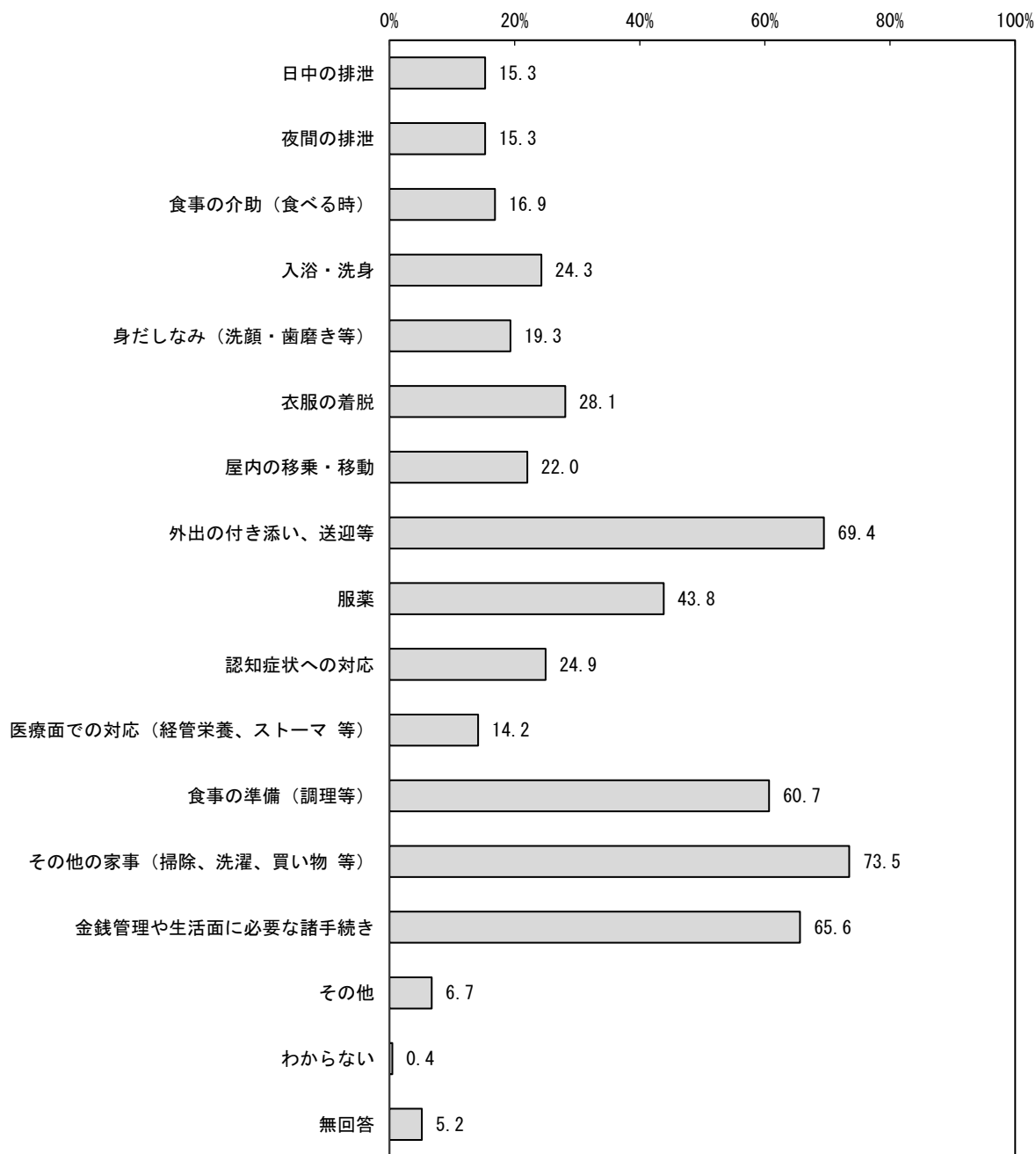
単位：%

	20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	わからない	無回答
全体 (n=445)	0.0	0.2	0.9	5.4	27.0	20.9	23.1	18.7	0.0	3.8
要支援1 (n=51)	0.0	0.0	0.0	3.9	31.4	23.5	17.6	19.6	0.0	3.9
要支援2 (n=58)	0.0	0.0	0.0	5.2	22.4	25.9	22.4	19.0	0.0	5.2
要介護1 (n=98)	0.0	0.0	3.1	5.1	34.7	21.4	15.3	14.3	0.0	6.1
要介護2 (n=92)	0.0	1.1	0.0	7.6	21.7	19.6	31.5	16.3	0.0	2.2
要介護3 (n=60)	0.0	0.0	1.7	6.7	28.3	18.3	18.3	23.3	0.0	3.3
要介護4 (n=54)	0.0	0.0	0.0	5.6	18.5	20.4	31.5	20.4	0.0	3.7
要介護5 (n=31)	0.0	0.0	0.0	0.0	32.3	16.1	29.0	22.6	0.0	0.0

問2で「2.」「3.」「4.」「5.」と回答した方にお伺いします。

**問6 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください
(複数選択可)**

主な介護者の方が行っている介護等では、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」の割合が73.5%と最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」の割合が69.4%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」の割合が65.6%となっています。

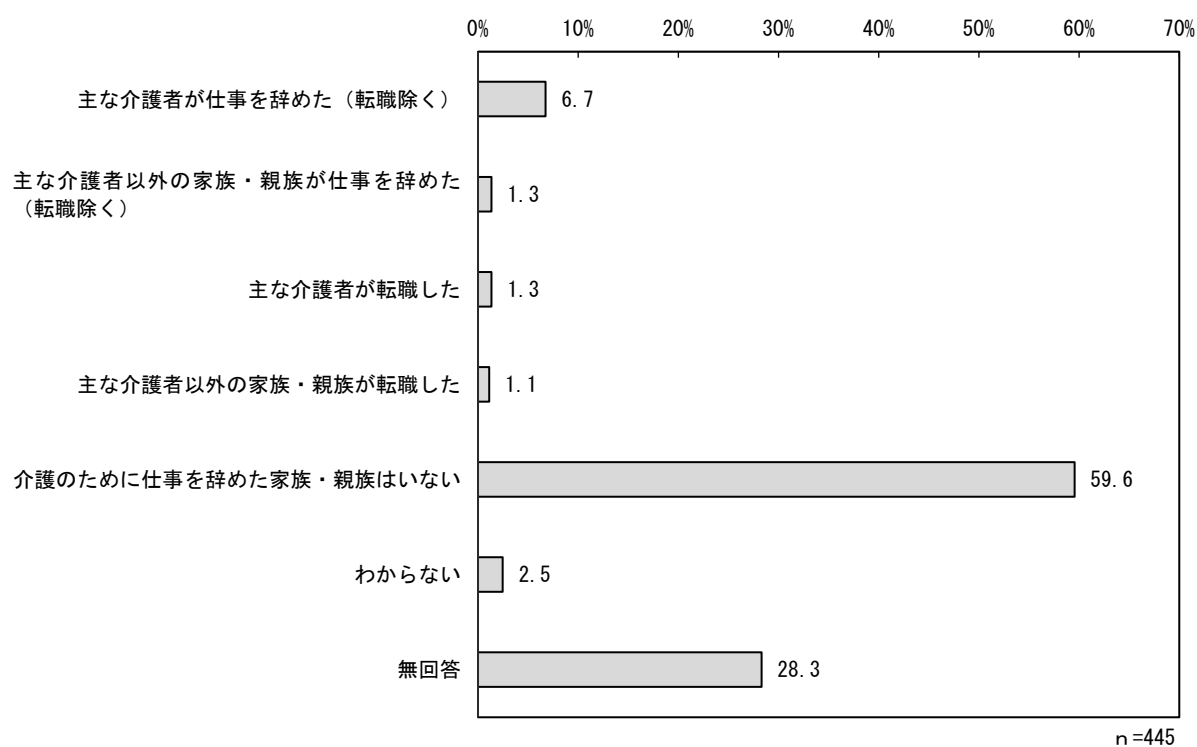


n=445

問2で「2.」「3.」「4.」「5.」と回答した方にお伺いします。

問7 ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（複数選択可）

介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方では、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」の割合が59.6%と最も高くなっています。

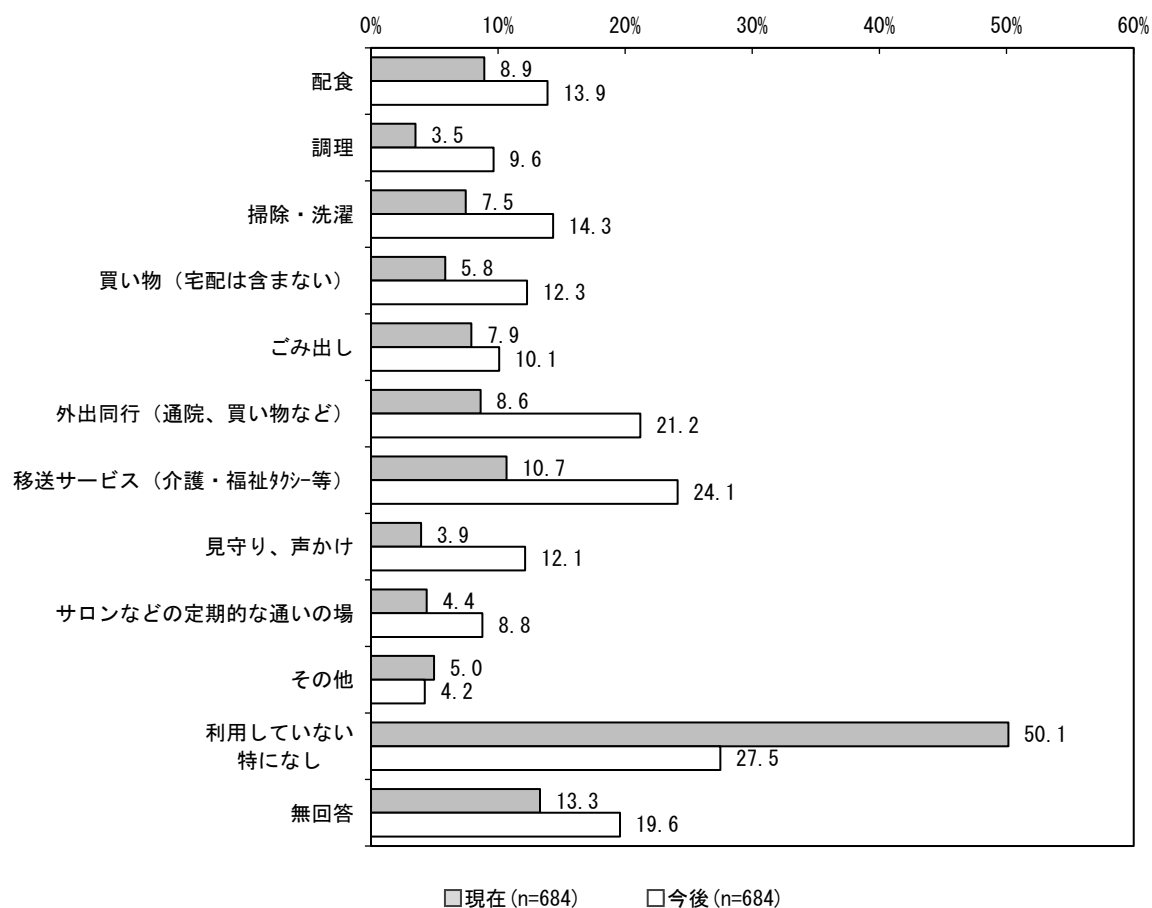


問8 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください（複数選択可）

問9 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください（複数選択可）

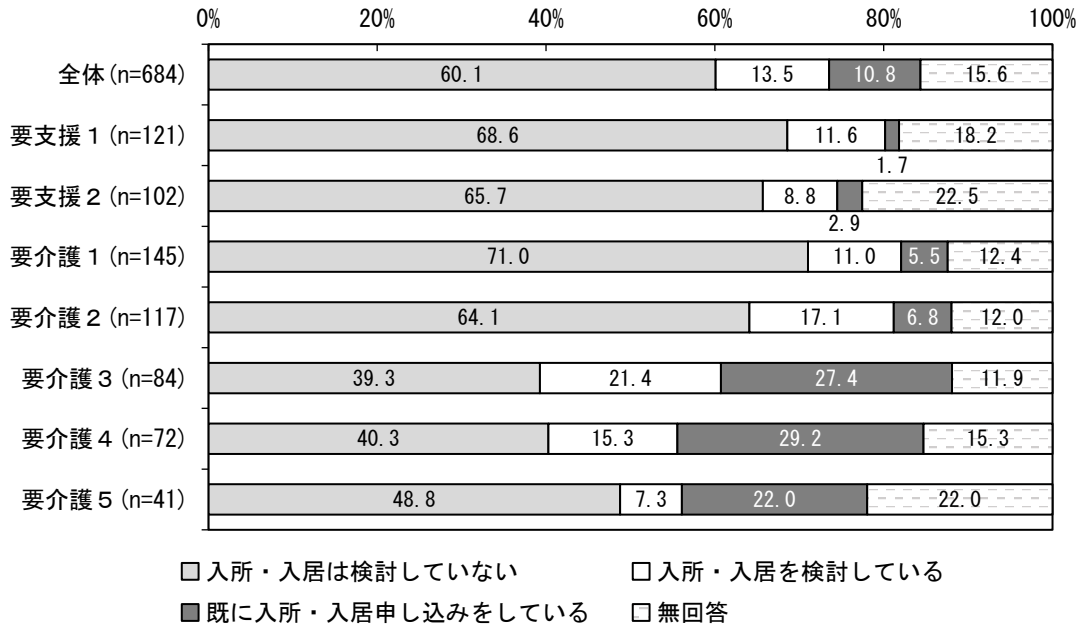
現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスでは、「利用していない」の割合が 50.1%と最も高く、利用しているサービスでは、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」の割合が 10.7%と最も高くなっています。

今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスでは、「特になし」の割合が 27.5%と最も高く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」の割合が 24.1%、「外出同行（通院、買い物など）」の割合が 21.2%となっています。



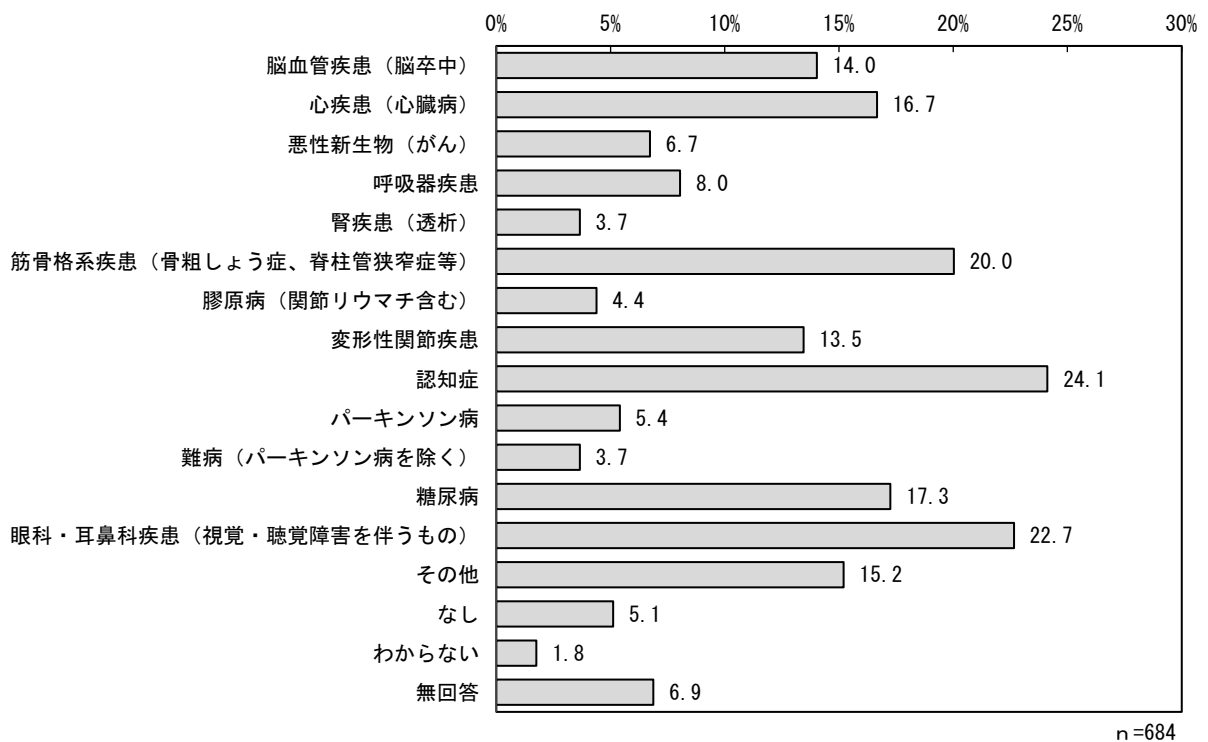
問10 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください
(1つを選択)

全体では、「入所・入居を検討している」の割合が13.5%、「既に入所・入居申し込みをしている」の割合が10.8%となっており、要支援・要介護度別にみると、「既に入所・入居申し込みをしている」の割合は、要支援5を除いた要支援1から要介護2にかけて増加傾向となっています。



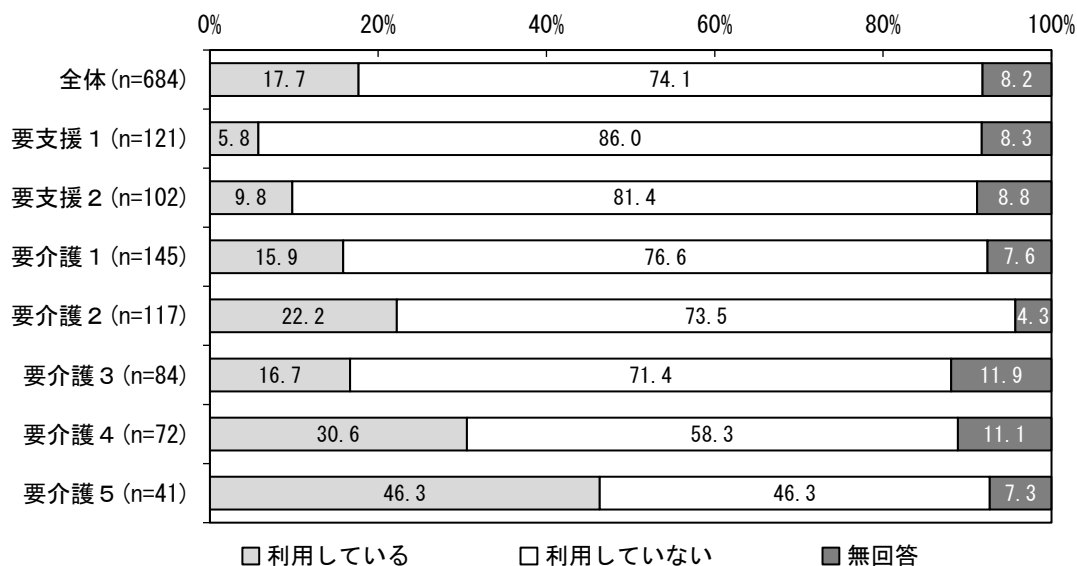
問11 ご本人（認定調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください
(複数選択可)

現在抱えている傷病では、「認知症」の割合が24.1%と最も高くなっています。



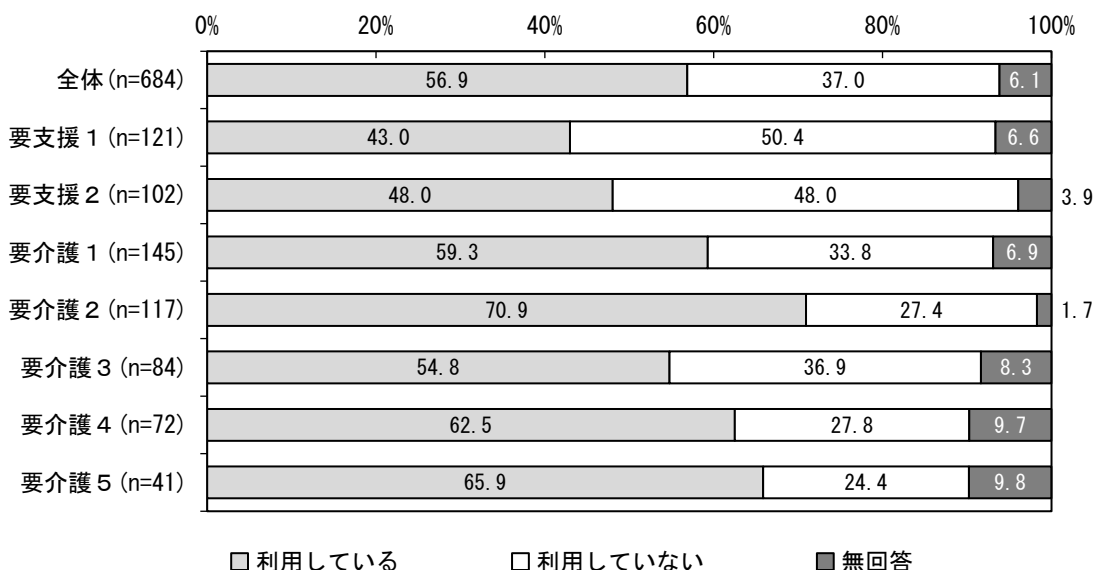
**問 12 ご本人（認定調査対象者）は、現在、訪問診療を利用していますか
（1つを選択）**

全体では、「利用している」の割合が17.7%、「利用していない」の割合が74.1%となっており、要支援・要介護度別にみると、要介護3を除き、要介護度が高くなるにつれて「利用している」の割合が高くなっています。



問 13 現在、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用していますか（1つを選択）

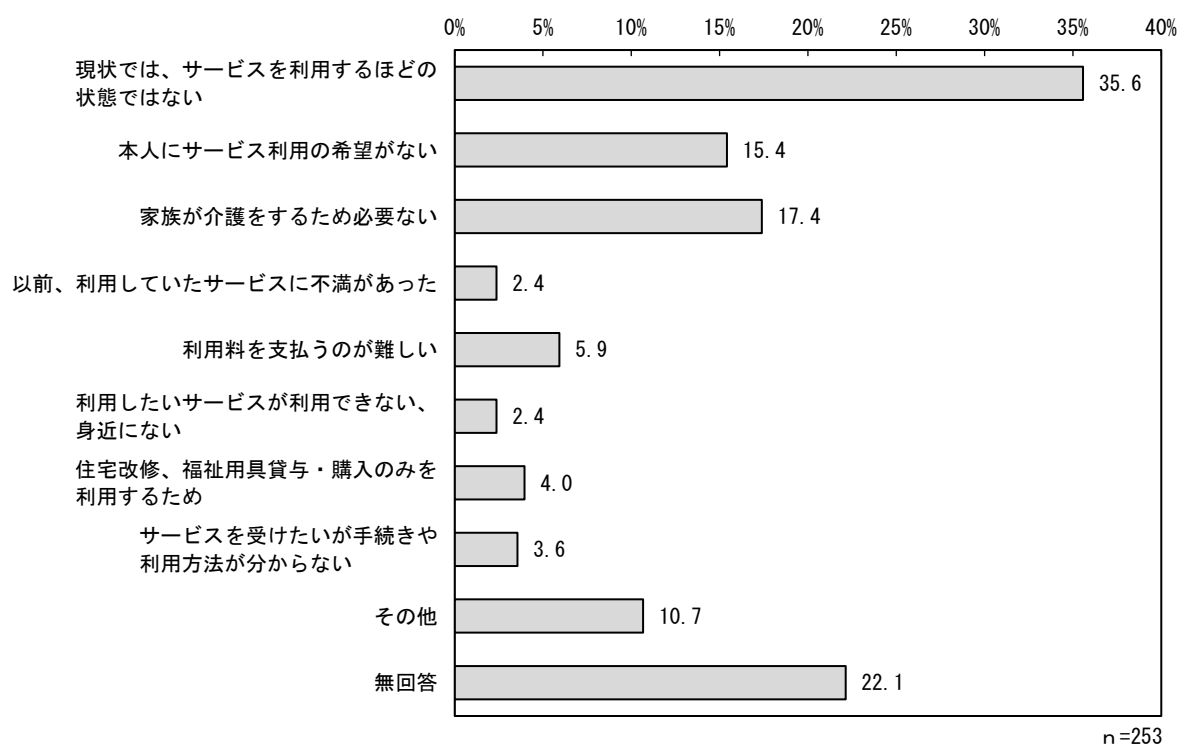
全体では、「利用している」の割合が56.9%、「利用していない」の割合が37.0%となっており、要支援・要介護度別にみると、要介護2までは、要介護度が高くなるにつれて「利用している」の割合が高くなっています。



問 13 で「2.」と回答した場合は、問 14 も回答してください。

問 14 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか（複数選択可）

介護保険サービスを利用していない理由では、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」の割合が 35.6%と最も高く、次いで「家族が介護をするため必要ない」の割合が 17.4%となっています。



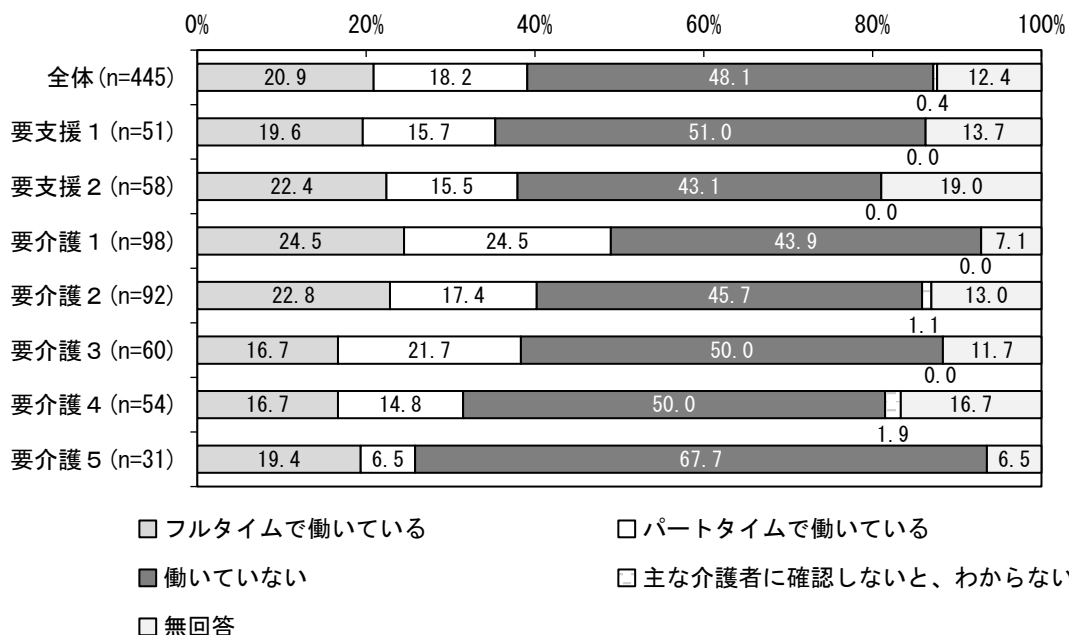
B票は、A票の問2で「2.」「3.」「4.」「5.」と回答した方の主な介護者様にお願いしている質問となります。

3 B票 主な介護者様、又はご本人様にご回答・ご記入いただく項目

問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください（1つを選択）

全体では、「働いていない」の割合が48.1%と最も高く、次いで「フルタイムで働いている」の割合が20.9%、「パートタイムで働いている」の割合が18.2%となっています。

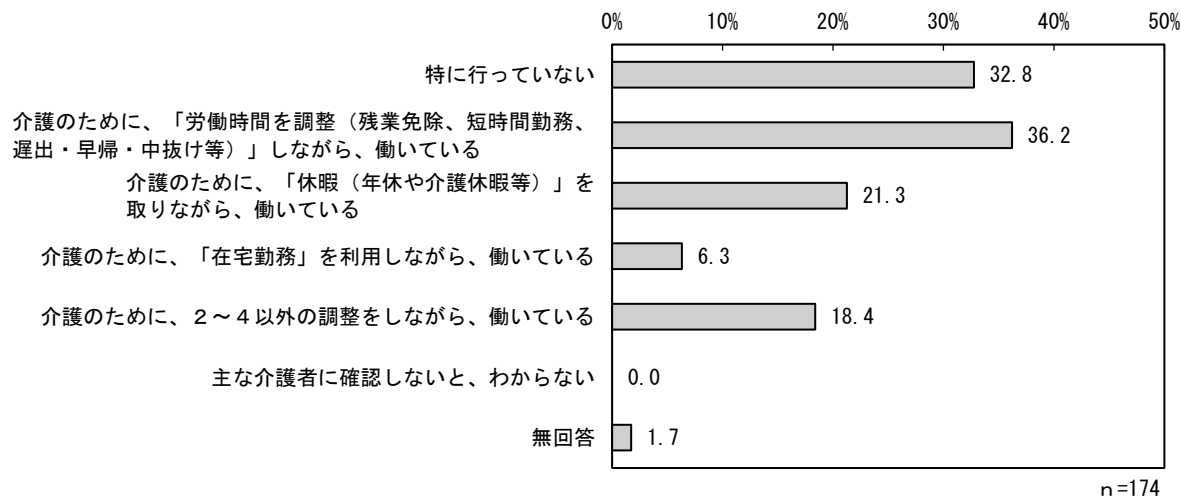
要支援・要介護度別にみると、要支援1を除き、要介護度が高くなるにつれて「働いていない」の割合が高くなっています。



問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。

問2 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等を行っていますか（複数選択可）

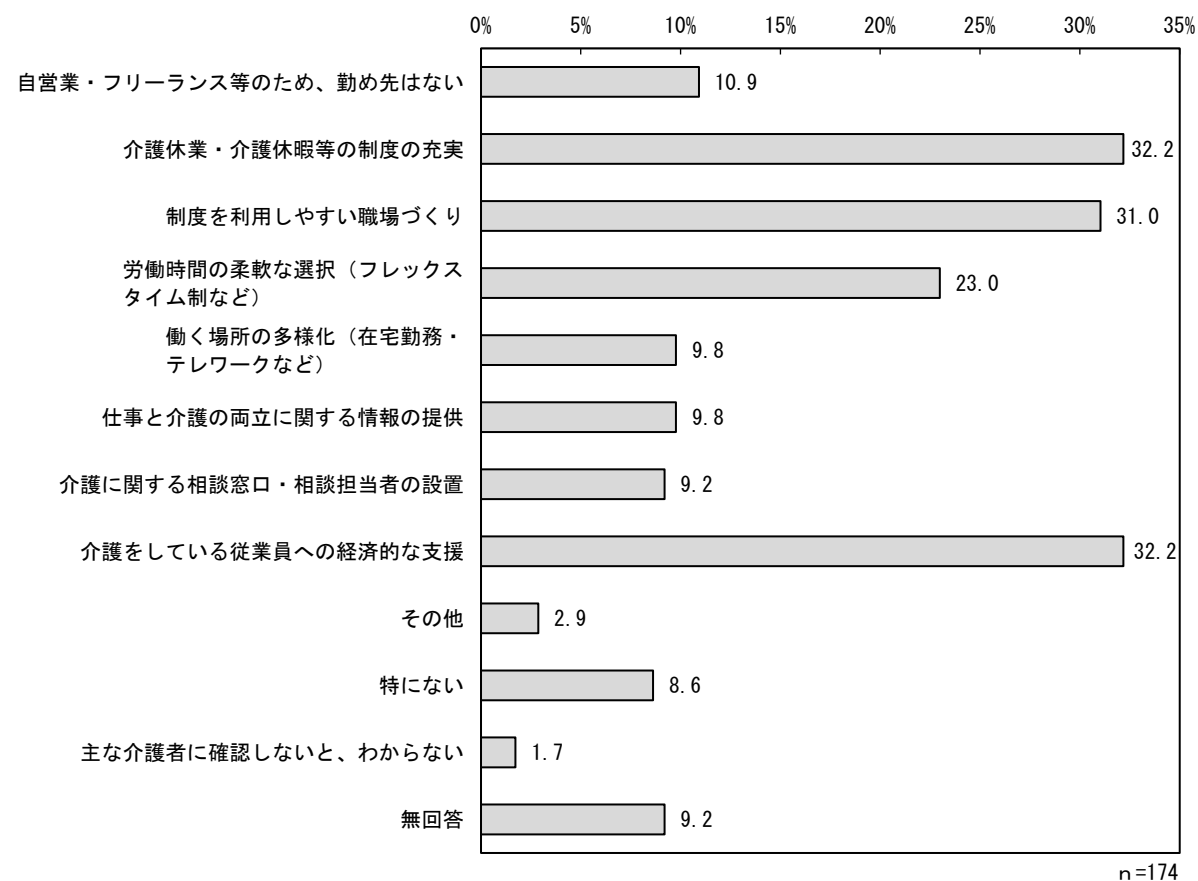
介護をするにあたっての働き方の調整等については、「介護のために、『労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）』しながら、働いている」の割合が36.2%と最も高く、次いで「特に行っていない」の割合が32.8%となっています。



問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。

問3 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（3つまで選択可）

勤め先からの支援については、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」及び「介護をしている従業員への経済的な支援」の割合がそれぞれ32.2%と最も高く、次いで「制度を利用しやすい職場づくり」の割合が31.0%となっています。

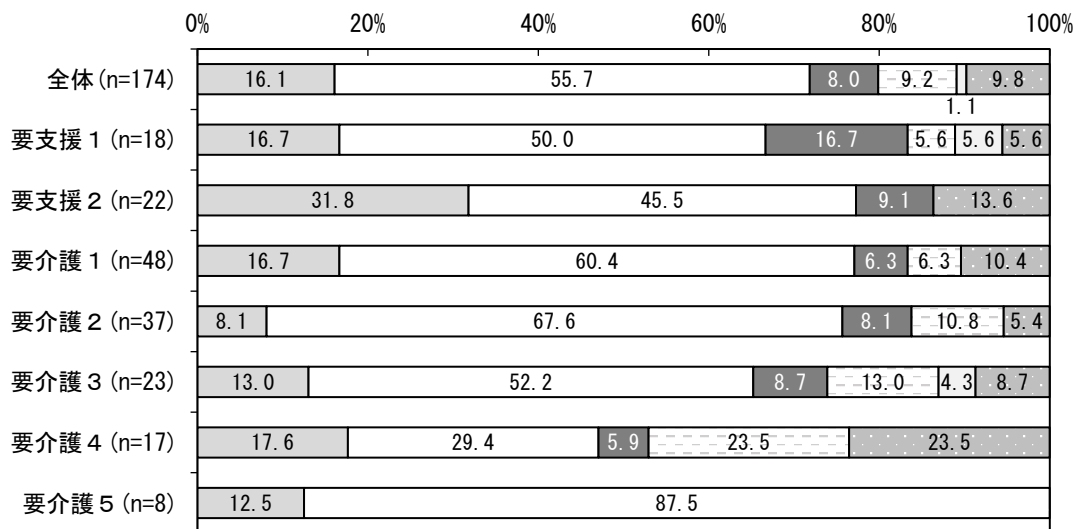


問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。

**問4 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか
(1つを選択)**

全体では、「問題はあるが、何とか続けていける」の割合が55.7%と最も高く、次いで「問題なく、続けていける」の割合が16.1%、「続けていくのは、やや難しい」の割合が8.0%となっています。

要支援・要介護度別にみると、要支援1、要介護5を除き、要介護度が高くなるにつれて「続けていくのは、かなり難しい」の割合が高くなっています。

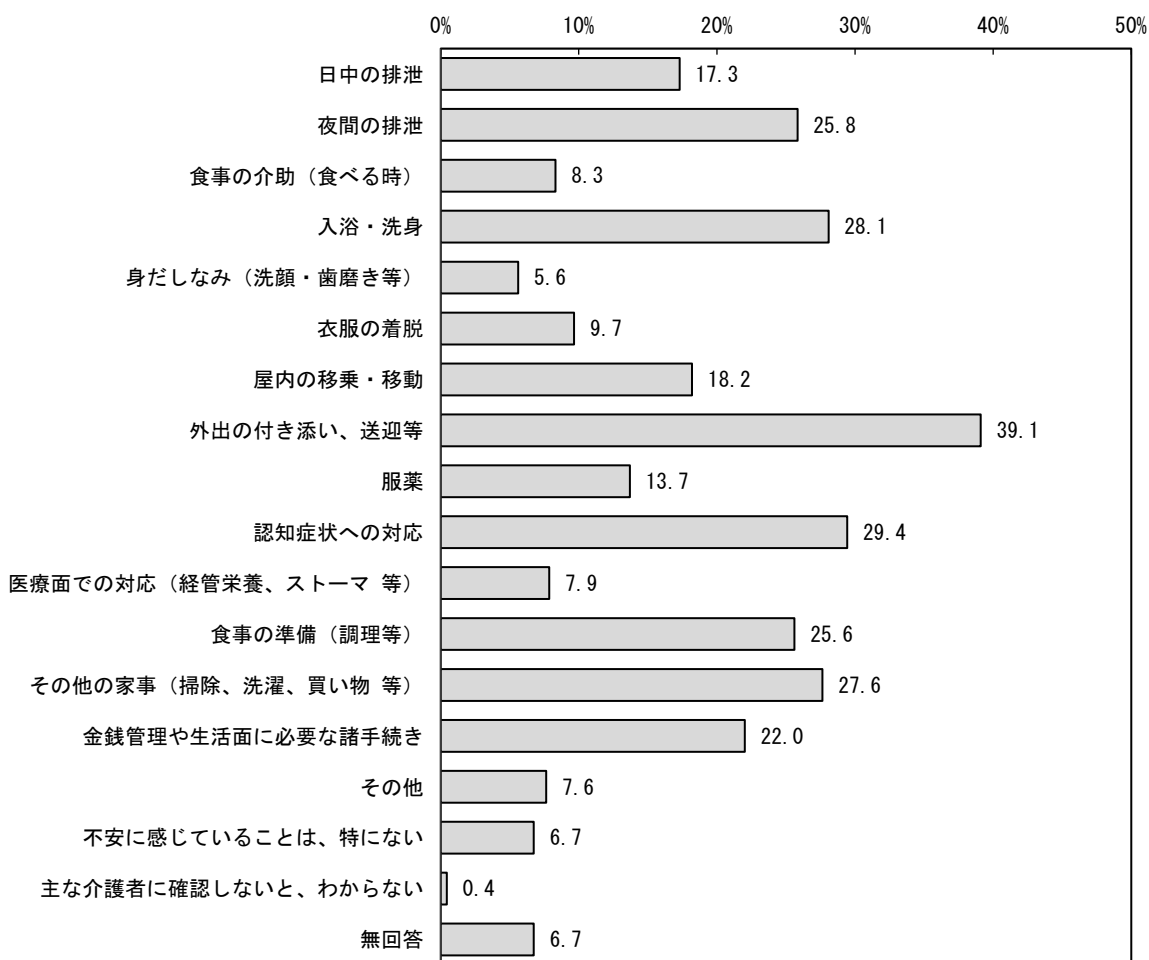


- 問題なく、続けていける
- 問題はあるが、何とか続けていける
- 続けていくのは、やや難しい
- 続けていくのは、かなり難しい
- 主な介護者に確認しないと、わからない
- 無回答

● ここから再び、全員の方にお伺いします。

問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）
（3つまで選択可）

主な介護者の方が不安を感じる介護等では、「外出の付き添い、送迎等」の割合が39.1%と最も高く、次いで「認知症状への対応」の割合が29.4%、「入浴・洗身」の割合が28.1%となっています。



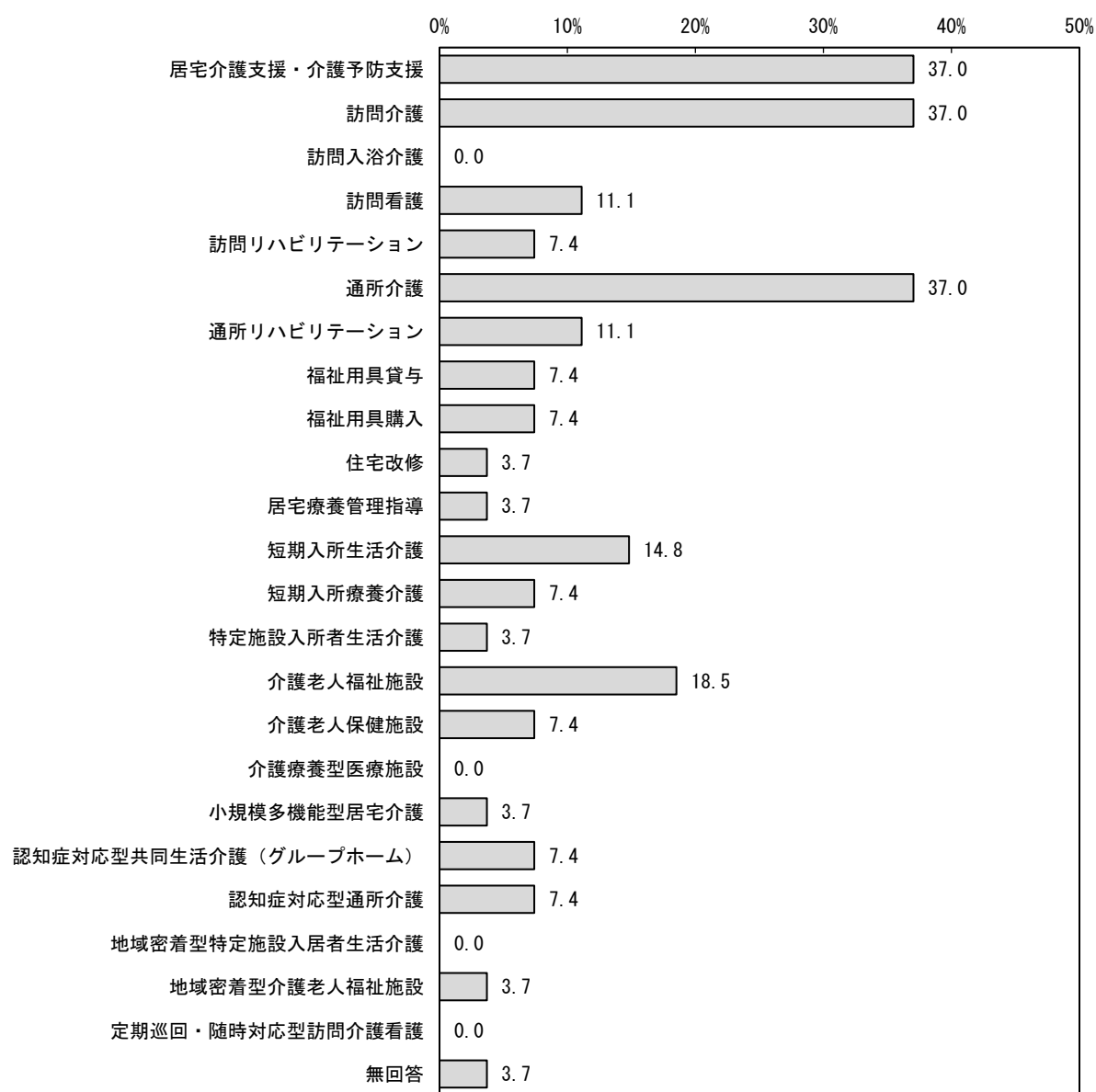
n=445

VI 事業者アンケート調査

問1 事業所の活動状況について教えてください。

①サービスの種類（あてはまるもの全てに○）

事業所のサービスの種類は、「居宅介護支援・介護予防支援」、「訪問介護」及び「通所介護」の割合がそれぞれ 37.0%と最も高く、次いで「介護老人福祉施設」の割合が 18.5%となっています。なお、「訪問入浴介護」、「介護療養型医療施設」、「地域密着型特定施設入居者生活介護」及び「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」を提供していると回答した事業所は、ありませんでした。



n=27

「2. 訪問介護」「6. 通所介護」を提供している事業者におたずねします。

②職員・スタッフ（複数の資格を持つ場合は、現に勤務する職種）

現在提供している介護サービスは、以下のとおりです。

種 類	訪問介護		通所介護	
	常 勤	非常勤	常 勤	非常勤
実務者研修修了者（旧ヘルパー 1 級）	2 人	6 人	1 人	4 人
初任者研修修了者（旧ヘルパー 2 級）	10 人	49 人	1 人	18 人
生活援助従事者研修修了者（旧ヘルパー 3 級）	－	1 人	－	－
初任者研修修了者	3 人	14 人	－	5 人
介護支援専門員	1 人	2 人	1 人	－
医師	－	－	－	－
看護師	5 人	3 人	3 人	23 人
保健師	－	－	－	－
管理栄養士	－	－	－	－
栄養士	－	－	－	1 人
社会福祉士	－	－	1 人	－
社会福祉主事	－	－	－	－
介護福祉士	24 人	53 人	27 人	38 人
作業療法士・理学療法士	－	1 人	－	2 人
言語聴覚士	－	－	－	－
管理職・事務職	2 人	2 人	6 人	5 人
その他スタッフ	－	1 人	5 人	35 人

問2 施設の定員と現在の利用者について、入所とショートステイについてご記入ください。

施設の定員と現在の利用者は以下のとおりです。

介護老人福祉施設では、施設定員 367 人に対して利用者 357 人、地域密着型介護老人福祉施設では、施設定員 29 人に対して利用者 29 人、介護老人保健施設では、施設定員 248 人に対して利用者数 234 人と、利用率はほぼ 100%となっています。なお、現在の利用者数に対する武蔵村山市民の利用率は、介護老人福祉施設で 61.9%、地域密着型介護老人福祉施設で 96.6%、介護療養型医療施設で 23.6%となっています。

種 類	入 所			ショートステイ		
	施設定員	利用者数	うち武蔵 村山市民	ショート 定員	利用者数	うち武蔵 村山市民
介護老人福祉施設	367 人	357 人	227 人	29 床	11 床	10 床
地域密着型介護老人福祉施設	29 人	29 人	28 人	—	—	—
介護老人保健施設	248 人	234 人	71 人	—	2 床	2 床

問3 今後の利用者の見通しについてはどのようにお考えですか。あてはまる番号に○印をつけてください。(それぞれ1つに○)

介護老人福祉施設では、「今(令和4)年度見込みと同じくらい提供できる見込み」が3件、「今(令和4)年度見込みより減る見込み」が1件回答されています。地域密着型介護老人福祉施設では、「今(令和4)年度見込みと同じくらい提供できる見込み」が2件、「今(令和4)年度見込みより減る見込み」が1件回答されています。

全ての事業者におたずねします

1 介護サービスについて

問4 介護サービスについて、

- (1) 現在提供しているサービス（○はいくつでも）
- (2) 令和4年10月のサービス提供量（武蔵村山市分のみ）

についてご記入ください。

現在提供している介護サービスは、以下のとおりです。

種 類		提供している ものに○	令和4年10月の提 供量（武蔵村山市 分のみ）
居宅サ ー ビ ス	①訪問介護	9 事業所	3,818 時間
	②訪問入浴介護	—	—
	③訪問看護	4 事業所	1,088 回
	④訪問リハビリテーション	2 事業所	312 回
	⑤居宅療養管理指導	1 事業所	40 回
	⑥通所介護	5 事業所	3,035 回
	⑦通所リハビリテーション	3 事業所	1,277 回
	⑧短期入所生活介護	3 事業所	235 日
	⑨短期入所療養介護	2 事業所	18 日
	⑩特定施設入居者生活介護	1 事業所	11 人
	⑪福祉用具の貸与	2 事業所	151 人
	⑫特定福祉用具販売	2 事業所	6 人
地域 密 着 型	①夜間対応型訪問介護	—	—
	②認知症対応型通所介護	1 事業所	832 回
	③小規模多機能型居宅介護	1 事業所	502 回
	④認知症対応型共同生活介護	2 事業所	274 人
	⑤地域密着型特定施設入居者生活介護	—	—
	⑥地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	1 事業所	277 人
	⑦定期巡回・随時対応型訪問介護看護	—	—
	⑧看護小規模多機能型居宅介護	—	—
	⑨地域密着型通所介護	5 事業所	563 回
その他	①住宅改修	—	—
	②居宅介護支援	8 事業所	984 人

注) 令和4年10月の提供量は、提供事業所の合計値。

問5 問4の各サービスの来年度以降の予定について、それぞれあてはまる番号に○印をつけてください。(それぞれ1つに○)

『令和4年度と同程度以上』（増加と同程度とを合わせた割合）が10%を超えているものは、【居宅サービス】においては、「訪問介護」、「訪問看護」、「通所介護」及び「通所リハビリテーション」、【地域密着型サービス】においては、「地域密着型通所介護」、【その他】においては、「居宅介護支援」となっています。

単位：%

種 類		提供予定あり (令和4年度より増加)	提供予定あり (令和4年度と同程度)	増加と同程度	提供予定あり (令和4年度より減少)	提供予定なし	未定	無回答
居宅サービス	訪問介護	3.7	18.5	22.2	7.4	3.7	3.7	63.0
	訪問入浴介護	0.0	0.0	0.0	0.0	7.4	3.7	88.9
	訪問看護	3.7	11.1	14.8	0.0	3.7	3.7	77.8
	訪問リハビリテーション	0.0	7.4	7.4	0.0	3.7	3.7	85.2
	居宅療養管理指導	0.0	3.7	3.7	0.0	3.7	3.7	88.9
	通所介護	0.0	18.5	18.5	0.0	7.4	3.7	70.4
	通所リハビリテーション	0.0	11.1	11.1	0.0	3.7	3.7	81.5
	短期入所生活介護	0.0	3.7	3.7	3.7	7.4	3.7	81.5
	短期入所療養介護	0.0	7.4	7.4	0.0	3.7	3.7	85.2
	特定施設入居者生活介護	0.0	3.7	3.7	0.0	7.4	3.7	85.2
	福祉用具貸与	0.0	7.4	7.4	0.0	3.7	3.7	85.2
	特定福祉用具販売	0.0	7.4	7.4	0.0	3.7	3.7	85.2
地域密着型サービス	夜間対応型訪問介護	0.0	0.0	0.0	0.0	7.4	3.7	88.9
	認知症対応型通所介護	0.0	7.4	7.4	0.0	7.4	3.7	81.5
	小規模多機能型居宅介護	0.0	3.7	3.7	0.0	7.4	3.7	85.2
	認知症対応型共同生活介護	0.0	3.7	3.7	0.0	7.4	3.7	85.2
	地域密着型特定施設入居者生活介護	0.0	0.0	0.0	0.0	7.4	3.7	88.9
	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	0.0	3.7	3.7	0.0	7.4	3.7	85.2
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0.0	3.7	3.7	0.0	7.4	3.7	85.2
	看護小規模多機能型居宅介護	0.0	0.0	0.0	0.0	7.4	3.7	88.9
その他	地域密着型通所介護	3.7	7.4	11.1	0.0	3.7	3.7	81.5
	住宅改修	0.0	0.0	0.0	3.7	7.4	3.7	85.2
	居宅介護支援	3.7	22.2	25.9	0.0	3.7	3.7	66.7

n=27

2 介護予防サービスについて

問6 介護予防サービスについて、

- (1) 現在提供しているサービス（○はいくつでも）
- (2) 令和4年10月のサービス提供量（武蔵村山市分のみ）

についてご記入ください。

現在提供している介護予防サービスは、以下のとおりです。

種 類		提供しているものに○	令和4年10月の提供量 (武蔵村山市分のみ)
居宅サービス	①介護予防訪問入浴介護	—	—
	②介護予防訪問看護	3事業所	74回
	③介護予防訪問リハビリテーション	2事業所	138回
	④介護予防居宅療養管理指導	1事業所	1人
	⑤介護予防通所リハビリテーション	1事業所	13回
	⑥介護予防短期入所生活介護	3事業所	3日
	⑦介護予防短期入所療養介護	1事業所	0日
	⑧介護予防特定施設入居者生活介護	—	—
	⑨介護予防福祉用具の貸与	2事業所	65人
	⑩特定介護予防福祉用具販売	2事業所	2人
地域密着型	①介護予防認知症対応型通所介護	1事業所	0回
	②介護予防小規模多機能型居宅介護	—	—
	③介護予防認知症対応型共同生活介護	1事業所	0人
その他	①住宅改修	1事業所	1人
	②介護予防支援	8事業所	612人

問7 問6の各サービスの来年度以降の予定について、それぞれあてはまる番号に○印をつけてください。(それぞれ1つに○)

『令和4年度と同程度以上』（増加と同程度とを合わせた割合）が10%を超えているものは、【居宅サービス】においては、「介護予防訪問看護」、【その他】においては、「介護予防支援」のみとなっています。

単位：%

種 類		提供予定あり (令和4年度より増加)	提供予定あり (令和4年度と同程度)	増加と同程度	提供予定あり (令和4年度より減少)	提供予定なし	未定	無回答
居宅サービス	介護予防訪問入浴介護	0.0	0.0	0.0	0.0	7.4	0.0	92.6
	介護予防訪問看護	3.7	7.4	11.1	0.0	3.7	0.0	85.2
	介護予防訪問リハビリテーション	0.0	7.4	7.4	0.0	3.7	0.0	88.9
	介護予防居宅療養管理指導	0.0	3.7	3.7	0.0	3.7	0.0	92.6
	介護予防通所リハビリテーション	0.0	3.7	3.7	0.0	3.7	0.0	92.6
	介護予防短期入所生活介護	0.0	3.7	3.7	3.7	7.4	3.7	81.5
	介護予防短期入所療養介護	0.0	3.7	3.7	0.0	3.7	0.0	92.6
	介護予防特定施設入居者生活介護	0.0	0.0	0.0	0.0	7.4	0.0	92.6
	介護予防福祉用具貸与	0.0	7.4	7.4	0.0	3.7	0.0	88.9
	特定介護予防福祉用具販売	0.0	7.4	7.4	0.0	3.7	0.0	88.9
地域密着型	介護予防認知症対応型通所介護	0.0	0.0	0.0	0.0	7.4	3.7	88.9
	介護予防小規模多機能型居宅介護	0.0	3.7	3.7	0.0	7.4	0.0	88.9
	介護予防認知症対応型共同生活介護	0.0	3.7	3.7	0.0	7.4	3.7	85.2
その他	住宅改修	3.7	0.0	3.7	3.7	7.4	0.0	85.2
	介護予防支援	3.7	22.2	25.9	3.7	7.4	0.0	63.0

n=27

問8 介護サービス（介護予防サービスを含む）の地域密着型サービスへの参入について、障害となっていることや行政等に望む支援等があれば、ご記入ください。

障害となっていることや行政に望む支援等として、以下の意見がありました。

- ・地域区分が低いため参入事業所が少ない。地域区分が上がるとよい。
- ・サービス費が運営するにあたって心もとない。認知症デイやグループホームでは軽すぎて、利用者が難しいと思うし、そもそも対象がいない。

3 その他のサービスと事業所の運営について

問9 現在の介護保険制度にあるサービス以外で、

- (1) 現在提供しているもの
- (2) 今後、武蔵村山市に提供したいもの

があればご記入ください。(〇はいくつでも)

その他のサービスの提供状況は、以下のとおりです。

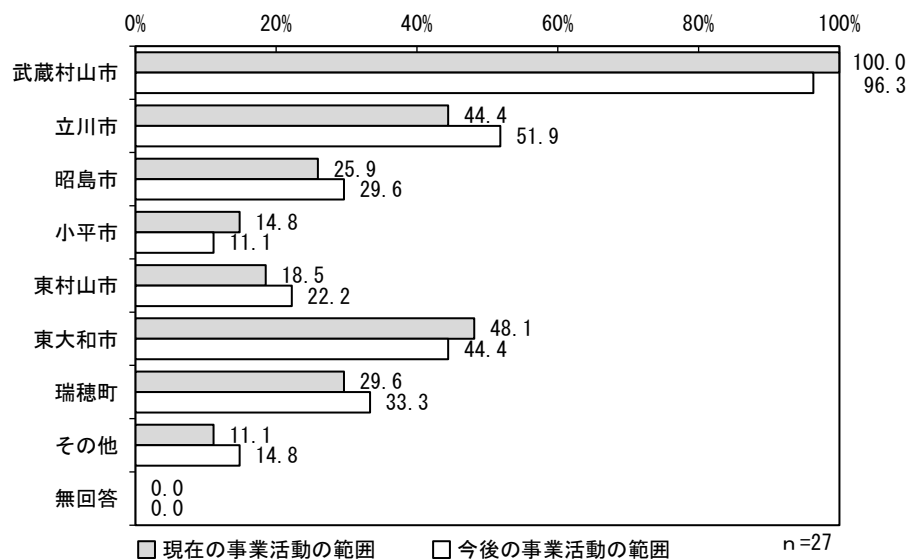
種	類	提供しているもの	今後提供したいもの
配食サービス		2 事業所	
付添いサービス		—	1 事業所
庭仕事や力仕事		—	1 事業所
緊急通報システム		1 事業所	1 事業所
介護保険対象外の福祉用具の販売・レンタル		3 事業所	1 事業所
介護保険対象外の住宅改修		1 事業所	1 事業所
リハビリ器具、健康器具の販売・レンタル		—	—
障害福祉サービス		4 事業所	—
その他		1 事業所	—

問 10 貴事業所の活動の現在の範囲と今後の範囲について教えてください。

- (1) 現在の事業活動の範囲は。(〇はいくつでも)
 (2) 今後の事業活動の範囲は。(〇はいくつでも)

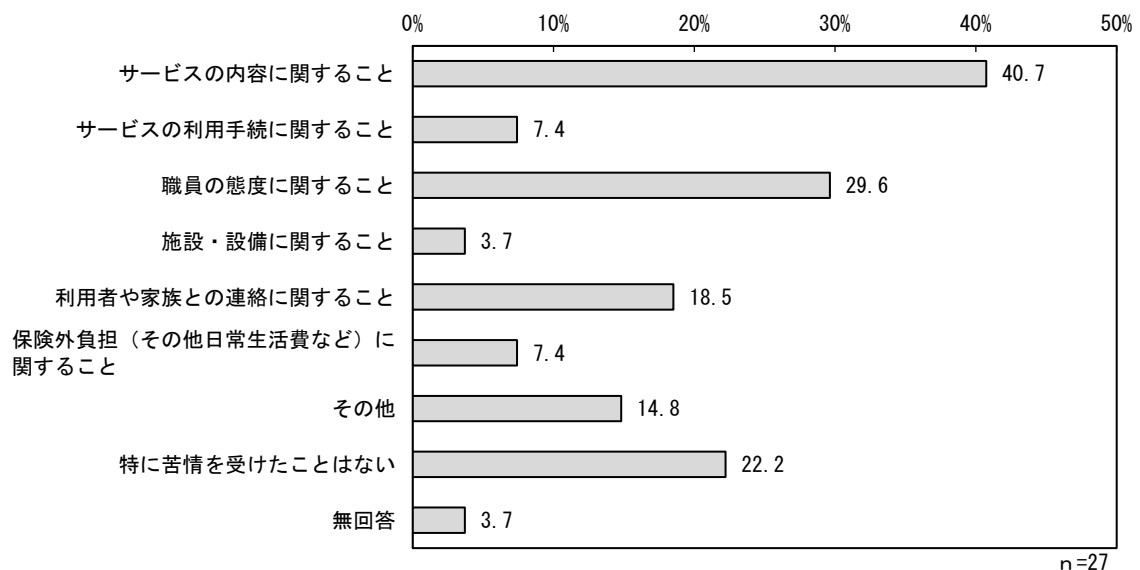
現在の事業活動の範囲では、「武蔵村山市」の割合が 100.0%と最も高く、次いで「東大和市」の割合が 48.1%、「立川市」の割合が 44.4%となっています。

今後の事業活動の範囲では、「武蔵村山市」の割合が 96.3%と最も高く、次いで「立川市」の割合が 51.9%、「東大和市」の割合が 44.4%となっています。



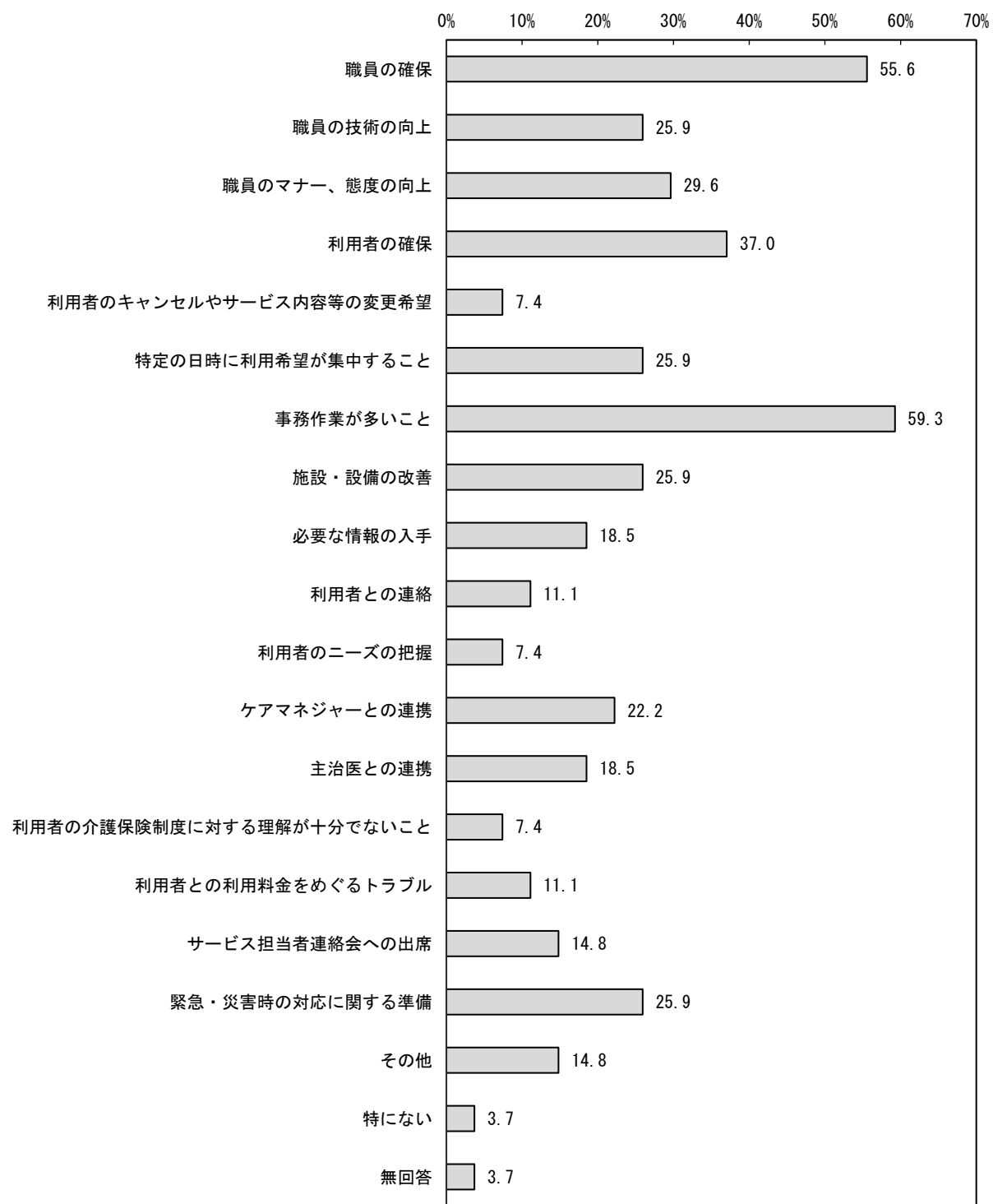
問 11 これまでに、利用者や家族からどのような苦情がありましたか。(〇はいくつでも)

これまでの利用者や家族からの苦情では、「サービスの内容に関すること」の割合が 40.7%と最も高く、次いで「職員の態度に関すること」の割合が 29.6%、「利用者や家族との連絡に関すること」が 18.5%となっています。



問 12 事業運営上、どのようなことに苦慮しておられますか。(〇はいくつでも)

事業運営上、苦慮していることでは、「事務作業が多いこと」の割合が 59.3%と最も高く、次いで「職員の確保」の割合が 55.6%、「利用者の確保」の割合が 37.0%となっています。

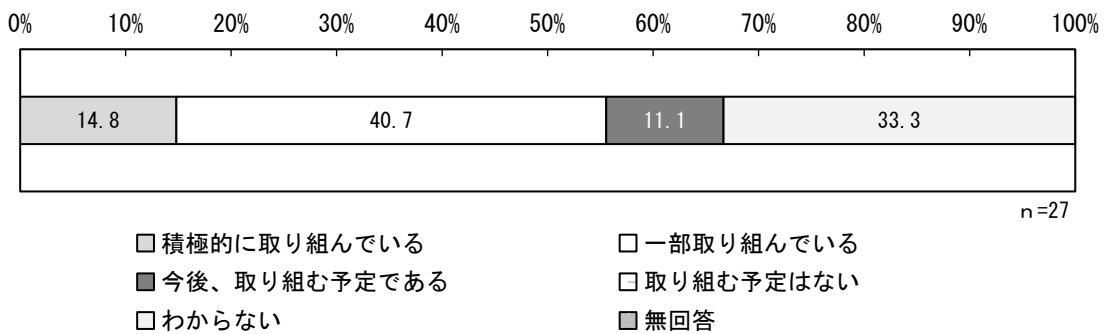


n=27

問 13 少子高齢化による介護需要の増加に伴い、2035年には介護職員が不足することが見込まれています。介護サービスの持続的に提供するためには、DX（デジタルトランスフォーメーション）による業務の効率化が急務となっています。DXについて教えてください。

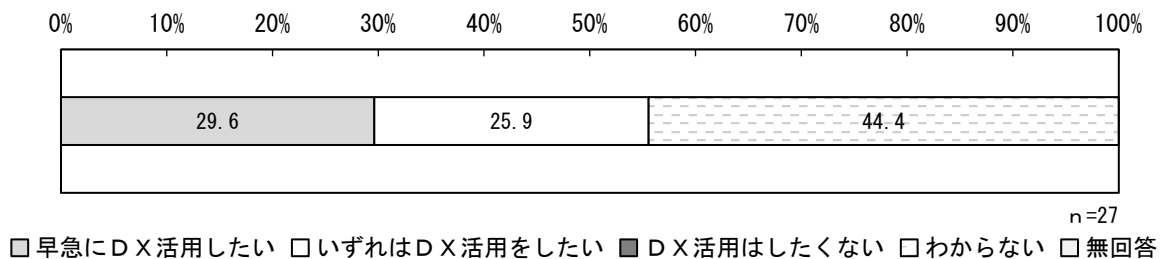
(1) DXへの取組状況について、教えてください。（1つに○）

DXへの取組状況について、「一部取り組んでいる」の割合が40.7%と最も高く、次いで「取り組む予定はない」の割合が33.3%、「積極的に取り組んでいる」の割合が14.8%となっています。



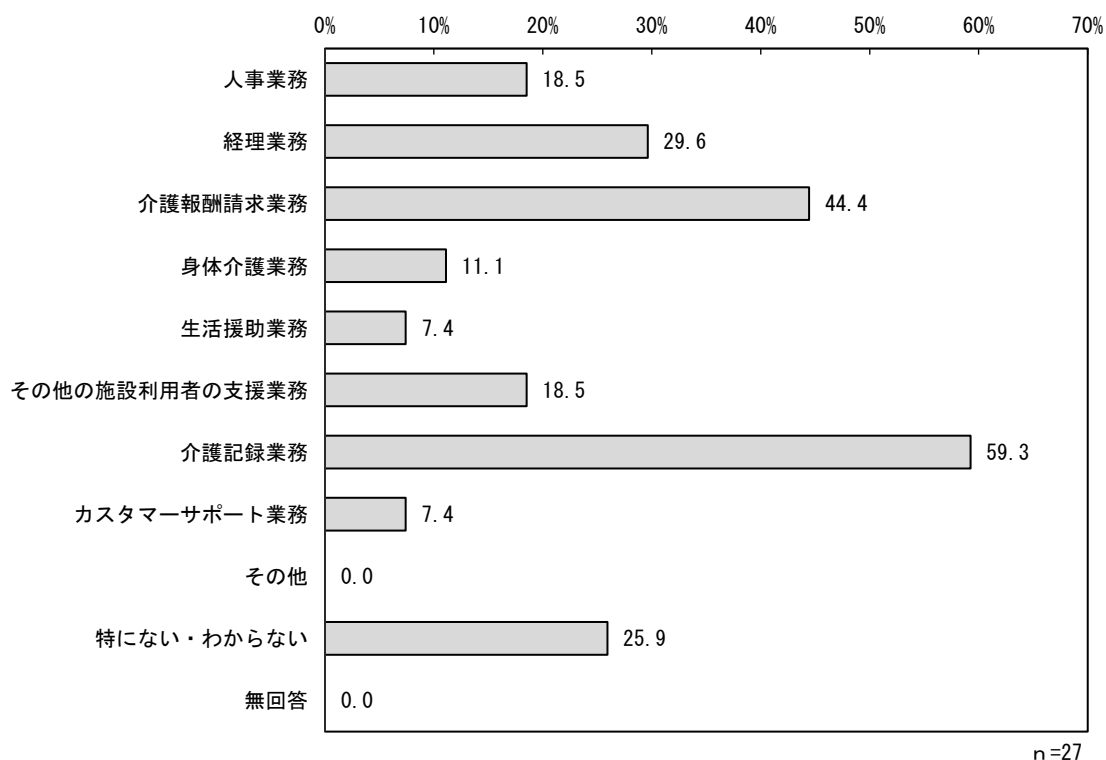
(2) 介護業界の二大課題である「人材不足」解消や「人材定着」のためのDX活用について、どのようにお考えですか。（1つに○）

DXへの取組状況について、「早急にDX活用したい」の割合が29.6%と最も高く、次いで「いずれはDX活用をしたい」の割合が25.9%となっています。



(3) 貴事業所内で、DXに取り組みたい分野として、どのようなものがあると思われますか。(〇はいくつでも)

DXに取り組みたい分野では、「介護記録業務」の割合が59.3%と最も高く、次いで「介護報酬請求業務」の割合が44.4%、「経理業務」の割合が29.6%となっています。



4 介護職員のことについて

問 14 貴事業所の介護職員のことについて教えてください。

(1) 令和4年11月1日時点での貴事業所の介護職員の総数を、教えてください。

事業所別の介護職員の状況は、以下のとおりです。

事業所No.	正規職員	非正規職員
1	45人	14人
2	5人	5人
3	4人	4人
4	4人	8人
5	55人	27人
6	3人	1人
7	11人	26人
8	1人	9人
9	2人	※
10	6人	1人
11	75人	77人
12	21人	9人
13	44人	0人
14	42人	0人

事業所No.	正規職員	非正規職員
15	5人	3人
16	4人	3人
17	2人	7人
18	69人	36人
19	2人	20人
20	2人	6人
21	1人	※
22	3人	11人
23	10人	3人
24	2人	9人
25	3人	8人
26	6人	0人
27	1人	6人
合計	428人	293人

注) ※印は「無回答」

(2) 令和4年11月1日時点で、開設から1年以上を経過している事業所におたずねします。

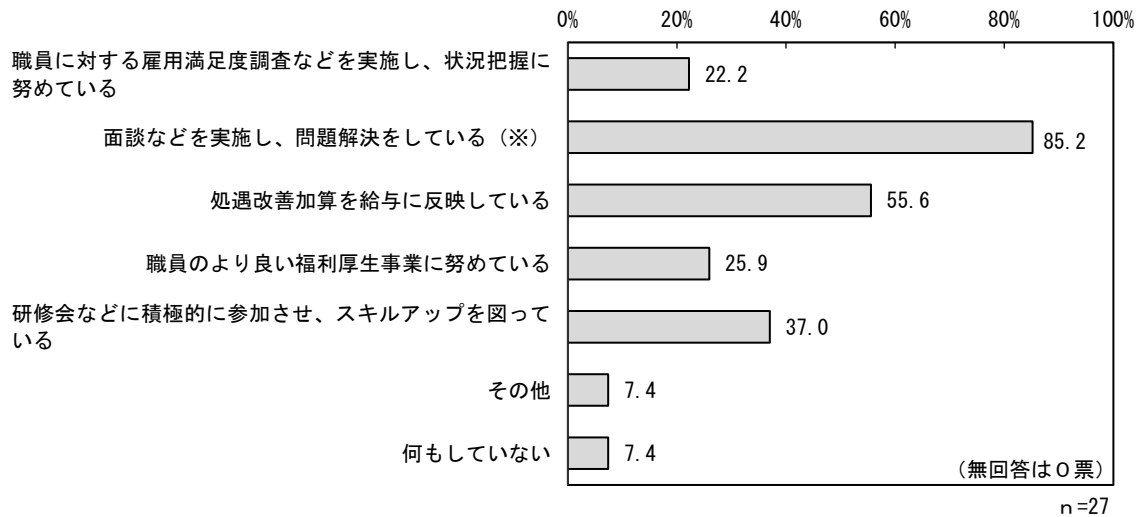
過去1年間（令和3年11月1日～令和4年10月31日）の介護職員の採用者数と離職者数をお教えてください。

過去1年間の介護職員の採用者数と離職者数の合計は、以下のとおりです。

年齢	形態	採用者数		離職者数	
		正規職員	非正規職員	正規職員	非正規職員
20歳未満		0人	1人	0人	0人
20～29歳		18人	6人	9人	2人
30～39歳		18人	5人	13人	6人
40～49歳		15人	12人	11人	5人
50～59歳		19人	16人	13人	15人
60～69歳		5人	9人	5人	7人
70～79歳		3人	4人	0人	1人
年齢不明		0人	0人	1人	1人
合計		78人	53人	52人	37人

問 15 貴事業所では、職員の離職を防止するための工夫として、どのような取組を行っていますか。(〇はいくつでも)

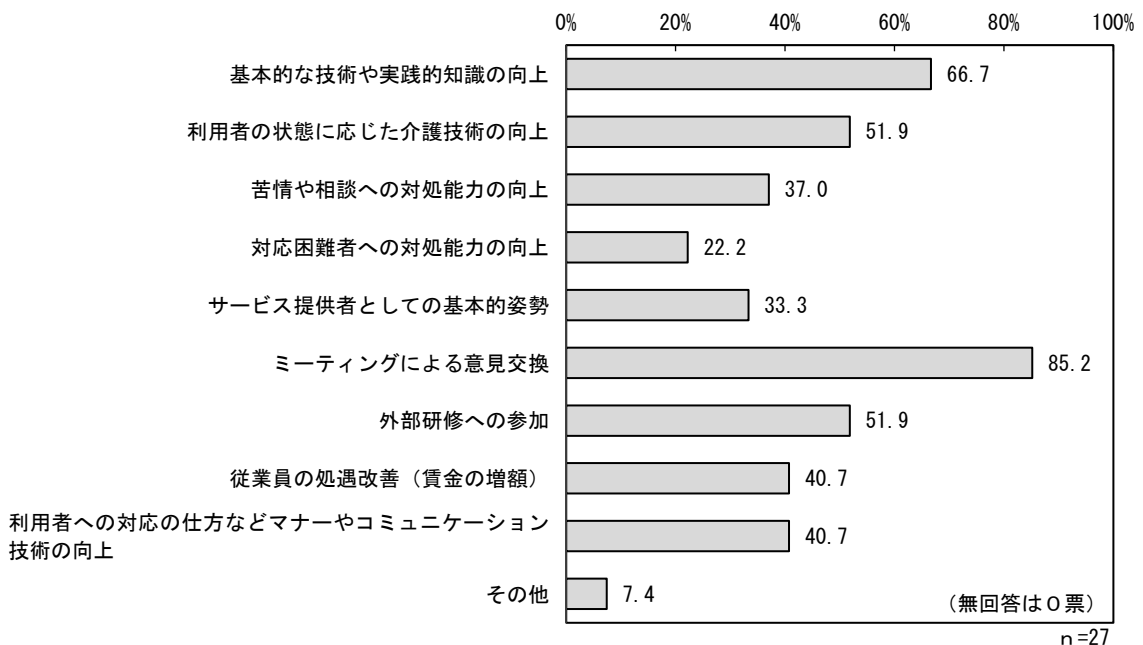
職員の離職を防止するための取組では、「面談などを実施し、問題解決をしている」の割合が85.2%と最も高く、次いで「処遇改善加算を給与に反映している」の割合が55.6%、「研修会などに積極的に参加させ、スキルアップを図っている」の割合が37.0%となっています。



(※) 面談などを実施し、不満に感じていることなどを把握して、不満解消に努めたり、問題解決をしている

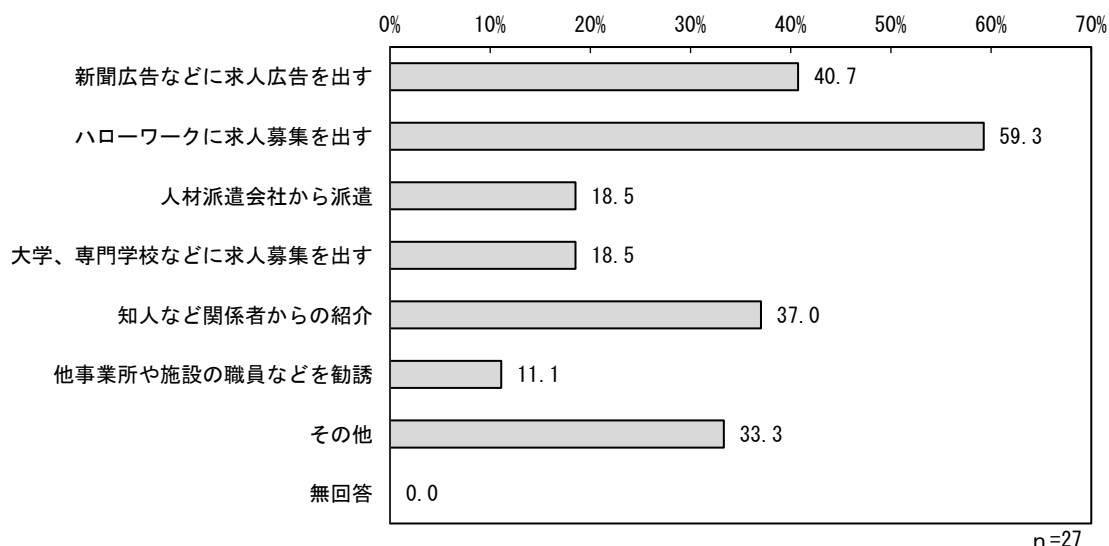
問 16 貴事業所では、職員の資質を向上させるためにどのような取組を行っていますか。(〇はいくつでも)

職員の資質を向上させるための取組では、「ミーティングによる意見交換」の割合が85.2%と最も高く、次いで「基本的な技術や実践的知識の向上」の割合が66.7%、「利用者の状態に応じた介護技術の向上」の割合が51.9%となっています。



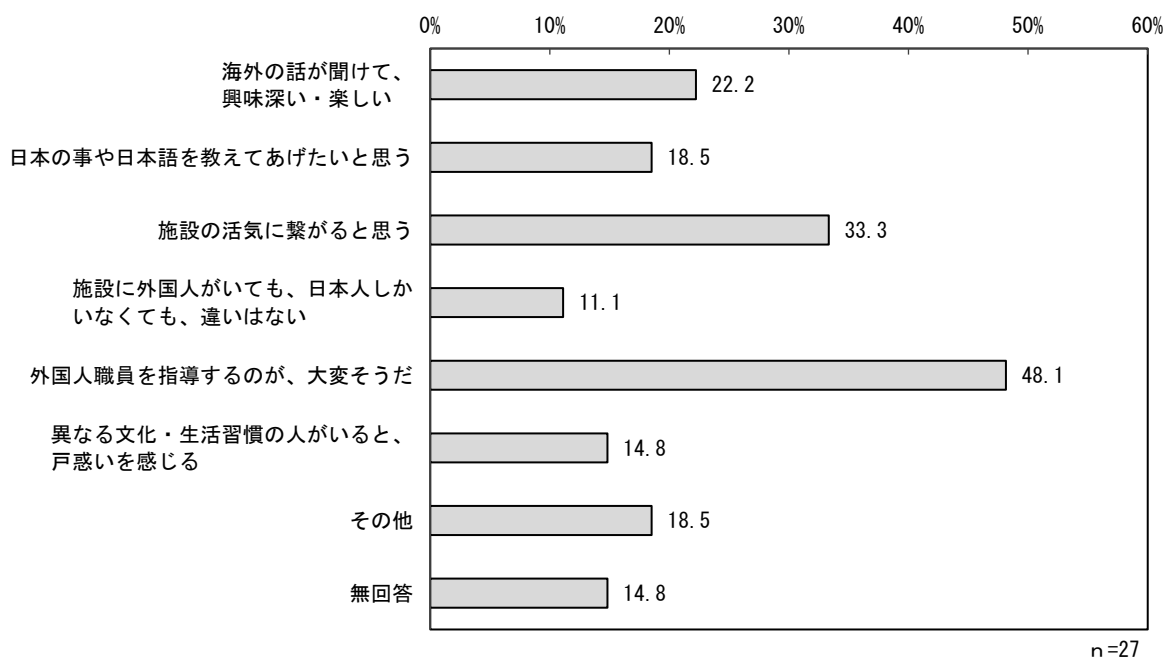
**問 17 貴事業所では、介護職員の確保について、どのような取組を行っていますか。
(〇はいくつでも)**

介護職員の確保に関する取組では、「ハローワークに求人募集を出す」の割合が 59.3%と最も高く、次いで「新聞広告などに求人を出す」の割合が 40.7%となっています。



問 18 外国人の介護職員について、どう思いますか。(〇はいくつでも)

外国人の介護職員については、「外国人職員を指導するのが、大変そうだ」の割合が 48.1%と最も高く、次いで「施設の活気に繋がると思う」の割合が 33.3%となっています。

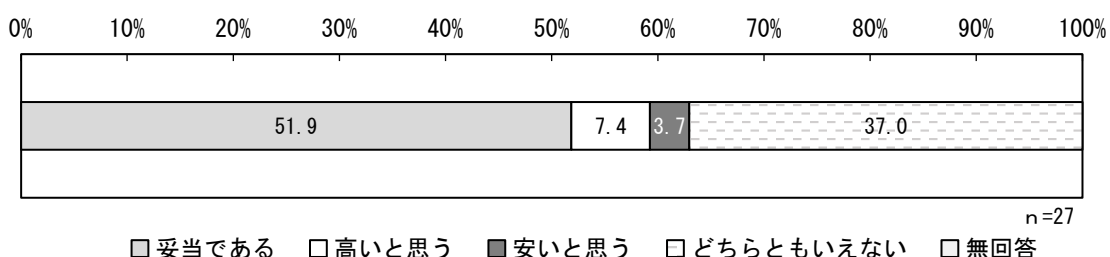


5 介護保険制度について

問 19 現在の武蔵村山市の第 1 号被保険者の保険料（月額 5,534 円）についてどのように思いますか。（1 つに○）また、そう思う理由についてご記入ください。

※ 2 又は 3 を選んだ方は、適切な金額もご記入ください。

現在の保険料については、「妥当である」の割合が 51.9%と最も高く、次いで「どちらともいえない」の割合が 37.0%となっています。また、「高いと思う」の割合が 7.4%であるのに対し、「安いと思う」の割合が 3.7%となっています。



なお、保険料が「高いと思う」、「安いと思う」または「どちらともいえない」と回答された方々の意見は、以下のとおりとなっています。

【「妥当である」と回答された方の意見】

- ・健康な高齢者を増やし通院を減らす。そのためには私共のような介護サービスが必要である。結果存続しやすい環境作りをして頂きたいです。
- ・高齢者数が増加し、介護保険制度を維持していくためには最低でも現行料金が必要と思われるため。

【「安いと思う」と回答された方の意見】

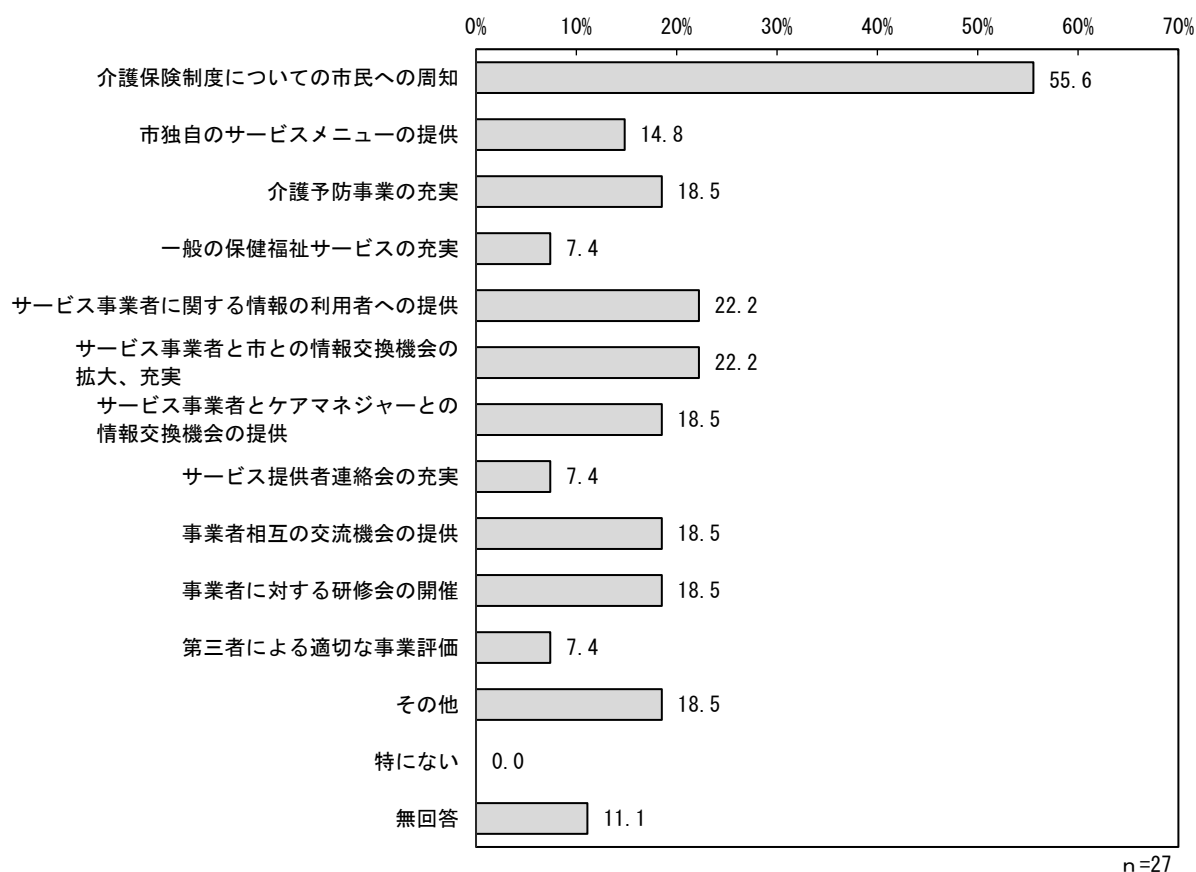
- ・金額はわからないが、コロナや物価の上昇もあり、事業を続けるのが困難になってきている。介護報酬も上げ、保険料も上げないともたない。

【「どちらともいえない」と回答された方の意見】

- ・介護保険を利用していないで何倍もの保険料を払うのは高いと思うし、介護保険を使うようになり収入が減れば、この保険料は妥当と思う。
- ・どの立場になるかで考え方は変わると思います。全く使わない方からすれば・・・。
- ・意見をして検討の余地があるのかと考えてしまう。
- ・ご利用者様も負担は大きくなってしまいが、拠点運営の事を考えると、もう少し上げてもいいのではと思うが、ご利用者様第 1 なので難しいかなとも思う。

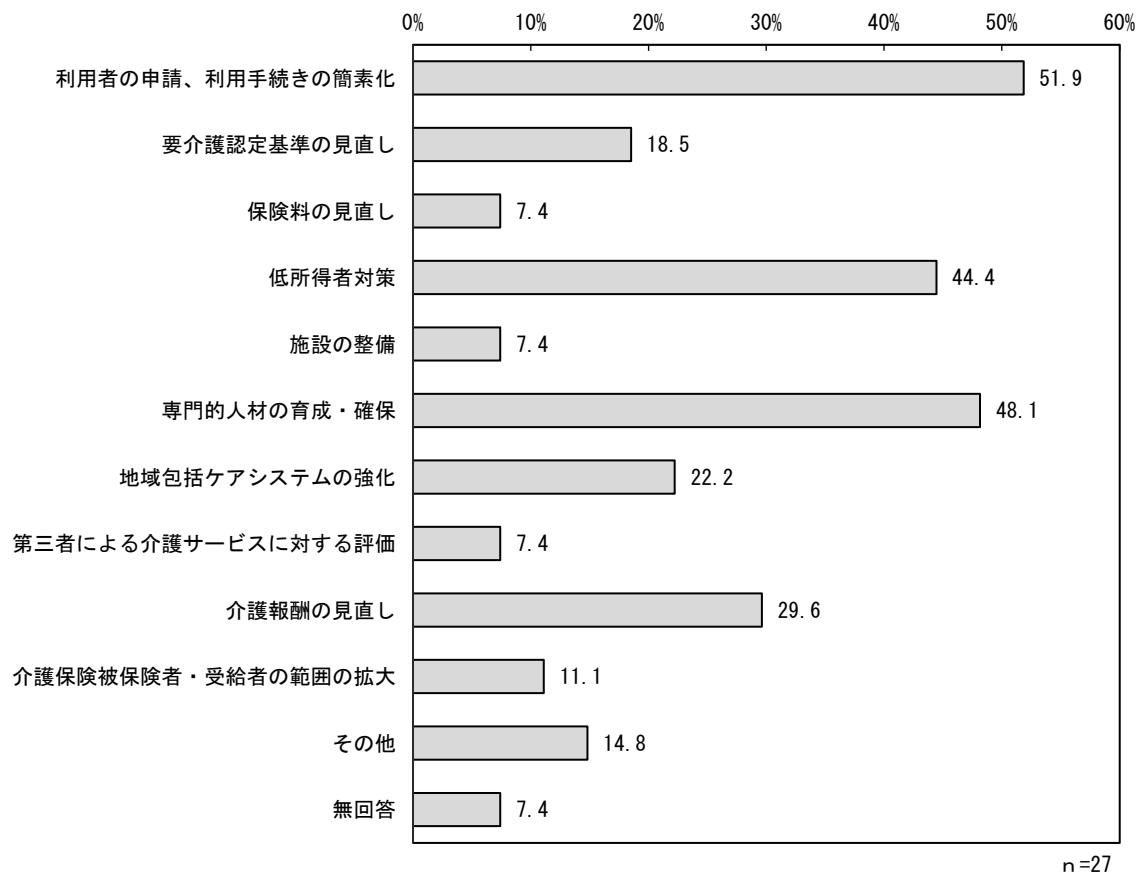
問 20 介護保険制度を円滑に運営していくために、武蔵村山市としてどのようなことが必要だと思われますか。(〇はいくつでも)

介護保険制度を円滑に運営していくために必要だと思うことでは、「介護保険制度についての市民への周知」の割合が55.6%と最も高く、次いで「サービス事業者に関する情報の利用者への提供」及び「サービス事業者と市との情報交換機会の拡大、充実」の割合がそれぞれ22.2%となっています。



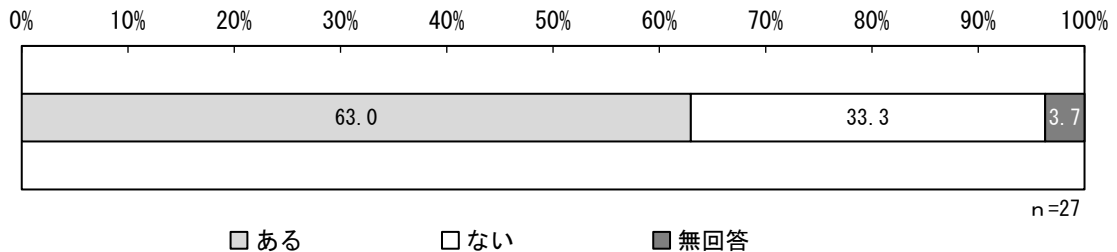
問 21 介護保険制度について、今後どのようなことが検討されると良いと思いますか。(〇はいくつでも)

介護保険制度についての今後の検討については、「利用者の申請、利用手続きの簡素化」の割合が51.9%と最も高く、次いで「専門的人材の育成・確保」が48.1%、「低所得者対策」が44.4%となっています。



問 22 武蔵村山市で不足していると感じる介護保険サービスはありますか。
(1つに○)

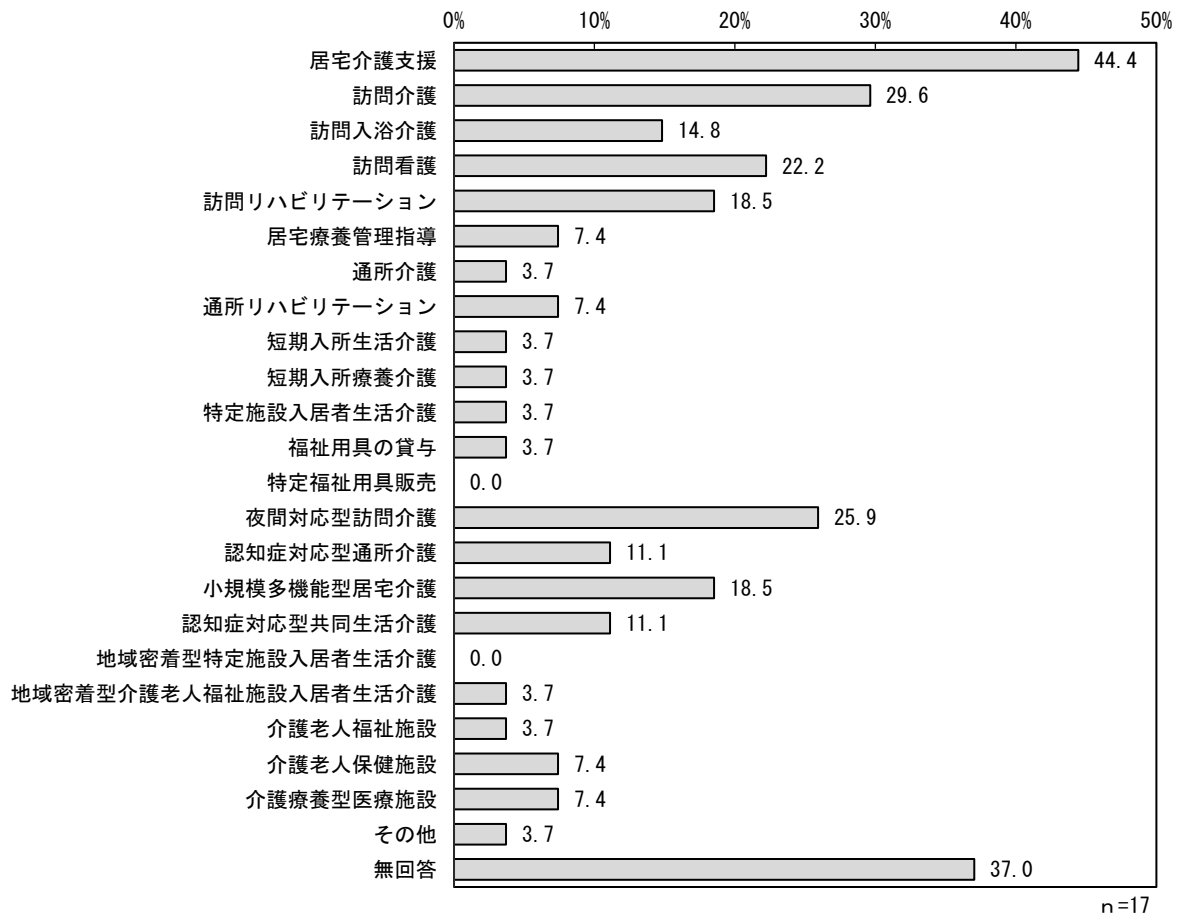
介護保険サービスについて、市で不足しているものが「ある」と感じている方の割合が 63.0%、「ない」と感じている方の割合が 33.3%となっています。



前問で「1. ある」と回答された方のみ回答ください。

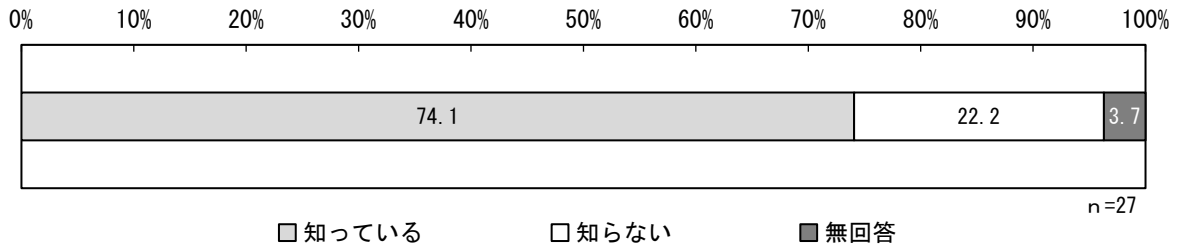
問 23 不足していると思われる介護保険サービスに○をつけてください。
(○はいくつでも)

不足していると思われる介護保険サービスでは、「居宅介護支援」の割合が 44.4%と最も高く、次いで「訪問介護」の割合が 29.6%、「夜間対応型訪問介護」が 25.9%となっています。



問 24 地域包括ケアシステムをご存じですか。(1つに○)

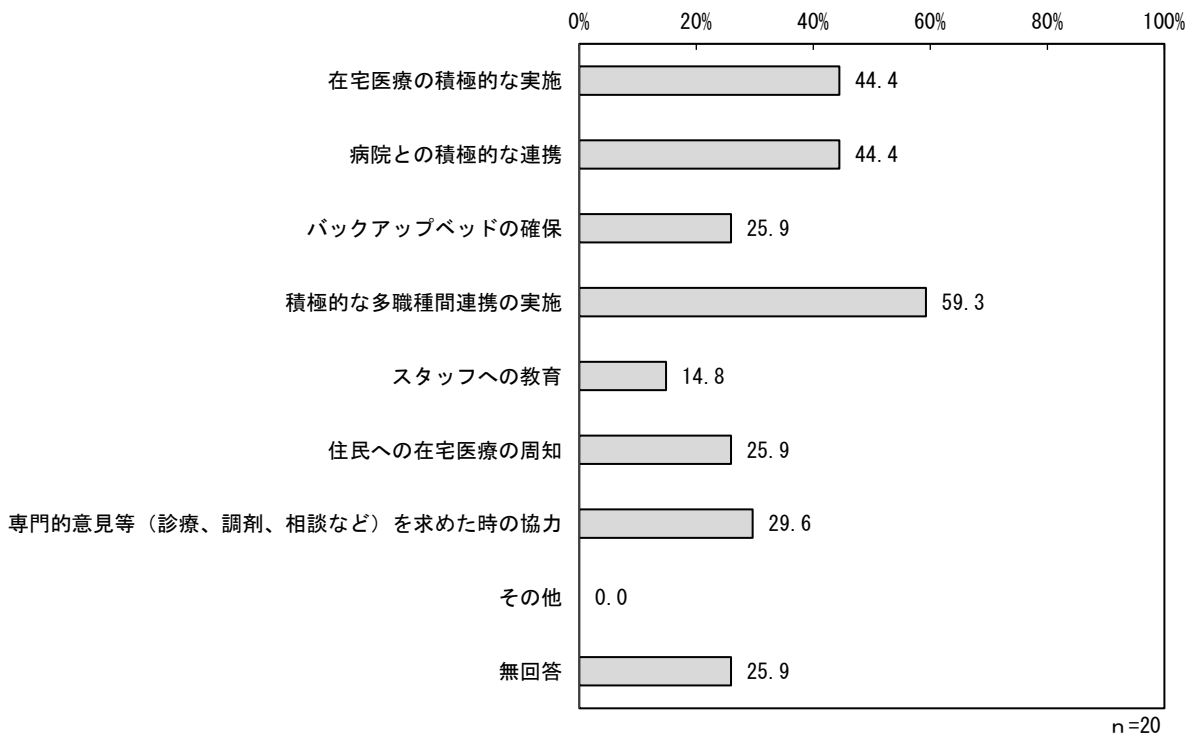
地域包括ケアシステムについて、「知っている」方の割合が 78.9%、「知らない」方の割合が 18.4%となっています。



前問で「1. 知っている」と回答された方のみ回答ください。

問 25 地域包括ケアを実現する上で、医療関係者に望む役割は何ですか。(○はいくつでも)

地域包括ケアを実現する上で、医療関係者に望む役割では、「積極的な多職種間連携の実施」の割合が 59.3%と最も高く、次いで「在宅医療の積極的な実施」及び「病院との積極的な連携」の割合が同率でそれぞれ 44.4%となっています。



問 26 これまでの経験から、武蔵村山市で地域包括ケアシステムを構築するにあたり大切だと思われることはなんですか。（ご記入ください）

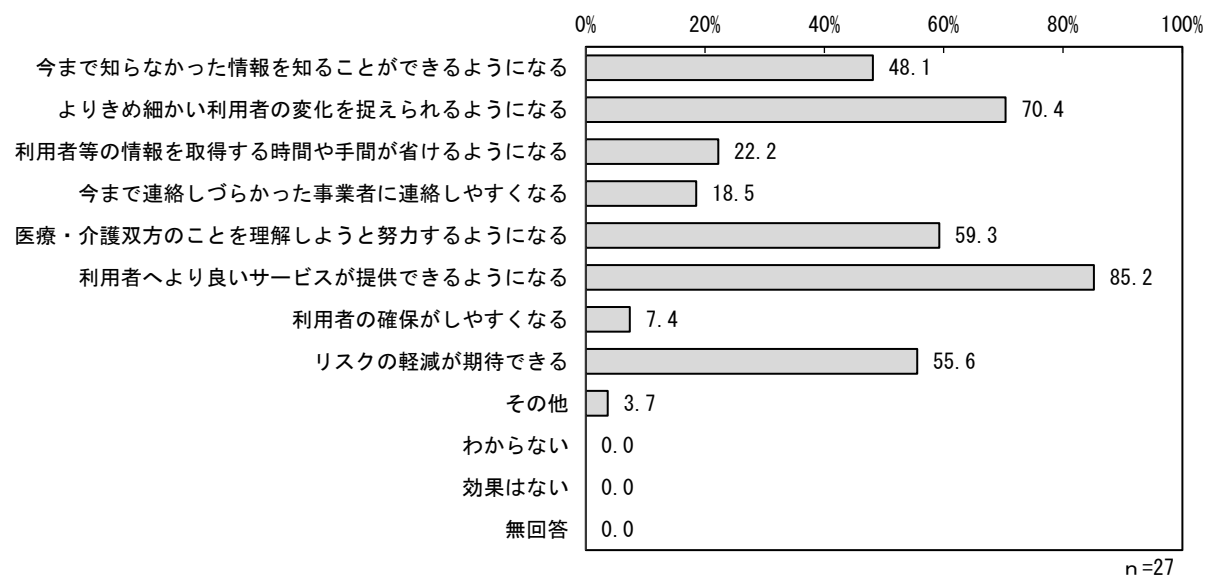
地域包括ケアシステムを構築にあたり大切だと思われることとして、以下の意見がありました。

- ・在宅医との連携
- ・地域住民に地域包括ケアシステムについて周知し、自助・互助を強めること。
- ・医療と介護の密接な連携
- ・病院退院時のカンファレンス
- ・利用者さんの話では、まずどこへ連絡してよいか分からない。連絡まで（地域包括）行きついても実際利用することになっても実生活に基づいていないサービスを提案され、結局サービス利用停止という話を聞いたこともあります。システム構築する前に利用者さん側の話によく耳を傾ける所から始めるべきかと思います。
- ・地域の診療所の訪問診療の受け入れ体制
- ・高齢者、高齢者家族、一般市民へのアプローチ。身近に感じられる仕組みづくり。
- ・介護医療の垣根をなくすこと難しいけど。
- ・ご利用者様の望む生活を実現するための地域包括システムだと思うのですが、ご利用者様の本意を見出せぬまま進んでいるように思う事があります。ご利用者様の望む生活を受け止める事と思います。
- ・住民への PR
- ・多職種間連携の促進
- ・MCS をさらに活用した幅広い運用

6 医療・介護の連携について

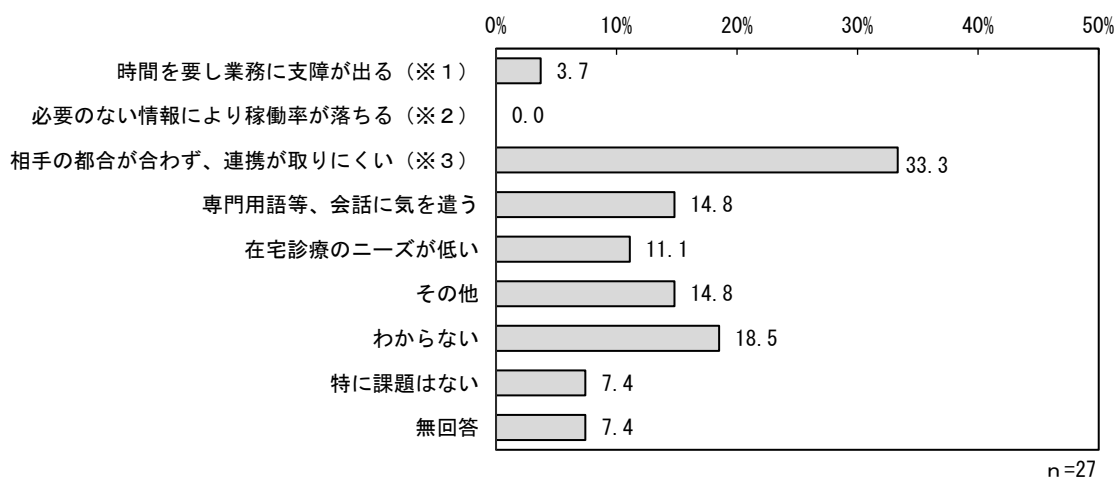
問 27 医療と介護が連携する効果は何だと思えますか。(〇はいくつでも)

医療と介護が連携する効果では、「利用者へより良いサービスが提供できるようになる」の割合が 85.2%と最も高く、次いで「よりきめ細かい利用者の変化を捉えられるようになる」の割合が 70.4%、「リスクの軽減が期待できる」の割合が 55.6%となっています。



問 28 医療・介護連携を行うにあたっての課題は何だと思えますか。(〇はいくつでも)

医療・介護連携を行うにあたっての課題では、「自身が連携したいタイミングと相手の都合が合わず、連携が取りにくい」の割合が 33.3%と最も高く、次いで「専門用語等、会話に気を遣う」の割合が 14.8%となっています。



(※1) 医療・介護連携をすると、時間を要し業務に支障が出る

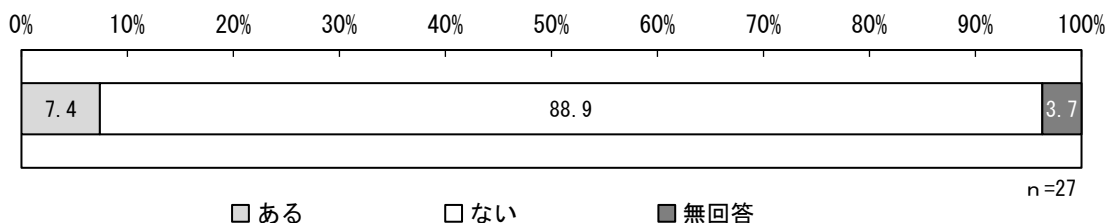
(※2) 連携の必要のない情報まで共有をしなくてはならなくなり、稼働率が落ちる

(※3) 自身が連携したいタイミングと相手の都合が合わず、連携が取りにくい

7 認知症のことについて

問 29 認知症の周辺症状が原因で、利用者の受入を拒否したことはありますか。
(1つに○)

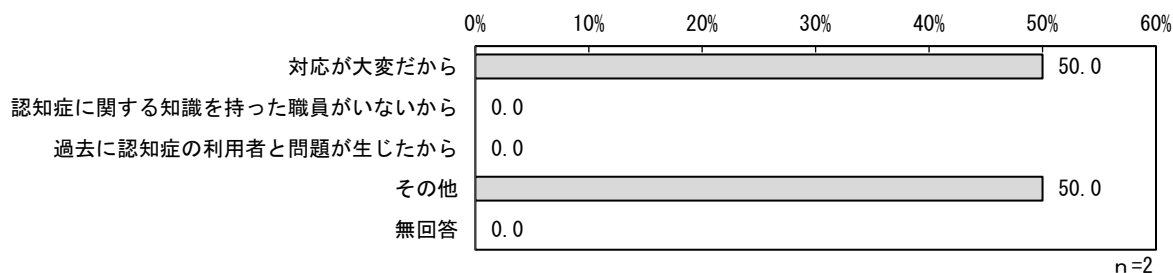
認知症の周辺症状に起因する利用者の受入について、拒否したことが「ある」の割合が7.4%、「ない」の割合が88.9%となっています。



前問で「1. ある」と回答された方のみ回答ください。

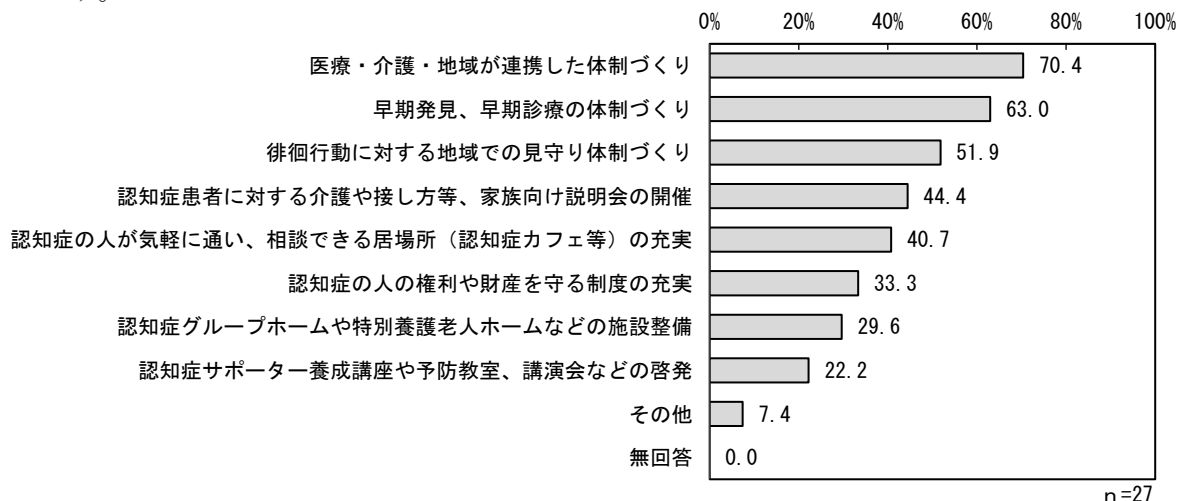
問 30 受入を拒否された理由は何ですか。(○はいくつでも)

受入を拒否された理由では、「対応が大変だから」及び「その他」が50%となっています。



問 31 今後、認知症施策を進めて行くうえで、どのようなことに重点を置くべきだと思いますか。(○はいくつでも)

認知症施策を進めるうえで重点を置くべきことでは、「医療・介護・地域が連携した体制づくり」の割合が70.4%と最も高く、次いで「早期発見、早期診療の体制づくり」の割合が63.0%となっています。



資料編

1 主な自由意見の要旨

以下は調査票に御記入いただいたものをカテゴリ分けせず、公的機関（準ずるものを含む。）以外の団体等が特定できる記載を除いて原文のまま掲載しています。

(1) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

介護予防・健康づくり

- ・今回の市の高齢者施策は至れり尽くせりで感激しています。当市には野山北公園のように大自然に恵まれた聖地があり、高齢者にとっては何物にも変え難い体調維持の場となっております。私もよく行っては散策だけでも元気を呼び起こすことを心がけています。是非多くの市民にもその素晴らしさを知らせて、市民の健康維持に役立てて欲しいと思っています。
- ・高齢者が身体を動かしながら、ゲーム等が出来るような企画をお願いします。
- ・現在筋トレ教室に週1回6か月の予定で参加しています。筋肉強化にとってもよく長く続けたいと思っています。引き続き出来るようなシステムがあるとありがたい。
- ・高齢福祉課の介護予防講座に時々参加させていただいて私たちの明日を勉強しているつもりです。講座は充実していると感心しています。
- ・元気な高齢者の元気を維持するためには、よりアクティブな生活スタイルを作り出すような機会があると良いと思う。「予防、介護」はどうしても後ろ向きの発想となりがち。「より楽しく、より元気に」という視点で「予防介護」の施策を考えたい
- ・突然の病気の後もの忘れがひどく体力が低下し少し不安をもっています。主人に頼り気味です。体力維持のためお互いさまサロン助かりますが、場所が市役所あたりだと助かりますのに、他は車がないと三ツ藤からだど他が遠く感じます。音楽とか体操教室が欲しいと思いますがお願いが叶うといいと思います。
- ・今まで介護予防事業等参加してきましたがどの教室も、講習も講座もその一時だけ。講習後の交流が無いので忘れてしまってもったいないと感じました。誰か一人でも良かった事勉強してきた事教えてあげられなかったと残念に思いました。
- ・現在の健康、心身の状態を保てなくなった時のためにどのような方法（例えば住宅問題など）があるかたずねた所、現在の健康を聞くだけでそのときと言われ、詳しい事は聞けませんでした。元気な時に知っておく必要があります。講習会では一般的なお話でも少し絞ってのお話が聞けたらと思います。一人暮らし対象などと
- ・特に高齢者になると、出不精になり、人との触れ合いが少なく籠もりがちになります。洗濯、掃除は毎日行うことで、不健康になる要素はないのですが、食事は自分の好きな物に偏って取ってしまう傾向になると思います。特に男性は料理不得意で、スーパー等で「出来合」の好物を買い食事として済ませることになると思います。不健康要素が考えられます。1月に必要な接種食品を知り、その食材を使い、料理方法を知れば、健康維持が可能だと思います。運動と料理

教室を一つのカテゴリとして教室を設けていただければと思います。即ち軽い運動を行なった後、料理教室を開催する教室があればと思います。

- ・気軽に参加できる高齢者スポーツ、サークルの充実を願いたい。費用を安く。
- ・なるべく自分で長く身体が動くよう努力することが大切だと思います。
- ・私は認知症等対応のため、家内に誘われ、2年前から問 34 の⑤介護予防のための通いの場（お互いさまサロン）に月1回通っております。

生きがい・楽しみ

- ・植物野菜を育てたり毎日楽しく過ごしています。
- ・街（地域）の祭りを多くして活気づけてほしい。
- ・居場所を作るためのきっかけづくりとして公的支援（公民館講座など）が決定的に少ない。
- ・公共施設の目的とは市民、地域住民特に高齢者が日常生活での活動を高め地域社会の活動に参加することで生きがいを持って生活していく際の活動の場としての施設として提供されるべきではないか。それが施設の管理運営の負担軽減のために利用者負担として高額な利用料を科すこととなった。少人数で細々と活動して生きがいを見出していた。サークルは経費負担の重さで辞めてしまった団体が多数あった。
- ・市もいろいろ取り組んでおられるでしょうか、声が上げづらい高齢者にやさしい行政をお願いいたします。シニアが社会の隅に追いやられることのないように出かけられる場所（カフェなど）、そしてそこへ行く交通手段を考えてくださいね。お願いいたします。
- ・暇は敵、仕事は味方をモットーにシルバーの庭掃除に日々の生活リズムを得、好きな還暦・古希野球に汗をかき、下手な囲碁・俳句に頭を悩ませています。

高齢者の就労の場の確保

- ・高齢者の就業促進。
- ・元気は自分で作るものだと思います。高齢者にとって、平日午前中の軽作業は負担が軽く、続けられる元気の源になります。無職することが何もないことは良くない事だと思います。かつて戦後の失業対策（私たちは失対と言っていました）と同じように、高齢者に働く場の確保、とりわけこれからは80代の元気な高齢者の促進が望まれます。平和で元気な暮らしが一番です。
- ・高齢者のキャリアや体力を使って、社会に貢献できる仕事が増えると良い。出来ればある程度自分で計画立てられる職種が良い。

生活支援

- ・要望・特定健診を受けたことがありません。
- ・高齢になると、出かけることも、人の前で話すことも難しくなります。少人数で優しく対応してくれる声のくみとりができるような方法を考えていただきたいです。

- ・ニュースなどで在宅での老老介護の痛ましい事件を耳にします。高齢者の見守り、支援をお願いします。
- ・団地に住んでいますが高齢者が多く定期清掃等に集まる人が少なくなった。ゴミ当番など参加する人が少なく順番がすぐ回ってくる（自治会などの協力が無い）
- ・近くに商店がなく、食品他なども毎週別居の「息子」や「孫」に買い物をしてもらっています。近くにやってくれる身内のない方は困るのではと思います。その時は「市」の各ケアを利用させていただいたことはなく詳しくは知りませんが、利用者の希望に沿ったきめ細かいケアをしていただけたら助かると思います。よろしくお願いいたします。
- ・高齢者は自分の日常生活も普通でなく、立ち歩くも大変となる。夫婦の場合、楽に思えるが、一方が認知症（病気ではないかも）などある場合、とても見られない。一方が軽い不具合でも、専門の介助者のいる入所施設に入れて管理してもらう必要がある。
- ・ご主人を亡くした方が寂しいということをよく耳にします。お話相手や見守り等必要あると思います。
- ・終活登録などエンディング・サポート事業の充実をしてほしい。高齢者の見守り、入院時の対応、死後の手続き等。補聴器の購入の補助金を出してほしい。助成制度があれば市の広報で教えてください。よろしくお願いいたします。

集いの場

- ・年1度の敬老会は今の時代に合わない。税金の無駄遣い老人福祉館も同様です。60歳以上で利用できても、その名称では利用したくない。せつかくの施設なのでユニバーサルな場として、子どもからお年寄りまで理容師、交流できる内容にしてほしい（名前変更）。福祉会館も老朽化して廃止してほしい。バス・お風呂いらないでしょう。「お互い様サロン」頑張っていますね。益々の発展期待します。
- ・緑が丘●●の自治会が役員2-3名、皆90歳前後の人。見守り会・住宅局・市役所にも相談しましたが何も解決してません。
- ・既成の老人会は体質が古すぎて魅力がない。入会する気がしない。一定のメンバーが固定していて新人が入りづらい。・既成の老人会に代わる新しい老人会がぜひとも必要である。
- ・地域によって、老人会等意識の違いが見られる。昔から村山にいた人、そして新しくよそからやってきた人では、なかなかなじめない部分があるのでは？
- ・事故や事件が起きたときにニュースを見ると、口々に「まさかここでこんなことが起きるなどとは思ってもみませんでした」と言う。そうした中でそうした事故等を防ぐために一番大切なのは、各地域における良好な人間関係を作ることだと思っている。そのためにはまず挨拶である。誰がどうだと言うことではなく、同じ地域で生活するもの同志の自然発生的な挨拶が重要である。日常の挨拶がまともにできないような人間関係で本当に助け合うことが出来るだろうか。隣同士でありながら挨拶を交わす光景が全くみられないことがある。それは私にとってみれば、今は何もないけれど以上としか目に映らない。地域におけるコミュニティーは軽視すべきではない。挨拶は気付き（気がつくこと）があればすぐ出来ることである。私たちは自助努力を怠ってはならない。高齢者施策ということですが、これは間違いなく関係があります。

移動手段

- ・月一で車で30分の他市の病院に通っています。今は夫(83歳)に車で送迎してもらっていますが、免許証を返納した時のことが心配です。介護タクシーなど、気軽に頼める支援があると良いのですが。
- ・まだ働いていて生活に支障がないため、色々なサービスを受ける状況ではありません。ただ49歳の時に脳出血で開頭手術を行い3年前高速道路で運転中に意識を失い運転はとめられている状況です。シルバーパスぐらいほしいです。現在67歳ですが障がい者です。でもそれ以外は健康ですが糖尿・高血圧あります。
- ・買物等タクシー事業があるが、500円は高い。
- ・高齢者用小型電動車(特に買い物用など)の普及やショッピングカートへの補助、高齢者がとても不自由する理由のひとつが、日常的な買い物にあるため。
- ・有料であることでそれが目的の活動が(団体が)増えた気がする(急にたくさんできた)。それにみあう奉仕ができるのか?例えばシルバー人材センターの仕事はかなりひどい(粗雑)なものが多く、業者に頼んだ方が良いような例が多いと聞く。素人の責任者と担当者でうまくいかないのではないかと?一番大事な交通(三ツ藤地区のバス廃止など)を無視した事など許せない。それなりの能力のある人の奉仕であるべきで、誰でも何でもは間違い。バスがあればいけるのに!!!
- ・高齢となり「日、一日大切」という言葉を身に染みて感じているこの頃です。今のところ自力で買い物や行政機関などに行けていますが、運転免許を返上した今、地域バスの運行が減って(特に西ルート)、知人に頼ったりして気苦労しています。
- ・MMシャトルが廃止されてから外出が減りました。1時間に1本でも良いです。復活させていただくことは出来ませんか?定時に乗れることは安心ですから(中原在住)
- ・現在83才にあと1ヶ月になろうとしております。車も気をつけて運転しておりますが、乗れなくなるのも必ずやってきます。買い物をしても帰りが大変になると思います。今の状態が1日も長く続きますようお願いして一日1日を過ごしております。いずれお世話になることです。近所の方々とも声をかけあって元気につながっています。今後ともご指導の程、よろしくお願い致します。
- ・住まいの近くまで来てくれる車が欲しいです。
- ・夫婦ともども高齢になり免許返納、車を手放したいのですが市内循環バスがなくなりとても困っています。村タクはあるのを知っていますがハードルが高いです。(前に利用した方に聞いたのですが呼んでもなかなか来なくて困ったそうです)
- ・運転免許返納後の施策の充実。

交通整備

- ・高齢者の外出を安全にするための歩道の整備(緩やかな段差など)。将来的には今の農道を整備した道ではなく道幅の広い道路の拡充を希望します。老人用手押し車も現在の道幅などでは不便です。

- ・高齢者が横断歩道以外で道路を渡るのをよく見ます。危ないし、注意する人もいないのが心配です。
- ・高齢者が安心して歩けるような歩道の整備をお願いしたい。もう少し歩道を広くして頂ければ嬉しいです。
- ・イスについて・・材質も形も色々幅がある。現在既に使用している道路には、切り株のような、石ころのようなイスを3個ほど置いてあればホッとして、会話が、交流が始まる。これが日常の幸せに。いつまでも若く健康にも。イスを置くと車・自転車等のスムーズな流れを崩してしまう。休み休み歩く人の事が抜け落ちている。とても大切なイスの役目とを感じる。場所・床との関係で大きくても小さくてもその場で愛されるイスがいい！建築・庭・道路等、設計時点でこのイスの役割をしっかりと入れてほしい。ドアを出て、時に顔を合わせると、久しぶりに会えたので、話が次から次へと、そんな時にホッと掛けて話ができるスペースがほしい。一本通路にもプラスして、テラスのような。車道と歩道の間の植え込みにイスが。夢かな。
- ・散歩コースにトイレがあったらよい
- ・高齢者が出歩きやすい交通環境を整えてもらいたい。

情報提供・相談

- ・高齢者施策もそうですがもっと色々知らせてほしいです。例えば一人暮らしの方の、アルソック等緊急対策の充実とか、一人で病院に通えない人の付き添いとか（一人暮らしの方等）介護タクシー、タクシー券等も受けている人、受けていない人の不平等感があるように思います。
- ・出来れば生活困窮者の相談窓口が利用しやすい様なシステムにして頂きたいです（相談だけでも）。金銭的な事は身内にもなかなか相談しづらく悩んでしまうこともあります。
- ・色々なサービスの啓蒙活動を積極的にした方がいい。自分から行かないと情報が得られないのはおかしいと思う。
- ・高齢者向きの情報を市報とは別に作成し、市報と一緒に配布してほしいです。
- ・現在は注意しながら充実した毎日です。不都合が発生した時、相談窓口が親切であってほしいと思います。
- ・介護について知りたいが相談する人が近くにいない。
- ・介護が必要となる前に必要な情報が市民みなさんに届くようにお願いします。
- ・武蔵村山市に移転して1年になります。市報以外の回覧が全くなく、情報が受け取りにくい状態です。対象となる高齢者に情報を出してよいのではないかと思います。
- ・11月誕生日→12月1日に病院で保険証以外に高齢者証はと聞かれて何のことかわからず、1時間以上も会計で待たされました。もっと早い時期に書類？または周知できるシステムはないのでしょうか。同様の思いをなさった方は多いはず。保険証と一体化できないのでしょうか。このアンケートの質問内容の大部分は知らない内容でした。同封チラシだけでは介護予防事業についてよくわかりません。これだけで逆に気落ちしそうな気分です。同年代でも個人差を考えた施策が必要ではないでしょうか。
- ・数年前要介護の義母の相談で、市民総合センターの窓口に行きましたが、不親切で、書類を渡され「よく読んでください」と言われ、がっかりしたことがあります。お忙しいとは思いま

すが、もう少しやさしく親切な対応を要望します。

- ・気軽に相談できる窓口や巡回。
- ・困った時には高齢福祉課なりに聞こうと思っています。プライバシーが守られること！
- ・「高齢者の福祉」のシステム作りはとてもありがたいと思います。立派な施策が出来上がって、相談に行った時の職員さんの対応の仕方にも是非配慮をいただきたいと思っております。
- ・南部地域包括支援センターに事前相談に伺いました。説明もされずとても高圧的で上から目線で冷たい言葉を投げられました。「弱者に冷たい所」との印象が残りました。せめて相談だけでも、もっと優しい気遣いのできる人選をして頂きたいと思います。私共は何もわからないのですから…。よろしくをお願いします。
- ・わかりやすい情報がほしい。いざ当事者になった時を考えると現在の施策の PR と内容の充実。
- ・高齢者サービスについてあまり知識がなく、これからは必要になることなので、市の広報などで情報を得たいと思う。
- ・市報は見ていますが自分自身が動かないと情報が入らない。
- ・自治会のない地域でも情報等はきちっと流れる体制を作っていただきたいと思います。
- ・近く of 病院で受診したいです。●●病院では1ヶ月以上待ち（初診の場合）と言われた。地域包括センターを利用したいが、移動が難しい。相談などでもきていただけますか？自分で利用したい時には動けないと思う。
- ・入所施設の空き情報。申し込み方法を早くから知りたい。申し込みできる場所を増やして、65歳以上になったら予約できるように連絡がほしい。（介護が必要になる前に相談できる場所を知りたい。）
- ・市の高齢者施策がほとんど分かっていません。わが身に何かあるまで気が付かないでしょう。今回のアンケートで知らないことだらけと痛感しました。高齢者にもっと PR してください。
- ・介護予防事業に関心をもてるようポスターなども目の付くところにたくさん貼って、どんなことをやっているのか気づきやすいようにしてください。
- ・色々なことがわからない。市報で色々なことが知りたい（新聞を取っていないので）。
- ・問 59、60 の各、その他に記載しましたように、認知症対応が大変になっていくと思いますので（人生 100 年時代）、市民一人一人の市行政当局への相談、地域包括支援センターへの相談の小さな声を随時施策に反映させていただければ幸いです（想定しない新たな課題を）。重度の認知症者は最愛の家族からも厄介者扱いされてしまう最悪の状況となってしまうからです（家族の世話、経済負担等、許容限度を超えてしまうため）。まず、認知症にならないため、軽度なら進めないため、重度なら家族負担を減らせる方途を市民一人一人の小さな声も反映させ施策に反映していただき、市民全員が納得した認知症対策を進めていただければ幸いです。

地域活動・ボランティア

- ・他市のボランティア育成方法。コピー用紙を持参すれば何枚でも無料です。私のボラサークルでは 500 曲の歌集 24 部を各 20 冊から 50 冊をコピーしました。大変な赤字ですが活動スタッフには負担をお願いしていません。コピー作業や編集手伝いは協力をお願いしています。ボラ

ンティアの為、コピー代は無料にして頂けるという助成はできませんか。

- ・地域・区域の街をきれいにする事業が必要。
- ・Q55 に関して一気に充実は難しいです。地域活動に参加してみようと思う人たちへの場づくりが必要と思います。ボランティア活動に参加して見たいと思う人たちに場づくりが必要と思います。
- ・ボランティア活動を推進しているが活動者の個人負担(労働、金銭など)に頼るだけで行政の援助が十分に施されていない。ボランティアが活動しやすい環境とボランティア活動に対する細やかな援助政策をご検討ください。
- ・自分が高齢者の自覚があまり無くこのアンケートを書く事で近い将来どんなサービスが受けられるのか、有償ボランティアなどとても心強い活動がある事を知れて安心しました。最近孫育てに忙しく近所の方とお付き合いもおそろそかになってたなと気付かされました。もう少し視野を広く生活していこうと反省しました。

医療

- ・治療がありません。今苦しんでいます。股関節が痛くて歩けません。MRI、レントゲンで見ましたが、どこも悪い所はありませんと言われ、日々痛みをこらえて過ごしています。
- ・体調が悪くなったときに入院ができる医療体制。・自然体が一生を送れること。
- ・係り付け医師の会話不足（事務的）。
- ・団塊の世代が後期高齢者になり、十年後やその先を考えると病院医療等に不安を感じます。その中で訪問診療は重要になってくるのではないのでしょうか。医師をはじめ関係者が情報を共有し話し合い変化に応じながらより良い制度にしていって欲しいと思います。
- ・病気治療および終末期医療への連携をスムーズに。終末期医療の地獄の沙汰も金次第にならないように、安心して週末を送れる体制づくりを望みます。経済的不安を解消できるように。

高齢者の将来についての不安

- ・日本経済の沈下というか、個人的収入は落ちて、物価が上がってきてしまい、多くの人間が先行不安をかかえて暗い考え方の人が増加しています。これからは税金も上げるのなら、上げた税金は人の暮らしのために使う様な政治をしなければ、益々人口は減る一方です。老人だけでなく、若者も関心を寄せる事ができるような体制で行くように望んでいます。
- ・一応回答はしたが、自分の今後については分からない。認知症にはなりたくない。夫婦で考えるが、なったらお互いカバーし合うしかないかな。その際、行政の手助けが簡単な方法で受けられたら良いですね。
- ・中間年齢なので、まだピンと来ない部分もあり、アンケートに答えるにあたり良いのか不安も。なってからでは遅いということは良く承知なのですが。市が実施してくださっているサービスがたくさんあることも知らなかったりで、その辺の意識をこれからは持たなくてはと思いました。ただ利用する立場となった時、手続などがあまり複雑だったりということが懸念されます。

- ・独り生活には不安なことがあります。毎日1日の健康を自分自身確認しながら過ごしていますが、高齢のため突然何が起きるかは判りませんが、その時自分でいかにして身内連絡ができるかが心配ではあります。
- ・老人介護の不安はあるが、まだよくわからない。なるべく周りに迷惑をかけないよう暮らしてゆきたい。

住まい・施設サービス

- ・特養老人ホームを増やす事。
- ・特別老人ホームを増やしていただきたい。
- ・コロナが収束したらお伊勢の森の老人施設の入浴を再開してほしい。少ない年金で生活するためにせめて光熱費が節約できるように、以前のサービスを復活してくれたらなあと思います。
- ・障害、高齢で日常生活が大変な人に対して細やかな利用できる場所、それを使う交通手段（送迎用の乗り物など）介護保険でデイサービスに行くことを好まない人もいます。でも送迎がないと行かれない、利用料も高額では払えない、昼食付きでもっと多様なところを望みます。
- ・福祉会館利用させてもらっています。とても助かっています。
- ・西部地域包括支援センターの場所が新青梅街道の北側に住宅がある人からは、距離があるので、新青梅街道の北側に1箇所計画していただきたい。
- ・老人ホーム等を利用すると、費用のほかに心付けなどの気遣いがめんどくさい。やはり人ですから。夏と冬年に数回は気を使わないと考えると、スタッフが交代するので何十人になるので気遣いも増してくるし、費用が一番気になる。
- ・できたら市の高齢者施設を見学したい。私自身は現在と同じく、はじめての土地で一人暮らしで過ごしたい。お墓はありません。
- ・住みなれた自宅でできるだけ健康で暮らしていきたいと思いますが、一人で生活できなくなった時の、市内の受け入れてもらえる施設が充実してほしいと思います。施設になるのか、病院になるのか分かりませんが…。独居老人がますます多くなると思います（私もその一人です）。いざという時に受け入れてもらえる施設がある事を願っています。
- ・去年膝を痛めて近くの老人福祉会館を利用した。電気治療とマッサージを無料で使う事が出来快適でした。利用者は平均80歳。聞くと60歳以上から利用できるとのこと。でも60歳位の人は皆無。老人福祉会館・まだまだ老人だなんて・敬遠されているのでは？人生100年時代、自分が老人になったと感じられるのは70代後半なのでは等と思いついていました（現在70代前半）。ちなみに私は家内には「すこやかハウス」に寄って来たと答えています。
- ・高齢者が安心して利用できる場所がない。
- ・運動施設、特に体育館を増やす。体育館は団体より個人開放を優先すべき（個人開放が少ない）体育館の駐車スペースにきちんと白線を引くべき。接触事故が多い。
- ・包括支援の充実で「お互い様サロン」の開催を楽しみ大いに活用しています。大変喜ばしいことです。活動する会場を、身近な場所と無償で使用できる施設の検討をいただきたい。
- ・老人ホームなどの年金生活なので安くしてもらいたい。高いと聞いているので安心できない。
- ・誰でも入れるような施設があったら良い（低額など）。現在お金がなくて老人施設に入れない

と悩んでいる人が多いと思う。

- ・何でも物価が高くなり、来年も色々と高くなり去年はどうか、今年は生活が年金では足りなく少ない預金を下ろして、長生きしたら餓死です。安く入所できる施設をお願いします。
- ・今は恵まれています、この先年金では入れる施設があると安心です。
- ・地域包括ケアシステムがうまく機能していくように公的機関・市医師会・地域住民リーダーの連携を図る組織を立ち上げて活動する場(地区会館等)を常設していただきたいと思います。私も積極的に活動に参加していきたいです。
- ・1人身なので自活できなくなる前に施設等に入れたらと思っています。
- ・村山には団地もあり土地もスペースもあるので、一般の人も気軽に行ける施設が欲しいです。
- ・介護施設にて食事の充実(楽しみになる)。
- ・まだ自分のこととして考えたことはないが、老いて思い通りに動けなくなった時、施設に通うことがあるとすれば、心が元気に鳴るような場所であってほしい。子供に比較すると未来は少ないが、空元気でも良いので心に喜びと励ましをもらえるような場があれば体は少々動けなくても希望と元気があれば、人間は充実しているのではないか!と思う。日頃世話するスタッフへのそうした教育も大事なことはないか。スタッフ自身も今日一日大変だけど笑顔を見てよかった!人対人
- ・団地は単身者住宅が多いので高齢者が多くなりどうしても孤立してしまう。子供と住めればいろいろの面で良くなると思う。これは住居局にお願いする事だと思いますが。
- ・峰地区に老人福祉会館がないので利用できません。今現在82才で●●に行けても個人で受け付けられないし予約が必要では……。軽い運動がいつも出来る場所が欲しいです。カラオケも一人か二人で参加できて卓球台があればなおうれしい。
- ・武蔵村山市にある介護施設への見学会をぜひ行ってほしい。個人で各施設を訪問するのは相手にも迷惑がかかるので、ぜひこの件については早めに議論していただき、市報に結果をのせて頂きたいと思います。私はボランティアで何箇所かの施設を訪問しておりますが、なかなか全部を回ることは無理です。ぜひお願い致します。
- ・特別養護老人ホームの施設が少ないですよ!(他市と比べて)
- ・高齢者入所施設の拡大。
- ・自分の親の時代はよその市へ行かないと施設がない時代でした。1か所あったけど状態で利用できませんでした今は施設も増えて、デイサービスなども近くにあり随分良くなったと思います。

介護保険制度・福祉全般について

- ・一人暮らしの老人は介護保険が使えるのでしょうか?家族がいないと使えないと聞いたことがあります。
- ・年金生活者なので保険料などを安くして欲しいです。
- ・介護保険の「認定」などをもっと早くスムーズに。不公平が見られるような気がします。業者の「当たり」、「ハズレ」も気になります。
- ・市内に住む65歳以上の比率は毎年増加傾向になると思います。私自身は自分とその家族の協

力を得て生活するつもりです。只、自宅で生活ができなくなった時は、介護保険サービスの充実を期待しております。

- ・年金生活なのにどうして介護保険料が高いのか。介護保険を使用せず死亡した場合保険料を家族に還付すべきではないか。

- ・低所得者なので何があっても介護保険は利用できません。

- ・シルバー事業者の給料が安くなった。電動車を購入する時の補助金を出してもらいたい。

- ・介護保険料の支払いについては特別徴収、普通徴収の選択をできるようにしてほしい。

- ・消費者物価より今後介護保険料の値上がりが予測されます。年金生活者としては、生活が苦しくなると思います。

- ・本年9月に稲城市より転入してまいりまして、当市の体制がまだわかりませんので、正しい回答はできませんが、1つだけ違いましたのは、稲城市では介護1の認定を受けられましたが、当市で該当できないということで現在は月1回の通院もタクシーを利用しています。同じ東京都であっても対応の違いはあるのか、今後、調べてみたいと思います。

- ・現在介護保険支払っているが年金の中から高額であるがいざとなった時保険を受けようとした時、思っていたより対象となる条件が厳しい。(例)知り合いの大工さん、奥さんが突然脳梗塞でだんなさんは、仕事を辞めざるを得なくなった、と聞く。

- ・自己資金を基にして自宅での在宅介護をお願いしたいと考えていますが、その具体策がよく分からないでいます。いずれは地域包括センターにご相談しようとは思っています。

- ・看護師の資格を持っている人を介護にもっと参加してもらうように(報酬も高くして)してください。ヘルパーさんの養成に力を入れてください。(報酬次第では人が集まる)

- ・(利用のためには)「高齢者のみの世帯」または「高齢者の一人暮らし」という条件がつきまです。現在息子と同居のため、利用できるものがありません。利用したいのに……。息子は24時間暇なわけではありません。日中は仕事で会社へ。いろいろな用事を全て助けてもらうわけには行きません。病気のため、思うように動けず、困っていること多くありますが(まず歩けません)あってなしに等しい施策です!!ケースバイケースで、きめ細かな対応を一考してほしいと思うばかりです。利用したくても出来ない者より。

- ・施設の利用、介護認定等は公平、公正であること!(ある団体、ある人(議員等)の紹介ということを必ず聞くので、誰が申請しても同じ扱いであるように)

- ・今、現在元気ですが、年令とともに介護が必要となりますと金額の面で生活が大変になってくると思いますので、なるべく安く出来るようにお願いしたいと思います。

- ・今回のアンケートで一番考えたことは介護をしてくれることになる家族の事です。20年前に立川に住む両親の介護を、12年間仕事をしながら続けました。母が認知症になり最後は受け入れてくれる施設を数ヶ月探し回りました。でも家族会など助けられたこともたくさんありました。介護する家族に参考になる資料が準備されていれば不安が少なくなると感じます。

- ・まだ介護を必要としていないので実感はありませんが、その時になったら費用などを心配せずに利用できる体制になっていると良いなあと思います。

- ・演劇を観に行った際、セリフが聞きづらいことがありました。友人ももう観に行く気がしないとっていました。ヒアリンググループの話聞きしました。老人でも楽しめるようヒアリンググループを設置してください。

・高齢者の心身の健康維持の取組、介護状態に出来るだけならない取組、介護予防に引き続き取り組んでいただきますようによろしく申し上げます。防衛費の増額により障害福祉サービス関係者の確保が困難にならないように取組をお願いします。

・高齢者が健康で安心して暮らせるように介護保険サービスの充実を目指すとありますがアンケートはいかにも私達が保険サービスを受けて安心できるかのようですが今、全く違っていると思います。私の夫は94才になります。足もおぼつかなくなりお風呂も心配。私が手を貸すことが多くなり近くの買い物だけで出掛けられなくなりました。いろんなことができなくなり本人もトイレに行かれるようにこれ以上悪くなるのを遅らせるためにリハビリに行きたいと言っていましたし、デイサービスでお風呂にも入れると思いき今年5月に支援センターにお願いして認定を受けましたが認定は取れませんでした。若い頃からいつか自分を守るために94才まで高い保険料を払っていたのはなんのためだったのでしょうか。ヨボヨボになりあと何年生きられるかわからない年になっても介護保険サービスが受けられないなら今までの保険料を返して欲しいです。市は高齢者が安心して暮らせる充実した介護保険サービスなどと言っているだけではありませんか。介護課の課長さんに電話をしました。一度降りた認定を変えることはできないこと、東京都の指導に従って行っているということでした。12月にごえん肺炎で入院しました。難病があり（血液がとける病い）輸血を4回しました。足取りがとても悪くなりしばらくリハビリをしましたがとても悪く先生が退院したら認定をとってリハビリに行ったほうが良いとおっしゃったので支援センターの方をお願いして12月13日に面接があって1月にわかるそうです。今度認定が取れなかったら東京都に不服の申し立てをしようと思っています。市長さんにもお話ししたいと思っています。認定を取ることは本人だけでなく家族のためでもあるのです。私も83才になって夫を抱えた時一緒に転ぶことをいつも心配しています。私の前のご主人は85才くらいですが今は足取りも悪く腰も曲がってリハビリに行っていますが3年ほど前認定を取ったときはゲートボールにも行っていましたし植木の手入れをはしごに乗ってやっていました。認知症でもありません。どうして認定を取ることに不公平なのでしょう。5月の面接では質問も簡単で15分くらいで終わり、どのような調査報告をしたのかわかりませんが12月13日の面接ではいろいろ聞いてくれたりみてくれたり時間をかけて接してくださいました。面接をすることにもこんなに違いがあるのにもびっくりです。私のお友達が2年ほど前首の病気で手に麻痺があり何もできなくなって食事もお嫁さんとお嫁さんが食べさせたり大変だったようです。その時の認定は支援でした。次の面接の時もだんだんひどくなっていたのに支援を取消しにされました。息子さんが自分で命をたってお友達も家にいることができなくなり（家をとられて）お嫁さんも武蔵村山にいたいというお友達を介護センターに入所させたかったのに支援が取り消されたんで入所できず、お金のこともあり神奈川の民間に入ることになったのです。どうしてひどくなっていくのに支援の認定を取り上げられるのでしょうか。武蔵村山にずっと住み介護保険料を払っていながら神奈川に追いやることになるのでしょうか。その時私が神奈川に行くことを知らず行く前の日に知りました。介護課の課長さんに電話しました。認定の取り直しをしてもいいとのことでしたがお嫁さんはそのままにしたようです。長くなって住みません。これをお読みになってくださった方をお願い致します。介護課の課長さん他の方々にも読んでいただきぜひこれから介護保険サービスの充実を実現して下さるようお願い致します。目が悪いので読みづらくてごめんなさい。

- ・後期高齢者医療保険料が高すぎる。
- ・親が8年間介護制度にお世話になり自宅で介護しました。5年間は仕事を続けながら定年退職まで勤めることができました（介護休暇利用）。やむをえず退職する人がいる中、環境に恵まれました。平等に制度が利用できる事を願います。
- ・個人の負担が増えなければいいけど。
- ・後期高齢者の健康保険料が高くなってびっくりでした。
- ・高齢者に対するサービス、特に施設や物的面の充実は述べられているが、携わる要員の量的、質的充実を軽視しないでほしい。信頼性を高めること。
- ・老々介護の負担軽減に取り組んでもらいたい。

その他 市への期待・要望

- ・何があっても明るく生活できる、場所、人、時間が多く持てるようになってもらいたい。
- ・今はまだ実感がないが、市の方が頑張っているみたいなのでよろしくお願いします。
- ・市の問題ではなく、国の問題。
- ・現在は自分で大体のことはできますが、今後のことが気になります。高齢者施策の充実を期待します。
- ・今の私は76才です。今のところ一人で買い物食事散歩できています。グループ行動（市のサークルお互い様サロンとかは何一つ参加していないけど友達7、8人で行動しています。今後お世話になることがあるかと思います。その時はよろしくお願いします。
- ・老人に住みやすい村山にしていって下さい。よろしくお願いします。
- ・まだ高齢者になったばかりで、身体も健康なので、アンケートの内容の事に対して、深く考えてなかったが、市でたくさんサービスを用意して頂いているのが分かったので、必要になった時は利用させて頂きたいと思います。
- ・市長の話を聞きたいと思います。
- ・武蔵村山市が老人の実状を把握するためのこのような調査をすることは大変良いと考えます。高齢者対策の向上を切に希望します。
- ・村山は他市よりずっと遅れていると思います。
- ・充実してほしい
- ・高齢者の対応は、基準を決めて行うものではないと思います。その状態を把握し、困ることがあればそこに対応することが必要だと考えます。少しの介助が必要な方には、少しの介助、多くの介助が必要な方には多くの介助をこのことにより健康年齢を伸ばし本人が満足できる生活をする必要があります。
- ・武蔵村山市に住んで良かったと言われるように。
- ・「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」について、初めて気づいたことが多々あり、改めて日々の暮らしを振り返りました。現在85歳。これからどのように自分の暮らしや生活能力が変化していくのか不安でいっぱいです。今回の調査で、項目の沿って考えることができました。住んでいる自治体によって、住んでいる人の処遇のレベルが異なる事も、他市区在住の友人たちとの話で知りました。自分の心身の状態を見極めてできること、しっかり対応を！と思いました。

- ・高齢者に優しい市政をよろしく願います。高齢者に金銭的負担を少なくしてほしい。
- ・今日までなんの不自由もなく楽しんでいます。でもこれからはわかりません。何事かあった時よろしく願い致します。
- ・事務的な対応でなく、温かみのある対応をお願いしたいです。今後の武蔵村山市に期待しています。
- ・安心して村山に住むことができるように。
- ・健康で生涯を送れば良いのですが、高齢になればいろんなことが身体に起きてくる訳です。一人一人が健康に留意して生活することが一番大事ではないかと私は思っています。
- ・旧自治省（現総務省）の廊下で「高齢化社会」の文字を見たのは40年ほど前だったと記憶しています。以後行われた議論や施策の結果は現状でその中の過ちの部分は国民全体にもあることでしょう。「人の親なら子や孫が可愛いのは当然」今の年寄り達を支えている現役世代の人たちが高齢者となる未来を念頭に「歴史を繰り返さない」価値ある政策と実行をお願いしたい。基本資料は現社会の中に溢れており、住民の要望なども相当数含まれているものと考えます。
- ・今まで知らないことが多く、これからは自分が支援を受ける立場になる事を考えていきたい。
- ・私はお陰様で何とか家族に助けられております。88歳になり、目が不自由なので意見要望などありますが文字を書くのも大変になります。これから先も高齢者施策を充実させてください。
- ・86歳で自分が高齢者だと意識がなくて過ごしておりました。これから色々お世話になると思いますが、少しでも迷惑かけないような生き方をしたいと思えます。
- ・できるだけお世話にならぬよう頑張りたく思います。施策実行の方の苦労考えますと、ただただ頭が下がるのみです。高齢者は人生の経路をたくさん踏んだ方々。彼等を扱う人々は愛情深く、人間のわかる方であって欲しいですね。
- ・ご苦勞様です。これからももっともっと大変な時代になるでしょうが、頑張っ生活するしかないようですね。
- ・私どもは身の回りのことはできる限り健康1番にて、周りの方々にご迷惑かけずに暮らして過ごせればと、頑張らないことをモットーに、程々の一日。さまざまな案件ご苦勞様です。感謝致します。
- ・高齢者は増加する一方で、若年層の人口は減少の一途を辿る現状では、高齢者施策ばかりに傾注しても、先の見通しは立ちません。逆に、次代を担う若い世代の現状を見るに、地域社会とのふれあいや世代間交流などの機会に恵まれることなく、ただ日々の暮らしに押し流されているようにも思えます。社会福祉は、現在の高齢者だけでなく、極近未来に高齢者となる、現在の若年層も含めた施策がなされてしかるべきで、多くの若者が地域活動やグループ活動に参加し、それを通じて市が発展する、というような社会が到来してくれば、と思えます。いずれにせよ、困難な事業に携わっておられる関係者の皆様に、さらに諸々、頑張っいただきたいものと、エールを送る次第です。

アンケートについて

- ・今まで利用する機会がなく、情報にもあまり注意を向けていませんでした。今後いずれ直面する問題に、少しでも理解が進めば余計な不安を抱くことから開放され、有益なアンケートだ

ったと思います。

- ・アンケート質問が多くもう少し簡潔にお願いしたい。
- ・実感してからでは遅いと思いますが、アンケート内容に想像できないことが多かった。
- ・質問が多くて大変だった。先の事が分からないので回答に悩んだ。サービスが色々あることが分かった。
- ・現在の私の健康状態で、深く考えることもなく、身近にその状態の方がいないので、いけない事とは思いますが、満足な答えをすることが出来ませんでした。申し訳ございません。
- ・アンケートについて「もし介護が必要になったら」は回答が難しい。介護レベルによって変わります。
- ・このようなアンケートの作成、国からの調査内容を基本としたとてもさぞご苦労なさったと存じます。携わった職員の皆様、大変お疲れさまでした。私は今現在、孫やひ孫に囲まれ、世話ができる喜びを感じとても幸せですが、日々忙しいばかりです。いずれ、近い将来介護される立場となり、皆様のお世話になると思います。孫育て、ひ孫育てから解放されてゆっくり時間がとれたら、高齢者福祉サービスの検討をしようと思っています。このアンケートのおかげで困ったことがあったら、市の窓口気軽に相談できそうです。ありがとうございました。
- ・質問が多すぎる。
- ・表に氏名・住所は記入なしと書いてあるが、誰が記入したかは下記調査番号で分かるのでは。番号不要だと思いますが？
- ・高齢者に対するアンケートとしては大変項目が多く難しい設問が多く解答に戸惑いました。もう少し簡略にできないものでしょうか。
- ・その人によって意見が違うのでこの意見は役に立たないと思う。
- ・本アンケートについて解答欄記載に難あり（回答の方法がわからなかった所あり、今の自分自身か将来の姿についてか？）
- ・このアンケートは就労していない人が対象になっている印象を持ちました。まだ現役で働いているので該当しない項目がありました。
- ・まだまだと思いつつも年齢には勝てません。市でいろいろな支援や取り組みをしてくださっている事は知っていましたが、細かい事は知りませんでした。このアンケートで少し内容が解りました。若い方々にお世話になるのは心苦しいですがよろしくお願い致します。
- ・質問が多すぎます。1日かかってしまいました。高齢者にこんなにたくさんのアンケートをさせないで下さい。余計なストレスになります。
- ・60才代はまだ元気がいいのでは。70才代から行った方が良い。
- ・大変貴重なアンケートでしたが、あまりしっかりした答が出せず申し訳ございません！！人生100年といいますが、あまり無理をせず楽しい心で過ごしたいと思います。
- ・専門的なことが多く、質問の意味が分かりにくい。なるべく自分で自立した生活をしたい・・・。
- ・市の高齢者サービスの内容も全然勉強不足で分からない事ばかりなので少しずつ折に触れ勉強しようと思います。
- ・このアンケートにより、高齢者に対する回答が紙上でなく、現実に武蔵村山市が良いお手本となっていくよう希望致します。ありがとうございました。多種類ある事が解りました。

(2) 事業者アンケート調査

介護保険制度について

・福祉用具購入事前申請後、数日から数十日に許可を連絡（郵送）されていますが、福生では窓口で受付で短時間で処理されて、購入プロセスに移行できます。郵送費の節約ができ、利用者様へはより早く必要な福祉用具を届けることができます。検討頂ければ幸いです。

福祉全般について

・人材もお金も不足している中で、公的制度だけではなく、インフォーマルサービスでも重要な社会資源となってくる。市としてどのような取組をし、どのような姿を目指すのか示していただけると、事業所としても動きやすいと思う。

・地域の実情に応じ、ショートステイ専用床から特別養護老人ホームへの転換について前向きな検討をお願いしたい。

・高齢福祉課の方々のご理解・ご協力により、安心・安全のもと介護を提供できているので、今までの取組を継続していただきたい。

・ケアマネの確保に尽力してほしい。

・武蔵村山市は隣接する東大和市や立川市と比べて地域区分が低く、介護施設や居宅サービス事業を営んでいくのは厳しい。物価や人件費の高騰により、今後ますます経営が厳しくなり、倒産や事業撤廃する法人が増える可能性がある。緊急支援事業給付金は大変有難く、今後も継続して頂きたい。

・長年、認知症介護をさせて頂いてきました。認知症であることは特別な事ではなく、誰もが認知症になる可能性は高くなっていると思います。地域で安心して暮らしていけるよう、認知症に関する取組を増やしてほしいと思います。私も認知症リーダー、キャラバンメイト研修を終了しています。ご協力（お手伝い）させて頂ければと思います。

・市民より「市役所から自分でケアマネを見つけてください」と案内パンフレットをもらったが、4、5か所断られたと再度当事業所へケアマネ依頼ある。気の毒になり引き受けてしまいケアマネ業務増強となる。結果、10月10件、11月13件の減算対象となる。この状態をどうにかしてほしい！！市民の事を考え対応しても事業所運営がマイナスになるようであれば継続は難しいと思う。

2 調査票

(1) 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査

個人情報の取り扱いについて

個人情報の保護及び活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。
なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものと見させていただきます。

【個人情報の保護及び活用目的】

- 今回実施する「介護予防・日常生活圏域二一ズ調査」は、効果的な介護予防政策の立案と効果評価のために行うものです。本調査で得られた情報につきましては、市町村による「高齢者福祉計画」及び「介護保険事業計画」策定の目的以外には利用しません。
- アンケート調査でご回答いただいた内容は、武蔵村山市個人情報保護条例に基づき適正に取扱い、管理をいたします。
- ただし、介護保険事業計画策定時に本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理する市町村外のデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析をするなど、個人が識別されない形で利用することがあります。

介護予防・日常生活圏域二一ズ調査 調査ご協力をお願い 皆さんのご意見を計画に反映していきますので、ぜひご協力ください

市民の皆様には、日頃から市政にご理解とご協力を厚くお礼申し上げます。
現在、本市では、高齢者福祉施策を総合的かつ計画的に推進していくために「高齢者福祉計画」及び「介護保険事業計画」の見直しに向けた準備を進めております。「高齢者福祉計画」及び「介護保険事業計画」は、高齢者が健康で安心して暮らせるよう、介護予防や認知症対策、介護保険サービスの充実などを目指す計画です。つきましては、計画見直しの基礎資料とするため、画から示されたアンケート調査内容を基本として実施し、地域の高齢者の課題等を的確に把握するとともに高齢者福祉施策や介護保険事業への日頃のお考えやご意見、ご要望を伺うことといたしました。

調査は、市内にお住まいの65歳以上の方の中から約2,000人を対象者としてお願いをしております。回答いただいた内容や個人情報、回答者様にとりまして大切な情報であるという認識にたち、武蔵村山市個人情報保護条例に基づき適正に取扱いをいたします。

つきましては、ご多用のところ誠に恐縮ですが、アンケート調査の趣旨をご理解の上、ご協力賜りまじよう、何卒よろしく願います。

令和4年12月
武蔵村山市 山崎 泰大

記入に際してのお願い

- 1 この調査票には、お名前・ご住所の記入は必要ありません。
- 2 回答はできる限り、あて名ご本人が記入してください。あて名ご本人おひとりの回答が難しい場合は、ご家族や周りの方にお手伝いいただくか、あて名ご本人の意見を聞いた上で代わりに記入していただいてもかまいません。
- 3 回答は、あてはまる項目の番号を○で囲んでいただくもの、数字やご意見を記入していただくものがあります。「その他」に○をつけた場合は、()内に具体的な内容を記入ください。
- 4 ご記入が終わった調査票は、切り離すことなく、送付されたもの全て（表紙も含みます）を同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、

令和4年12月26日(月)までに投函してください。

この調査について、ご不明な点・ご質問がございましたら下記までお問い合わせください。
【調査についてのお問い合わせ先】
武蔵村山市 健康福祉部 高齢福祉課 管理係
電話：042-590-1233（直通）
FAX：042-562-3966

調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。(1つを選択)

1. あて名ご本人が記入
2. ご家族が記入 (あて名ご本人からみられた続柄)
3. その他

1 あなたのご家族や生活状況についてお伺いします

問1 家族構成をお教えください。(1つを選択)

1. 1人暮らし
2. 夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)
3. 夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)
* 息子・娘以外の方と同居している場合、3世帯の場合等は、「5. その他」を選択してください
4. 息子・娘との2世帯
5. その他

問2 あなたは、普段の生活で何らかの介護・介助が必要ですか。(1つを選択)

1. 介護・介助は必要ない → **問3へ**
2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない → **問3へ**
3. 現在、何らかの介護を受けている
(介護認定を受けていない家族などの介護を受けている場合も含む) → **問2-1へ**

問2で「3. 現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」と回答した方にお伺いします。

問2-1 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。（複数選択可）

- | | |
|--------------------|-------------|
| 1. 脳卒中（脳出血・脳梗塞等） | 9. 腎疾患（透析） |
| 2. 心臓病 | 10. 視覚・聴覚障害 |
| 3. がん（悪性新生物） | 11. 骨折・転倒 |
| 4. 呼吸器の病気（肺炎・肺がん等） | 12. 脊椎損傷 |
| 5. 関節の病気（リウマチ等） | 13. 高齢による衰弱 |
| 6. 認知症（アルツハイマー病等） | 14. その他（ ） |
| 7. パーキンソン病 | 15. 不明 |
| 8. 糖尿病 | |

問3 お住まいは一戸建て又は集合住宅のどちらですか。（1つを選択）

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. 持家（一戸建て） | 5. 民間賃貸住宅（集合住宅） |
| 2. 持家（集合住宅） | 6. 借家 |
| 3. 公営賃貸住宅 | 7. その他 |
| 4. 民間賃貸住宅（一戸建て） | |
- *一般的な賃貸物件のある場合には、「4. 民間賃貸住宅（一戸建て）」又は「5. 民間賃貸住宅（集合住宅）」を、それ以外の場合は「6. 借家」を選択してください

問4 あなたやあなたの家族が介護を必要とする状態となった場合に、どのような生活を希望しますか。（1つを選択）

- | |
|---|
| 1. 現在の住まいで、介護保険等の公的サービスを利用せずに、家族の介護を中心に受けながら生活したい |
| 2. 現在の住まいで、介護保険等の公的サービスの利用を中心に生活したい |
| 3. 特別養護老人ホームや有料老人ホーム等の施設に入所して生活したい |
| 4. その他（ ） |
| 5. わからない |

問5 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。（1つを選択）

- | | |
|----------|-------------|
| 1. 大変苦しい | 4. ややゆとりがある |
| 2. やや苦しい | 5. 大変ゆとりがある |
| 3. 5つ | |

2 からだを動かすことについてお伺いします

問6 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。（1つを選択）

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

問7 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。（1つを選択）

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

問8 15分続けて歩いていますか。（1つを選択）

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

問9 過去1年間に転んだ経験がありますか。（1つを選択）

- | | | |
|----------|---------|-------|
| 1. 何度もある | 2. 1度ある | 3. ない |
|----------|---------|-------|

問10 転倒に対する不安は大きいですか。（1つを選択）

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. とても不安である | 3. あまり不安でない |
| 2. やや不安である | 4. 不安でない |

問11 週に1回以上は外出していますか。（1つを選択）

- | | |
|--------------|----------|
| 1. ほとんど外出しない | 3. 週2~4回 |
| 2. 週1回 | 4. 週5回以上 |

問12 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。（1つを選択）

- | | | |
|-------------|--------------|--------|
| 1. とても減っている | 3. あまり減っていない | → 問13へ |
| 2. 減っている | 4. 減っていない | → 問13へ |

問12で「1. とても減っている」「2. 減っている」と回答した方にお伺いします。

問12-1 外出を控えている理由は、次のどれですか。（複数選択可）

- | | |
|-------------------|--------------|
| 1. 病気 | 6. 目の障害 |
| 2. 障害（脳卒中の後遺症など） | 7. 外での楽しみがない |
| 3. 足腰などの痛み | 8. 経済的に出られない |
| 4. トイレの心配（失禁など） | 9. 交通手段がない |
| 5. 耳の障害（聞こえの問題など） | 10. その他（ ） |

問 13 外出する際の移動手段は何ですか。(複数選択可)

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. 徒歩 | 8. 病院や施設のバス |
| 2. 自転車 | 9. 車いす |
| 3. バイク | 10. 電動車いす (カート) |
| 4. 自動車 (自分で運転) | 11. 歩行器・シルバーカー |
| 5. 自動車 (人に乗せてもらう) | 12. タクシー |
| 6. 電車 | 13. その他 |
| 7. 路線バス | () |

3 食べることにしてお伺いします

問 14 身長・体重をご記入ください。

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 身長 () cm | 2. 体重 () kg |
|--------------|--------------|

問 15 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(1つを選択)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問 16 お茶や汁物等でむせることがありますか。(1つを選択)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問 17 口の渇きが気になりますか。(1つを選択)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問 18 歯磨き (人にやってもらってもらう場合も含む) を毎日していますか。(1つを選択)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問 19 歯の教と入れ歯の利用状況をお教えください。(成人の歯の総本数は、知らずを含めて32本です。)(1つを選択)

- | |
|------------------------|
| 1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用 |
| 2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし |
| 3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用 |
| 4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし |

問 20 どなたかと食事をもにされる機会がありますか。(1つを選択)

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 毎日ある | 2. 週に何度がある | 3. 月に何度がある |
| 4. 年に何度がある | 5. ほとんどない | |

4 毎日の生活についてお伺いします

問 21 物忘れが多いと感じますか。(1つを選択)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問 22 バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可)(1つを選択)

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

問 23 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(1つを選択)

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

問 24 自分で食事の用意をしていますか。(1つを選択)

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

問 25 自分で請求書の支払いをしていますか。(1つを選択)

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

問 26 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(1つを選択)

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

問 27 新聞を読んでいますか。(1つを選択)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問 28 本や雑誌を読んでいますか。(1つを選択)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問 29 健康についての記事や番組に関心がありますか。(1つを選択)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問 30 趣味はありますか。ある場合は () 内にご記入ください。(1つを選択)

- | |
|-------------|
| 1. 趣味あり () |
| 2. 思いつかない |

問 31 生きがいがありますか。ある場合は () 内にご記入ください。(1つを選択)

- | |
|---------------|
| 1. 生きがいあり () |
| 2. 思いつかない |

問 32 過去5年以内に商品購入やサービスの質、契約上のトラブルなどがありましたか。
(複数選択可)

1. 訪問販売でトラブルにあったことがある
2. 購入商品の質でトラブルにあったことがある
3. 投資関係でトラブルにあったことがある
4. 住居リフォーム(改装、改築)でトラブルにあったことがある
5. その他トラブル()
6. 消費トラブルにあったことはない → 問 33へ

問 32で「1. 訪問販売でトラブルにあったことがある」「2. 購入商品の質でトラブルにあったことがある」「3. 投資関係でトラブルにあったことがある」「4. 住居リフォーム(改装、改築)でトラブルにあったことがある」「5. その他トラブル」と回答した方にお伺いします。

問 32-1 トラブルについて相談をされましたか。(1つを選択)

1. はい
2. いいえ → 問 33へ

問 32-1で「1. はい」と回答した方にお伺いします。

問 32-2 トラブルについて、誰とどこに相談しましたか。()内にご記入ください。
()

問 33 スマートフォン、パソコンなどを日常的に活用していますか。(複数選択可)

1. スマートフォンを活用している
2. タブレットを活用している
3. パソコンを活用している
4. 活用していない
5. 持っているが使い方がわからない → 問 34へ
6. 持っていない

問 33で「1. スマートフォンを活用している」「2. タブレットを活用している」「3. パソコンを活用している」と回答した方にお伺いします。

問 33-1 どのようなことができますか。(複数選択可)

1. 電話
2. メール
3. 買い物(インターネットショッピング)
4. 情報収集(インターネットニュース等)
5. アプリゲーム
6. ソーシャルネットワークサービス(Twitter、Facebook、LINEなど)
7. ZoomやTeamsを活用した人との交流
8. その他()

5 地域での活動についてお伺いします

問 34 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。
※①～⑧それぞれ1つに○

種類	頻度 週4回 以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加して いない
①ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
②スポーツ関係のグループやクラブ	1	2	3	4	5	6
③趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤介護予防のための通いの場(お互いさまサロン※1など)	1	2	3	4	5	6
⑥老人クラブ	1	2	3	4	5	6
⑦町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑧収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

問 34で「5. 年に数回」「6. 参加していない」と回答した方にお伺いします。

問 34-1 記載されている会やグループなどの地域での活動への参加が少ない(していない)のはなぜですか。(複数選択可)

1. 活動場所まで行く手段がない
2. 活動する場所が近所がない
3. 活動自体知らない
4. 個人的な活動が忙しいため
5. 自身の身体機能が低下しているため
6. 人との関わりがおおくう
7. 参加の方法がわからない
8. その他()

問 35 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行っている地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(1つを選択)

1. 是非参加したい
2. 参加しても良い
3. 参加したくない
4. 既に参加している

※1 【お互いさまサロン】 武蔵村山市では『子どもからお年寄りまで、だれもが垣根なく「お互いさま」でつながるまちづくり』を目標に、歩いて通える場所にある市民誰もが参加できる「お互いさまサロン」づくりを進めています。詳しくはこちらをご覧ください。

問 36 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（1つを選択）

1. 是非参加したい 2. 参加しても良い 3. 参加したくない 4. 既に参加している

6 たすけあいについて
あなたとまわりの人の「たすけあい」についてお伺いします

問 37 あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（複数選択可）

1. 配偶者 5. 近隣
2. 同居の子ども 6. 友人
3. 別居の子ども 7. その他（ ）
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 8. そのような人はいない

問 38 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげてくれる人（複数選択可）

1. 配偶者 5. 近隣
2. 同居の子ども 6. 友人
3. 別居の子ども 7. その他（ ）
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 8. そのような人はいない

問 39 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（複数選択可）

1. 配偶者 5. 近隣
2. 同居の子ども 6. 友人
3. 別居の子ども 7. その他（ ）
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 8. そのような人はいない

問 40 反対に、看病や世話をしてあげてくれる人（複数選択可）

1. 配偶者 5. 近隣
2. 同居の子ども 6. 友人
3. 別居の子ども 7. その他（ ）
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 8. そのような人はいない

問 41 ご近所や地域の方のお付き合いはどのようなようですか。（1つを選択）

1. よく立ち話をしたり、日常的に付き合いがある方だ
2. あいさつ程度はするが、あまり付き合いは深くない方だ
3. ご近所や地域との付き合いはほとんどない

問 42 日中、1人になることがありますか。（1つを選択）

1. よくある 2. たまにある 3. ない

問 43 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。（複数選択可）

1. 自治会・町内会・老人クラブ 5. 地域包括支援センター・役所・役場
2. 社会福祉協議会・民生委員 6. その他（ ）
3. ケアマネジャー 7. そのような人はいない
4. 医師・歯科医師・看護師

問 44 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。（1つを選択）

1. 毎日ある 4. 年に何度かある
2. 週に何度かある 5. ほとんどない
3. 月に何度かある

問 45 よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。（複数選択可）

1. 近所・同じ地域の人 5. 趣味や関心が同じ友人
2. 幼なじみ 6. ボランティア等の活動での友人
3. 学生時代の友人 7. その他
4. 仕事での同僚・元同僚 8. いない

問 46 将来、あなたが日常生活で支援を必要とする状態となったときに、有償ボランティア^{※2}の団体に手を助けをしてもらいたいことはありますか。（複数選択可）

1. 掃除 6. 買い物
2. ごみ出し 7. ペットの世話
3. 洗濯 8. 送迎
4. 衣類の整理 9. その他（ ）
5. 食事の調理 10. 手助けはしてほしくない

※2 【有償ボランティア】 ごみ出し、草取り、買い物等、専門家ではなく、住民同士で、無理のない範囲で「お互いさまの気持ち」で行うちょっぴりした助け合い活動が始まっています。詳しくはチラシをご参照ください。お問い合わせは、地域包括支援センターへ。（連絡先は、15 ページをご参照ください。）

7 健康についてお伺いします

問 47 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(1つを選択)

- 1. とても良い
- 2. まあ良い
- 3. あまり良くない
- 4. 良くない

問 48 あなたは、現在どの程度幸せですか。

(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください。)

- とても不幸
- 0点 1点 2点 3点 4点 5点 6点 7点 8点 9点 10点
- とても幸せ

問 49 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(1つを選択)

- 1. はい
- 2. いいえ

問 50 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(1つを選択)

- 1. はい
- 2. いいえ

問 51 タバコは吸っていますか。(1つを選択)

- 1. ほぼ毎日吸っている
- 2. 時々吸っている
- 3. 吸っていたがやめた
- 4. もともと吸っていない

問 52 現在治療中、又は後遺症のある病気はありますか。(複数選択可)

- 1. ない
- 2. 高血圧
- 3. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)
- 4. 心臓病
- 5. 糖尿病
- 6. 高脂血症 (脂質異常)
- 7. 呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等)
- 8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気
- 9. 腎臓・前立腺の病気
- 10. 筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等)
- 11. 外傷 (転倒・骨折等)
- 12. がん (悪性新生物)
- 13. 血液・免疫の病気
- 14. うつ病
- 15. 認知症 (アルツハイマー病等)
- 16. パーキンソン病
- 17. 目の病気
- 18. 耳の病気
- 19. その他 ()

問 53 65歳以上の高齢者を対象に、市が実施している以下の一般介護予防事業 (詳しくはチラシをご参照ください) を知っていますか。また、今後利用したいと思えますか。(①～⑥)について、利用状況や認知度、今後の利用希望をそれぞれ1つに○) ※各事業ごとに、対象者を限定して実施する場合があります。

事業名称	利用状況や認知度等		利用状況や認知度		今後の利用希望	
	利用したことがある	利用していない	知っているが利用しない	知らない	利用したい	利用する予定はない
① 認知症予防大作戦！ 「脳のパワーアップ教室」 簡単な「読み書き」「計算」等を行った認知症予防の講座を開催することにより、認知機能の維持・向上を図ることを目的としています。	1	2	3	1	2	2
② ひざ痛予防体操教室 窓際でできる、膝の痛みを軽減させる運動方法を習得し、仲間づくりを推進することで、膝の痛みが要因で起こる閉じこもりを防ぐことを目的としています。	1	2	3	1	2	2
③ 健康太極拳教室 深い呼吸法に合わせて体を動かすことで、心身のバランスを整え、転倒予防につながることを目的としています。	1	2	3	1	2	2
④ 介護予防「筋力アップ教室」 マントレニングとストレッチを組み合わせた筋力向上トレーニングを通じて身体機能の維持・向上を図ります。	1	2	3	1	2	2
⑤ 楽しく介護予防「お口と食の健康教室」 適切な口腔ケアを行い、口腔衛生状態や食事摂取量を改善する方法や低栄養予防する食事等について学び、高齢者の心身機能の維持・向上を図ります。	1	2	3	1	2	2
⑥ 介護予防「輝く高齢者介護予防講座」 運動機能向上、栄養改善、口腔機能向上及び認知機能低下の予防の取組を通して、閉じこもり予防及び仲間づくりを目的としています。	1	2	3	1	2	2

問 53で「1. 利用したことがある」と回答した方にお伺いします。

問 53-1 介護予防教室などに参加したことにより、成果や効果はありましたか。(複数選択可)

- 1. 通院回数が増えた
- 2. 薬を飲む量が減った
- 3. 体力が向上した
- 4. 家でも体操などをできるようになった
- 5. 外出の回数が増えた
- 6. 仲間が増えた
- 7. 気持ちや前向きになった
- 8. 成果は感じなかった
- 9. わからない
- 10. その他 ()

問 54 健康づくりや介護予防について、左記以外にあれば良いと思う事業があれば、ご記入ください。

例) ウォーキング教室、水泳教室 など

問 55 健康づくりや介護予防として、より充実した方が良いと思うことは何ですか。(複数選択可)

1. 認知症予防
2. 相談窓口の充実
3. 生活習慣病の予防
4. 高齢期のうつ予防
5. 食生活(栄養など)改善
6. 口腔機能(のみこむ、かむこと)の向上
7. 気楽に集える場づくり
8. 健康スポーツの推進
9. 趣味・教養教室などの生涯学習の充実
10. 地域活動、ボランティア活動への支援
11. その他()

問 56 介護が必要になった方が、在宅での生活を続けていくために必要なことは何ですか。(〇は3つまで選択可)

1. 市民向けの在宅医療・在宅介護についての情報提供
2. 相談窓口の充実
3. 在宅医療・介護に関わる専門家同士の連携
4. 家族の負担を軽減するためのデイサービスやショートステイなどの拡充
5. 24時間いつでも診てもらえる体制
6. 病状が悪化したときにいつでも入院できる医療体制の整備
7. 高齢者が安心して住める住居の整備
8. 介護休暇など現場の理解とサポート体制の充実
9. その他()
10. わからない

8 認知症のことについてお伺いします

問 57 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(1つを選択)

1. はい
2. いいえ

問 58 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(1つを選択)

1. はい
2. いいえ

問 59 認知症に対する取組として必要だと思うことはありますか。(複数選択可)

1. 相談機関の充実
2. 認知症の予防方法の普及
3. 認知症の方の介護方法などの普及
4. 認知症の方本人やその家族の情報交換の場(オレンジカフェなど)
5. 地域社会全体で気づき・見守りができるような仕組み
6. 認知症の方向けの介護等サービスの充実
7. 認知症サポーターの育成
8. その他()
9. 特になし

問 60 今後、認知症施策を進めて行くうえで、どのようなことに重点を置くべきだと思いますか。(複数選択可)

1. 医療・介護・地域が連携した体制づくり
2. 早期発見、早期診療の体制づくり
3. 徘徊行動に対する地域での見守り体制づくり
4. 認知症グループホームや特別養護老人ホームなどの施設整備
5. 認知症サポーター養成講座や予防教室、講演会などの啓発
6. 認知症患者に対する介護や接し方等、家族向け説明会の開催
7. 認知症の人の権利や財産を守る制度の充実
8. 認知症の人が気軽に通い、相談できる居場所(認知症カフェ等)の充実
9. その他()

9 介護保険制度についてお伺いします

問 61 介護保険制度について知っていて知ること全てに〇をつけてください。(複数選択可)

1. 40歳以上の人が加入し保険料を納める
2. 65歳以上の方の保険料は、本人の所得や世帯の課税状況によって決める
3. 市に要介護認定の申請をする
4. 要介護度に応じて、利用できる介護サービスの利用限度額が異なる
5. サービス費用の1割を利用者が負担する。(一定の所得のある人は2割又は3割)
6. 利用者が介護度によって必要とするサービスを利用することができる
7. 自己負担額が高額になったときなどに、負担を軽減するしくみがある
8. 知っていることはない

問 62 介護保険料と介護保険サービスのあり方について、あなたのご意見に最も近いものはどれですか。(1つを選択)

1. 保険料が多少高くとも、給付されるサービスが充実していれば良い
2. 給付されるサービスを多少抑えても、保険料が低い方が良い
3. その他 ()

問 63 介護保険制度について、市に期待することは何ですか。(複数選択可)

1. 在宅・施設サービスを充実させること
2. 現行以上のサービスの質・量を確保すること
3. 公平・公正なサービスの提供を確保すること
4. 介護についての相談窓口を充実させること
5. 手続を簡便にすること
6. 介護保険制度の案内やサービス提供事業者の情報提供を充実すること
7. その他 ()

問 64 市内に4か所ある地域包括支援センター※3を知っていますか。(1つを選択)

1. 知っている
2. よく知らないが聞いたことはある
3. 知らない → 問 65へ

問 64で「1. 知っている」「2. よく知らないが聞いたことはある」と回答した方にお伺いします。

問 64-1 地域包括支援センターが行っている次の活動のうち、あなたが知っていること全てに○をつけてください。(複数選択可)

1. 在宅介護に関する相談
2. 介護予防に関する相談
3. 権利擁護・虐待対応
4. 知らない
5. その他 ()

※3 武蔵村山市の地域包括支援センター (受付時間 月～土 8:30～19:00)

センター名	所在地	担当地域
西部地域包括支援センター TEL: 042-560-3931	武蔵村山市伊奈平六丁目14番地の2 (特別介護老人ホーム伊奈平苑内)	伊奈平、岸、残堀、中原、三ツ木、三ツ藤、大字三ツ木(横田基地内)
北部地域包括支援センター TEL: 042-516-0062	武蔵村山市中央二丁目13番地の1	中藤、神明、中央、本町
南部地域包括支援センター TEL: 042-590-1477	武蔵村山市学園四丁目5番地の1 (武蔵村山市民総合センター内)	榎、大高、学園
緑が丘地域包括支援センター TEL: 042-590-5151	武蔵村山市緑が丘1460番地1103号棟 (緑が丘高齢者サービスセンター内)	緑が丘

問 65 あなたは、もし介護が必要になった場合、どのような暮らし方を希望しますか。(1つを選択)

1. 介護保険サービス(デイサービス※4、ショートステイ※5等)を利用せず、主に家族の介護を受けながら自宅で暮らしたい
2. 介護保険サービスを利用して自宅で暮らしたい
3. 特別介護老人ホーム※6やグループホーム※7など施設に入所したい
4. 有料老人ホーム※8などで暮らしたい
5. その他 ()

※4 デイサービス	通所介護。利用者が通所介護の施設(デイサービスセンター等)に通い、食事や入浴などの日常生活上の支援や、生活機能向上のための機能訓練や口腔機能向上サービスなどを日帰り提供
※5 ショートステイ	短期入所生活介護。介護老人福祉施設(特別介護老人ホーム)などが、常に介護が必要な方の短期間の入所を受け入れ、入浴や食事などの日常生活上の支援や、機能訓練などを提供
※6 特別介護老人ホーム(介護老人福祉施設)	常に介護が必要で自宅での介護が困難な方が入所し、介護等の日常生活の世話、機能訓練、健康管理などが受けられる施設
※7 グループホーム(認知症対応型共同生活介護)	認知症の方が、施設で共同生活を営みながら、入浴、食事の提供等の日常生活上の支援又は世話、機能訓練を受けられる施設
※8 有料老人ホーム	高齢者が住みやすい様に配慮され、食事など生活支援のサービスが受けられる高齢者向け施設

10 普段の暮らしや高齢者福祉サービスについてお伺いします

問 66 市の保健・福祉・介護保険サービスに関する情報は、主にどこから得ていますか。(複数選択可)

1. 家族・親族
2. 友人・知人
3. 民生委員
4. 市役所の窓口
5. 市役所のホームページ
6. 広報誌
7. 地域包括支援センター
8. 介護保険サービス事業者
9. 回覧
10. 特にない
11. その他 ()

問 67 市が実施している以下の高齢者福祉サービスを利用したことがありますか。また、今後利用したいと思えますか。(①～⑮)について、利用状況や認知度、今後の利用希望それぞれ1つに○) ※各サービスを受けるには一定の要件があります。

サービス名称	利用状況や認知度		今後の利用希望	
	利用したことがある	知っていないが利用したことはない	利用したい	利用する予定はない
①食事サービス 買い物や調理の困難な高齢者世帯に、昼食を手渡してお届けします。	1	2	3	2
②見守り安心カード 見守り安心カードに登録し、カードを携帯することで緊急時の身元確認等が容易に行えます。	1	2	3	2
③友愛訪問 訪問員が高齢者世帯を訪問し、話し相手や相談に役立ちます。	1	2	3	2
④ごみ出し支援 ごみ出しが困難な高齢者等に代わり、家庭ごみを玄関先から集積所まで届出します。	1	2	3	2
⑤生活支援ヘルパー 週に最大90分まで、ホームヘルパーを派遣し、家事援助を行います。	1	2	3	2
⑥生活支援ショートステイ 市内施設に短期入所することができます。	1	2	3	2
⑦おむつ給付 紙おむつと尿取りパットを給付します。	1	2	3	2
⑧日常生活用具給付 シルバーカー等の日常生活用具の購入費用を助成します。	1	2	3	2
⑨自立支援住宅改修 ますりの取り付け、浴室給湯・便器取り替え等の住宅改修を行います。	1	2	3	2
⑩福祉電話 電話を貸与し、基本料金を助成します。	1	2	3	2
⑪救急通報システム 緊急時に東京消防庁又は民間コールセンターに直接連絡できる機能を設置します。	1	2	3	2
⑫火災安全システム 火災による緊急事態に備えて、住宅用防災機器(火災自動通報器・電線管理機器等)を給付します。	1	2	3	2
⑬徘徊高齢者等家族支援サービス 位置探査システムにより、徘徊高齢者の居場所を確認後家族に提供します。希望により個人賠償責任保険を付けることもできます。(原則、自己負担あり。詳しくはチラシをご参照ください。)	1	2	3	2
⑭老人性白内障用特殊眼鏡等購入費助成 老人性白内障で屈折レンズ挿入術を施された方、水晶体摘出手術をした方の、特殊眼鏡又はコンタクトレンズ購入費の一部を助成します。	1	2	3	2

問 68 この1年で、新型コロナウイルス感染症の流行拡大とそれに伴う行動制限・自粛生活によって、あなたの健康面にどのような影響がありましたか。(複数選択可)

1. 精神的なストレスが増えた(感染不安、自粛疲れ等)	
2. 運動不足により体力が落ちた	
3. ストレス発散の機会が減った	
4. 感染防止対策の徹底で、病気にかかりにくくなった	
5. 気分が沈むことが増えた	
6. 睡眠の質が落ちた	
7. 通院、入院がしづらくなった	
8. いらだつことが増えた	
9. 意識的に運動するようになった	
10. 体調を気遣うようになり、かえって健康的になった	
11. 飲酒が増えた(始めた)	
12. 飲酒を控えた(やめた)	
13. 喫煙が増えた(始めた)	
14. 喫煙を控えた(やめた)	
15. その他()	
16. 特に変わらなかった	

問 69 この数年、新型コロナウイルス感染症の流行拡大とそれに伴う行動制限・自粛生活によって、あなたの生活面にどのような影響がありましたか。(複数選択可)

1. 外出が減った	
2. 感染防止対策やステイホーム等で出費などの負担が増えた	
3. オンラインサービス(通称や動画配信等)の利用が増えた	
4. テレワークやオンライン学習等により、自由な時間が増えた	
5. 趣味等の時間が減った	
6. 無駄な出費が減った	
7. 収入が減った	
8. ローンや賃料等の支払が苦しくなった	
9. 副業を始めた(検討した)	
10. その他()	
11. 特に変わらなかった	

問 70 この数年、新型コロナウイルス感染症の流行拡大とそれに伴う行動制限・自粛生活によって、あなたの人付き合いにどのような影響がありましたか。(複数選択可)

1. 人とのつながりが作りにくくなった (交流がしづらくなった)
2. SNS やリモートなど、新しいコミュニケーション方法を始めた (増えた)
3. 大人数の会食等が減り、交流が減った
4. 飲み会などの付き合いが減り、気が楽になった
5. オンライン飲み会・食事を始めた
6. 人目を気にして行動するようになった (せきエチケットやマスクの着用など)
7. 他人の感染防止対策 (マスク着用等) が気になるようになった
8. 家族との時間が増え、絆が強まった
9. 家族との時間が増え、ストレスが増した
10. 感染症等の意見の違いで、人間関係に溝ができた
11. 孤立感、孤独感が増した
12. 遠方の家族、友人等に連絡するようになった (機会が増えた)
13. その他 ()
14. 特に変わらなかった

問 71 今後、市が取り組むべき高齢者に関する福祉施策について、優先して充実させるべき施策はどれになるとお考えですか。(複数選択可)

1. ボランティア団体等の市民活動への援助
2. 学校での福祉教育
3. 入所施設 (特別養護老人ホーム等) の整備
4. 高齢者向け住宅の整備
5. 介護予防対策の充実
6. 在宅高齢者に対する福祉サービスの充実
7. 高齢者の就労対策
8. その他 ()

最後に、市の高齢者施策に関して、ご意見・ご要望がございましたら、自由にお書きください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

記入した調査票を切り離すことなく、送付されたもの全て (表紙も含みます) を返信用封筒 (切手不要) に入れて、**令和4年12月26日(月)**までにお近くのポストに投函してください。